

城陽市市民意識調査

報告書

令和元年度
(2019年度)

城陽市

はじめに

城陽市は今、新名神高速道路の全線開通を起爆剤として、これまでのベッドタウンから、新たな城陽「NEW 城陽」へと、大きな変化を遂げようとしています。新名神高速道路城陽ジャンクション・インターチェンジに隣接する新市街地「サンフォルテ城陽」の整備が完了し、東部丘陵地の整備では、プレミアム・アウトレットの建設やスマートインターチェンジの設置、国道 24 号城陽井手木津川バイパスの決定など大きく歩みを進めています。さらに、JR 奈良線の複線化や駅周辺整備など、明日への基盤整備が着々と進み、城陽は大きく躍動しています。



本市は、これら絶好のチャンスに、交通の要衝・近畿のハブ都市としての機能を最大限に活かした企業誘致を進めるなど、税収の増加や雇用の創出を図るとともに、「希望あふれる城陽」「誰もが輝いている城陽」に向けて、市民の皆さまとの対話によるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

今回、市民の皆さまの貴重なご意見をお聞きしながら施策の推進に取り組むため、平成 27 年に引き続き「城陽市市民意識調査」を実施いたしました。この調査結果につきましては、今後の市政運営及び貴重な資料として活用してまいります。

調査にご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今後一層の市政に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 2 年(2020 年) 3 月

城陽市長 奥田 敏晴

- 目 次 -

I	調査の概要.....	1
II	調査結果	3
1	回答者の属性.....	3
	(1) 性別.....	3
	(2) 年齢.....	3
	(3) 職業.....	4
	(4) 通勤・通学先	4
	(5) 通勤・通学時間	5
	(6) 居住年数.....	5
	(7) 同居者.....	6
	(8) 居住形態.....	6
	(9) 居住小学校区	7
	(10) 以前の居住地	7
	(11) 転居のきっかけ.....	8
	(12) 現住所を転居先に選んだ理由	9
2	城陽市について	10
	(1) 城陽市の住みやすさ.....	10
	(2) 城陽市への「ふるさと」感の有無	12
	(3) 今後の居留意向の有無.....	14
	(4) 住みつづけたいと考える理由.....	15
	(5) 転居希望の理由	17
3	城陽市のさまざまな行政分野について	19
	(1) どのような地域活動に参加しているか.....	19
	(2) 地域活動に参加する際に支障となること.....	21
	(3) 生涯学習の内容	22
	(4) 生涯学習活動の方法.....	24
	(5) 生涯学習に取り組まなかった理由	26
	(6) スポーツの実施状況について	28
	(7) 京都サンガ F. C. 応援の有無	29
	(8) 京都サンガ F. C. 試合観戦経験の有無.....	30
	(9) 京都サンガ F. C. に関する認知度	31
	(10) 使用している通信機器.....	33
	(11) 活用している城陽市についての情報収集手段	35
	(12) 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段	37
	(13) 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況.....	39
	(14) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度	46
	(15) 「じょうりんちゃん」の認知経路	47

(16) 実施している災害への備え	48
(17) 住宅用火災警報器設置の有無	52
(18) 水道水を飲料水として使用していることの有無	53
(19) 飲料水として使用しているもの	54
(20) 城陽市で実施している環境施策の認知度	56
(21) 環境イベント・学習会への参加の有無	58
(22) 地球環境問題について	60
(23) 地球環境問題に対する取り組み	61
(24) 墓地の有無	64
(25) 墓地の必要性	66
(26) 必要とする墓地の形態	68
(27) 市の緑化推進の施策で知っているもの	69
(28) 市の緑化推進のために必要だと思うもの	71
(29) 公園の利用頻度	73
(30) 利用したい公園	75
(31) 自転車損害賠償保険等の加入状況	77
(32) 自転車損害賠償保険等に加入していない理由	78
(33) 子育て支援充実のために必要だと思う施策	79
(34) 城陽市消費生活センターの利用状況	82
(35) 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由	83
(36) 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について	84
(37) 公共交通機関の利用頻度	89
(38) 生活の中でよく利用する駅について	92
(39) 市内の各種公共施設の利用状況	95
(40) 市内の各種公共施設を利用していない理由	99
4 城陽市での暮らしの満足度について	100
(1) 日常生活全般の満足度	100
(2) 自然環境・周辺環境の満足度	105
(3) 都市基盤整備の必要性	110
(4) 生活環境整備の必要性	116
(5) 教育・文化に対する整備の必要性	122
(6) 福祉・健康に対する整備の必要性	125
(7) 交通機関の整備の必要性	129
(8) 産業に対する整備の必要性	135

資料編

調査票

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、市民の声を市政に反映させるべく、昭和57年度から実施しており、市民の意見・考え方を聴き、その経年変化を把握して、今後の市政運営に資することを目的とします。

2 調査対象

城陽市に居住する18歳以上の方から無作為で1,000人を抽出しました。

3 調査方法

郵送により調査票を配布及び回収

4 調査期間等

次のように調査を実施しました。

- ・市広報紙及びホームページにより告知：令和元年10月1日
- ・調査票配布：令和元年10月11日
- ・回収終了：令和元年10月31日
- ・回収状況：回収数 544件 回収率 54.4%

5 調査内容

(1) 回答者の属性について

性別、年齢、職業、通勤・通学先、通勤・通学時間、居住年数、同居者、居住形態、居住小学校区、以前の居住地、転居のきっかけ、現住所を転居先に選んだ理由

(2) 城陽市について

住みやすさ、「ふるさと感」の有無、居住意向、住みつづけたい理由、転居希望理由

(3) さまざまな行政分野について

地域活動への参加、生涯学習の内容、スポーツの実施状況、京都サンガF.C.について、使用している情報媒体、広報紙などの閲読状況、「じょうりんちゃん」について、災害対策、住宅用火災警報器の設置状況、水道水の利用状況、環境施策、環境イベント・学習会、地球環境問題、墓地の充足、緑化推進、公園の利用、自転車損害賠償保険等の加入状況、子育て支援策、城陽市消費生活センターの利用状況、運転免許証・自家用車の有無、公共交通機関の利用頻度、よく利用する駅、公共施設の利用状況

(4) 暮らしの満足度

日常生活全般、自然環境・周辺環境、都市基盤、生活環境、教育・文化、福祉・健康、交通機関、産業

6 報告書の見方

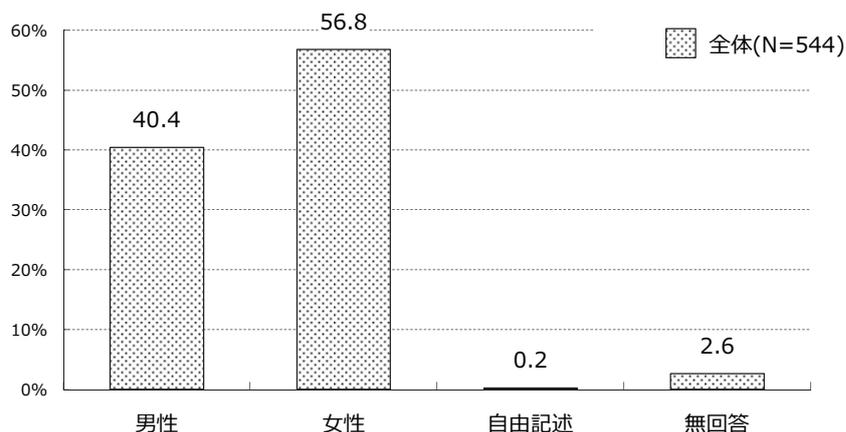
- ・集計結果はすべて、小数第二位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・原則として回答比率（%）は、その質問の回答者数（N=Number of case）を100.0%として算出しています。
- ・設問によっては、別の設問の回答によって回答者が限定されるものがあります。その場合、非該当となる回答者数を除いた分だけN値が減少しています。
- ・百分比（%）の比較における差は、原則として「…ポイント」という表現としています。
- ・調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を総合したことを表します。（例：「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」→『住みよい』）
- ・前回調査との比較の前回調査とは、平成27年7月に行われた「城陽市市民意識調査」を指しています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

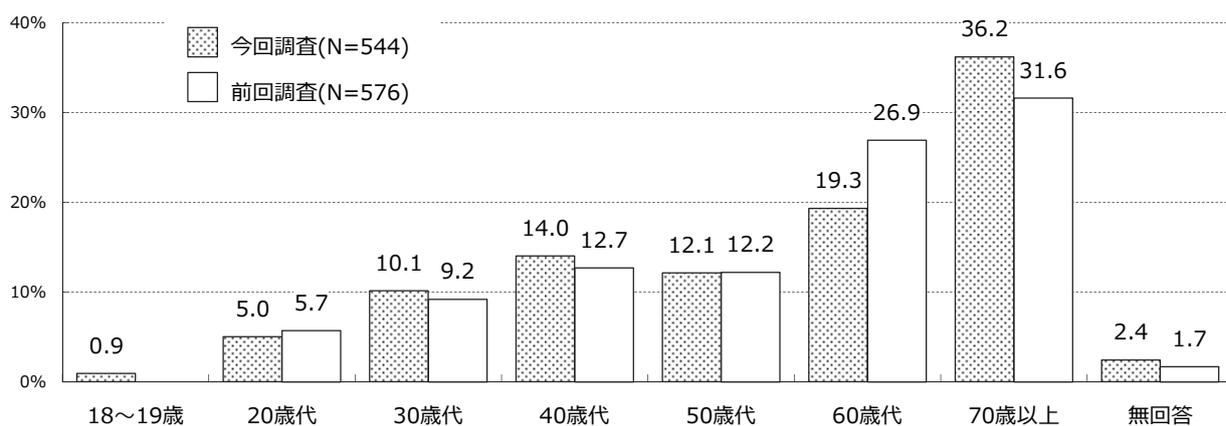
図1-1 性別



回答者の性別は、男性が40.4%（220件）、女性が56.8%（309件）となっており、女性が5割強を占めています。（図1-1）

(2) 年齢

図1-2 年齢（前回調査との比較）



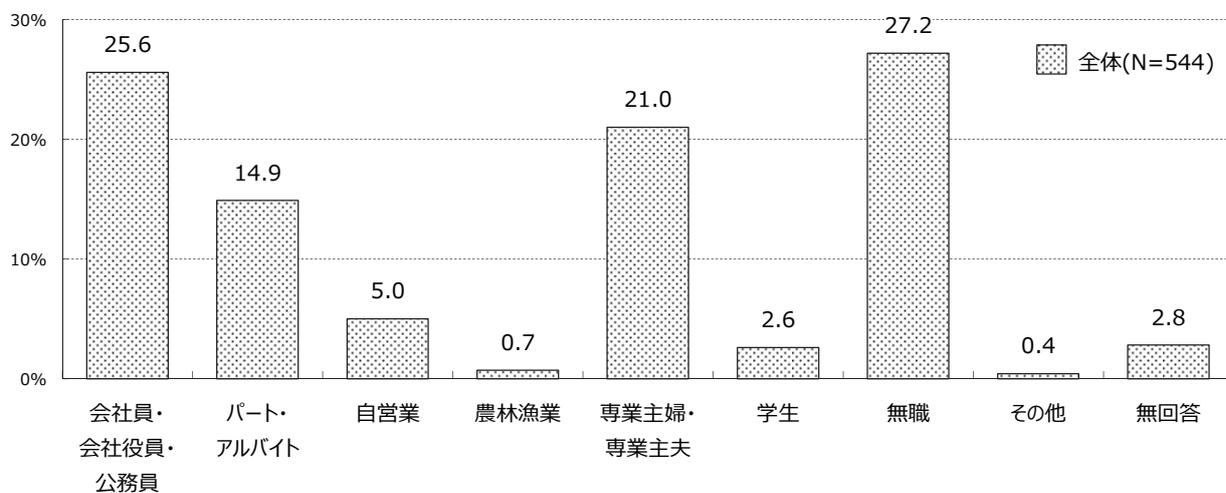
回答者の年齢は、70歳以上が36.2%（197件）と最も高く、次いで、60歳代が19.3%（105件）となっており、60歳以上の高年齢層が55.5%（302件）を占めています。

今回調査でも、60歳以上の年代が5割強を占めていますが、前回調査の58.5%（337件）よりやや低くなっています。年齢別にみると、60歳以上が7.6ポイント減、70歳以上が4.6ポイント増となっています。

（図1-2）

(3) 職業

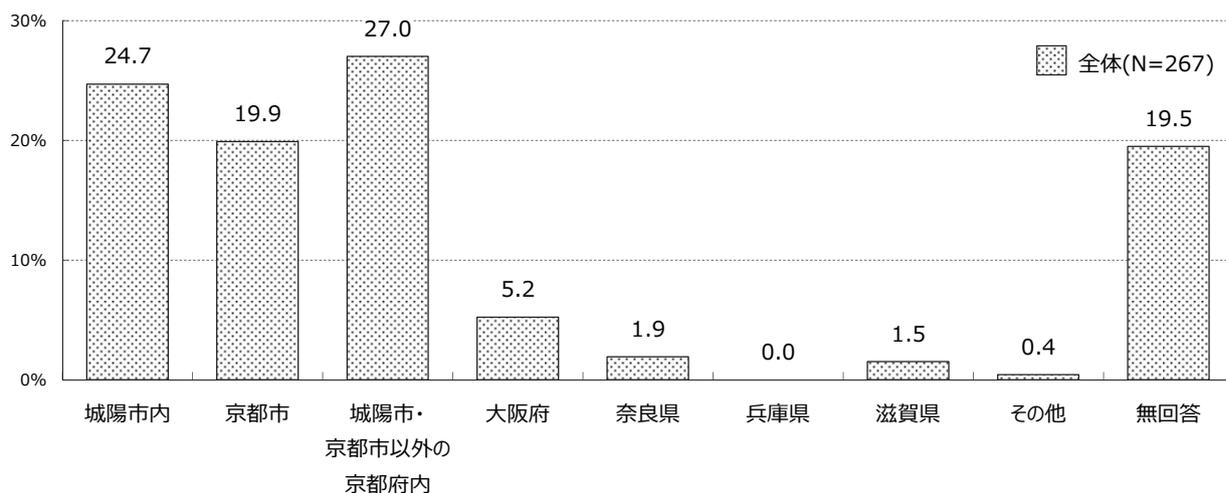
図1-3 職業



回答者の職業は、「無職（専業主婦・専業主夫、学生を除く）」が27.2%（148件）と最も高くなっています。次いで、「会社員・会社役員・公務員」が25.6%（139件）、「専業主婦・専業主夫」が21.0%（114件）が続いています。（図1-3）

(4) 通勤・通学先

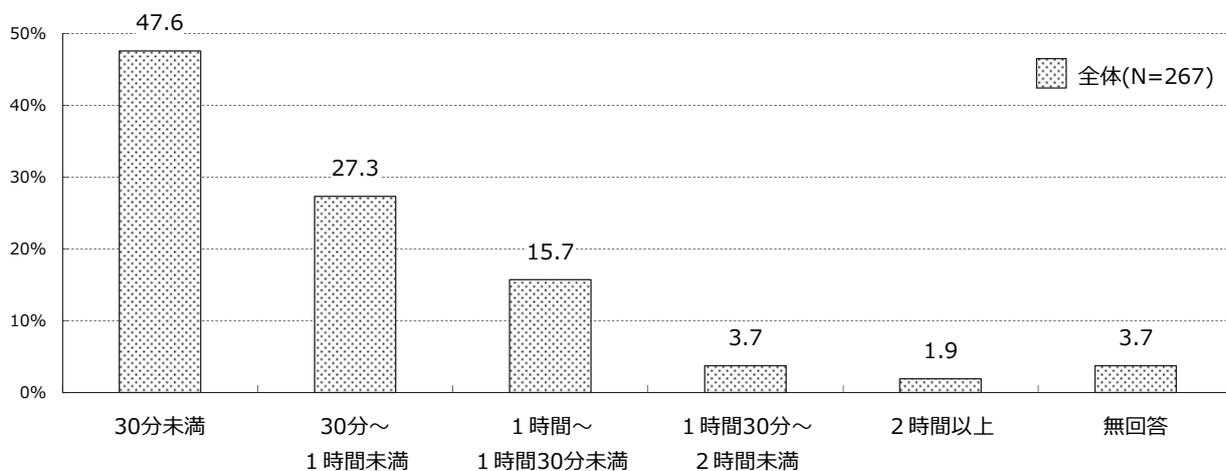
図1-4 通勤・通学先



通勤・通学先は、「城陽市・京都市以外の京都府内」が27.0%（72件）と最も高くなっています。次いで、「城陽市内」が24.7%（66件）、「京都市」が19.9%（53件）が続いています。（図1-4）

(5) 通勤・通学時間

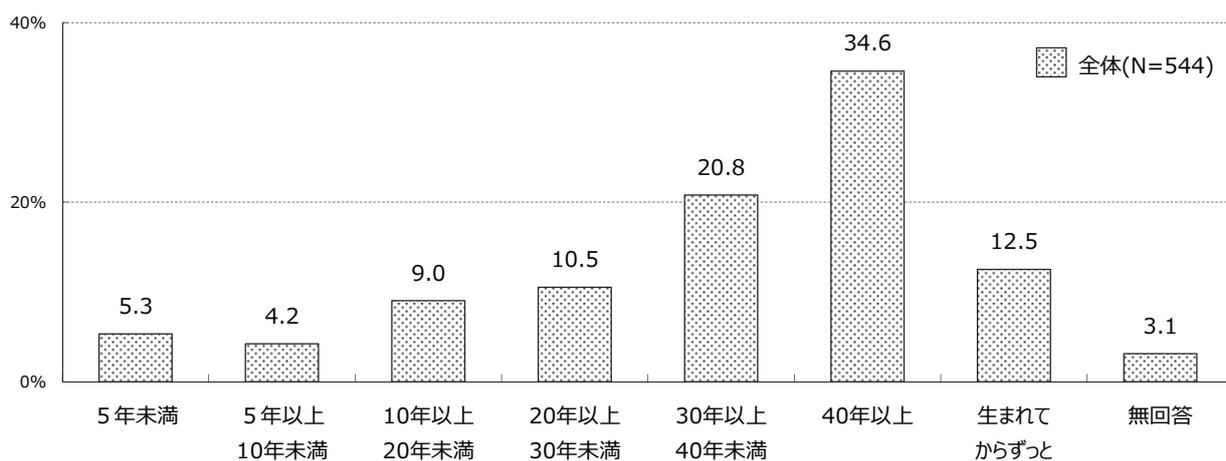
図1-5 通勤・通学時間



通勤・通学時間は、「30分未満」が47.6%（127件）と最も高く約5割を占めています。次いで、「30分～1時間未満」が27.3%（73件）、「1時間～1時間30分未満」が15.7%（42件）となっています。（図1-5）

(6) 居住年数

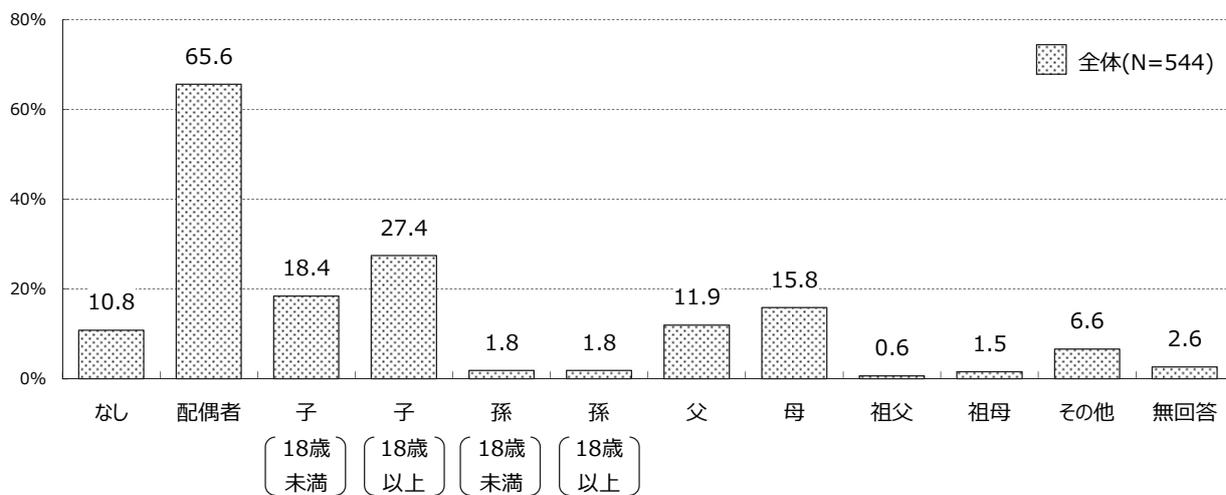
図1-6 居住年数



居住年数は、『30年以上』（「30年以上40年未満」と「40年以上」を合わせた割合）55.4%（301件）と「生まれてからずっと」12.5%（68件）が合わせて67.9%（369件）を占めています。（図1-6）

(7) 同居者

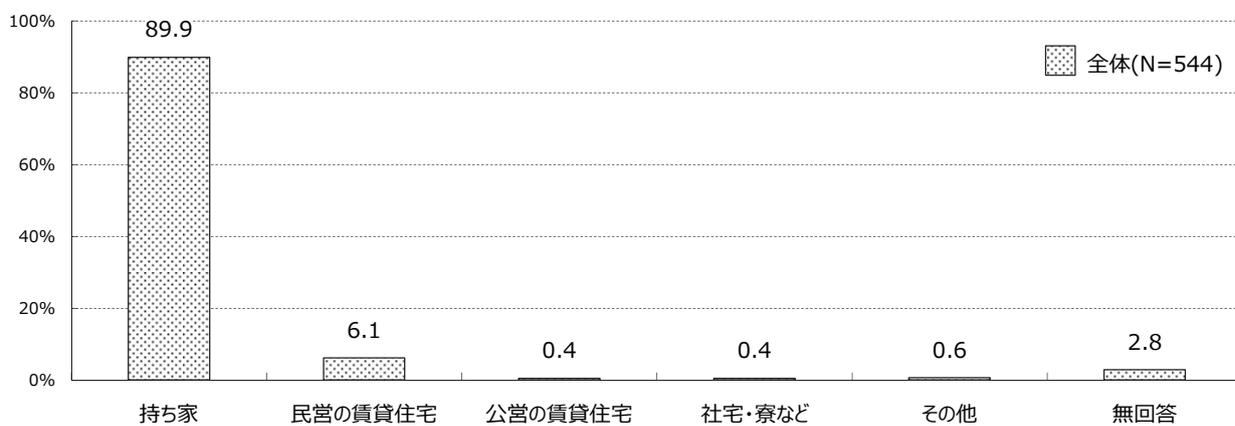
図1-7 同居者



同居者は、「配偶者」が65.6% (357件)、「子 (18歳以上)」が27.4% (149件)、「子 (18歳未満)」が18.4% (100件)、「母」が15.8% (86件)、「父」が11.9% (65件)、「なし」が10.8% (59件) などとなっています。(図1-7)

(8) 居住形態

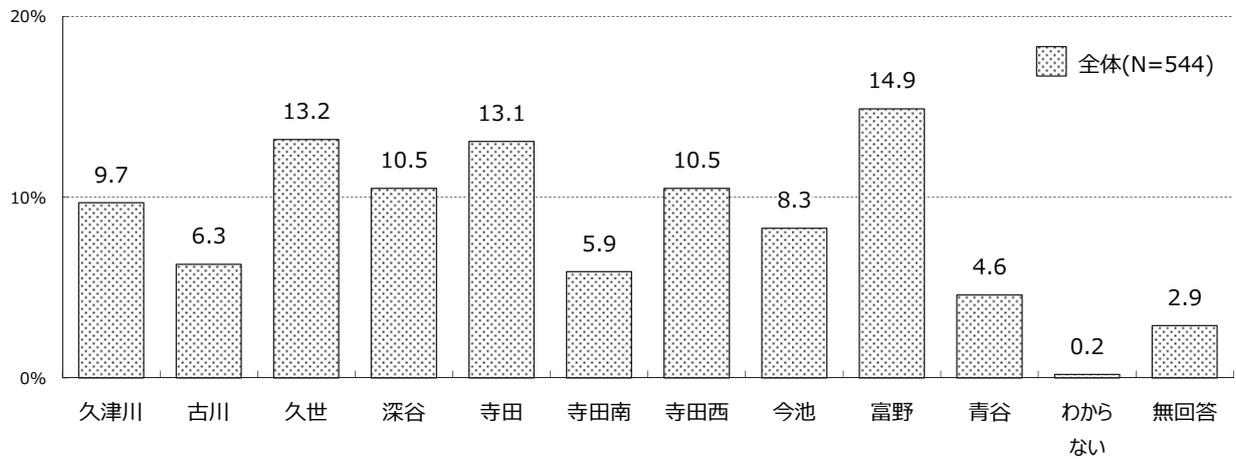
図1-8 居住形態



居住形態は、「持ち家」が89.9% (489件) と約9割を占めています。(図1-8)

(9) 居住小学校区

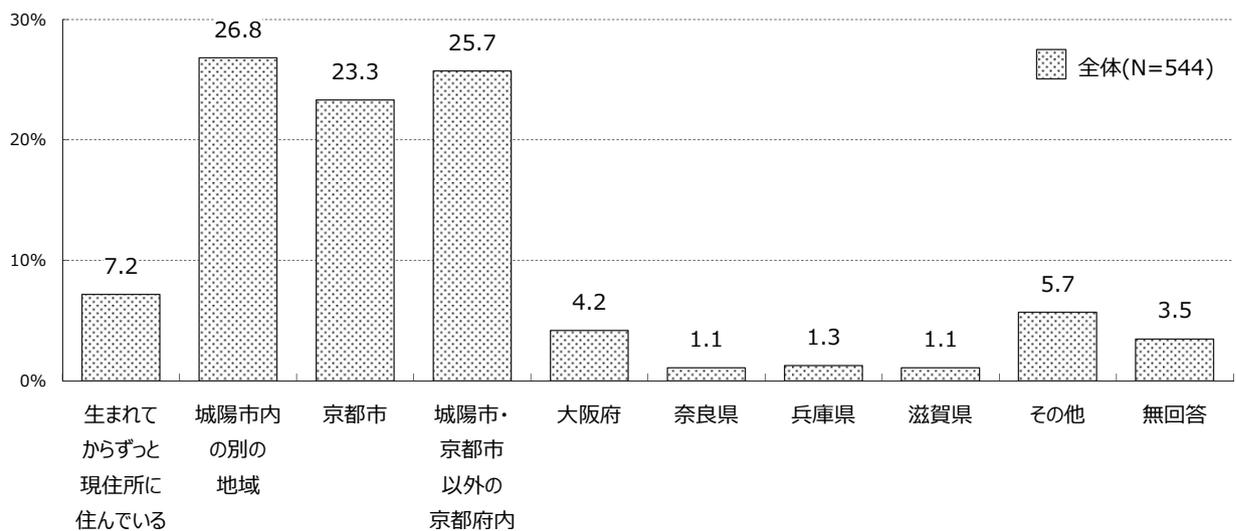
図1-9 居住小学校区



居住小学校区は、「富野」が14.9% (81件) と最も高く、次いで、「久世」が13.2% (72件) 「寺田」13.1% (71件) がほぼ同率となっており、これに「深谷」「寺田西」「久津川」が10%前後が続いています。(図1-9)

(10) 以前の居住地

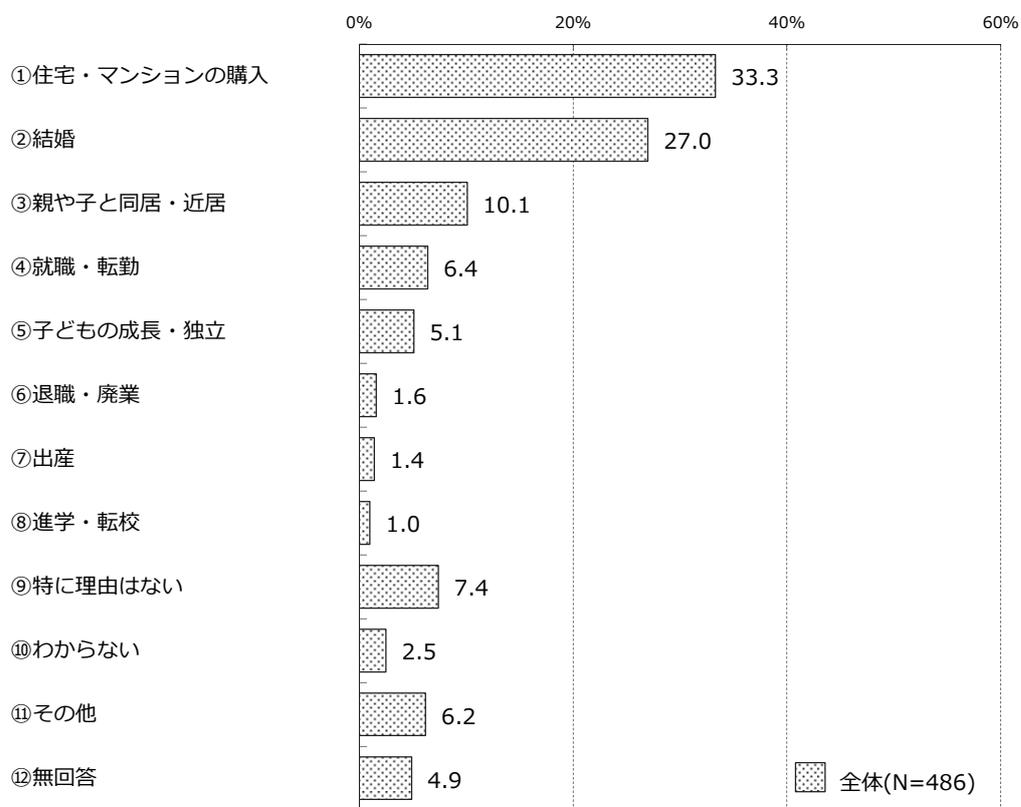
図1-10 以前の居住地



以前の居住地は、「城陽市内の別の地域」26.8% (146件) と「城陽市・京都市以外の京都府内」25.7% (140件) がほぼ同率で高くなっており、次いで、「京都市」が23.3% (127件) で続いています。(図1-10)

(11) 転居のきっかけ

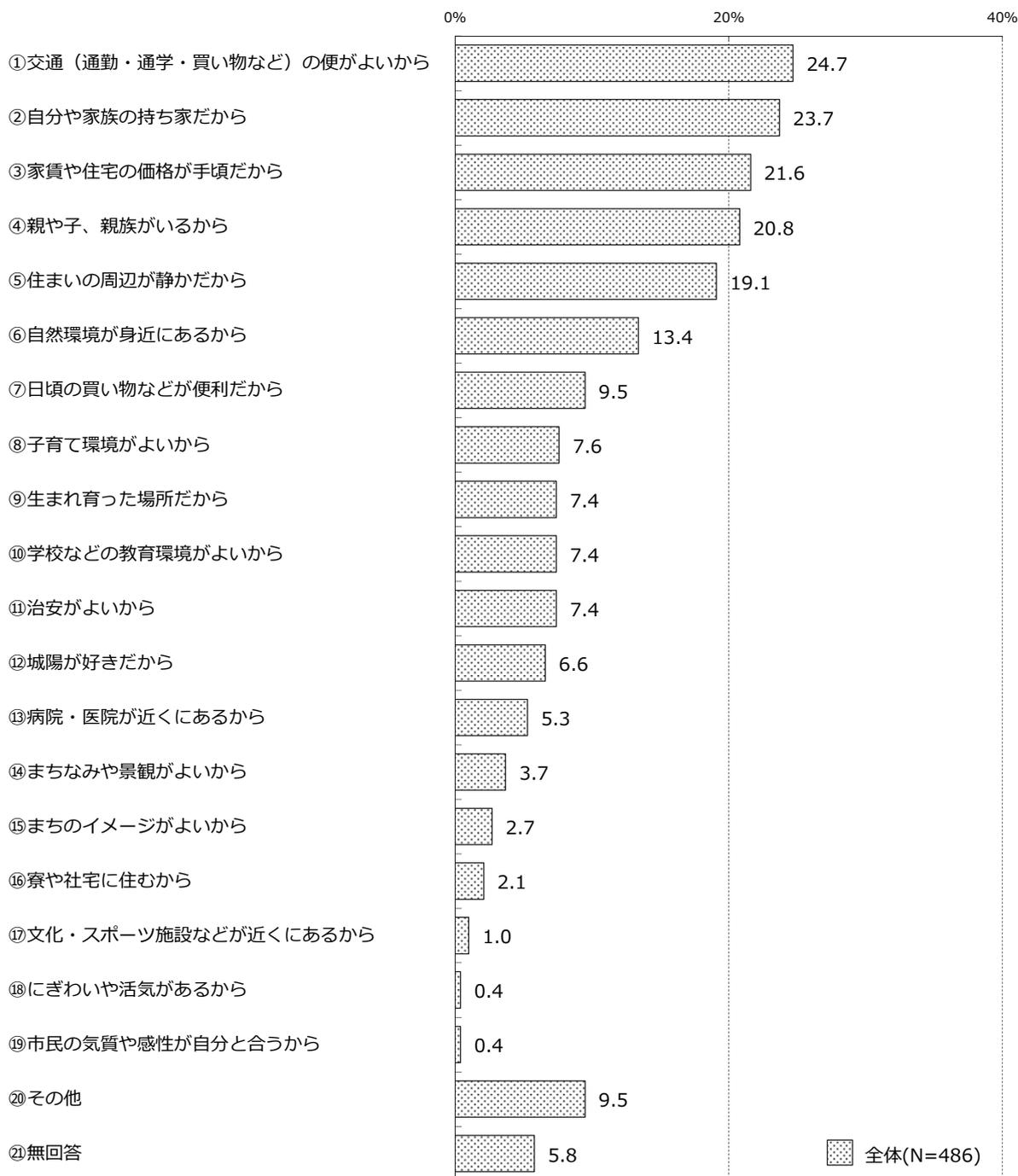
図1-11 転居のきっかけ



転居のきっかけは、「①住宅・マンションの購入」が33.3%（162件）で最も高く、次いで、「②結婚」が27.0%（131件）、「③親や子と同居・近居」が10.1%（49件）となっています。（図1-11）

(12) 現住所を転居先に選んだ理由

図1-12 現住所を転居先に選んだ理由



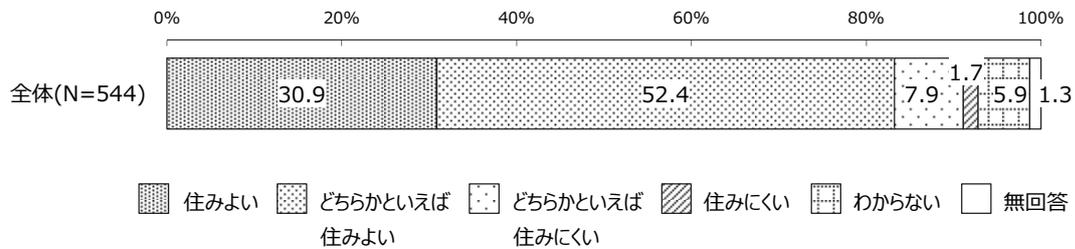
現住所を転居先に選んだ理由は、「①交通（通勤・通学・買い物など）の便がよいから」24.7%（120件）、「②自分や家族の持ち家だから」23.7%（115件）、「③家賃や住宅の価格が手頃だから」21.6%（105件）、「④親や子、親族がいるから」20.8%（101件）、「⑤住まいの周辺が静かだから」19.1%（93件）の順で2割前後となっています。（図1-12）

2 城陽市について

(1) 城陽市の住みやすさ

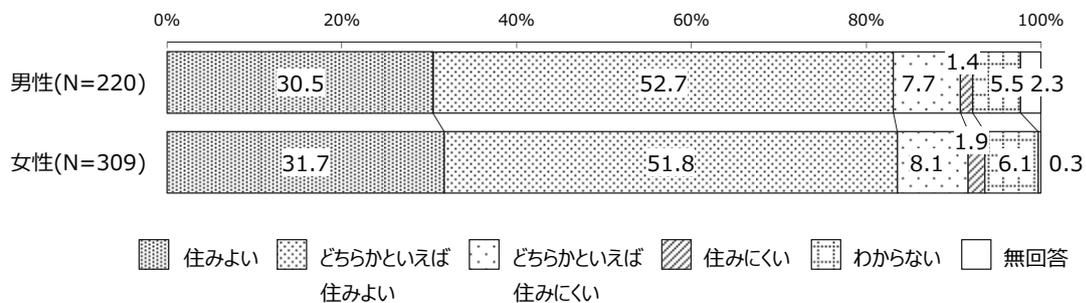
Ⅱ. 問1 あなたは城陽市を住みよいと感じていますか。

図2-1 城陽市の住みやすさ



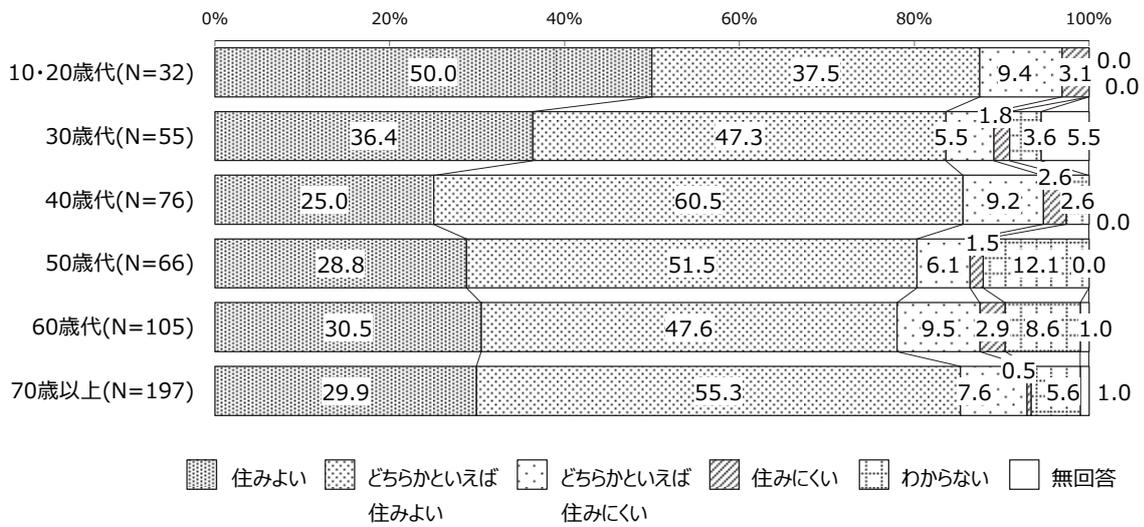
城陽市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みよい」が52.4%（285件）と5割強を占めており、「住みよい」30.9%（168件）を合わせると、全体の83.3%（453件）が『住みよい』と回答しています。一方、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）は9.6%（52件）となっています。（図2-1）

図2-1-1 男女別 城陽市の住みやすさ



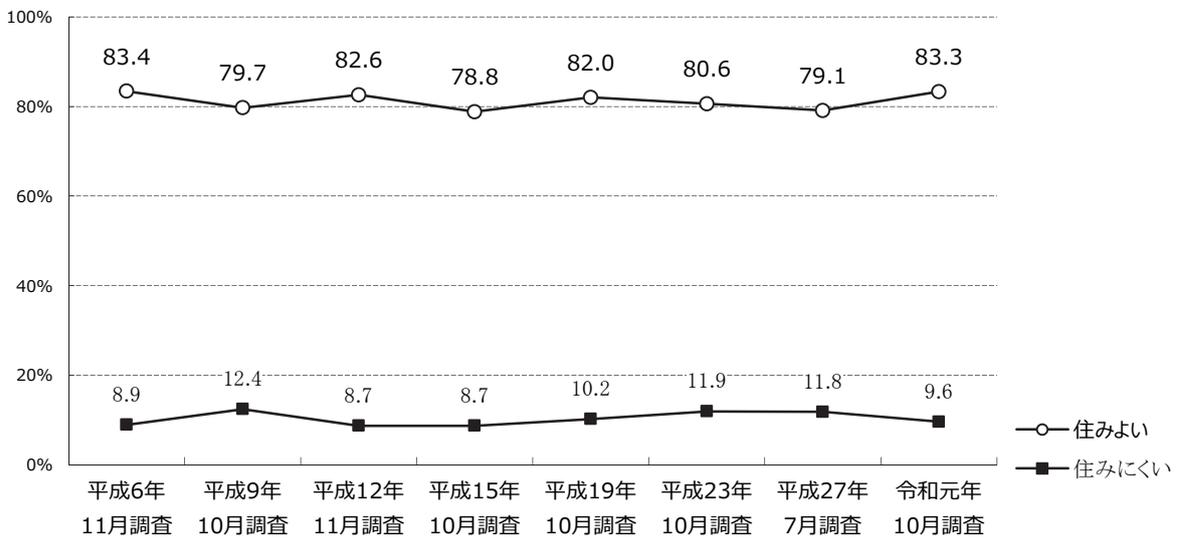
男女別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）は男女ともに約83%を占めており、男女で大きな差はみられません。（図2-1-1）

図2-1-2 年齢別 城陽市の住みやすさ



年齢別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人は、10・20歳代で87.5%（28件）、40歳代で85.5%（65件）、70歳以上で85.2%（168件）、30歳代で83.7%（46件）の順で高くなっており、中でも10・20歳代では「住みよい」が50.0%（16件）と高くなっています。（図2-1-2）

図2-1-3 経年比較 城陽市の住みやすさ

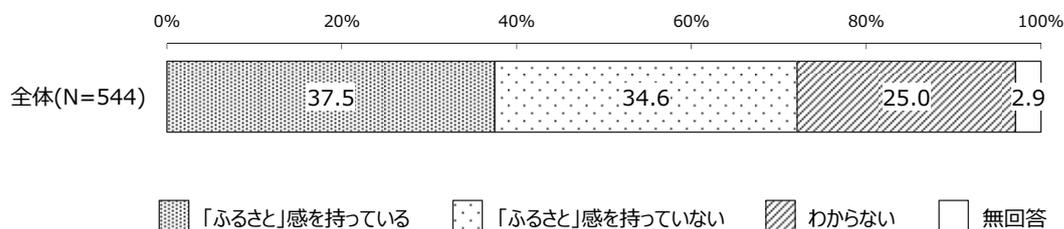


前回調査と比較すると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人が、今回調査では4.2ポイント増加し、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）という人が、今回調査では2.2ポイント減少しています。（図2-1-3）

(2) 城陽市への「ふるさと」感の有無

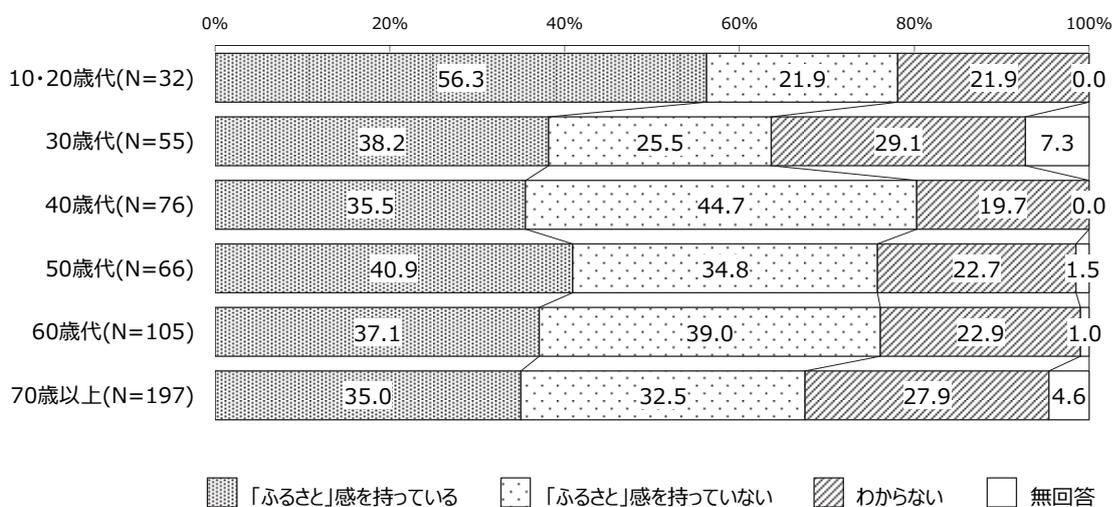
Ⅱ. 問2 あなたは城陽市に「ふるさと」感をお持ちですか。

図2-2 城陽市への「ふるさと」感の有無



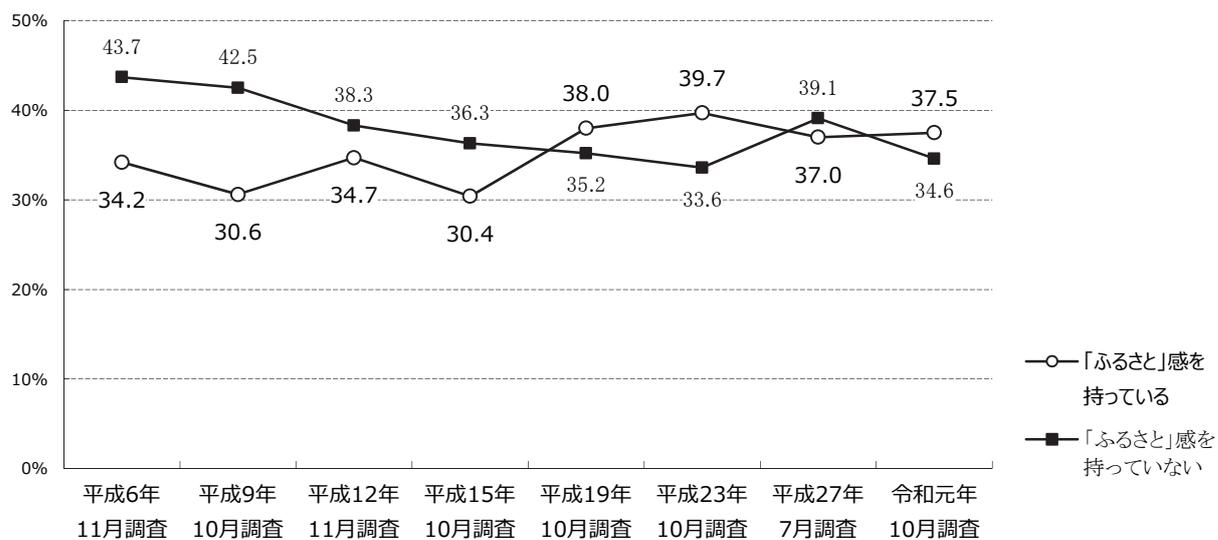
城陽市への「ふるさと」感の有無については、「ふるさと」感を持っている人が37.5% (204件)、「ふるさと」感を持っていない人が34.6% (188件) となっており、「ふるさと」感を持っている人の方が2.9ポイント高くなっています。(図2-2)

図2-2-1 年齢別 城陽市への「ふるさと」感の有無



年齢別にみると、10・20歳代では「ふるさと」感を持っている人の割合が56.3% (18件) と高くなっていますが、40歳代では「ふるさと」感を持っていない人の割合が44.7% (34件) と高くなっています。いずれの年代も「わからない」という人が約2～3割を占めています。(図2-2-1)

図2-2-2 経年比較 城陽市への「ふるさと」感の有無

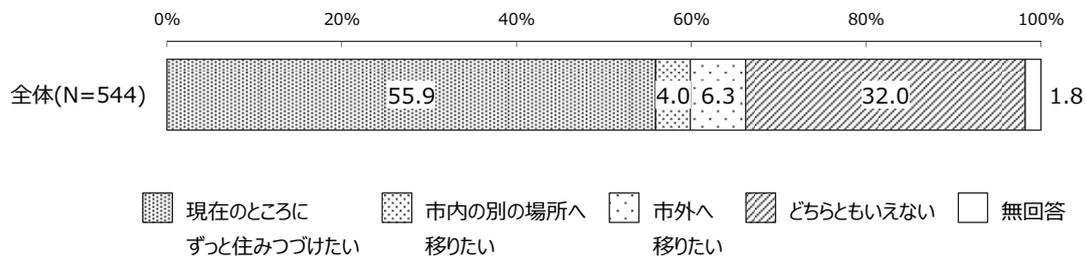


前回調査と比較すると、前回調査では、「ふるさと」感を持っていない人の割合が「ふるさと」感を持っている人を上回っていましたが、今回調査では、「ふるさと」感を持っている人が横ばい、「ふるさと」感を持っていない人が4.5ポイント減少し、「ふるさと」感を持っている人の割合が「ふるさと」感を持っていない人を上回っています。(図2-2-2)

(3) 今後の居住意向の有無

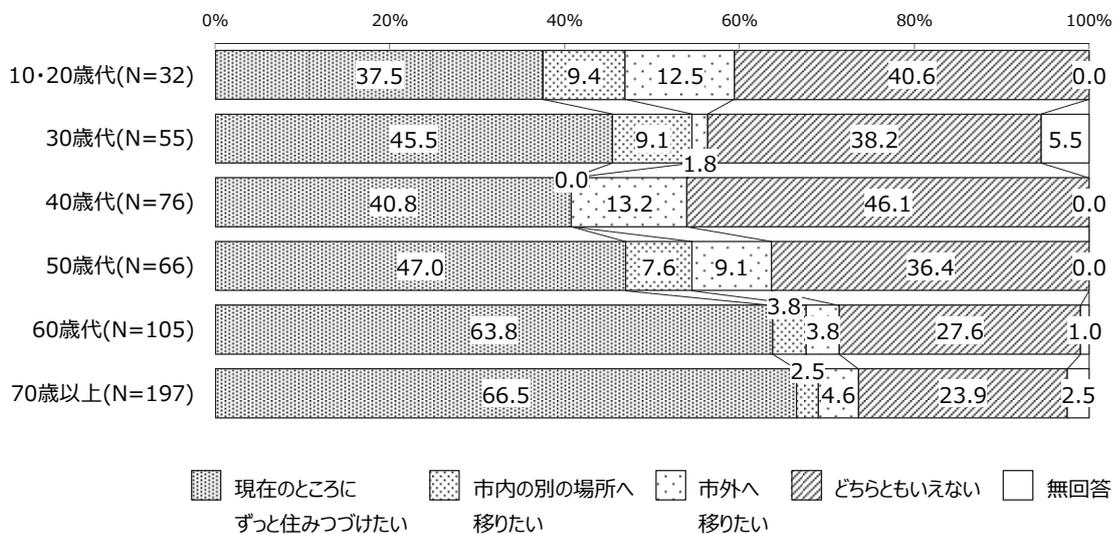
II. 問3 あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思いますか。

図2-3 今後の居住意向の有無



今後の居住意向の有無については、「現在のところにずっと住みつづけたい」が55.9%（304件）と5割以上を占めており、「市外へ移りたい」6.3%（34件）、「市内の別の場所へ移りたい」4.0%（22件）を大きく上回っています。（図2-3）

図2-3-1 年齢別 今後の居住意向の有無

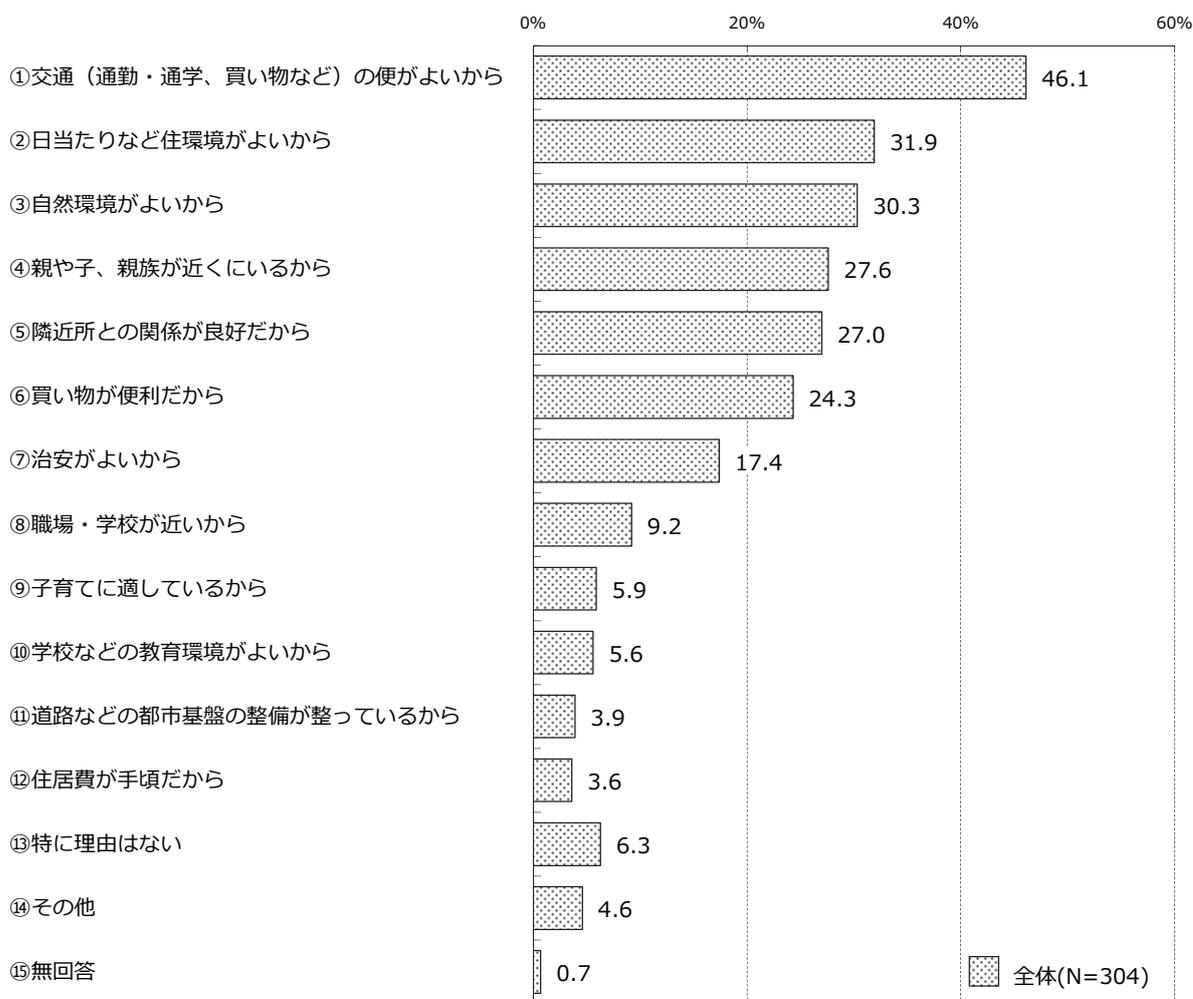


年齢別にみると、年代が高くなるにつれて「現在のところにずっと住みつづけたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では66.5%（131件）、60歳代では63.8%（67件）を占めています。一方、10・20歳代と40歳代では、「現在のところにずっと住みつづけたい」は4割前後となっており、「どちらともいえない」「市外へ移りたい」の割合が他の年代よりも高くなっています。（図2-3-1）

(4) 住みつづけたいと考える理由

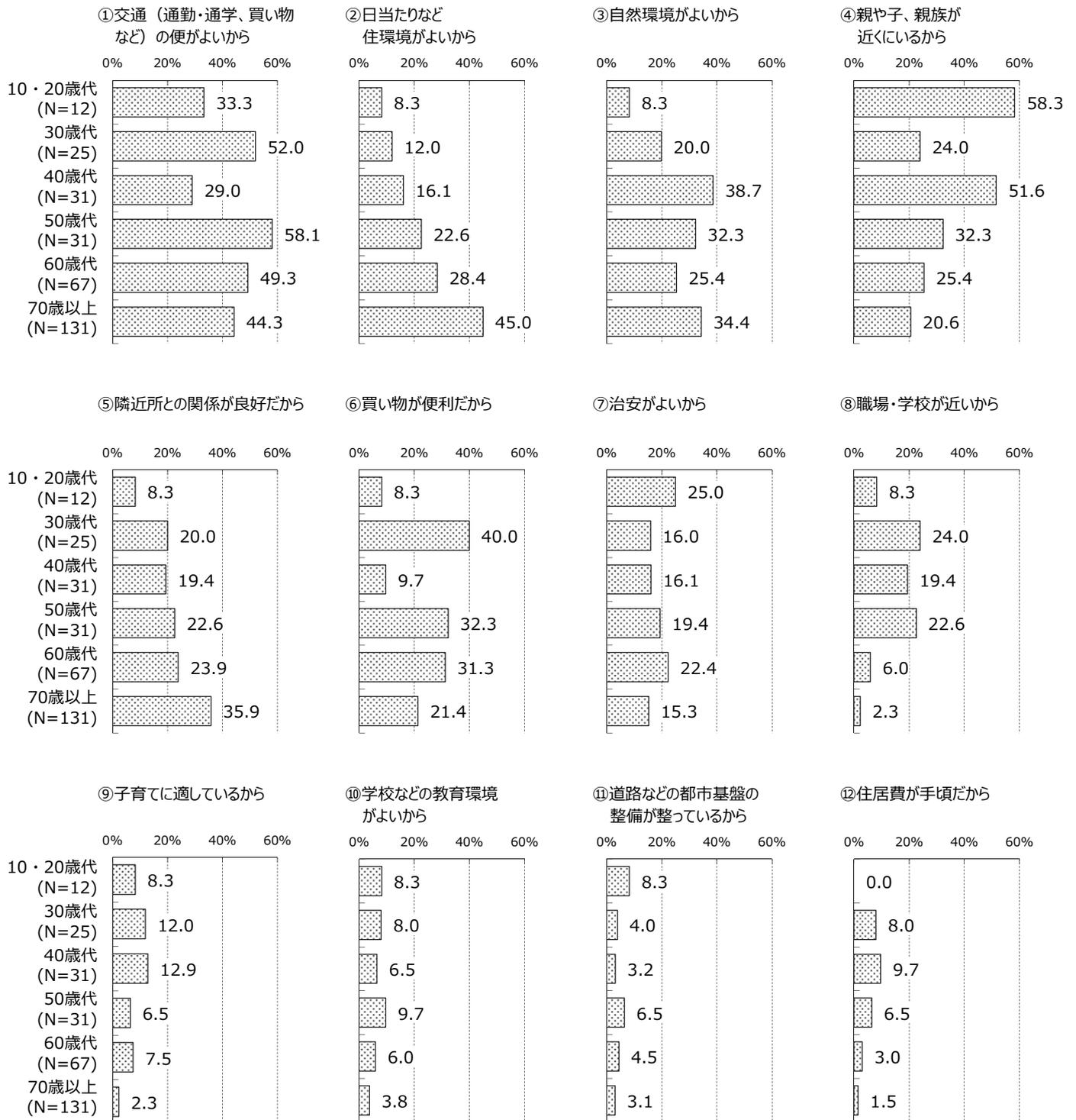
Ⅱ. 問3-1 問3で「1. 現在のところずっと住みつづけたい」と回答した方にお聞きします。住みつづけたい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図2-4 住みつづけたいと考える理由



住みつづけたいと考える理由については、「①交通（通勤・通学、買い物など）の便がよいから」が46.1%（140件）と最も高く、これに「②日当たりなど住環境がよいから」が31.9%（97件）、「③自然環境がよいから」が30.3%（92件）、「④親や子、親族が近くにいるから」が27.6%（84件）、「⑤隣近所との関係が良好だから」が27.0%（82件）、「⑥買い物が便利だから」が24.3%（74件）で続いています。（図2-4）

図2-4-1 年齢別 住みつづけたいと考える理由

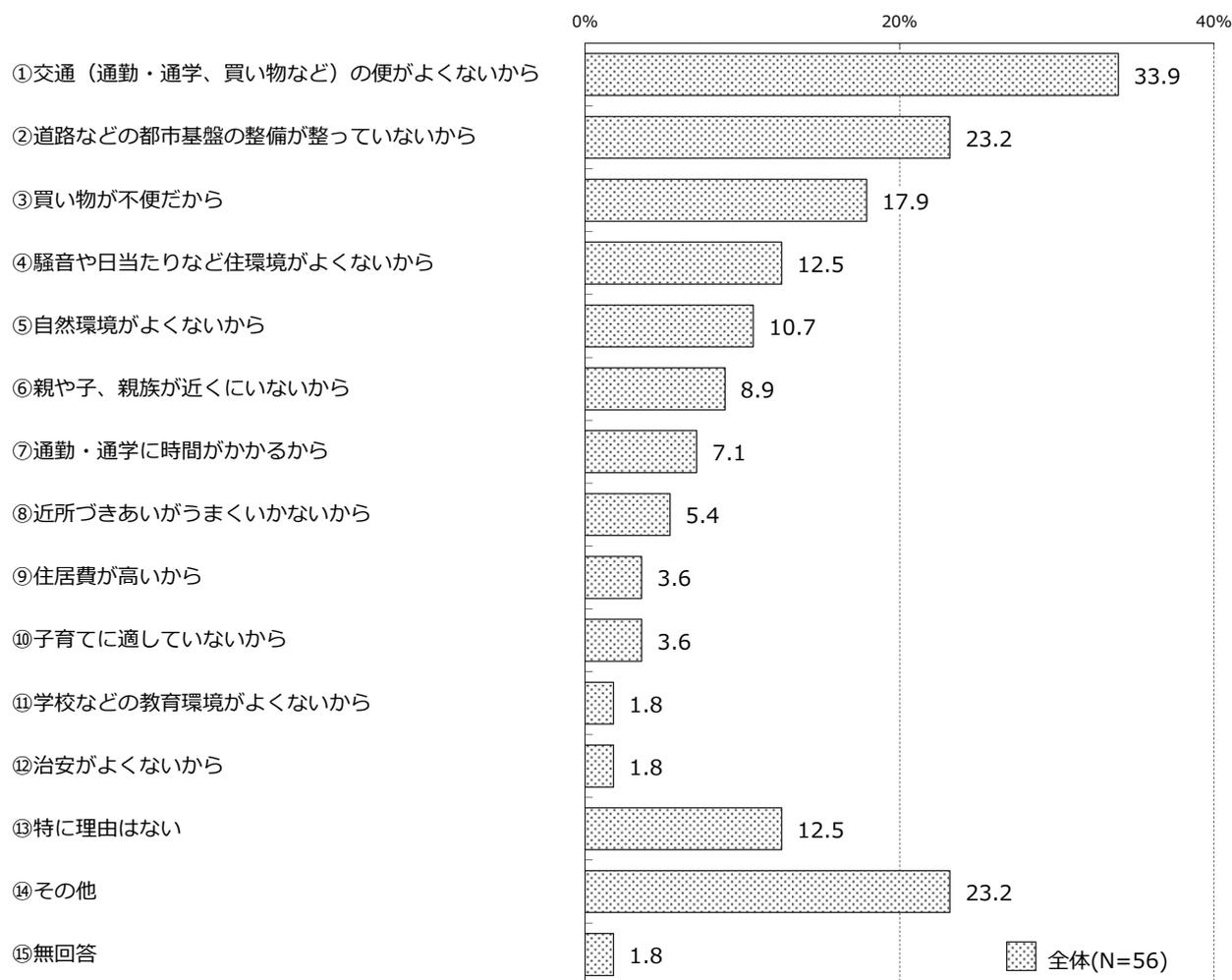


年齢別にみると、年代が高くなるにつれ「②日当たりなど住環境がよいから」「⑤隣近所との関係が良好だから」が高い傾向で、70歳以上ではそれぞれ45.0%（59件）、35.9%（47件）となっています。10・20歳代と40歳代では「④親や子、親族が近くにいるから」が高く、いずれも5割を超えています。また、30歳代では「⑥買い物が便利だから」40.0%（10件）が他の年代より高くなっています。（図2-4-1）

(5) 転居希望の理由

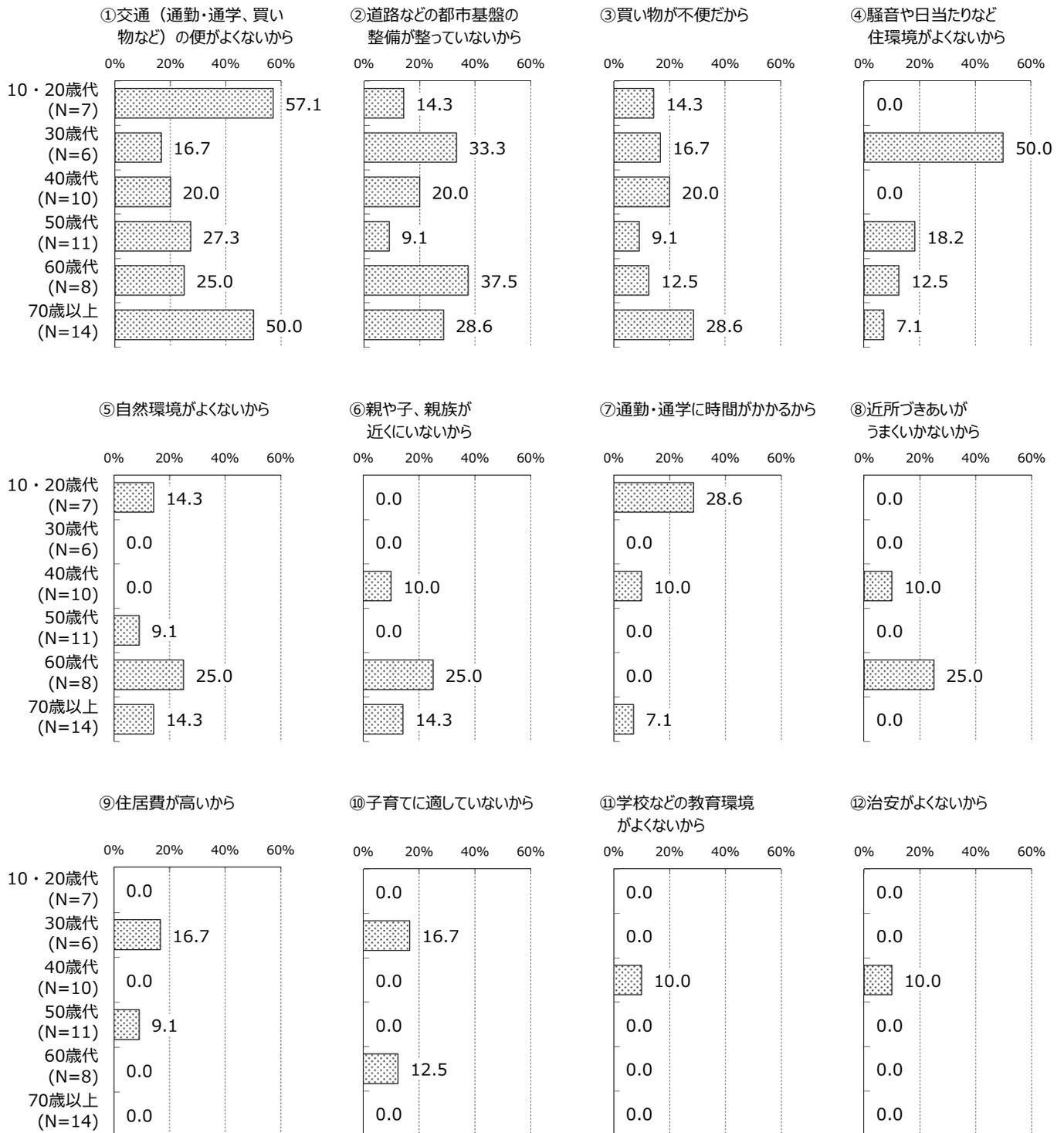
Ⅱ. 問3-2 問3で「2. 市内の別の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と回答した方にお聞きします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図2-5 転居希望の理由



転居希望の理由については、「①交通 (通勤・通学、買い物など) の便がよくないから」が33.9% (19件) と最も高く、これに「②道路などの都市基盤の整備が整っていないから」が23.2% (13件)、「③買い物が不便だから」が17.9% (10件) で続いています。(図2-5)

図2-5-1 年齢別 転居希望の理由



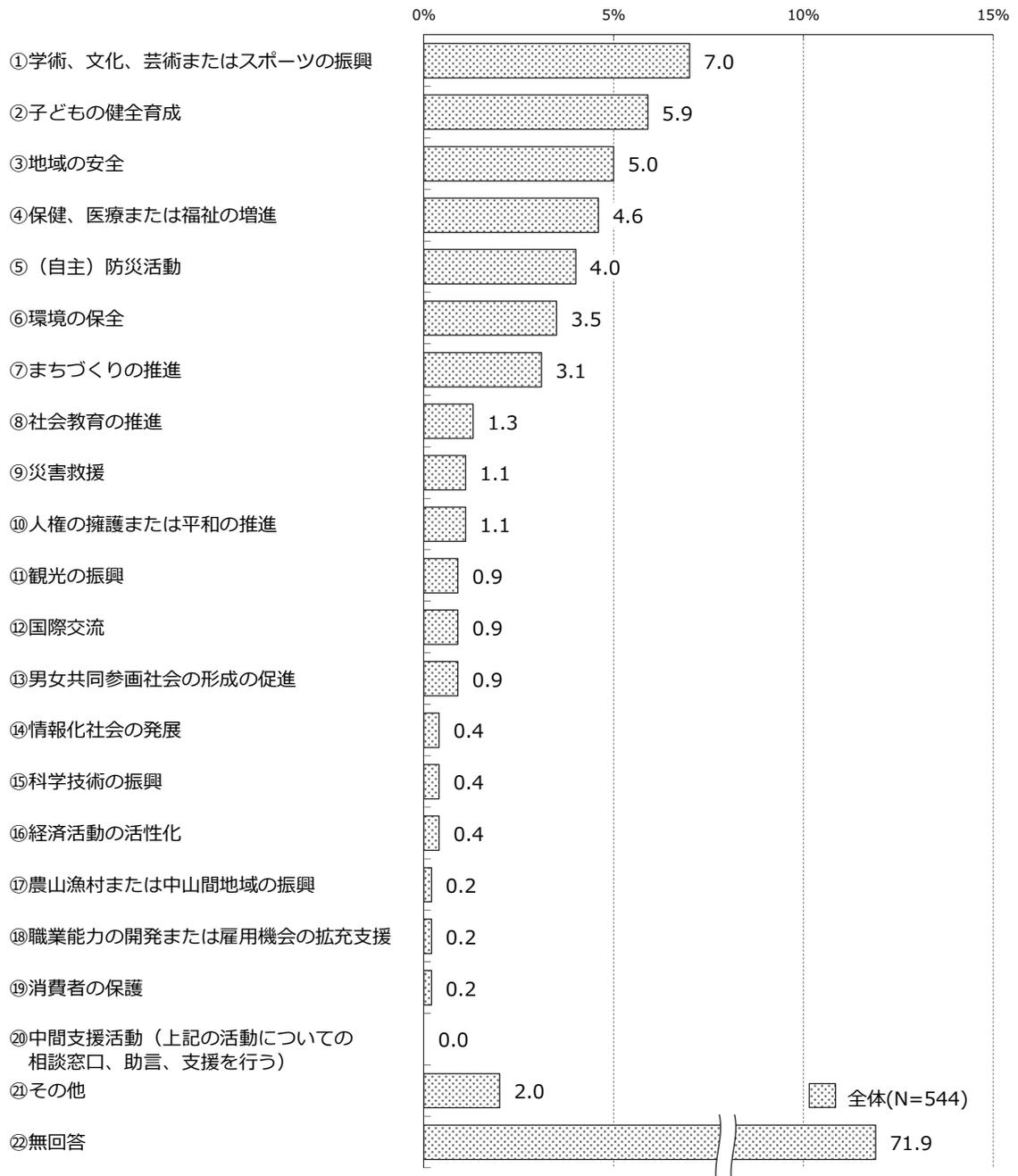
年齢別にみると、10・20歳代と70歳以上では「①交通 (通勤・通学、買い物など) の便がよくないから」、30歳代では「④騒音や日当たりなど住環境がよくないから」の割合が最も高くなっています。(図2-5-1)

3 城陽市のさまざまな行政分野について

(1) どのような地域活動に参加しているか

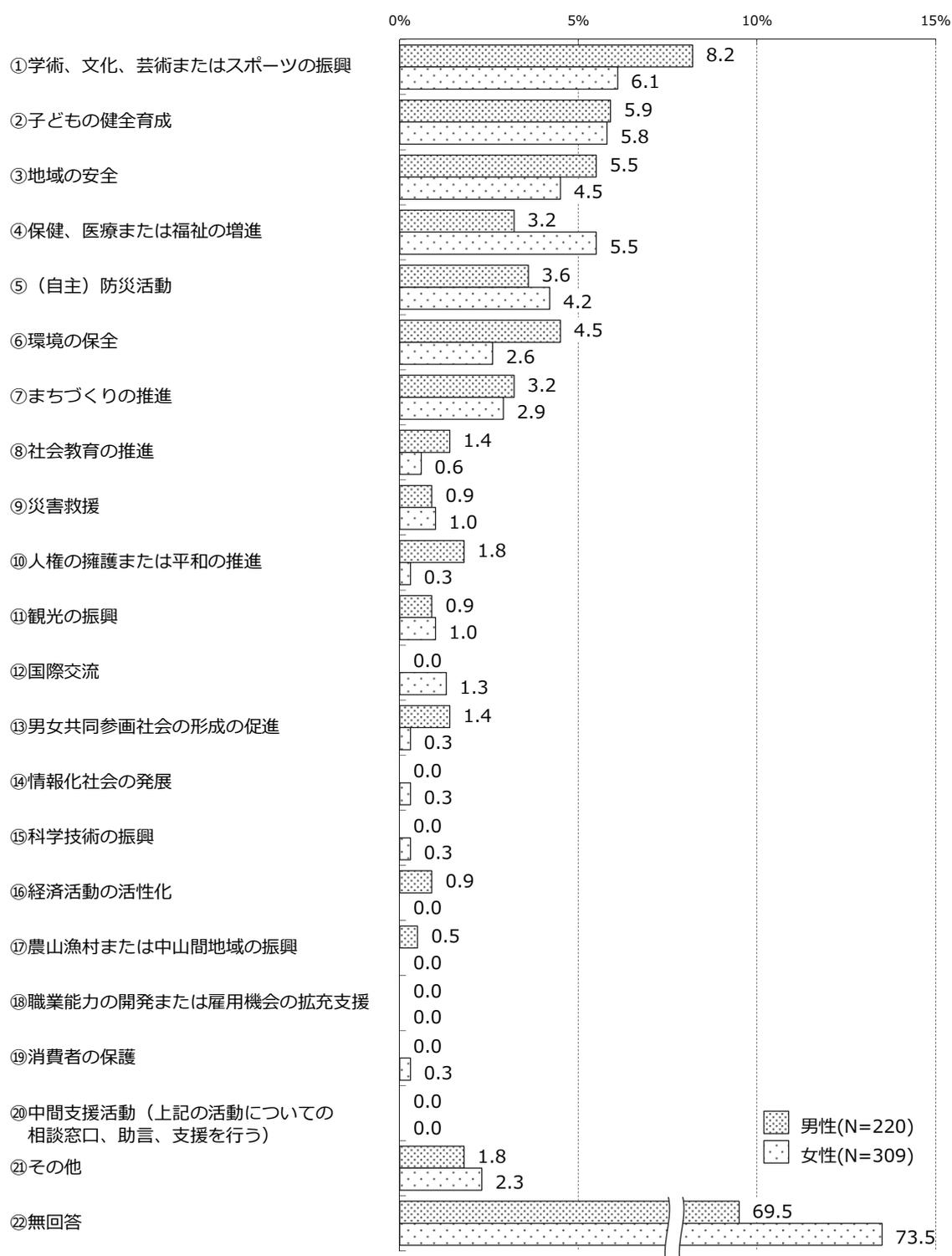
Ⅲ. 問1 あなたはどのような地域活動（ボランティアなど）に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-1 どのような地域活動に参加しているか



参加している地域活動については、「①学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が7.0%（38件）で最も高く、次いで、「②子どもの健全育成」が5.9%（32件）、「③地域の安全」が5.0%（27件）となっており、いずれの地域活動においても1割以下となっています。（図3-1）

図3-1-1 男女別 どのような地域活動に参加しているか

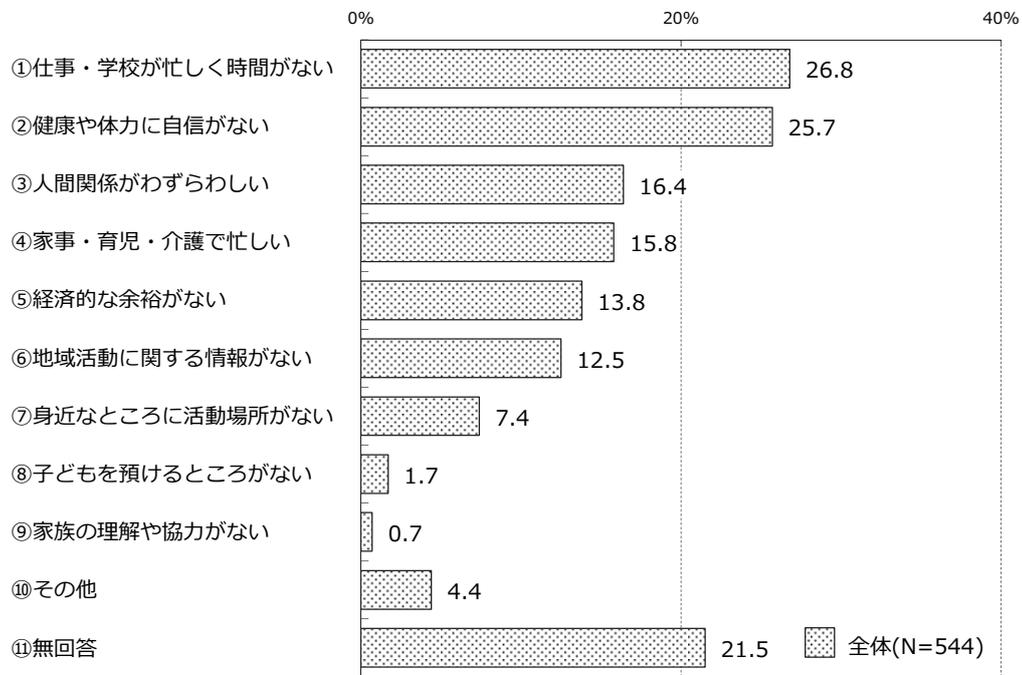


男女別にみると、男女とも「①学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が最も高く、男性が8.2%（18件）、女性が6.1%（19件）となっています。次いで、男性では、「②子どもの健全育成」が5.9%（13件）、「③地域の安全」が5.5%（12件）、女性では、「②子どもの健全育成」が5.8%（18件）、「④保健、医療または福祉の増進」が5.5%（17件）となっています。（図3-1-1）

(2) 地域活動に参加する際に支障となること

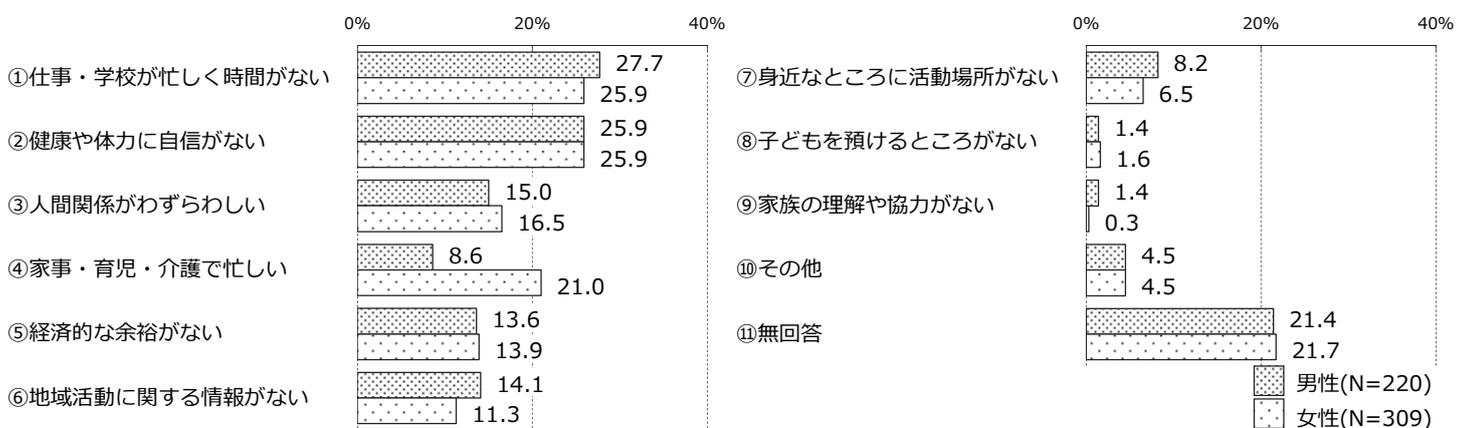
Ⅲ. 問2 あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-2 地域活動に参加する際に支障となること



地域活動に参加する際に支障となることについては、「①仕事・学校が忙しく時間がない」26.8%（146件）と、「②健康や体力に自信がない」25.7%（140件）が約25%とほぼ同率で高くなっています。これに、「③人間関係がわずらわしい」「④家事・育児・介護で忙しい」「⑤経済的な余裕がない」「⑥地域活動に関する情報がない」が15%前後で続いています。（図3-2）

図3-2-1 男女別 地域活動に参加する際に支障となること

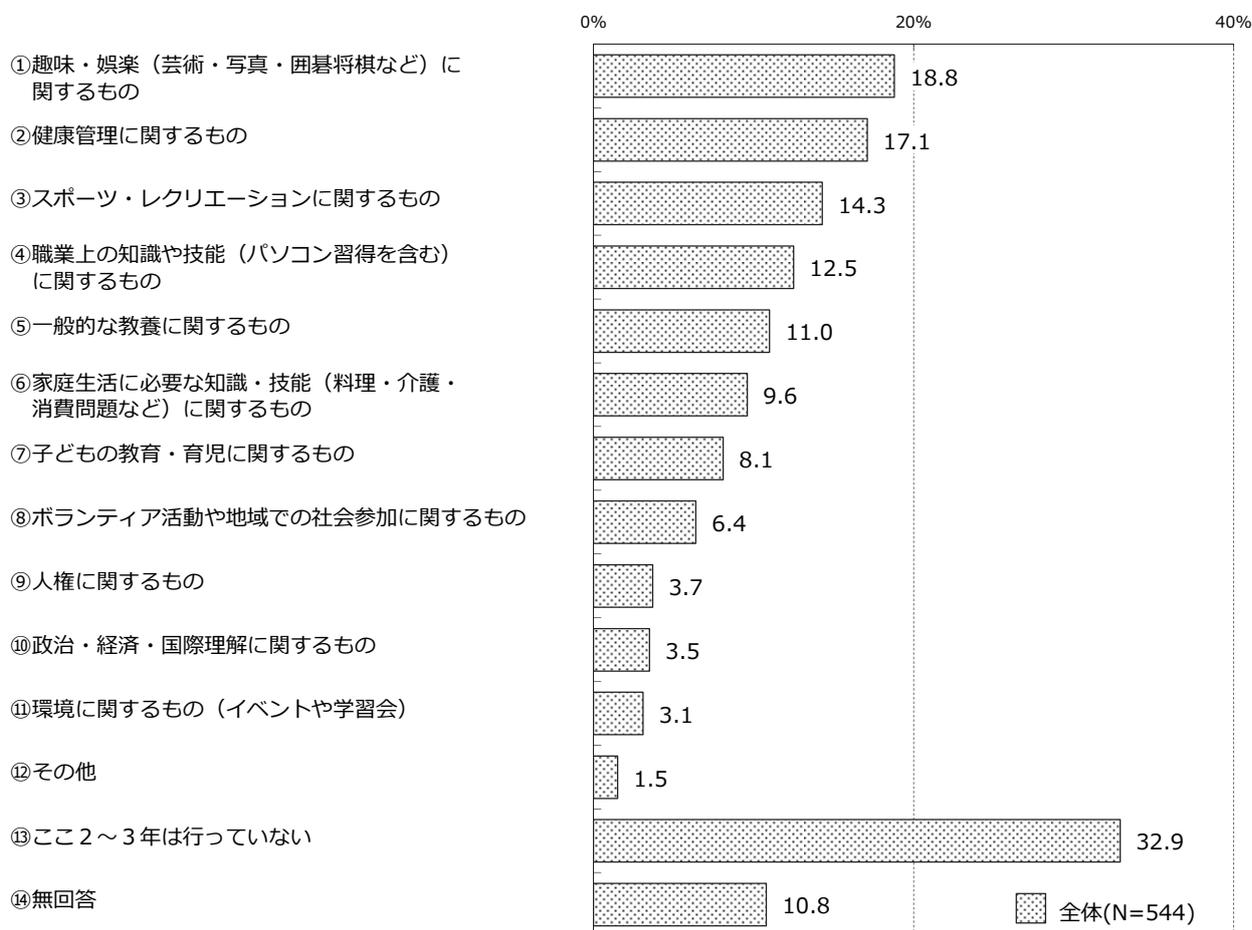


男女別にみると、男性では「①仕事・学校が忙しく時間がない」が27.7%（61件）で最も高く、次いで「②健康や体力に自信がない」が25.9%（57件）となっています。女性では、「①仕事・学校が忙しく時間がない」「②健康や体力に自信がない」がともに25.9%（80件）で最も高く、次いで、「④家事・育児・介護で忙しい」が21.0%（65件）となっています。（図3-2-1）

(3) 生涯学習の内容

Ⅲ. 問3 生涯学習についてお聞きします。あなたは、この2～3年でどんな内容の学習をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

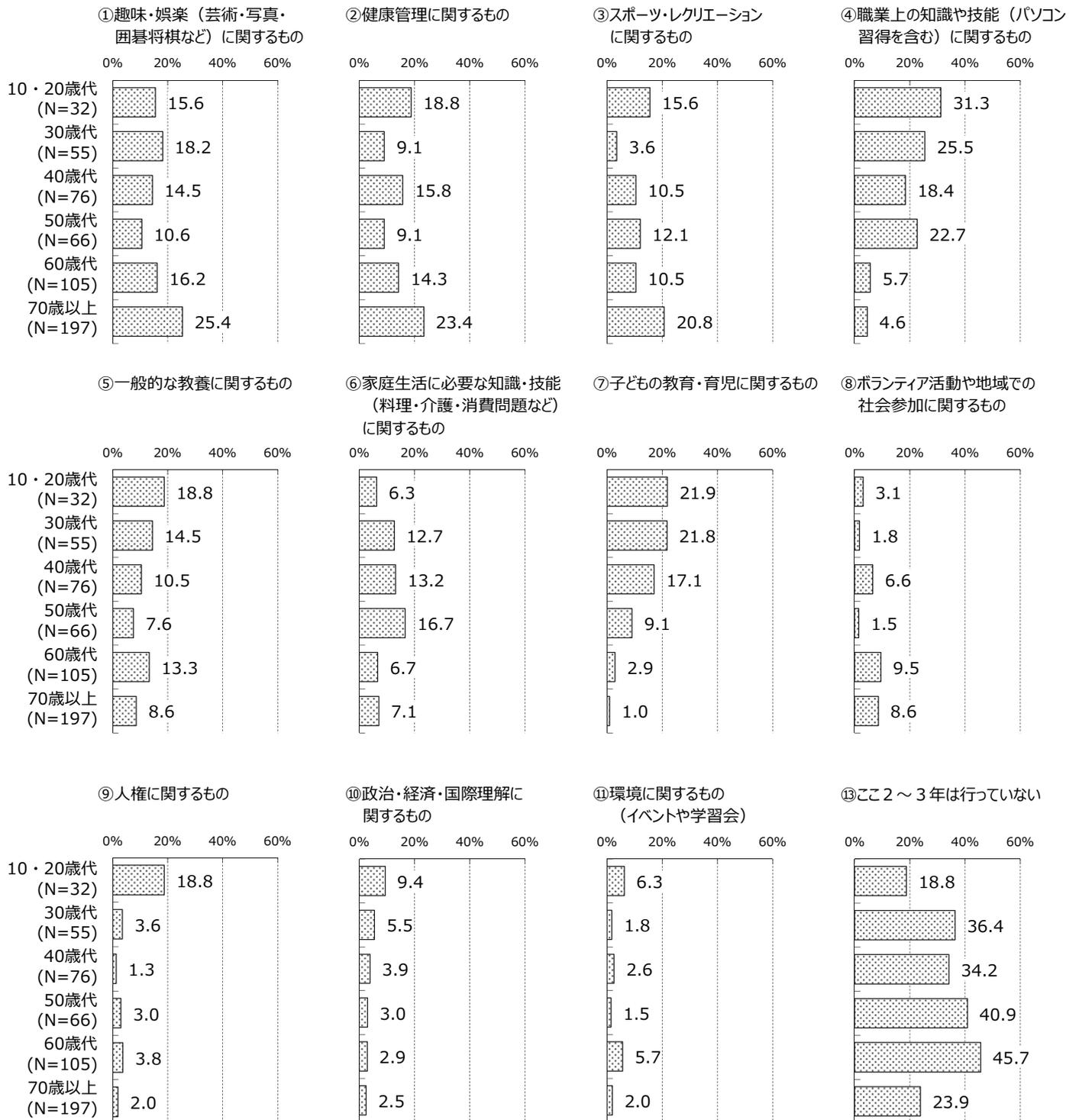
図3-3 生涯学習の内容



生涯学習の内容については、「⑬ここ2～3年は行っていない」が32.9% (179件) で最も高くなっています。

学習した内容としては、「①趣味・娯楽 (芸術・写真・囲碁将棋など) に関するもの」が18.8% (102件) と高く、次いで、「②健康管理に関するもの」が17.1% (93件)、「③スポーツ・レクリエーションに関するもの」が14.3% (78件)、「④職業上の知識や技能 (パソコン習得を含む) に関するもの」が12.5% (68件)、「⑤一般的な教養に関するもの」が11.0% (60件) となっています。(図3-3)

図3-3-1 年齢別 生涯学習の内容

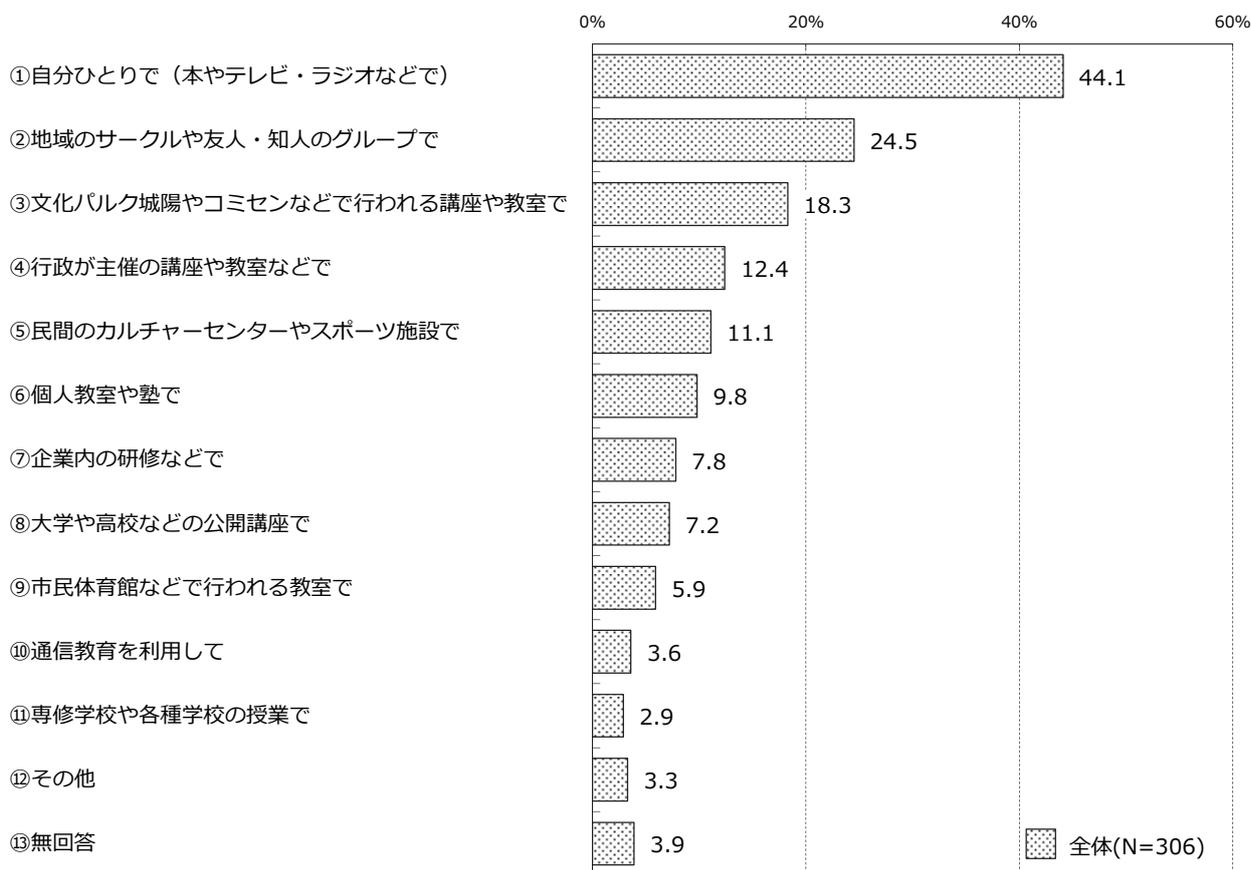


年齢別にみると、30歳代から60歳代の年代では「⑬ここ2～3年は行っていない」が最も高くなっています。実際に学習した内容では、10・20歳代では「④職業上の知識や技能 (パソコン習得を含む) に関するもの」31.3% (10件) が最も高く、「⑨人権に関するもの」18.8% (6件) も他の年代より高くなっています。70歳以上では「①趣味・娯楽 (芸術・写真・囲碁将棋など) に関するもの」「②健康管理に関するもの」「③スポーツ・レクリエーションに関するもの」が2割台と高くなっています。(図3-3-1)

(4) 生涯学習活動の方法

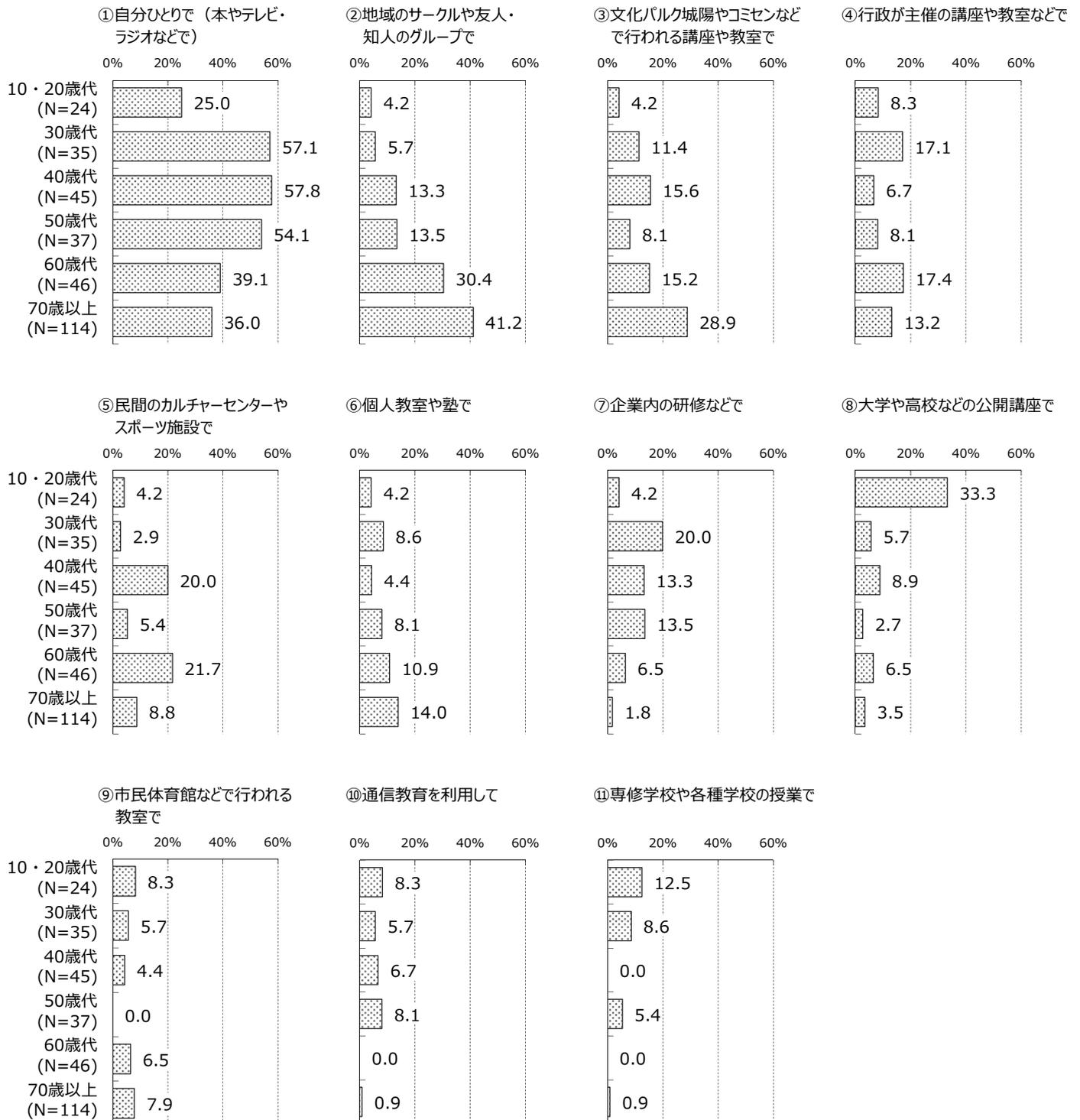
Ⅲ. 問3-1 問3でなんらかの学習活動を行った方にお聞きします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-4 生涯学習活動の方法



生涯学習活動の方法については、「①自分ひとりで（本やテレビ・ラジオなどで）」が44.1%（135件）と最も高く、次いで、「②地域のサークルや友人・知人のグループで」が24.5%（75件）、「③文化パルク城陽やコミセンなどで行われる講座や教室で」が18.3%（56件）、「④行政が主催の講座や教室などで」が12.4%（38件）、「⑤民間のカルチャーセンターやスポーツ施設で」が11.1%（34件）と続いています。（図3-4）

図3-4-1 年齢別 生涯学習活動の方法

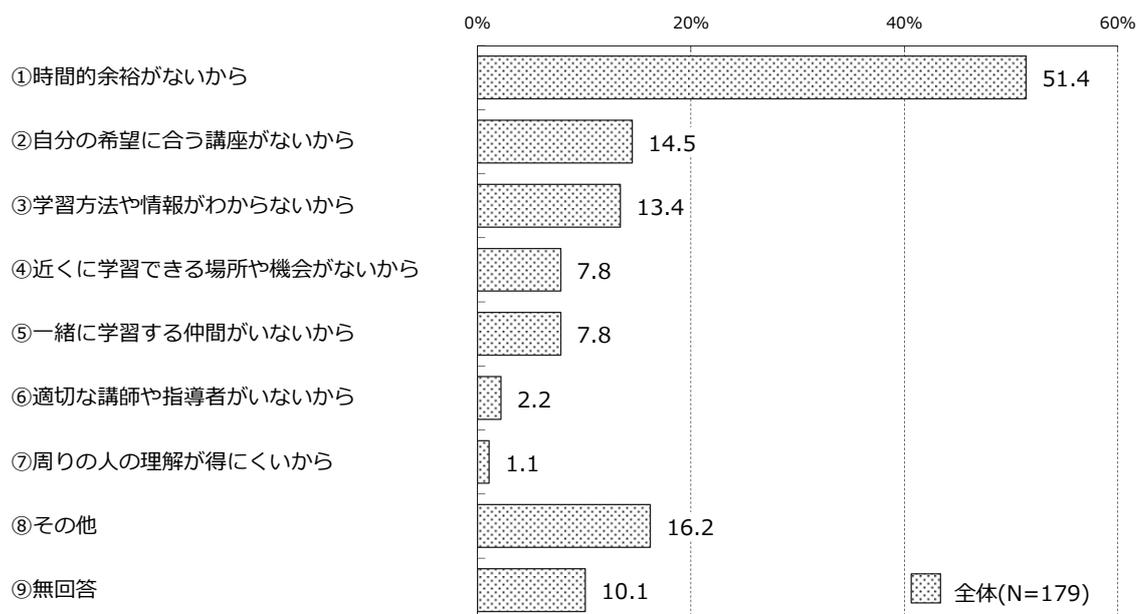


年齢別にみると、10・20歳代では「⑧大学や高校などの公開講座で」が33.3%（8件）が最も高くなっています。30歳代から50歳代では「①自分ひとりで（本やテレビ・ラジオなどで）」が最も高くいずれも5割を超えています。30歳代では「⑦企業内の研修などで」20.0%（7件）、40歳代と60歳代では「⑤民間のカルチャーセンターやスポーツ施設で」がそれぞれ約2割と高くなっています。60歳代と70歳以上では「②地域のサークルや友人・知人のグループで」が高く、70歳以上では41.2%（47件）と最も高くなっています。また、70歳以上では「③文化パーク城陽やコミセンなどで行われる講座や教室で」も28.9%（33件）と高くなっています。（図3-4-1）

(5) 生涯学習に取り組まなかった理由

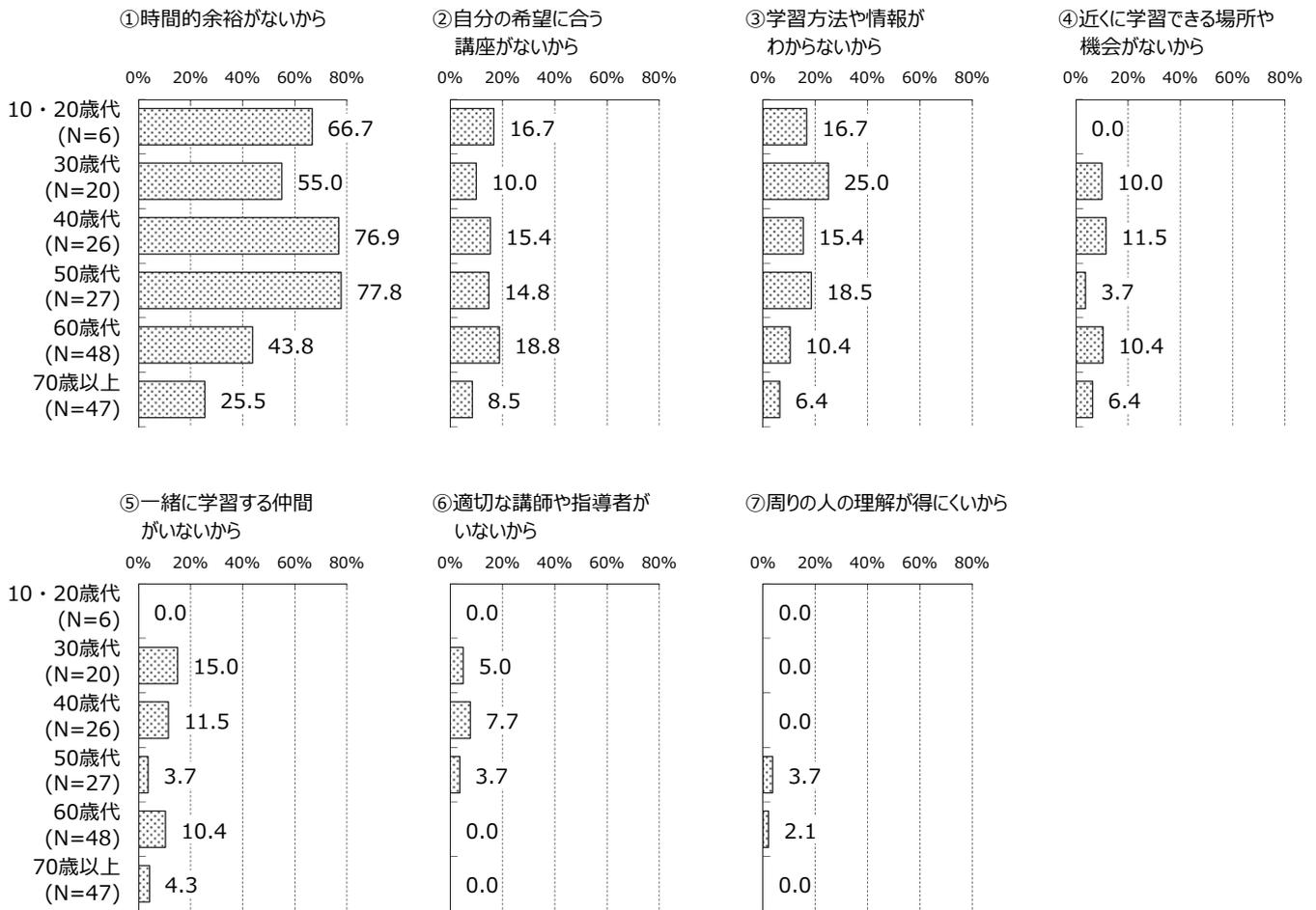
Ⅲ. 問3-2 問3で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答した方にお聞きします。
生涯学習に取り組まなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-5 生涯学習に取り組まなかった理由



生涯学習に取り組まなかった理由については、「①時間的余裕がないから」が51.4%（92件）と最も高く、次いで、「②自分の希望に合う講座がないから」が14.5%（26件）、「③学習方法や情報がわからないから」が13.4%（24件）となっています。（図3-5）

図3-5-1 年齢別 生涯学習に取り組まなかった理由

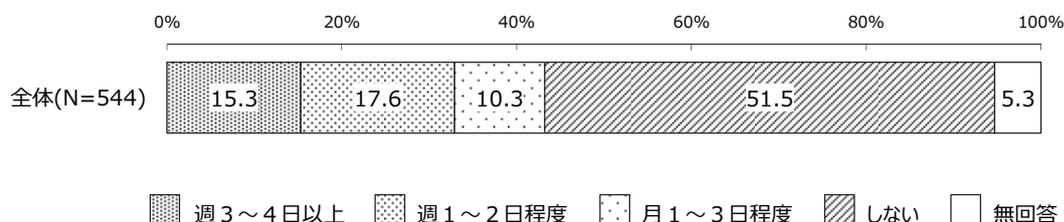


年齢別にみると、70歳以上を除いた年代では「①時間的余裕がないから」が最も高くなっており、特に、40歳代、50歳代では75%を超えています。また、30歳代と50歳代では「③学習方法や情報がわからないから」、60歳代では「③自分の希望に合う講座がないから」が、「①時間的余裕がないから」に次いで高くなっています。(図3-5-1)

(6) スポーツの実施状況について

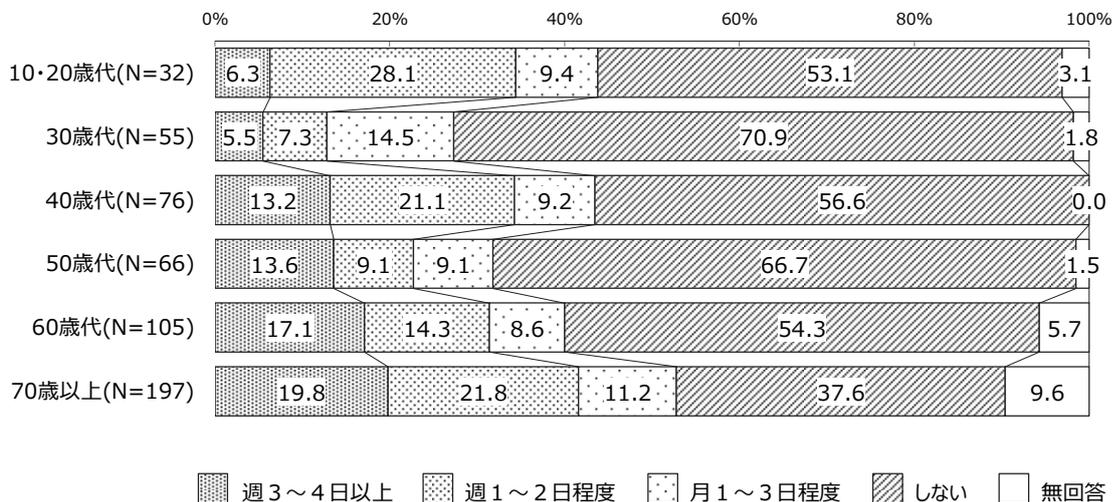
Ⅲ. 問4 スポーツの実施状況についてお聞きします。どのくらいの頻度で運動をしていますか。

図3-6 スポーツの実施状況について



スポーツの実施状況については、「週1～2日程度」が17.6% (96件)、「週3～4日以上」が15.3% (83件)、「月1～3日程度」が10.3% (56件) となっています。「週1～2日程度」「週3～4日以上」「月1～3日程度」を合わせた『運動をしている』は43.2% (235件) となり、「しない」の51.5% (280件) を8.3ポイント下回っています。(図3-6)

図3-6-1 年齢別 スポーツの実施状況について

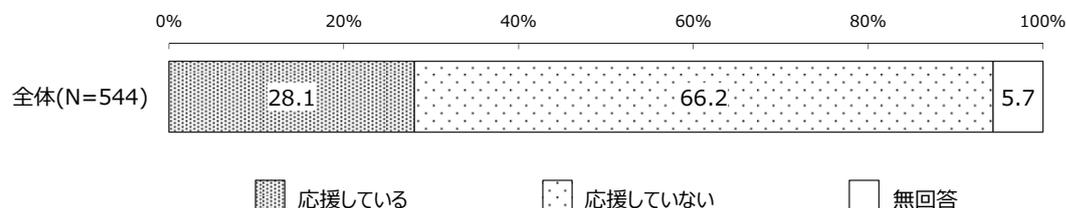


年齢別にみると、60歳代以下の年代では、「しない」が半数を超えており、30歳代では約7割にのぼっています。70歳以上では、『運動をしている』（「週1～2日程度」「週3～4日以上」「月1～3日程度」を合わせた割合）が「しない」を上回っており、「週3～4日以上」が19.8% (39件) と、他の年代よりも高い割合となっています。(図3-6-1)

(7) 京都サンガ F. C. 応援の有無

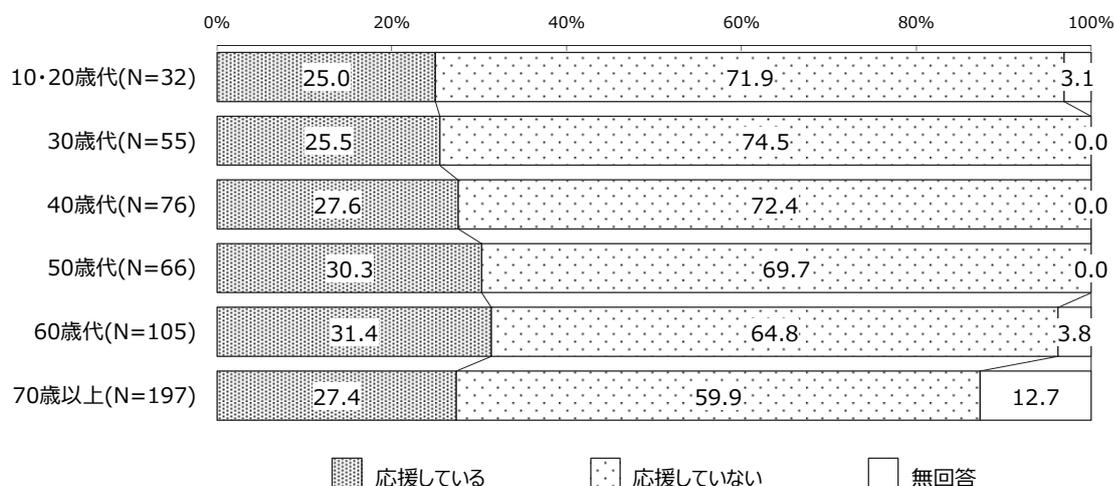
Ⅲ. 問5 京都サンガ F. C. を応援していますか。

図3-7 京都サンガ F. C. 応援の有無



京都サンガ F. C. の応援の有無については、「応援している」は28.1%（153件）となっており、「応援していない」が66.2%（360件）と6割以上を占めています。（図3-7）

図3-7-1 年齢別 京都サンガ F. C. 応援の有無

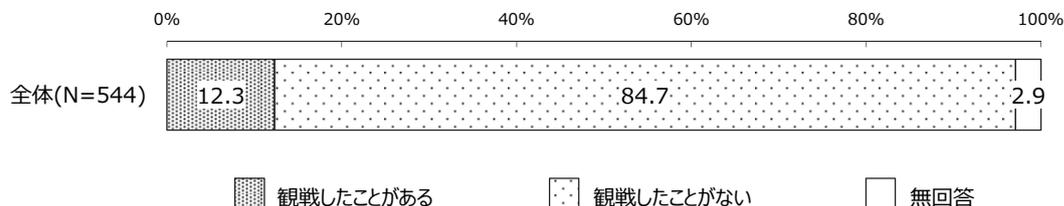


年齢別にみると、京都サンガ F. C. を「応援している」割合は、50歳代と60歳代で比較的高く、3割台となっています。30歳代では「応援していない」が74.5%（41件）で最も高くなっています。（図3-7-1）

(8) 京都サンガ F. C. 試合観戦経験の有無

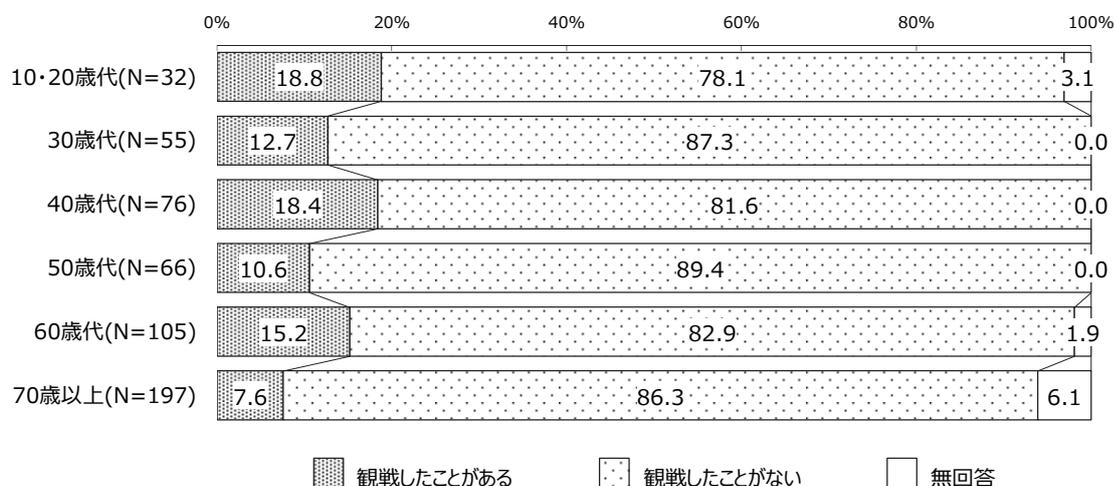
Ⅲ. 問6 京都サンガ F. C. の試合を観戦したことがありますか。

図3-8 京都サンガ F. C. 試合観戦経験の有無



京都サンガ F. C. の試合観戦経験の有無については、「観戦したことがある」は12.3% (67件) となっており、「観戦したことがない」が84.7% (461件) となっています。(図3-8)

図3-8-1 年齢別 京都サンガ F. C. 試合観戦経験の有無

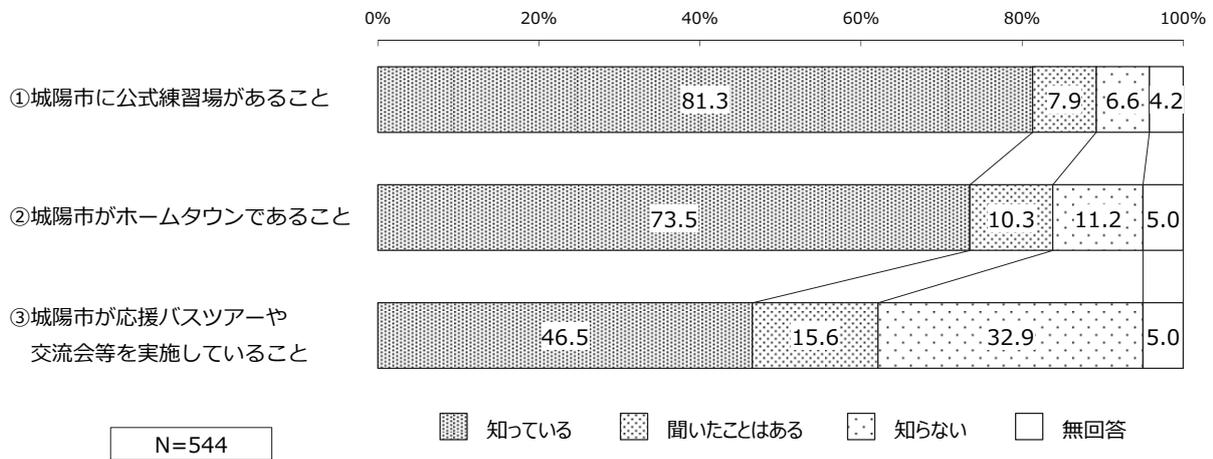


年齢別にみると、京都サンガ F. C. の試合を「観戦したことがある」割合は、10・20歳代が18.8% (6件)、40歳代が18.4% (14件) とほぼ同率で高くなっています。(図3-8-1)

(9) 京都サンガ F. C. に関する認知度

Ⅲ. 問7 京都サンガ F. C. についてお聞きします。

図3-9 京都サンガ F. C. に関する認知度



①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、「知っている」が81.3%（442件）と高く、「知らない」の6.6%（36件）を大きく上回っています。また、「知っている」と「聞いたことはある」7.9%（43件）を合わせた『認知度』は89.2%（485件）となっています。

②城陽市がホームタウンであることについての認知度は、「知っている」が73.5%（400件）と高く、「知らない」11.2%（61件）を大きく上回っています。「知っている」と「聞いたことはある」10.3%（56件）を合わせた『認知度』は83.8%（456件）となっています。

③城陽市が応援バスツアーや交流会等を実施していることについての認知度は、「知っている」が46.5%（253件）となっており、「知らない」32.9%（179件）を上回っています。「知っている」と「聞いたことはある」15.6%（85件）を合わせた『認知度』は62.1%（338件）となっています。

(図3-9)

図3-9-1 年齢別 ①城陽市の公式練習場の認知度

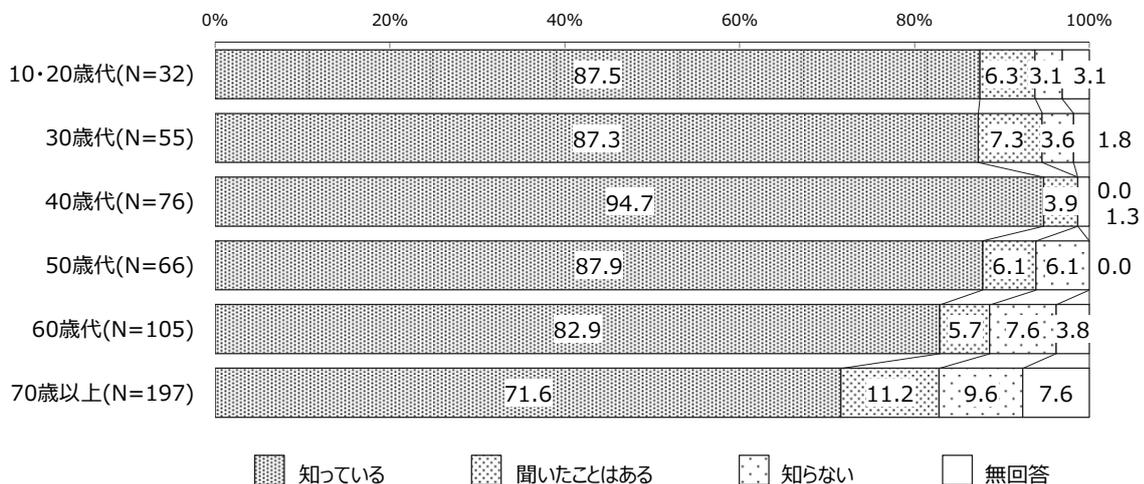


図3-9-2 年齢別 ②城陽市がホームタウンであることの認知度

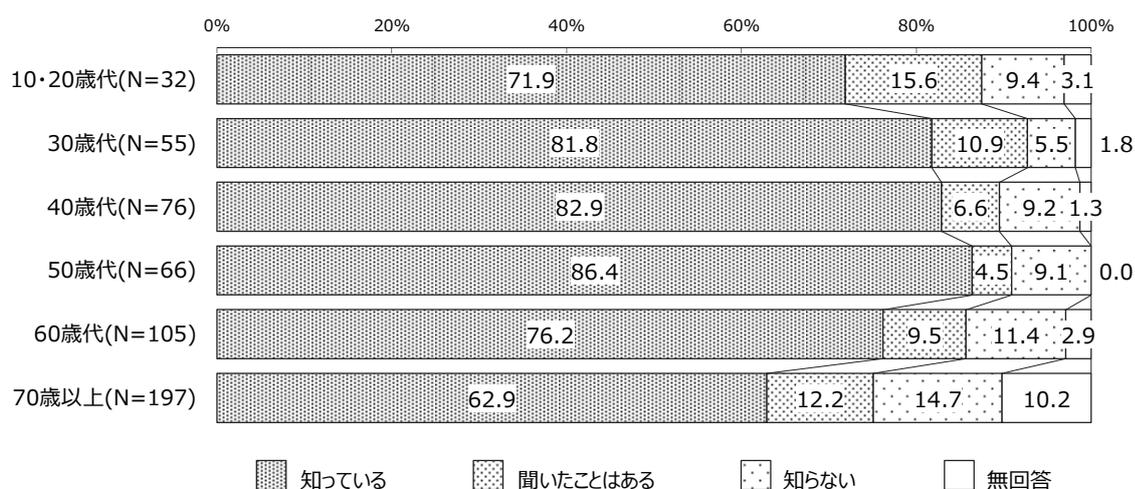
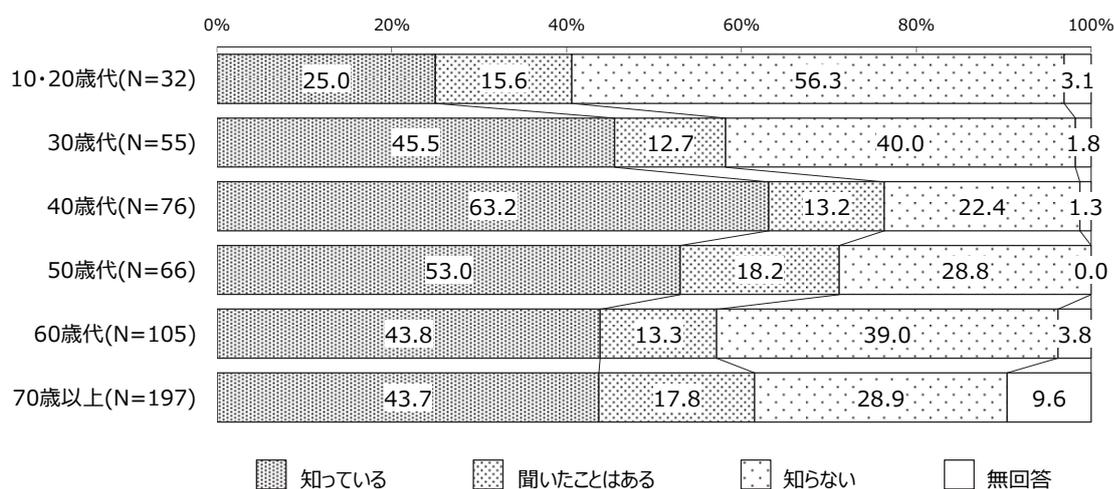


図3-9-3 年齢別 ③城陽市が応援バスツアーや交流会等を実施していることの認知度



年齢別にみると、①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、いずれの年代でも「知っている」が多数を占めており、最も低い70歳以上でも71.6%（141件）と高くなっています。（図3-9-1）

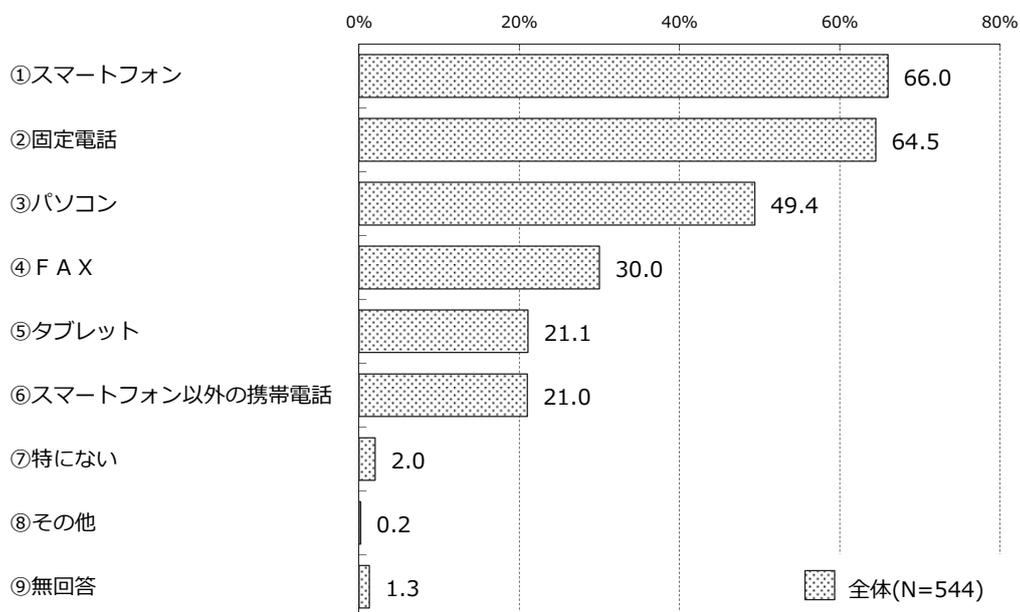
②城陽市がホームタウンであることの認知度も同様に、全年代で「知っている」が多数を占めており、最も低い70歳以上でも62.9%（124件）と高くなっています。（図3-9-2）

③城陽市が応援バスツアーや交流会等を実施していることの認知度は、30歳以上の年代では「知っている」が最も高くなっていますが、10・20歳代では「知らない」の割合が56.3%（18件）と最も高くなっています。（図3-9-3）

(10) 使用している通信機器

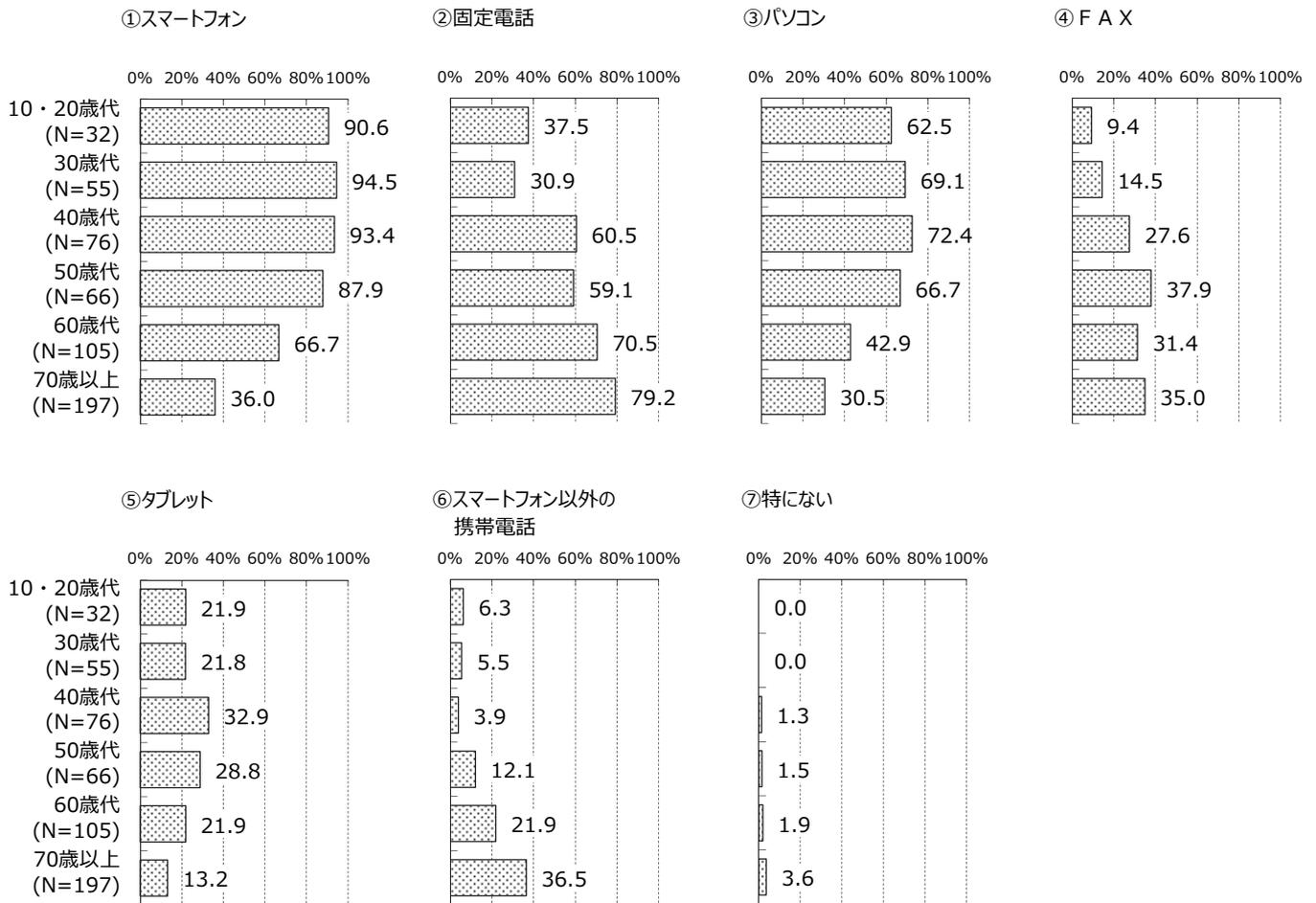
Ⅲ. 問8 以下の通信機器のうち、あなたが使用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-10 使用している通信機器



使用している通信機器は、「①スマートフォン」66.0% (359件) が最も高く、次いで「②固定電話」64.5% (351件)、「③パソコン」49.4% (269件)、「④FAX」30.0% (163件) と続いています。
(図3-10)

図3-10-1 年齢別 使用している通信機器

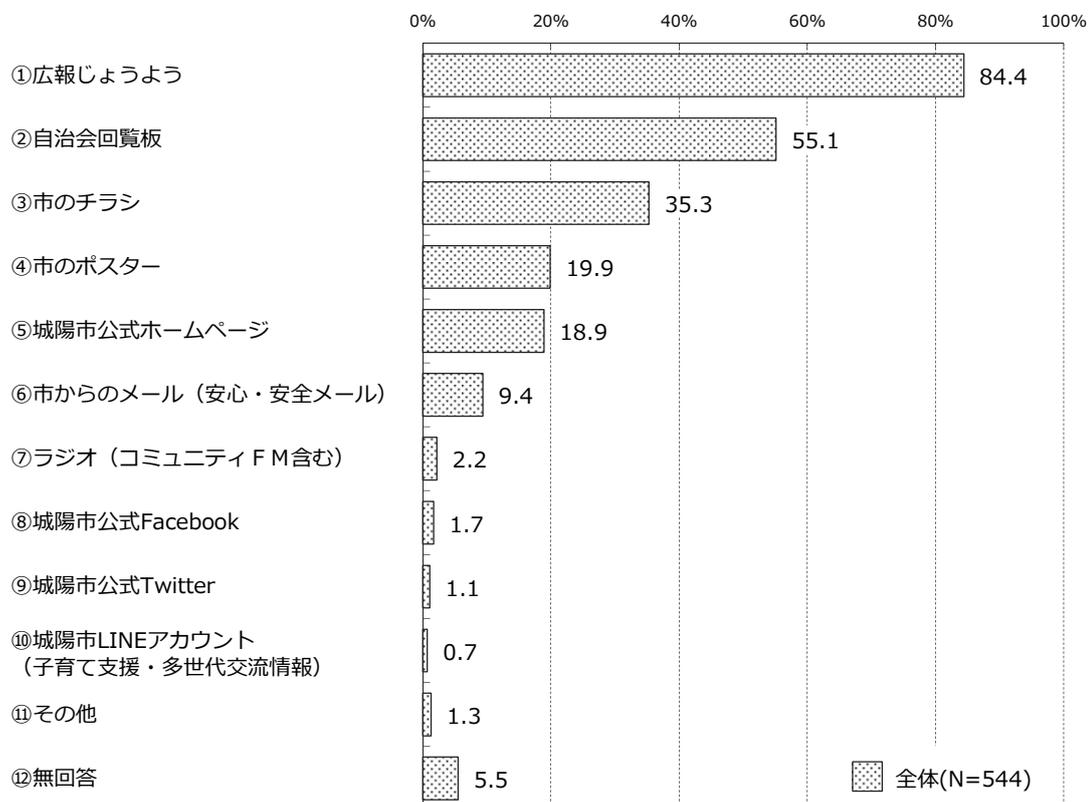


年齢別でみると、50歳代以下では「①スマートフォン」が9割前後、「③パソコン」が7割前後と高く、60歳代以上を大きく引き離しています。また、40歳代では「⑤タブレット」が32.9%（25件）と他の年代より高くなっています。30歳代以下では「②固定電話」と「④FAX」が他の年代より低く、10・20歳代では「④FAX」は9.4%（3件）と1割未満となっています。（図3-10-1）

(11) 活用している城陽市についての情報収集手段

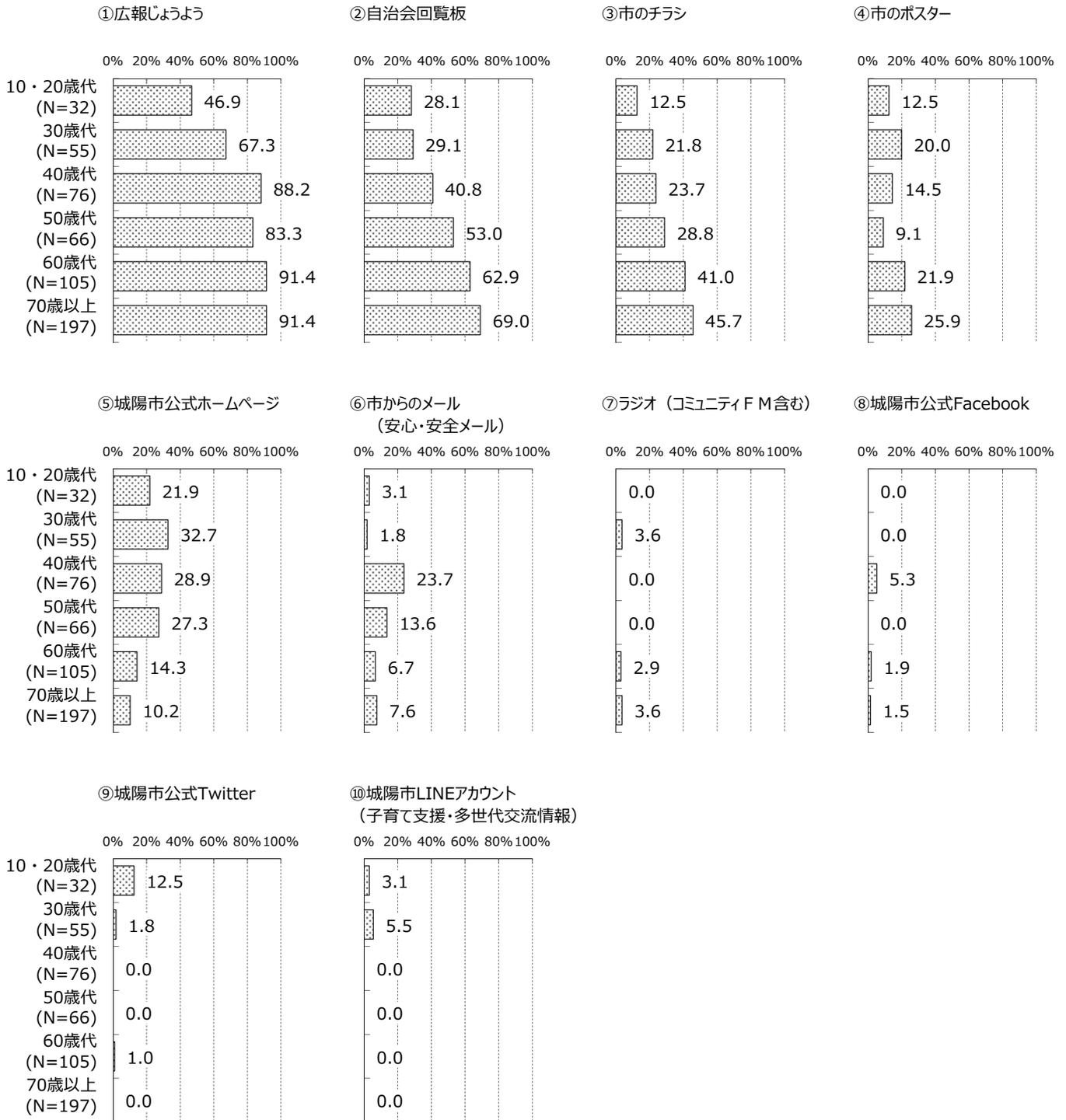
Ⅲ. 問9 城陽市からの情報を収集する手段として活用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-11 活用している城陽市についての情報収集手段



活用している城陽市についての情報収集手段は、「①広報じょうよう」が84.4% (459件) と8割以上を占めています。次いで、「②自治会回覧板」が55.1% (300件)、「③市のチラシ」が35.3% (192件)、「④市のポスター」が19.9% (108件)、「⑤城陽市公式ホームページ」が18.9% (103件) となっています。(図3-11)

図3-11-1 年齢別 活用している城陽市についての情報収集手段

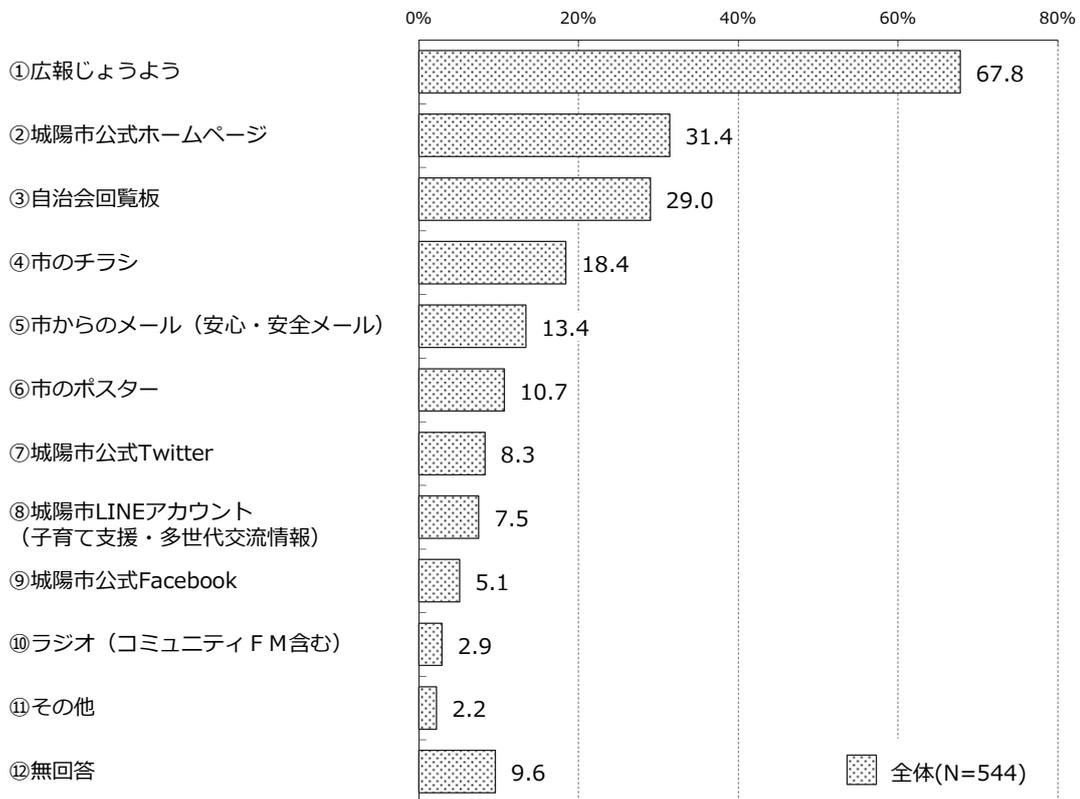


年齢別でみると、活用している城陽市についての情報収集手段の上位3項目の「①広報じょうよう」「②自治会回覧板」「③市のチラシ」は、いずれも年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向で、10・20歳代では「①広報じょうよう」は46.9%（15件）、「②自治会回覧板」は28.1%（9件）、「③市のチラシ」は12.5%（4件）と最も低くなっています。また、40歳代では「⑥市からのメール（安心・安全メール）」が23.7%（18件）と他の年代より高くなっています。（図3-11-1）

(12) 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段

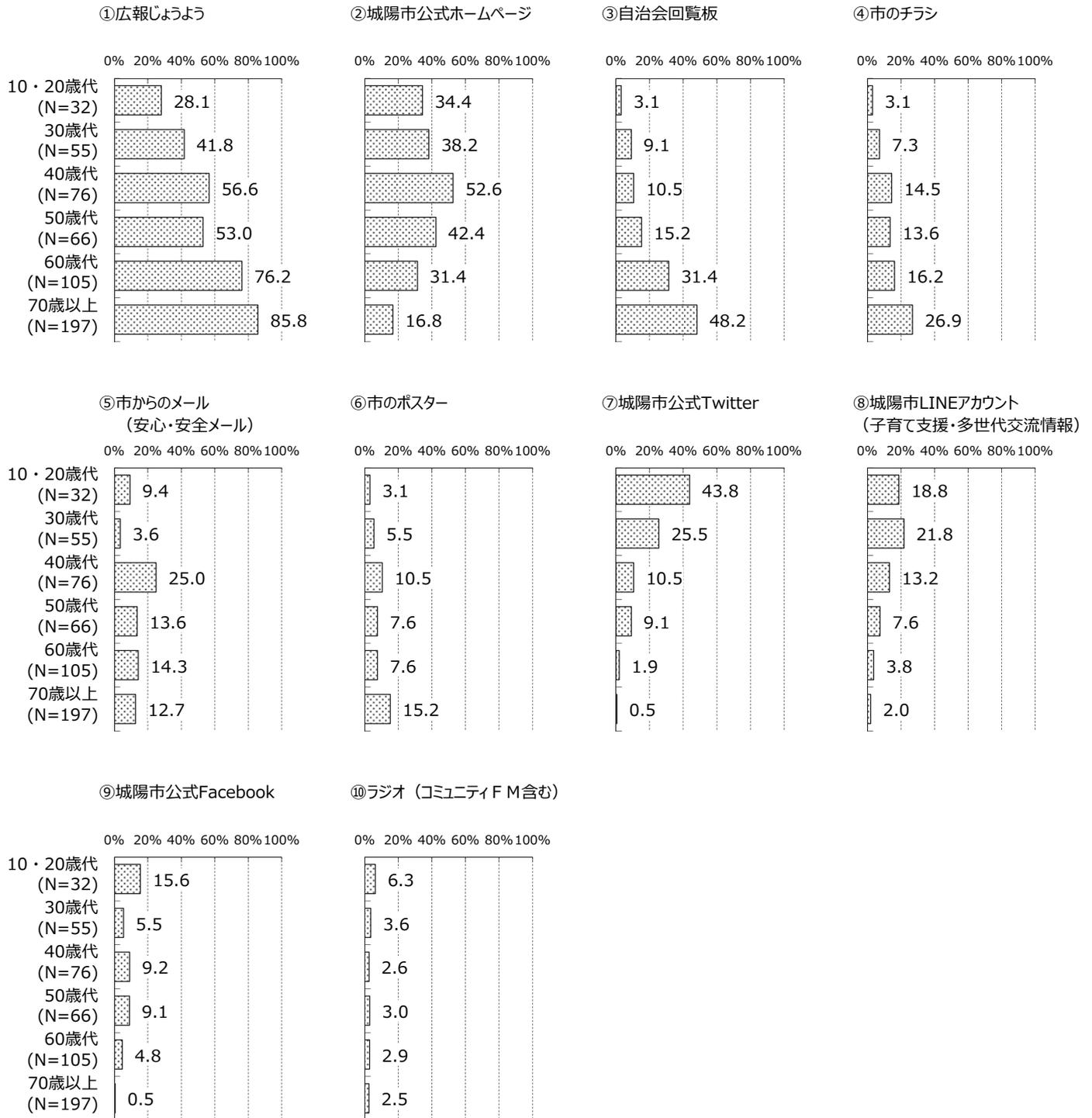
Ⅲ. 問 10 城陽市からの情報を発信する手段として、以下のうち、今後力を入れるべきと考えるものはどれですか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

図3-12 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段



今後力を入れるべき城陽市についての情報発信手段は、「①広報じょうよう」が67.8% (369件) と最も高く、7割近くを占めています。次いで、「②城陽市公式ホームページ」が31.4% (171件)、「③自治会回覧板」が29.0% (158件)、「④市のチラシ」が18.4% (100件)、「⑤市からのメール (安心・安全メール)」が13.4% (73件)、「⑥市のポスター」が10.7% (58件) と続いています。(図3-12)

図3-12-1 年齢別 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段

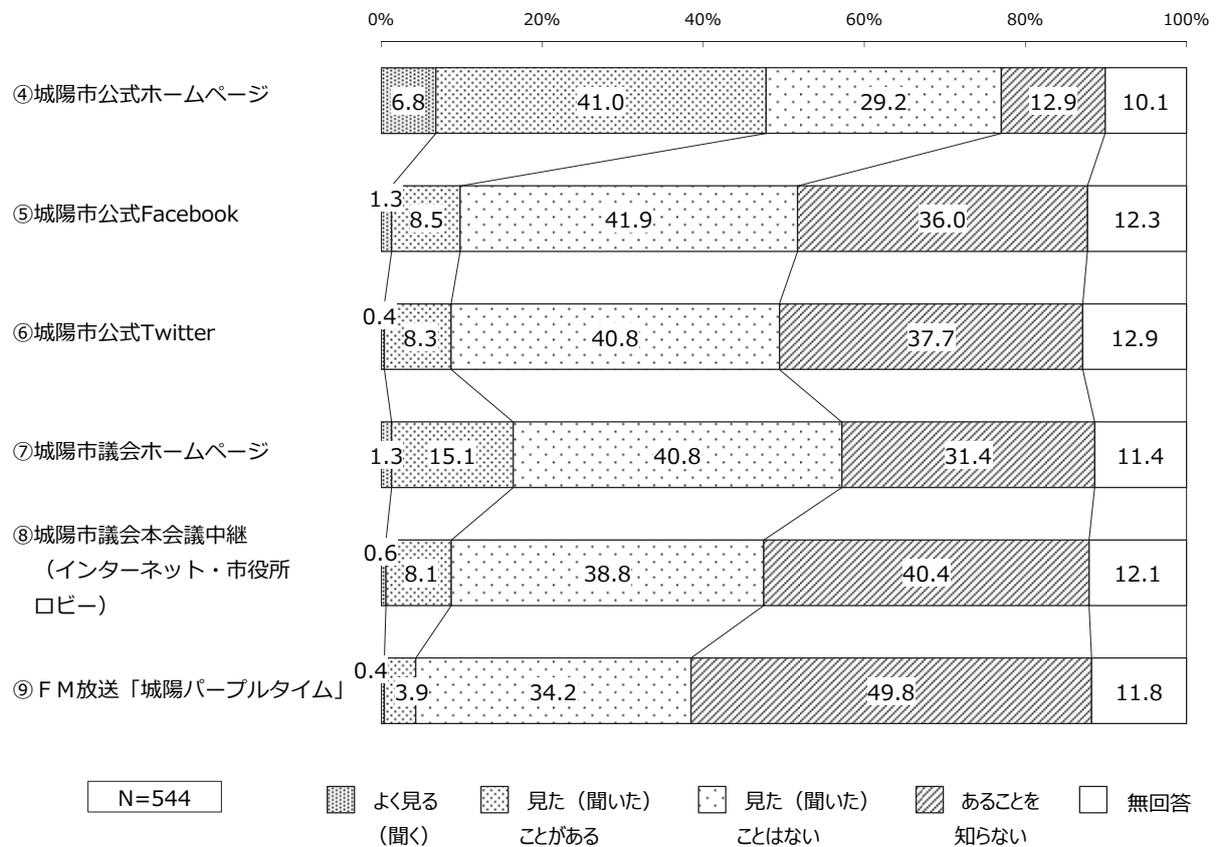
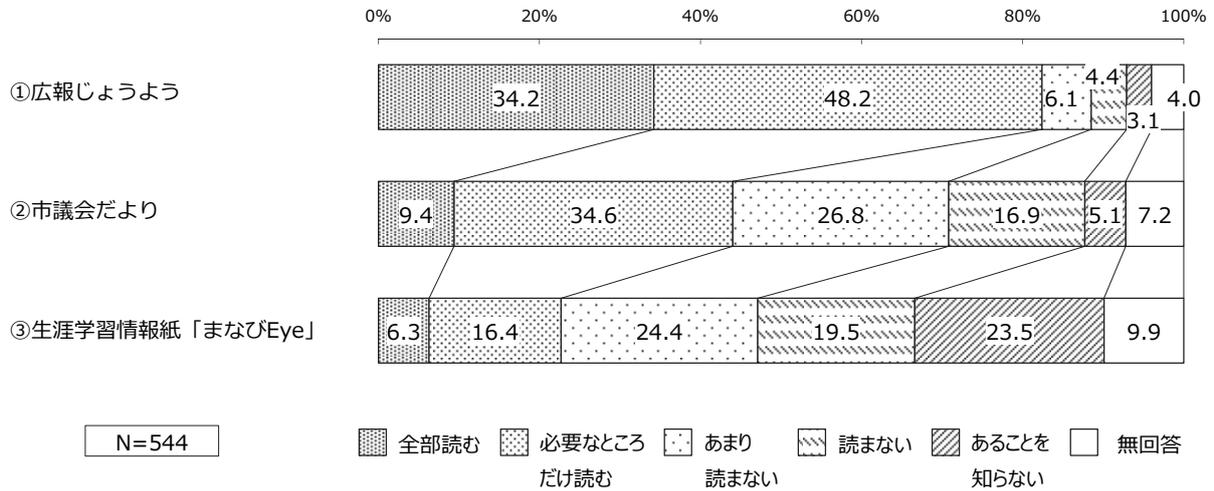


年齢別でみると、活用している情報収集手段同様、「①広報じょうよう」「③自治会回覧板」「④市のチラシ」は年代が高くなるにつれて割合が高くなっています。一方、「⑦城陽市公式Twitter」「⑧城陽市LINEアカウント (子育て支援・多世代交流情報)」は年代が低くなるにつれて割合が高くなる傾向となっており、特に10・20歳代では「⑦城陽市公式Twitter」は43.8% (14件) と高くなっています。また、40歳代では、「②城陽市公式ホームページ」が52.6% (40件)、「⑤市からのメール (安心・安全メール)」が25.0% (19件) と他の年代より高くなっています。(図3-12-1)

(13) 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況

Ⅲ. 問 11 あなたは「広報じょうよう」「市議会だより」などをご覧になっていますか。次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

図3-13 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況



「①広報じょうよう」の閲読状況は、「必要なところだけ読む」が48.2%（262件）と最も高く、「全部読む」34.2%（186件）を合わせた『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は82.4%（448件）となっています。

「②市議会だより」の閲読状況は、「必要なところだけ読む」が34.6%（188件）と最も高く、次いで「あまり読まない」が26.8%（146件）、「読まない」が16.9%（92件）となっています。「全部読む」9.4%（51件）を合わせた『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は44.0%（239件）、『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）という人は43.7%（238件）で、閲読状況の有無はほぼ同率となっています。

「③生涯学習情報紙「まなびEye」」の閲読状況は、「あまり読まない」が24.4%（133件）と最も高く、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は22.7%（123件）、「あることを知らない」は23.5%（128件）となっています。

「④城陽市公式ホームページ」の閲覧状況は、「見たことがある」が41.0%（223件）と最も高く、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は47.8%（260件）となっています。

「⑤城陽市公式Facebook」の閲覧状況は、「見たことはない」が41.9%（228件）と最も高く、次いで、「あることを知らない」が36.0%（196件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は9.8%（53件）となっています。

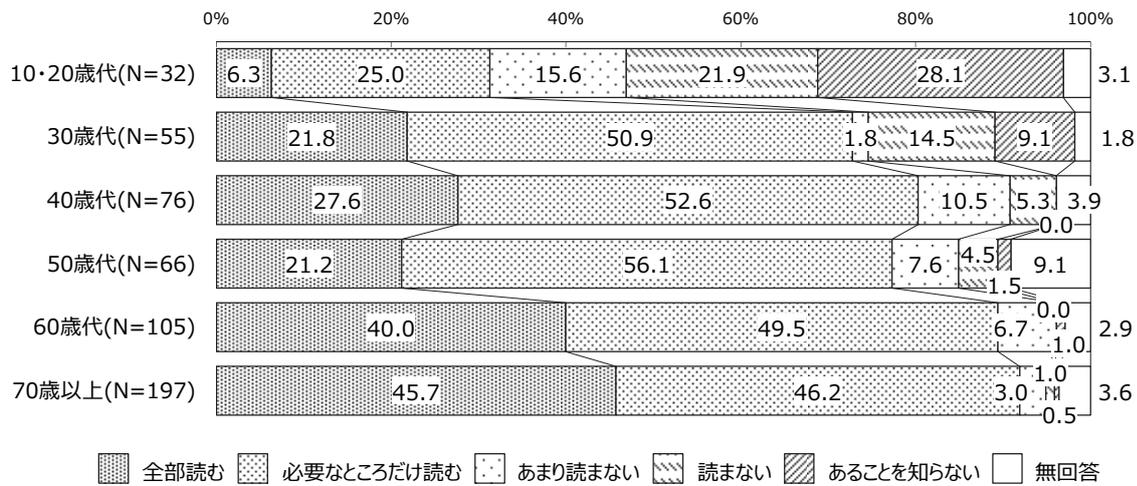
「⑥城陽市公式Twitter」の閲覧状況は、「見たことはない」が40.8%（222件）と最も高く、次いで、「あることを知らない」が37.7%（205件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は8.7%（47件）となっています。

「⑦城陽市議会ホームページ」の閲覧状況は、「見たことはない」が40.8%（222件）で最も高く、次いで、「あることを知らない」が31.4%（171件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は16.4%（89件）となっています。

「⑧城陽市議会本会議中継（インターネット・市役所ロビー）」の視聴状況は、「あることを知らない」が40.4%（220件）で最も高く、次いで「見たことはない」が38.8%（211件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は8.7%（47件）となっています。

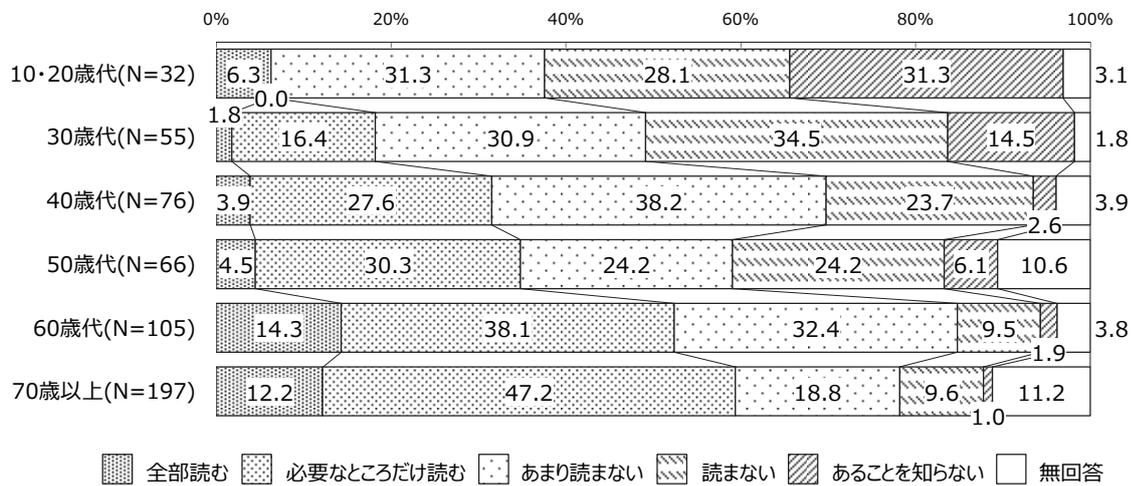
「⑨FM放送「城陽パープルタイム」」の聴取状況は、「あることを知らない」が49.8%（271件）で最も高く、次いで「聞いたことはない」が34.2%（186件）となっており、『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）という人は4.3%（23件）となっています。（図3-13）

図3-13-1 年齢別 「広報じょうよう」の閲読状況



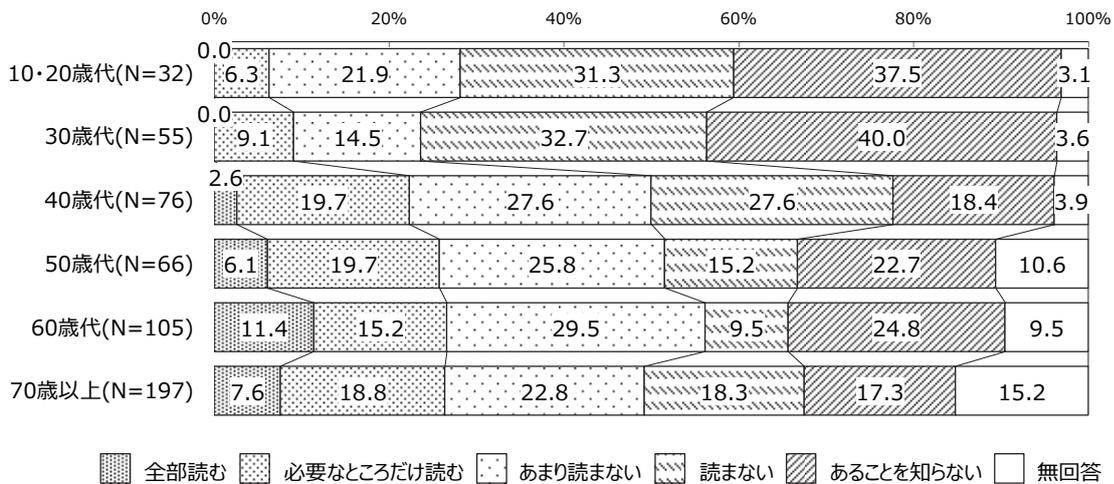
「広報じょうよう」の閲読状況を年齢別にみると、10・20歳代では、『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）が37.5%（12件）、「あることを知らない」が28.1%（9件）と高く、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）は31.3%（10件）にとどまっています。60歳代と70歳以上では「全部読む」が4割以上と高く、『読む』が約9割を占めています。（図3-13-1）

図3-13-2 年齢別 「市議会だより」の閲読状況



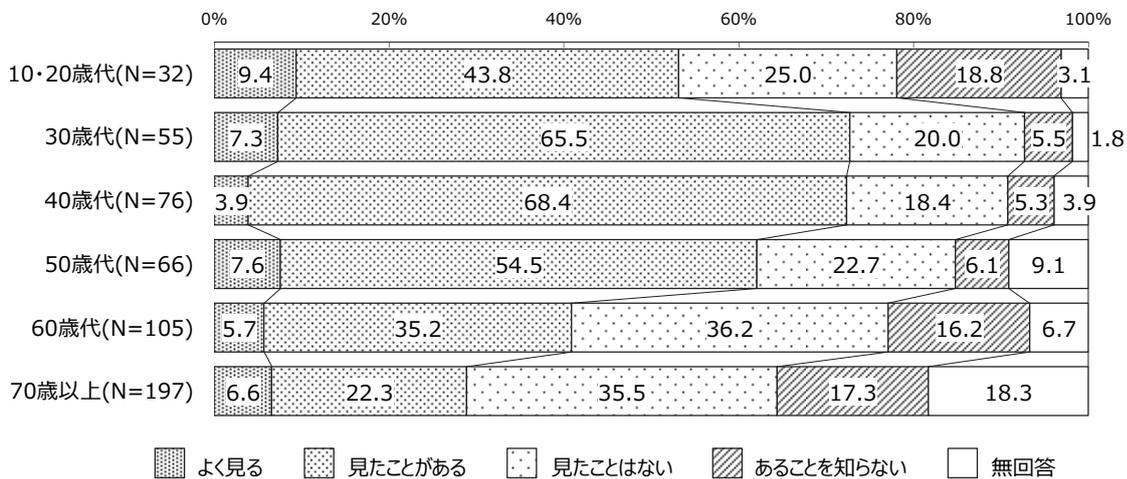
「市議会だより」の閲読状況を年齢別にみると、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人の割合は年代が高い層ほど高く、10・20歳代と30歳代では2割未満と低くなっていますが、60歳代以上では5割を超えています。（図3-13-2）

図3-13-3 年齢別 生涯学習情報紙「まなびEye」の閲読状況



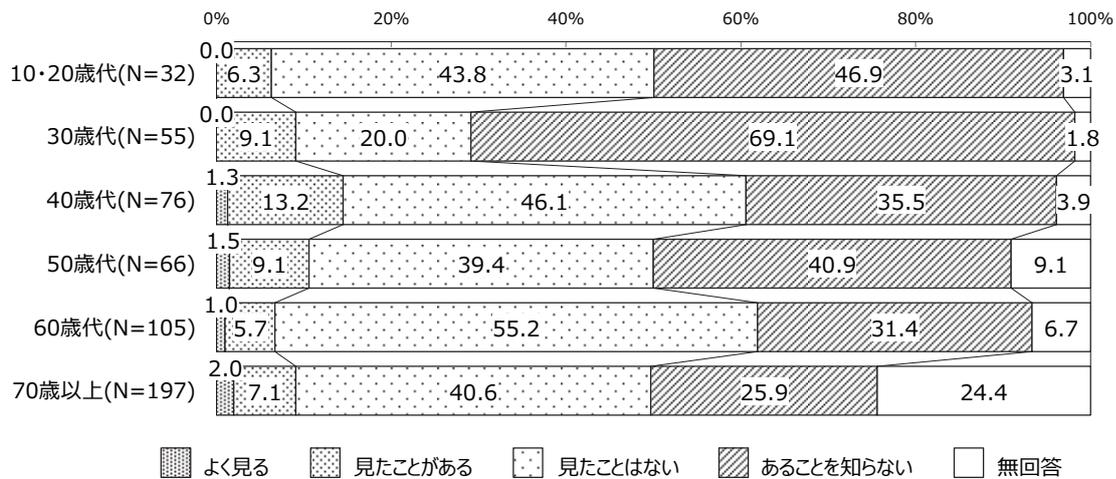
生涯学習情報紙「まなびEye」の閲読状況を年齢別にみると、10・20歳代と30歳代では『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）が約5割、「あることを知らない」が約4割と高くなっています。40歳代以上の年代では『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）がそれぞれ2割台となっています。（図3-13-3）

図3-13-4 年齢別 城陽市公式ホームページの閲覧状況



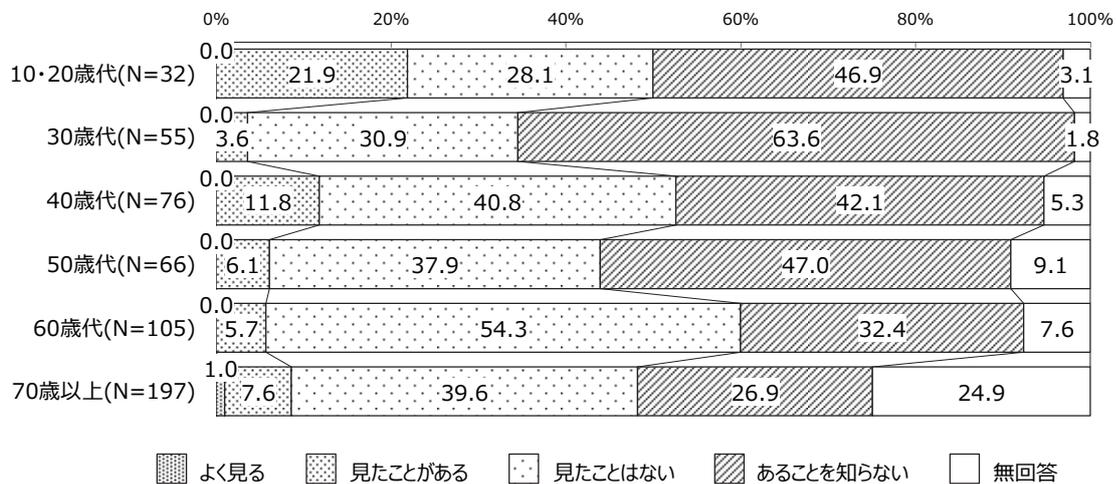
城陽市公式ホームページの閲覧状況を年齢別にみると、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は30歳代で72.8%（40件）、40歳代で72.3%（55件）と高くなっています。一方、60歳代、70歳以上では『見たことがある』は5割未満となっています。（図3-13-4）

図3-13-5 年齢別 城陽市公式Facebookの閲覧状況



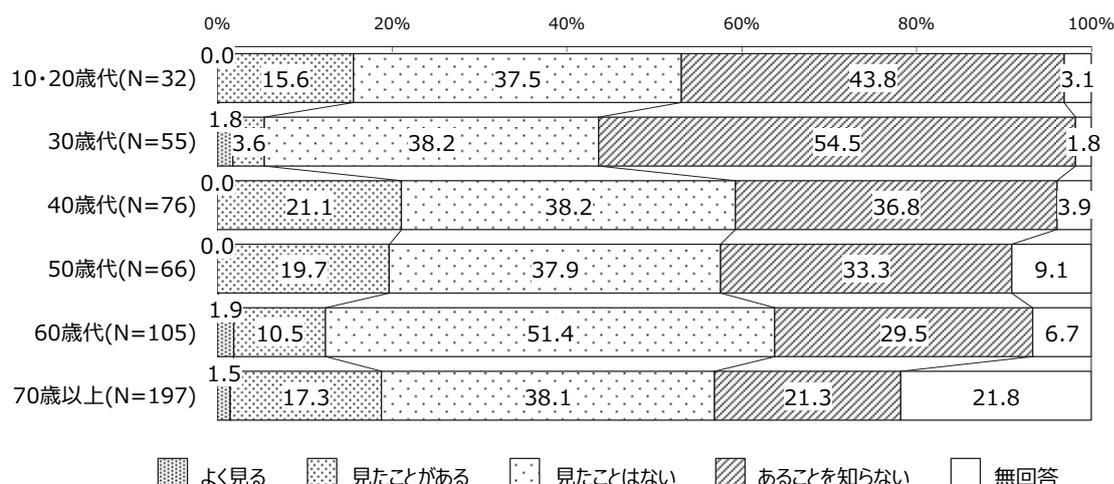
城陽市公式Facebookの閲覧状況を年齢別にみると、いずれの年代でも「見たことはない」と「あることを知らない」が多くを占め、30歳代では特に「あることを知らない」の割合が高くなっています。40歳代では『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）が他の年代よりやや高く14.5%（11件）となっています。（図3-13-5）

図3-13-6 年齢別 城陽市公式Twitterの閲覧状況



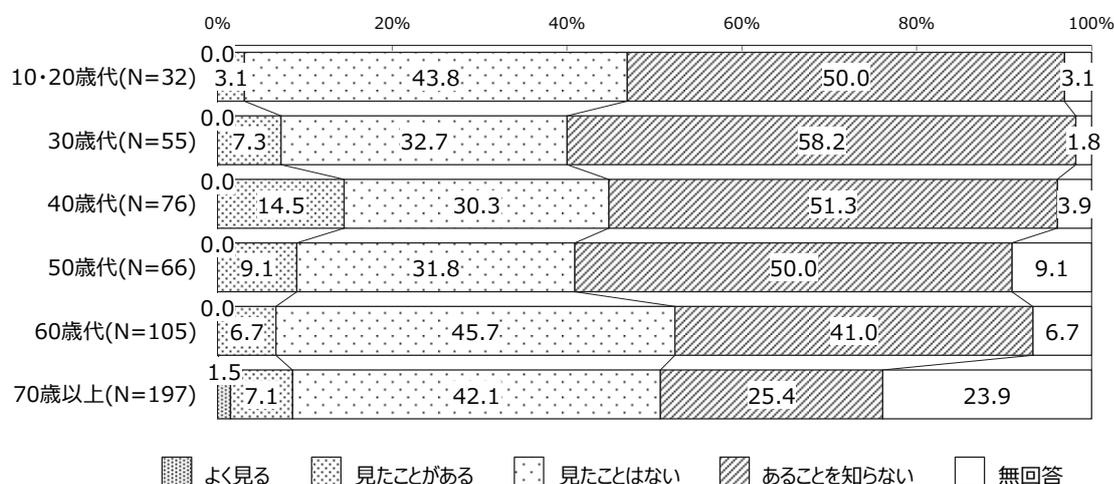
城陽市公式Twitterの閲覧状況を年齢別にみると、50歳代以下の年代では「あることを知らない」、60歳以上の年代では「見たことはない」の割合が最も高くなっています。10・20歳代では『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）が21.9%（7件）と他の年代よりも高くなっています。（図3-13-6）

図3-13-7 年齢別 城陽市議会ホームページの閲覧状況



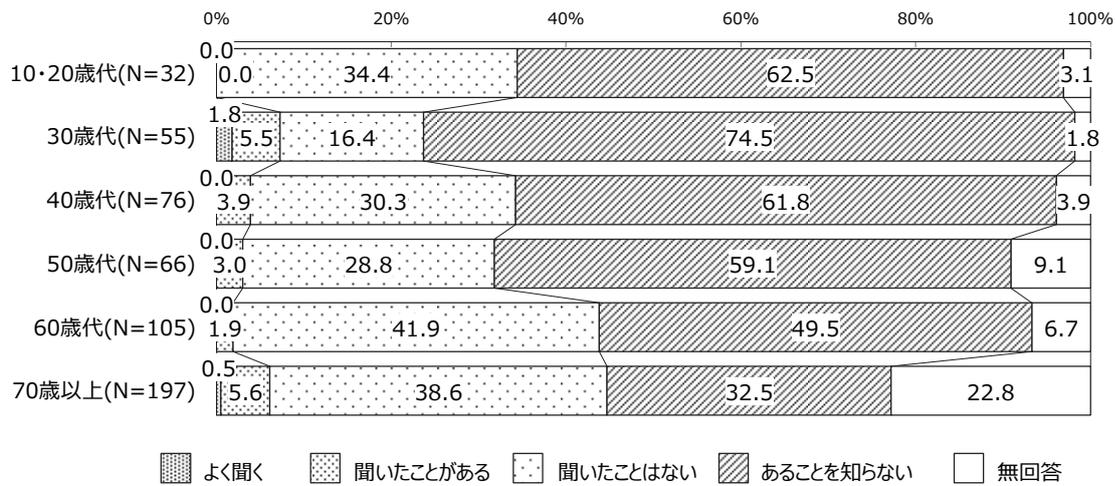
城陽市議会ホームページの閲覧状況を年齢別にみると、「あることを知らない」が10・20歳代で43.8%（14件）、30歳代で54.5%（30件）と高くなっています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は40歳代と50歳代、70歳以上で約2割となっています。（図3-13-7）

図3-13-8 年齢別 城陽市議会本会議中継の視聴状況



城陽市議会本会議中継の視聴状況を年齢別にみると、50歳代以下の年代では「あることを知らない」がいずれも5割を超えています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は40歳代の14.5%（11件）が各年代の中で最も高くなっています。（図3-13-8）

図3-13-9 年齢別 FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況

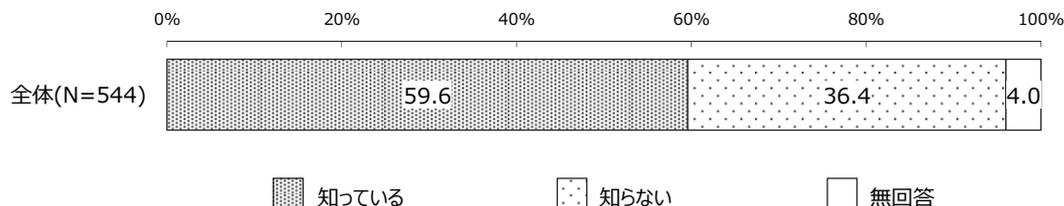


FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況を年齢別にみると、『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）は30歳代で7.3%（4件）、70歳以上で6.1%（12件）などとなり、50歳代以下の年代では「あることを知らない」が5割以上を占めています。（図3-13-9）

(14) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度

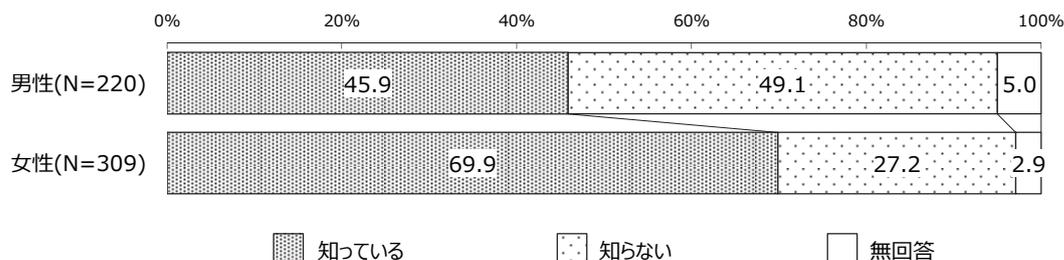
Ⅲ. 問 12 城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」を知っていますか。

図3-14 「じょうりんちゃん」の認知度



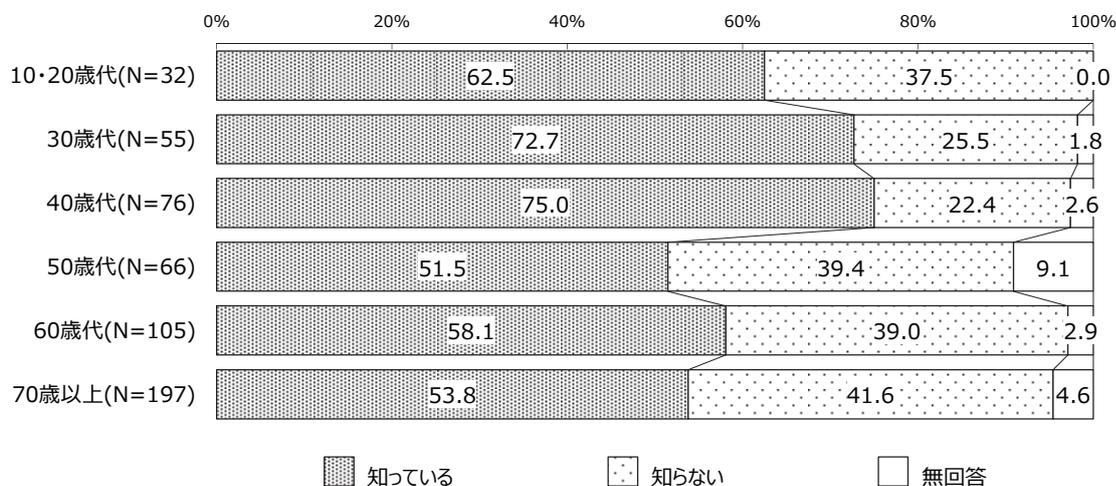
城陽市のイメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度については、「知っている」が59.6% (324件)、「知らない」が36.4% (198件) となっています。(図3-14)

図3-14-1 男女別 「じょうりんちゃん」の認知度



男女別にみると、「知っている」の割合は、男性45.9% (101件) よりも、女性69.9% (216件) の方が高くなっています。(図3-14-1)

図3-14-2 年齢別 「じょうりんちゃん」の認知度

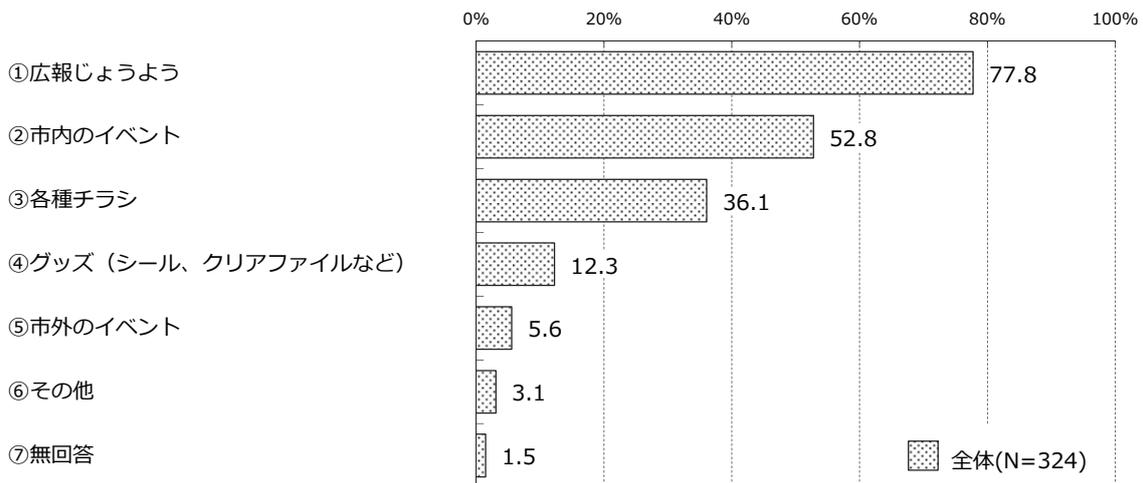


年齢別にみると、30歳代と40歳代で「知っている」の割合が高く、7割を超えています。(図3-14-2)

(15) 「じょうりんちゃん」の認知経路

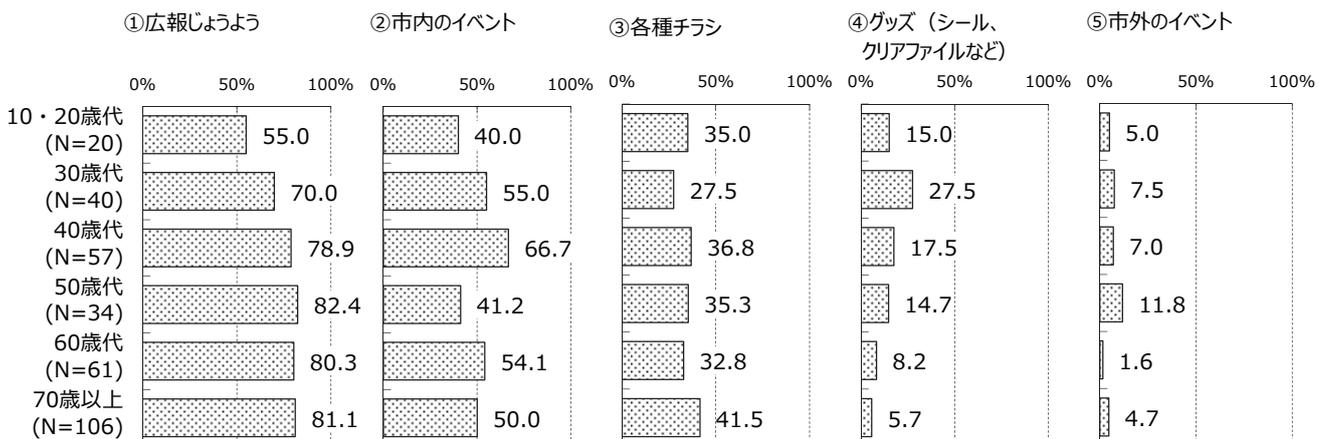
Ⅲ. 問 12-1 問 12で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。じょうりんちゃんをどこで見たことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-15 「じょうりんちゃん」の認知経路



「じょうりんちゃん」を知った経路については、「①広報じょうよう」77.8% (252件) が最も高く、次いで、「②市内のイベント」が52.8% (171件)、「③各種チラシ」が36.1% (117件) となっています。(図3-15)

図3-15-1 年齢別 「じょうりんちゃん」の認知経路

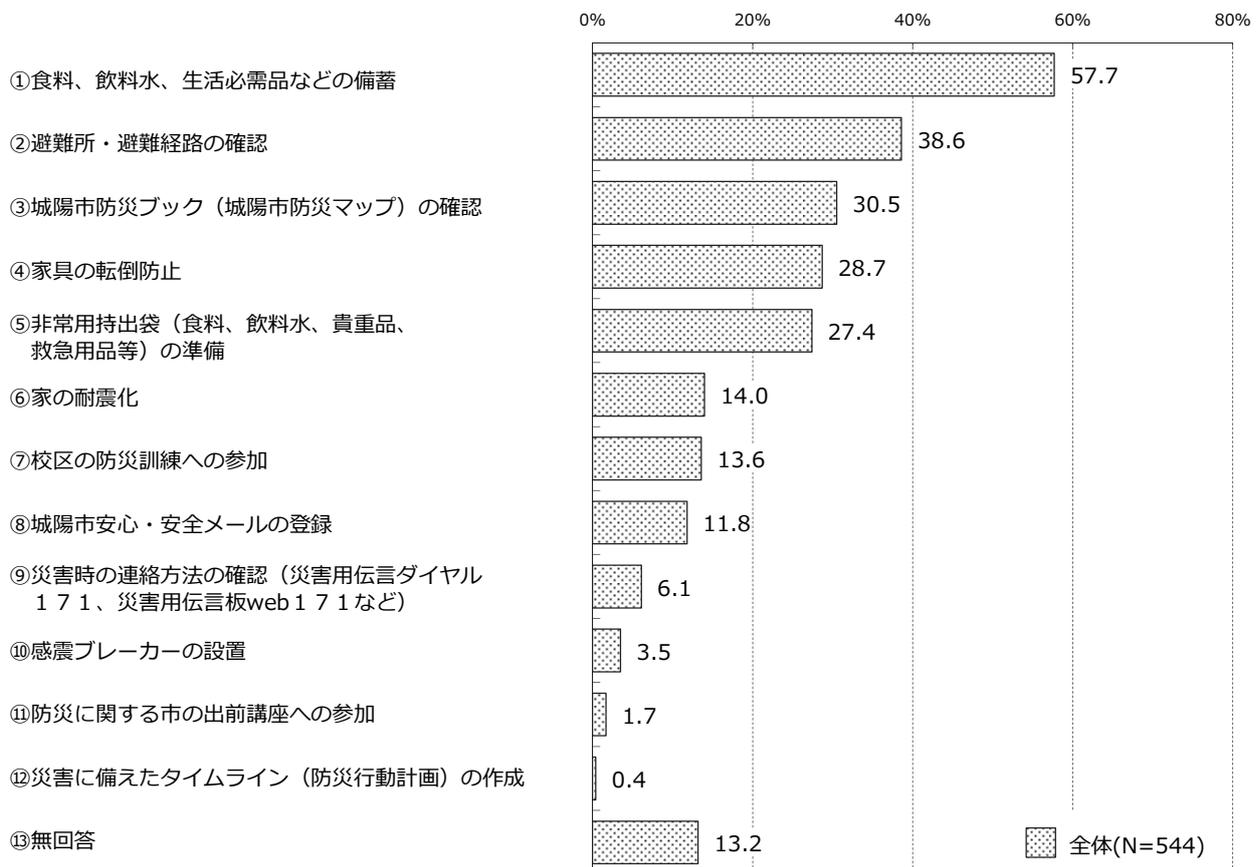


年齢別にみると、いずれの年代でも、「①広報じょうよう」が最も高くなっており、50歳代以上では8割を超えています。また、40歳代では「②市内のイベント」、70歳以上では「③各種ちらし」、30歳代では「④グッズ (シール、クリアファイルなど)」が他の年代より高くなっています。(図3-15-1)

(16) 実施している災害への備え

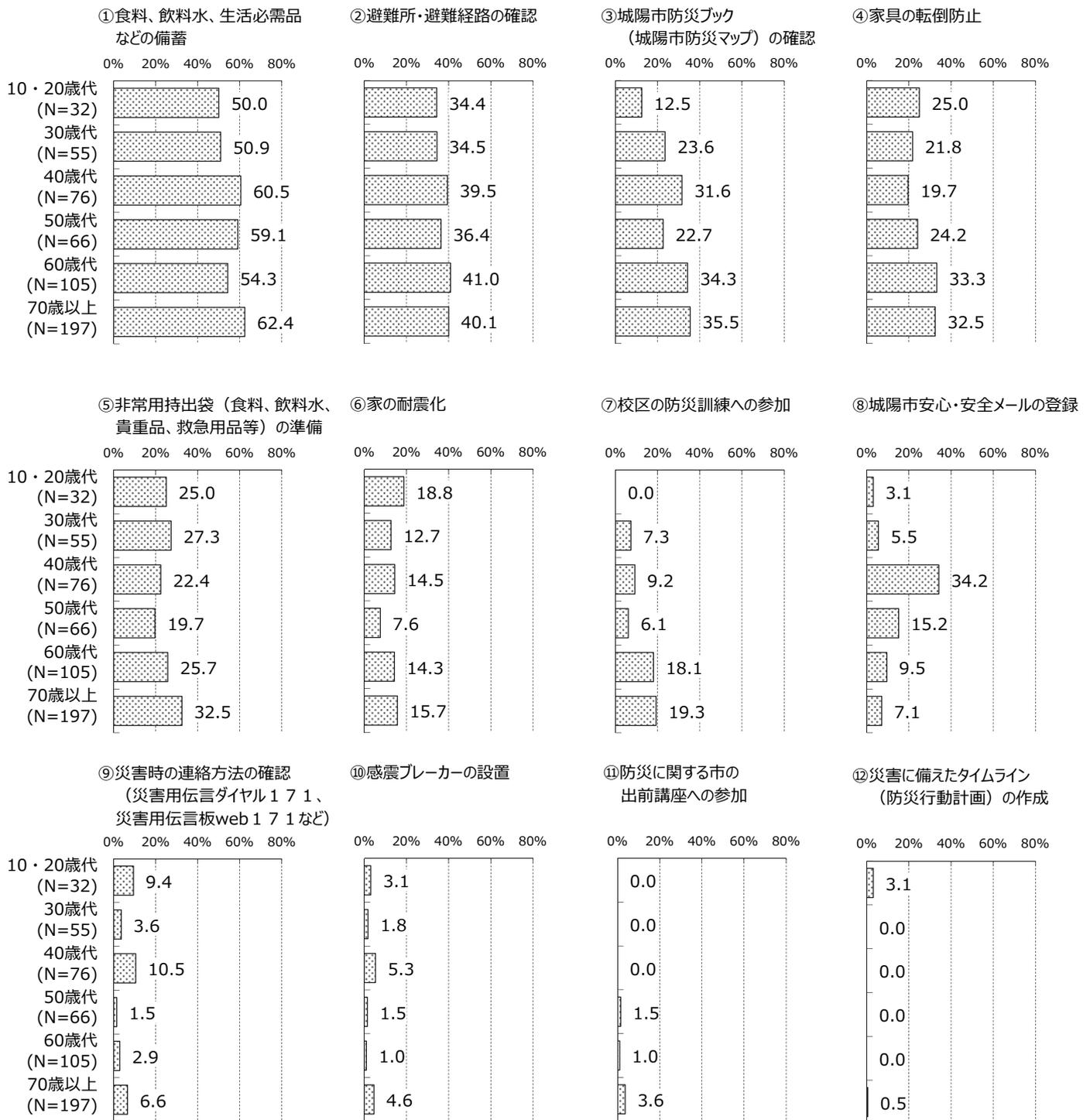
Ⅲ. 問 13 あなたが実施している災害の備えは次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-16 実施している災害への備え



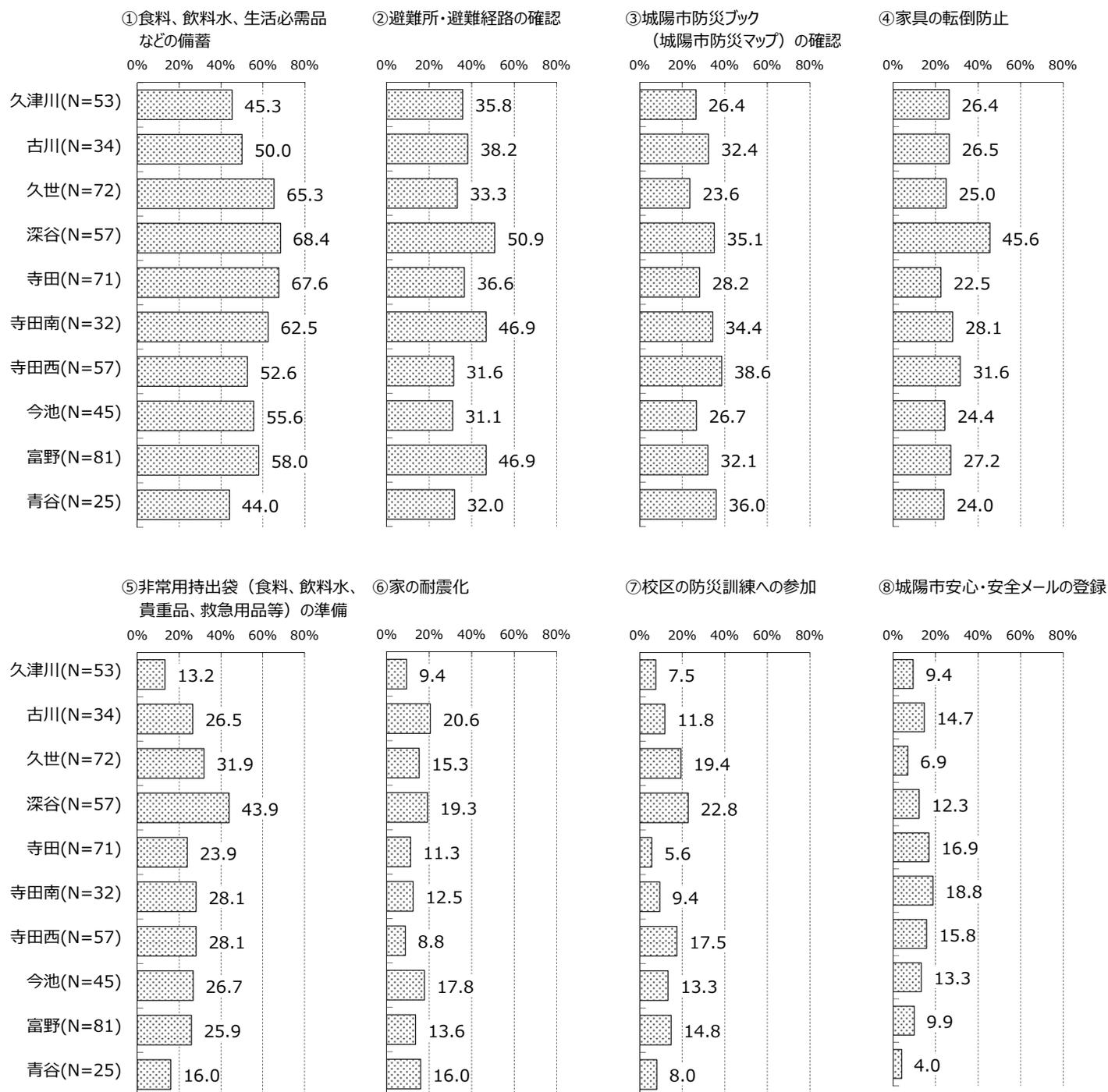
実施している災害の備えについては、「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が57.7%（314件）と最も高く、次いで、「②避難所・避難経路の確認」が38.6%（210件）、「③城陽市防災ブック（城陽市防災マップ）の確認」が30.5%（166件）、「④家具の転倒防止」が28.7%（156件）、「⑤非常用持出袋（食料、飲料水、貴重品、救急用品等）の準備」が27.4%（149件）となっています。（図3-16）

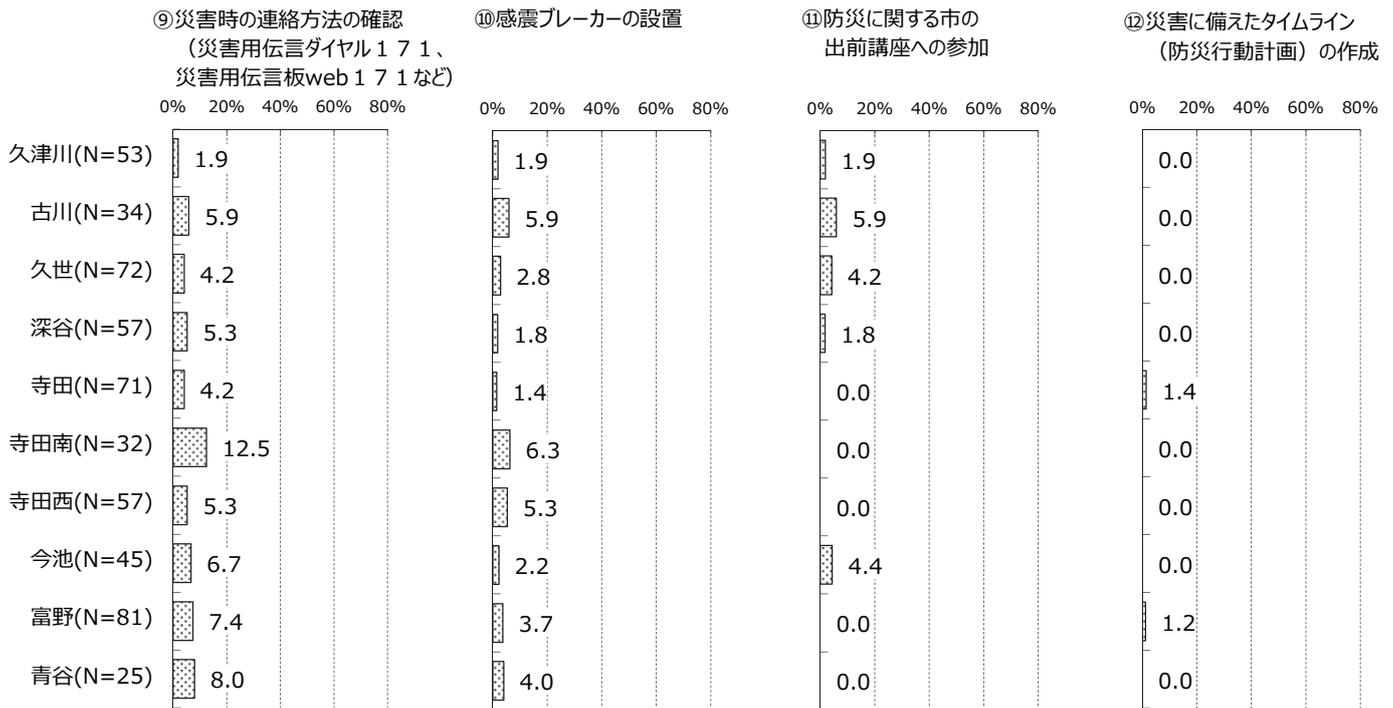
図3-16-1 年齢別 実施している災害への備え



年齢別にみると、いずれの年代でも「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が5割を超えており、最も高くなっています。また、60歳代以上では「④家具の転倒防止」と「⑦校区の防災訓練への参加」、これらに加えて70歳以上では「⑤非常用持出袋(食料、飲料水、貴重品、救急用品等)の準備」も高くなっています。さらに、40歳代では「⑧城陽市安心・安全メールの登録」が34.2%(26件)と突出して高くなっています。(図3-16-1)

図3-16-2 居住小学校区別 実施している災害への備え





居住小学校区別にみると、いずれの居住地区でも「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が最も高く、久世、深谷、寺田、寺田南では6割を超えています。

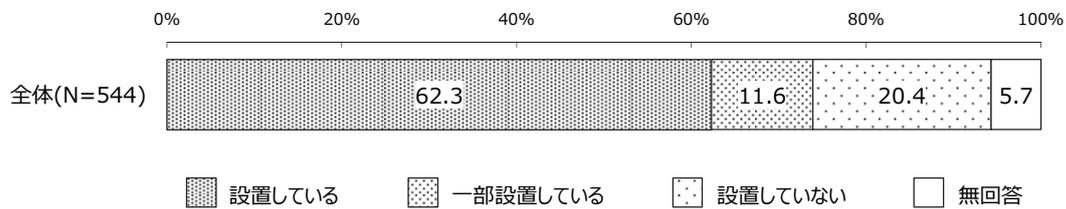
深谷、寺田南、富野では「②避難所・避難経路の確認」が4～5割と高くなっています。深谷では「④家具の転倒防止」「⑤非常用持出袋（食料、飲料水、貴重品、救急用品等）の準備」も4割以上と高くなっています。

寺田南では、「⑨災害時の連絡方法の確認（災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板web171など）」が1割を超えており、他の小学校区よりも高くなっています。（図3-16-2）

(17) 住宅用火災警報器設置の有無

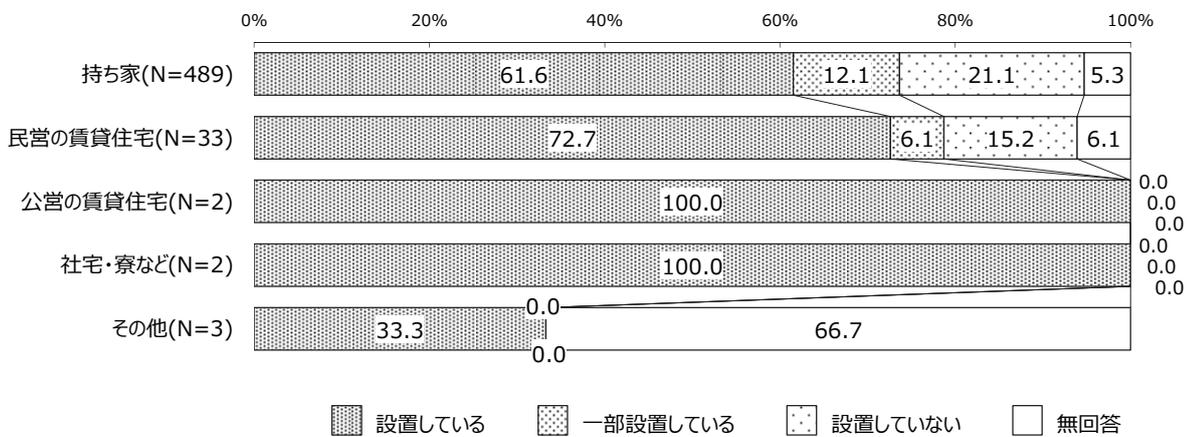
Ⅲ. 問 14 あなたがお住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

図3-17 住宅用火災警報器設置の有無



住宅用火災警報器設置の有無については、「設置している」が62.3%（339件）を占め、「一部設置している」が11.6%（63件）、「まだ設置していない」が20.4%（111件）となっています。（図3-17）

図3-17-1 居住形態別 住宅用火災警報器設置の有無

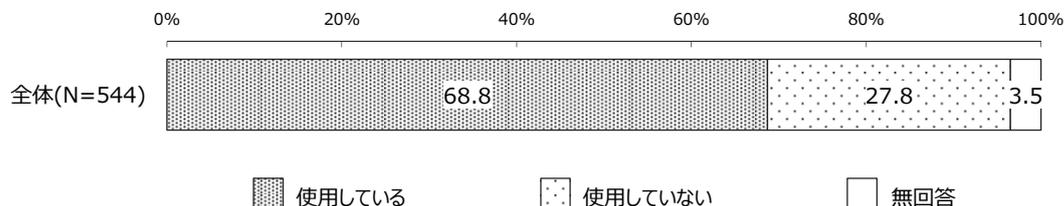


居住形態別にみると、『設置している』（「設置している」と「一部設置している」を合わせた割合）は「公営の賃貸住宅」「社宅・寮など」では設置率が100%となっていますが、「民営の賃貸住宅」では78.8%（26件）、「持ち家」では73.7%（360件）、「その他」では33.3%（1件）にとどまっています。（図3-17-1）

(18) 水道水を飲料水として使用していることの有無

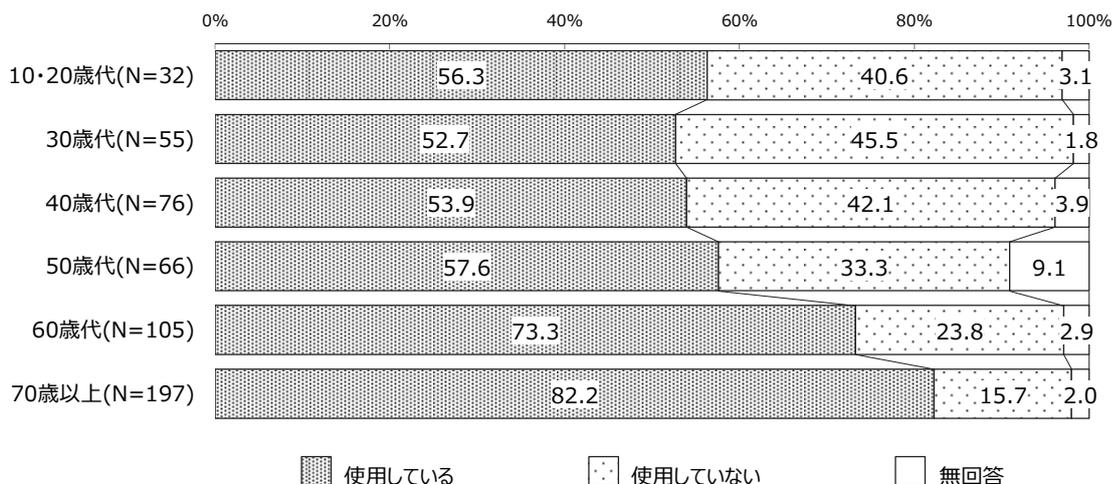
Ⅲ. 問 15 あなたの家では、水道水を飲料水として直接使用していますか。

図3-18 水道水を飲料水として使用していることの有無



水道水を飲料水として使用していることの有無については、「使用している」が68.8%（374件）となっており、「使用していない」の27.8%（151件）を大きく上回っています。（図3-18）

図3-18-1 年齢別 水道水を飲料水として使用していることの有無

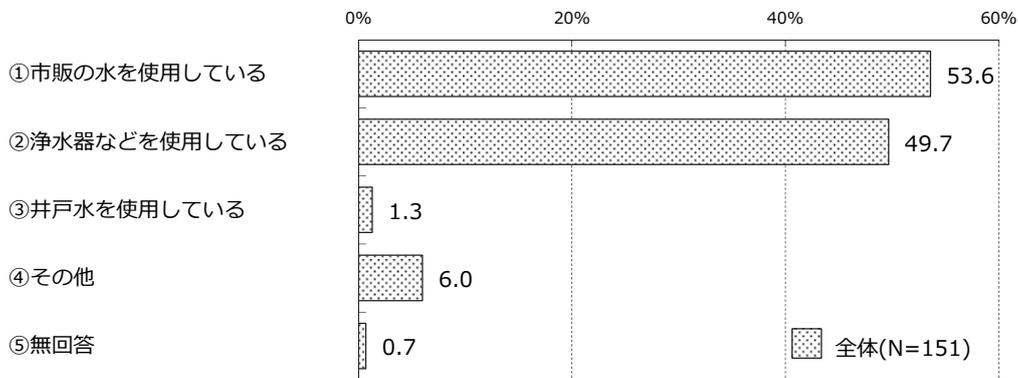


年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、「使用している」の割合も高くなる傾向がみられ、70歳以上では82.2%（162件）となっています。（図3-18-1）

(19) 飲料水として使用しているもの

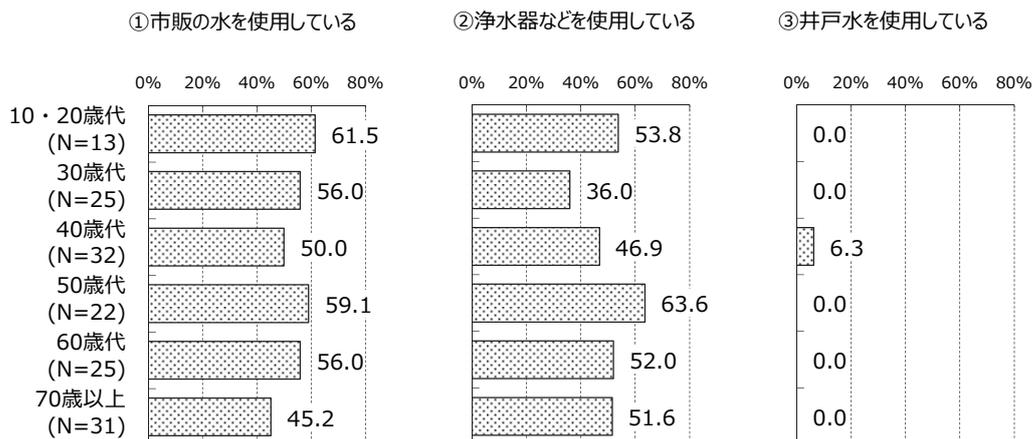
Ⅲ. 問 15-1 問 15 で「2. 使用していない」と回答した方にお聞きます。飲料水として何を_using_していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-19 飲料水として使用しているもの



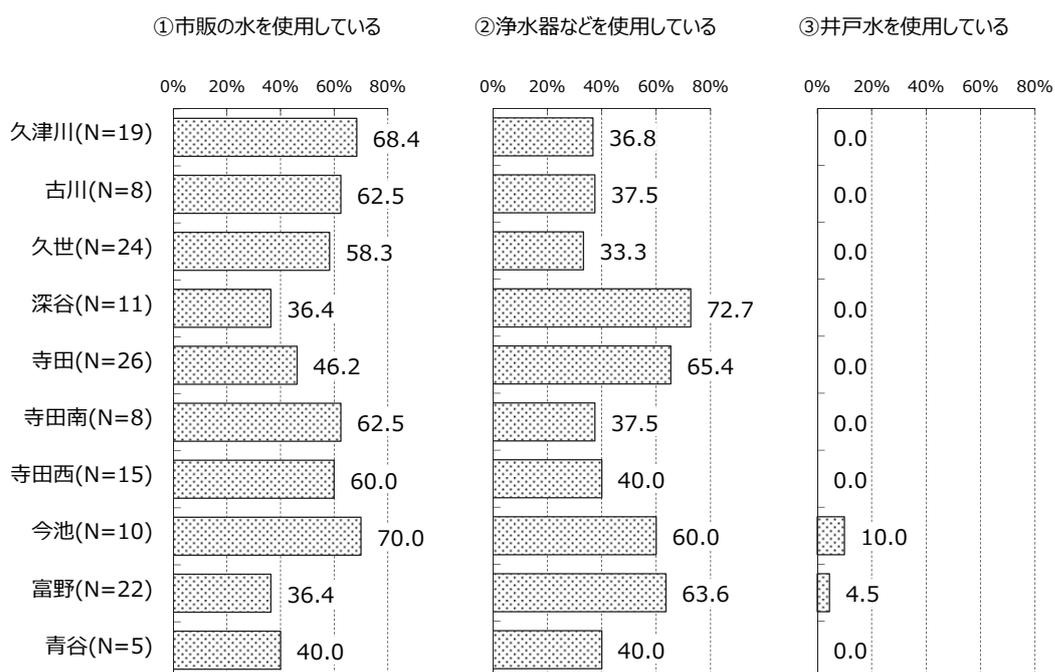
飲料水として使用しているものについては、「①市販の水を使用している」が53.6% (81件) と最も高く、「②浄水器などを使用している」が49.7% (75件)、「③井戸水を使用している」が1.3% (2件) となっています。(図3-19)

図3-19-1 年齢別 飲料水として使用しているもの



年齢別にみると、60歳代以下の年代では「①市販の水を使用している」が5割を超えていますが、70歳以上では45.2% (14件) にとどまっています。50歳代では「②浄水器などを使用している」が63.6% (14件) で他の年代より高くなっています。一方、30歳代では「②浄水器などを使用している」は36.0% (9件) で最も低くなっています。(図3-19-1)

図3-19-2 居住小学校区別 飲料水として使用しているもの

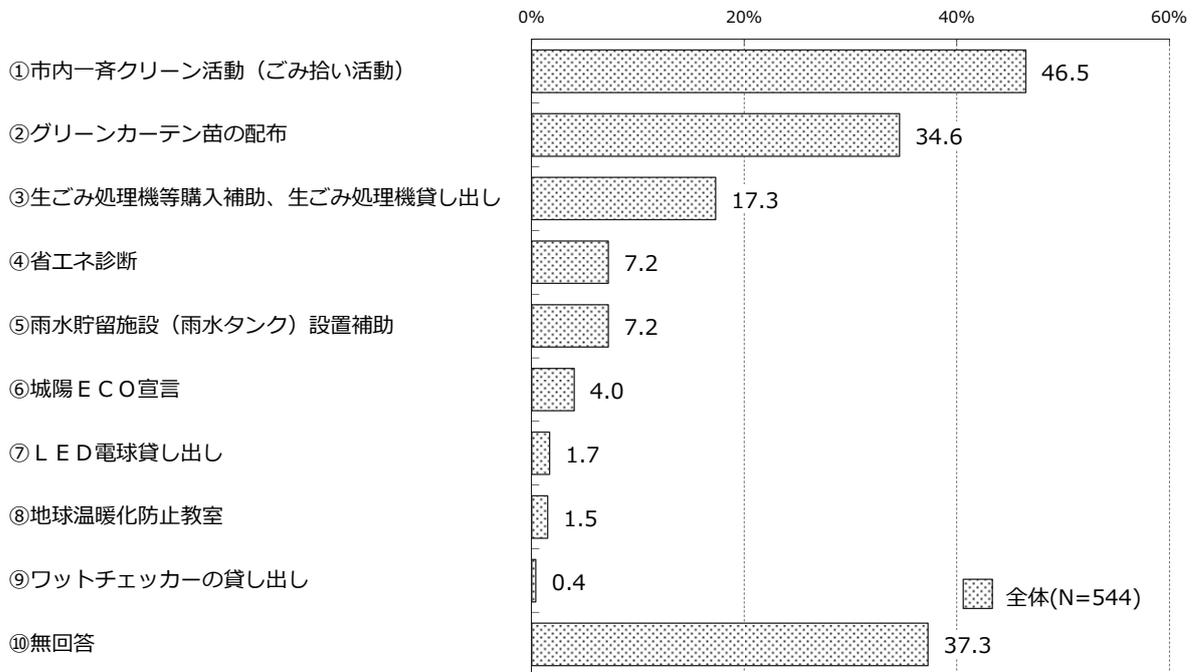


居住小学校区別にみると、深谷と寺田、富野、今池では「②浄水器などを使用している」が他の小学校区より高く、深谷で72.7%（8件）、寺田で65.4%（17件）、富野で63.6%（14件）、今池で60.0%（6件）となっています。（図3-19-2）

(20) 城陽市で実施している環境施策の認知度

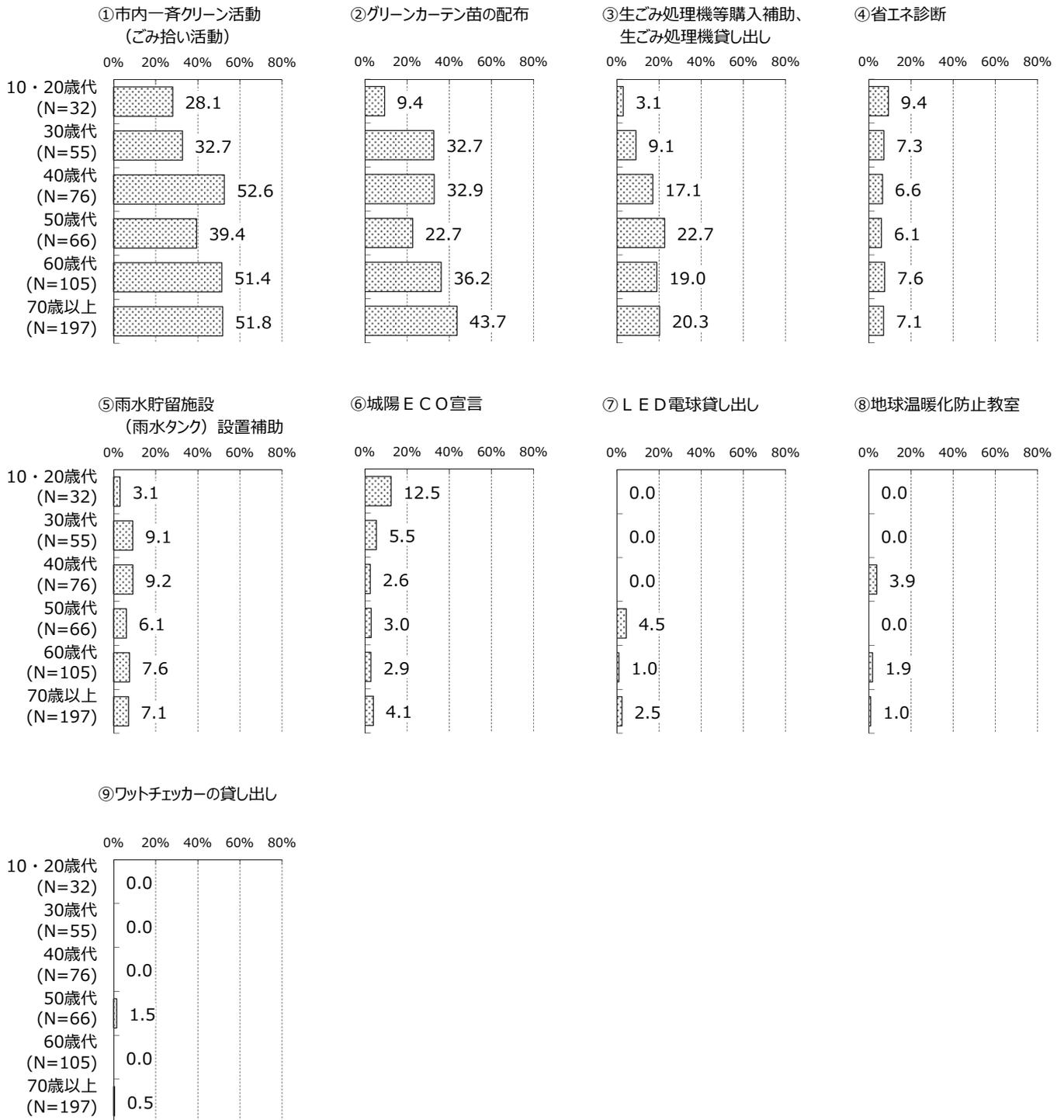
Ⅲ. 問 16 市で実施している環境施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

図3-20 城陽市で実施している環境施策の認知度



城陽市で実施している環境施策の認知度については、「①市内一斉クリーン活動 (ごみ拾い活動)」が46.5% (253件) で最も高く、次いで、「②グリーンカーテン苗の配布」が34.6% (188件)、「③生ごみ処理機等購入補助、生ごみ処理機貸し出し」が17.3% (94件) と続いています。(図3-20)

図3-20-1 年齢別 城陽市で実施している環境施策の認知度



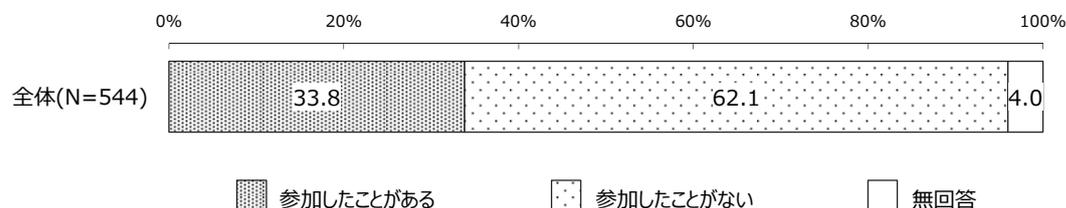
年齢別にみると、10・20歳代では、「①市内一斉クリーン活動 (ごみ拾い活動)」「②グリーンカーテン苗の配布」「③生ごみ処理機等購入補助、生ごみ処理機貸し出し」の割合が他の年代より低くなっており、「⑥城陽E C O宣言」が12.5% (4件) と他の年代より高くなっています。70歳以上では、「②グリーンカーテン苗の配布」が43.7% (86件) と他の年代より高くなっています。

30歳代以外の年代では、「①市内一斉クリーン活動 (ごみ拾い活動)」の割合が最も高くなっていますが、30歳代では「①市内一斉クリーン活動 (ごみ拾い活動)」と「②グリーンカーテン苗の配布」がともに32.7% (18件) と同率で高くなっています。(図3-20-1)

(21) 環境イベント・学習会への参加の有無

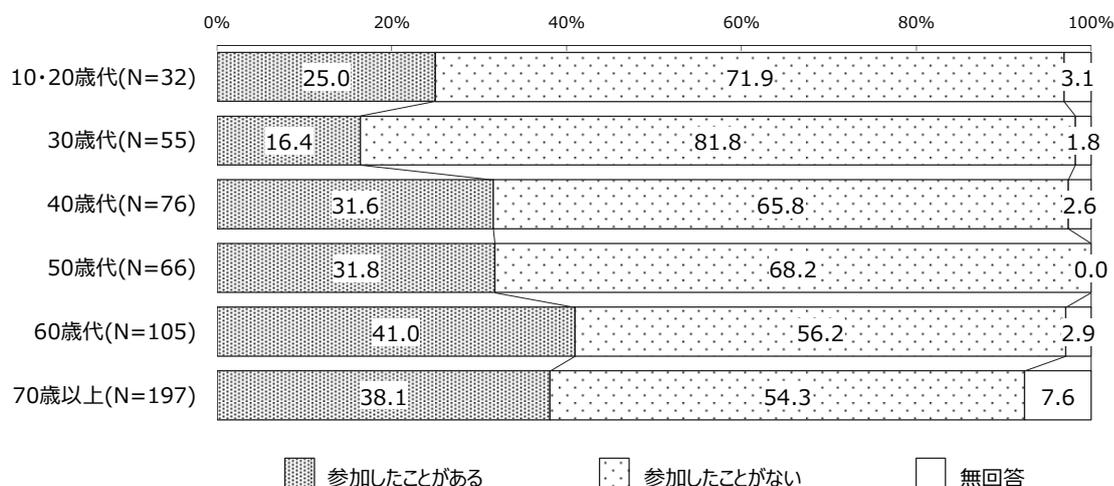
Ⅲ. 問 17 環境イベントや学習会、清掃活動などへ参加したことがありますか。

図3-21 環境イベント・学習会への参加の有無



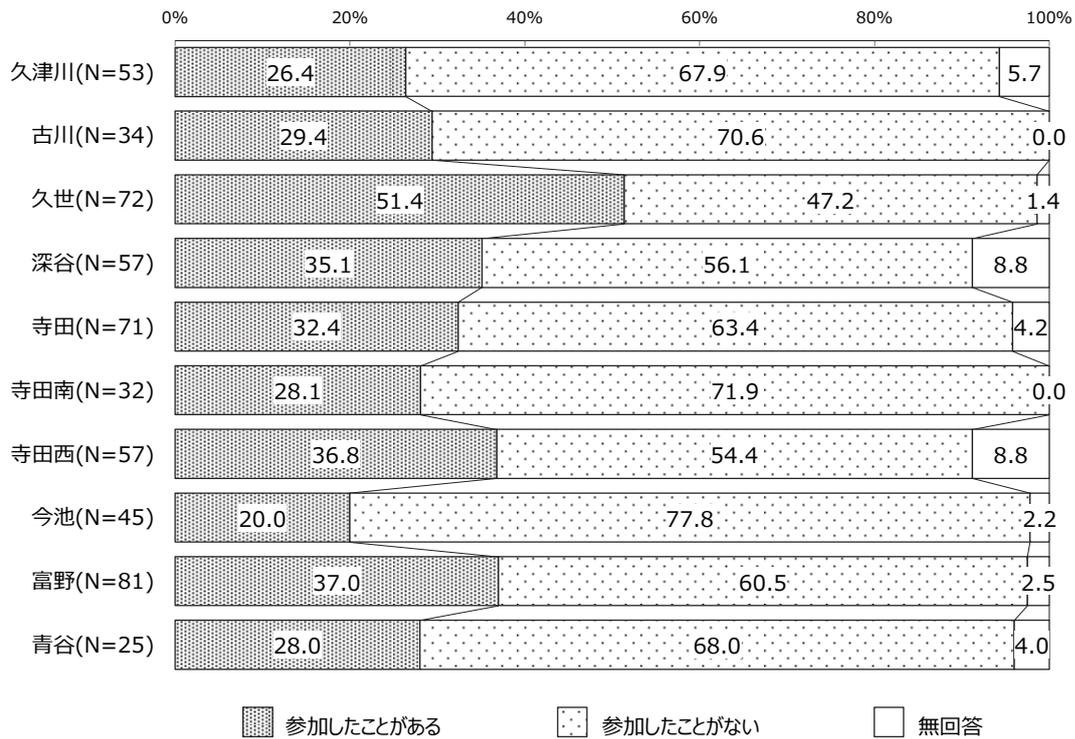
環境イベント・学習会への参加については、「参加したことがある」が33.8%（184件）と、「参加したことがない」62.1%（338件）を下回っています。（図3-21）

図3-21-1 年齢別 環境イベント・学習会への参加の有無



年齢別にみると、30歳代以下では「参加したことがない」が7割以上を占めており、30歳代では81.8%（45件）と8割を超えています。一方、60歳代以上では「参加したことがある」が比較的高く、60歳代で41.0%（43件）、70歳以上で38.1%（75件）となっています。（図3-21-1）

図3-21-2 居住小学校区別 環境イベント・学習会への参加の有無

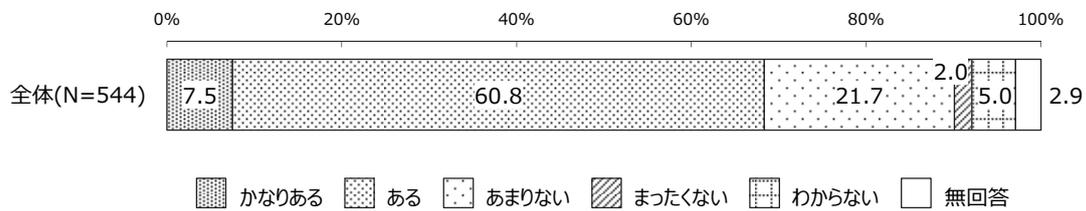


居住小学校区別にみると、久世では「参加したことがある」が51.4%（37件）と他の小学校区よりも高くなっています。一方、今池、寺田南、古川では「参加したことがない」が7割以上と他の小学校区よりも高くなっています。（図3-21-2）

(22) 地球環境問題について

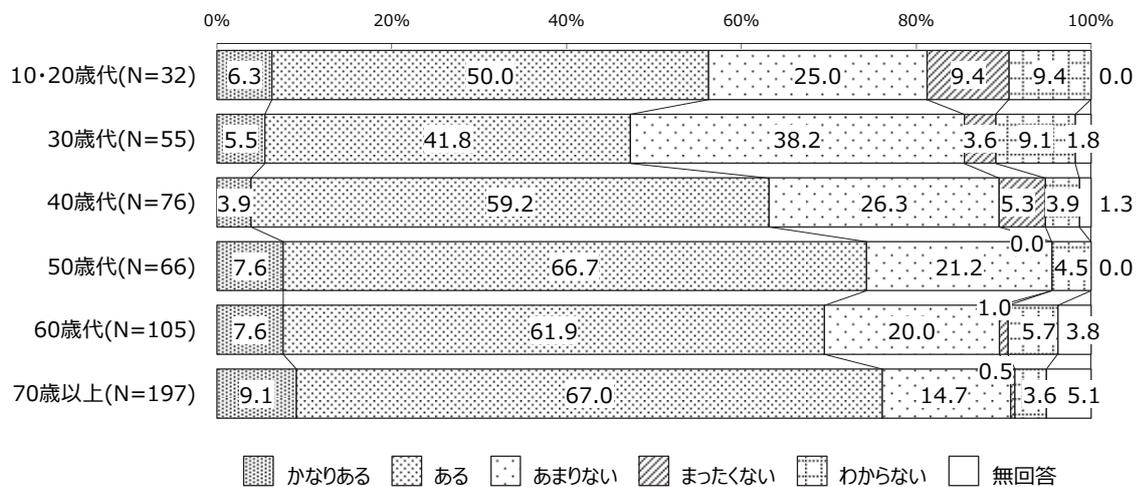
Ⅲ. 問 18 地球環境問題について関心がありますか。

図3-22 地球環境問題について



地球環境問題についての関心は、「ある」が60.8%（331件）と最も高くなっており、「かなりある」7.5%（41件）と合計した『関心がある』は68.3%（372件）となっています。（図3-22）

図3-22-1 年齢別 地球環境問題について

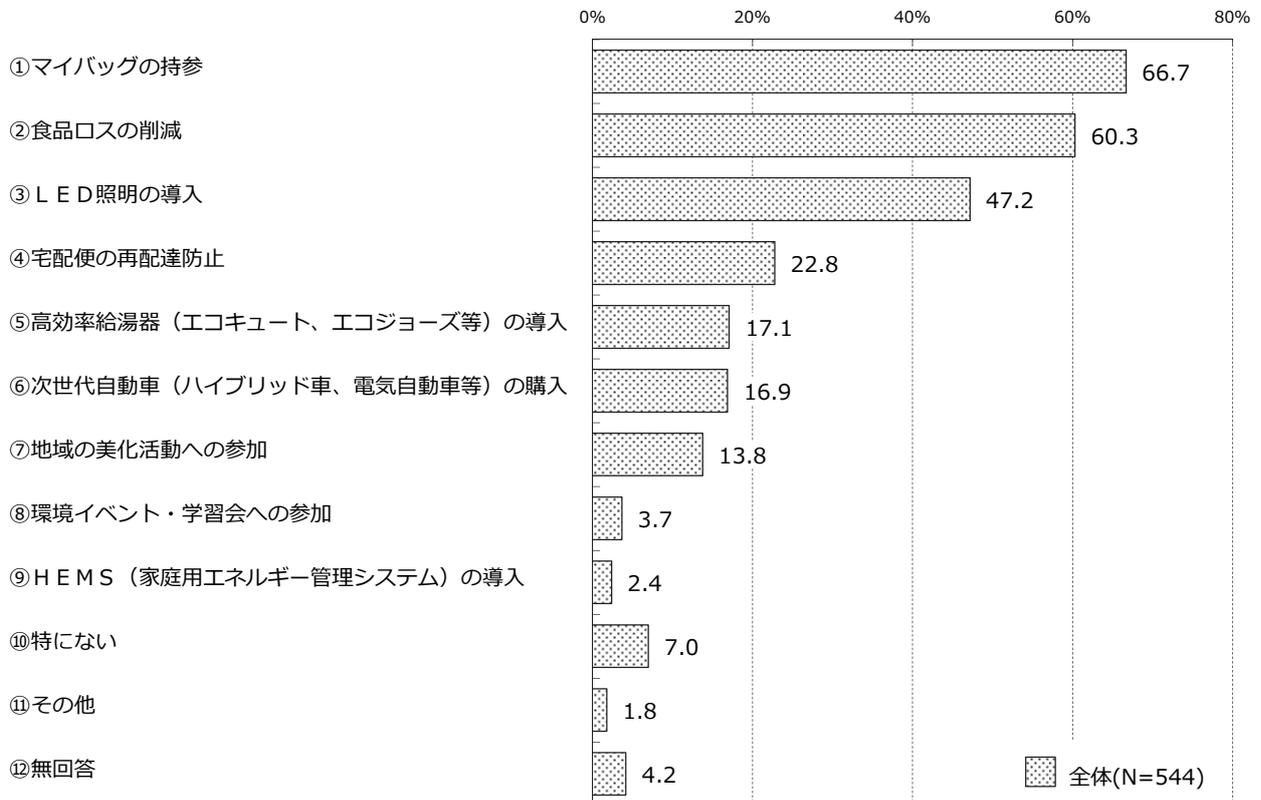


年齢別にみると、30歳代では、『関心がある』（「かなりある」と「ある」を合わせた割合）が47.3%（26件）と他の年代より低くなっており、「あまりない」が38.2%（21件）と高くなっています。30歳代以外の年代では、いずれも『関心がある』が5割を超えており、70歳以上では76.1%（150件）と最も高くなっています。（図3-22-1）

(23) 地球環境問題に対する取り組み

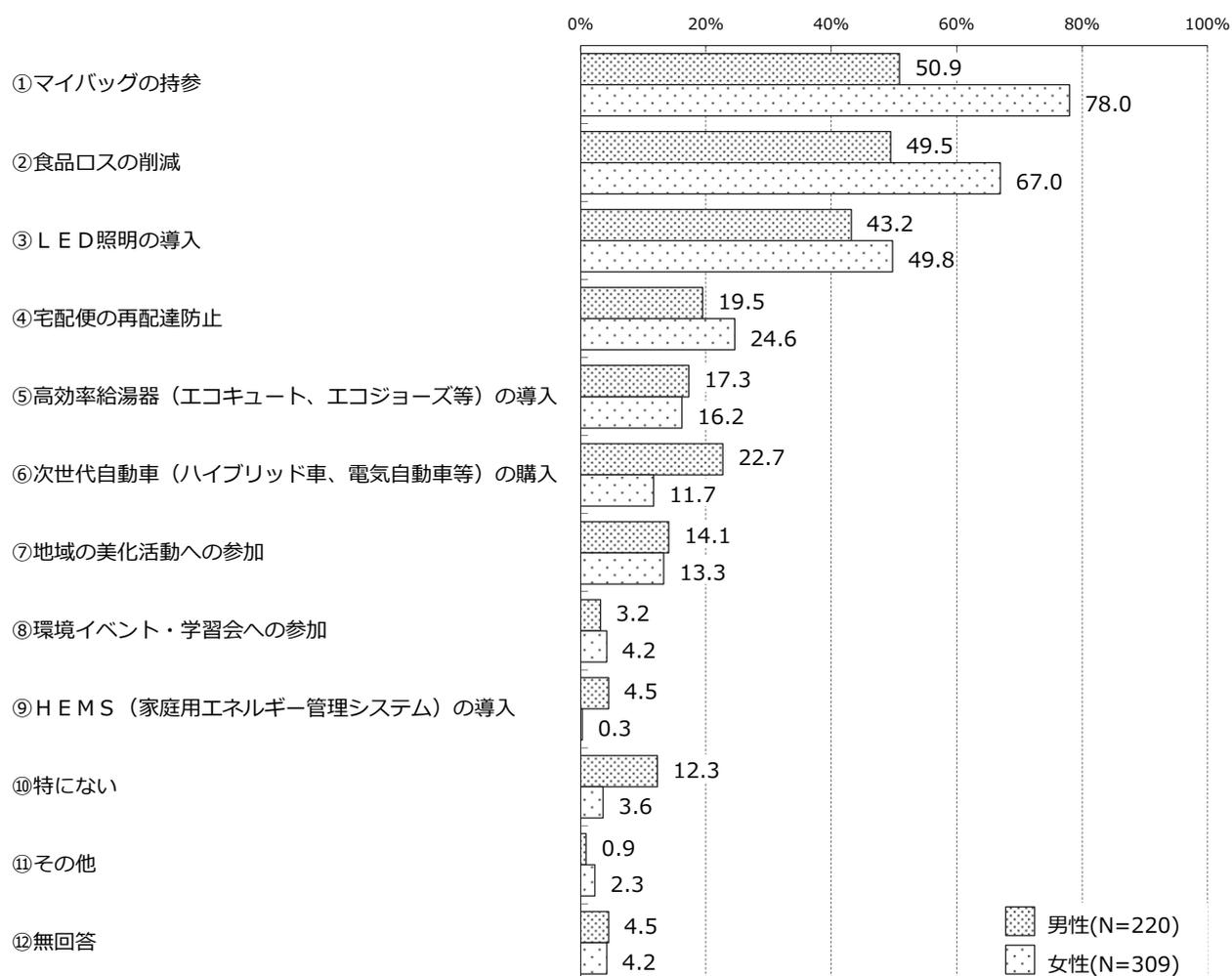
Ⅲ. 問 19 地球環境問題に対して取り組んでいること、今後取り組みたいと思うものはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-23 地球環境問題に対する取り組み



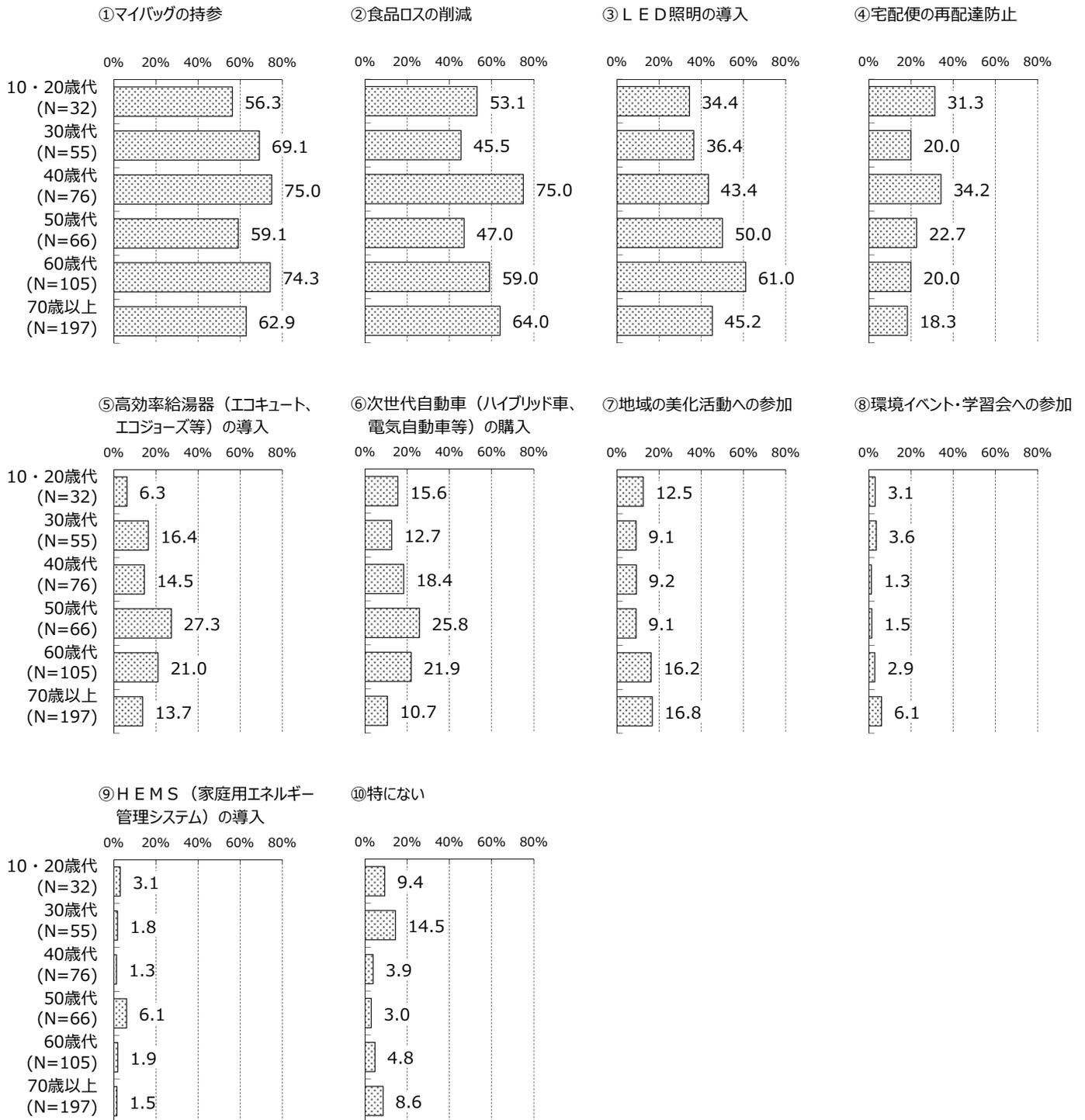
地球環境問題に対する取り組みについては、「①マイバッグの持参」が66.7% (363件) と最も高く、次いで「②食品ロスの削減」が60.3% (328件)、「③LED照明の導入」が47.2% (257件)、「④宅配便の再配達防止」が22.8% (124件)、「⑤高効率給湯器 (エコキュート、エコジョーズ等) の導入」が17.1% (93件)、「⑥次世代自動車 (ハイブリッド車、電気自動車等) の購入」が16.9% (92件)、「⑦地域の美化活動への参加」が13.8% (75件) となっています。(図3-23)

図3-23-1 男女別 地球環境問題に対する取り組み



男女別にみると、男女とも「①マイバッグの持参」「②食品ロスの削減」「③LED照明の導入」の順で高くなっていますが、いずれも女性の方が割合が高く、特に「①マイバッグの持参」は27.1ポイント、「②食品ロスの削減」は17.5ポイント高くなっています。次いで、女性では「④宅配便の再配達防止」、男性では「⑥次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車等）の購入」が高くなっており、「⑥次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車等）の購入」は男性の方が11ポイント高くなっています。（図3-23-1）

図3-23-2 年齢別 地球環境問題に対する取り組み

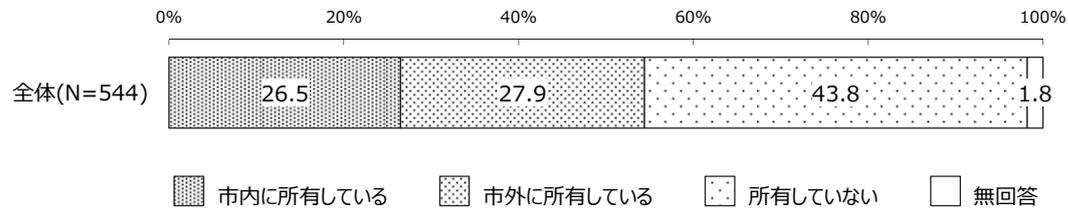


年齢別にみると、40歳代では「①マイバッグの持参」と「②食品ロスの削減」がいずれも75.0% (57件) で最も高くなっています。50歳代と60歳代では「③LED照明の導入」「⑤高効率給湯器 (エコキュート、エコジョーズ等) の導入」「⑥次世代自動車 (ハイブリッド車、電気自動車等) の購入」が他の年代より高くなっており、60歳代では「③LED照明の導入」が61.0% (64件) と最も高くなっています。(図3-23-2)

(24) 墓地の有無

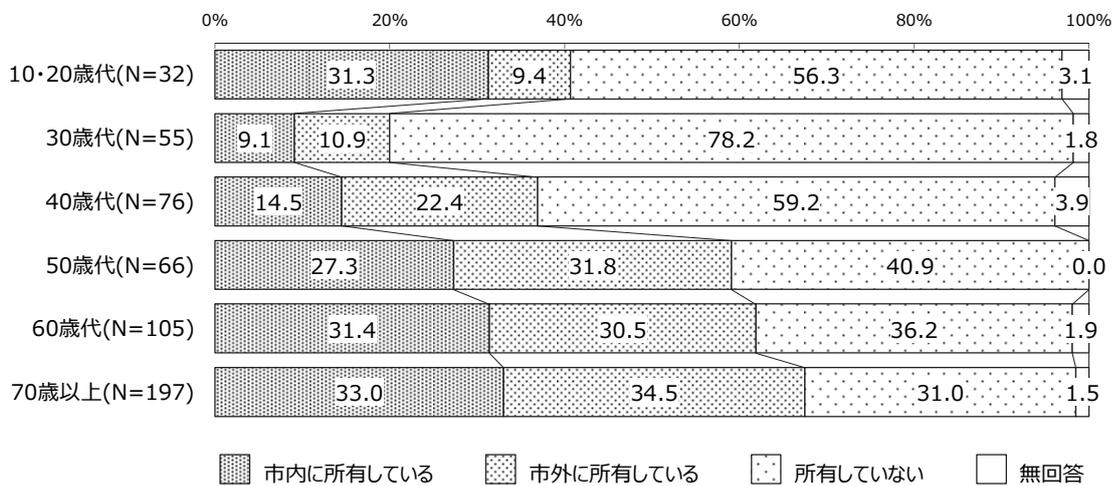
Ⅲ. 問 20 墓地について、あなたのご意見をお聞かせください。あなたは、墓地を所有していますか。

図3-24 墓地の有無



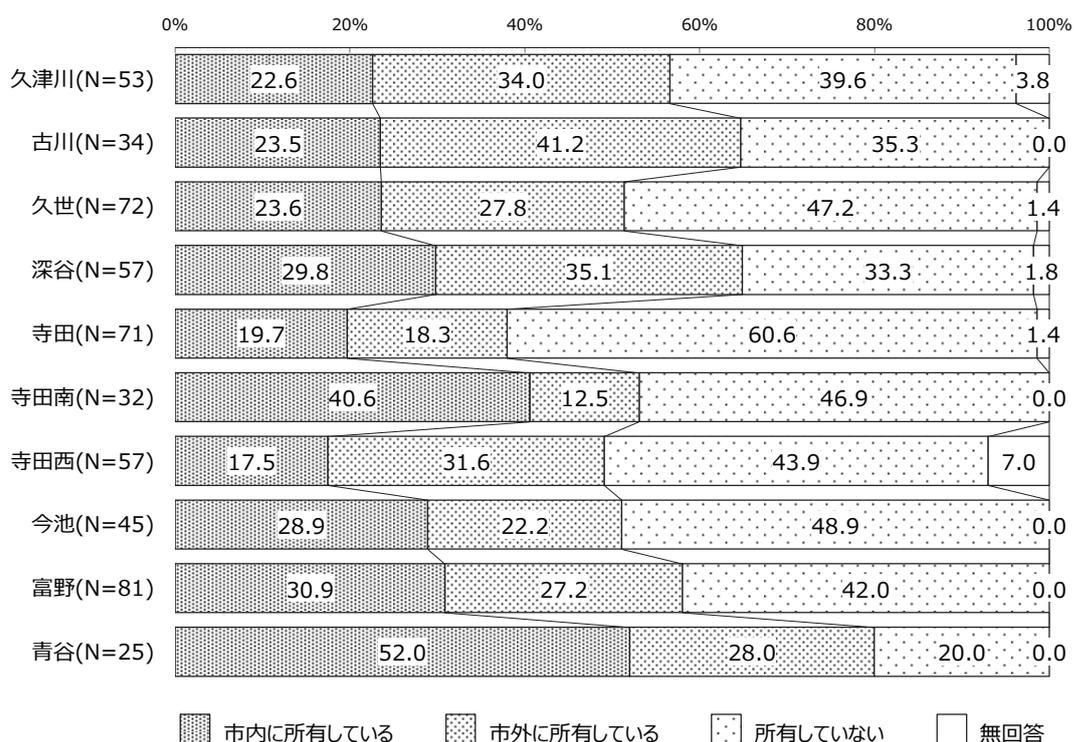
墓地の有無については、「市内に所有している」が26.5% (144件)、「市外に所有している」が27.9% (152件) となっており、それらを合わせた墓地の『所有率』は合計54.4% (296件) となっています。また、「所有していない」は43.8% (238件) となっています。(図3-24)

図3-24-1 年齢別 墓地の有無



年齢別にみると、50歳代以上では、『所有率』（「市内に所有している」と「市外に所有している」を合わせた割合）が5割を超えており、50歳代が59.1% (39件)、60歳代が61.9% (65件)、70歳以上が67.5% (133件) となっています。一方、30歳代では『所有率』は20.0% (11件) と最も低くなっています。(図3-24-1)

図3-24-2 居住小学校区別 墓地の有無

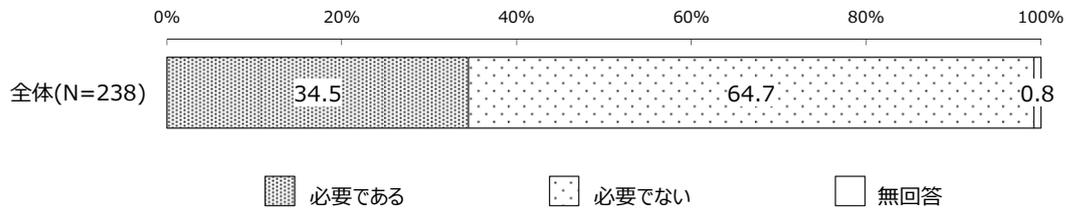


居住小学校区別にみると、青谷と寺田南では「市内に所有している」の割合が高く、青谷で52.0%（13件）、寺田南で40.6%（13件）となっており、青谷では『所有率』（「市内に所有している」と「市外に所有している」を合わせた割合）が8割となっています。寺田では『所有率』が38.0%（27件）と低くなっています。古川では「市外に所有している」が41.2%（14件）と高く、『所有率』も64.7%（22件）と比較的高くなっています。（図3-24-2）

(25) 墓地の必要性

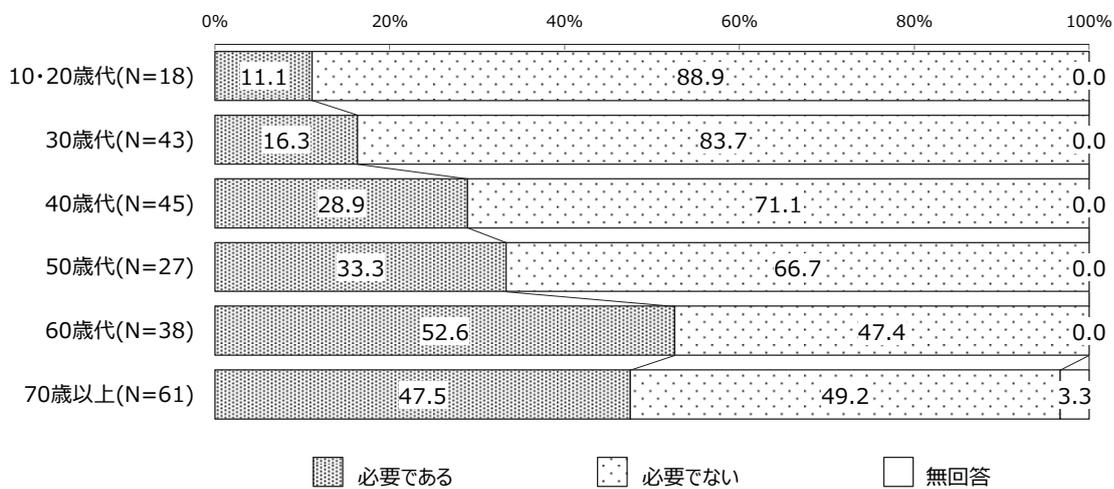
Ⅲ. 問 20-1 問 20 で「3. 所有していない」と回答した方にお聞きします。墓地を必要とされていますか。

図3-25 墓地の必要性



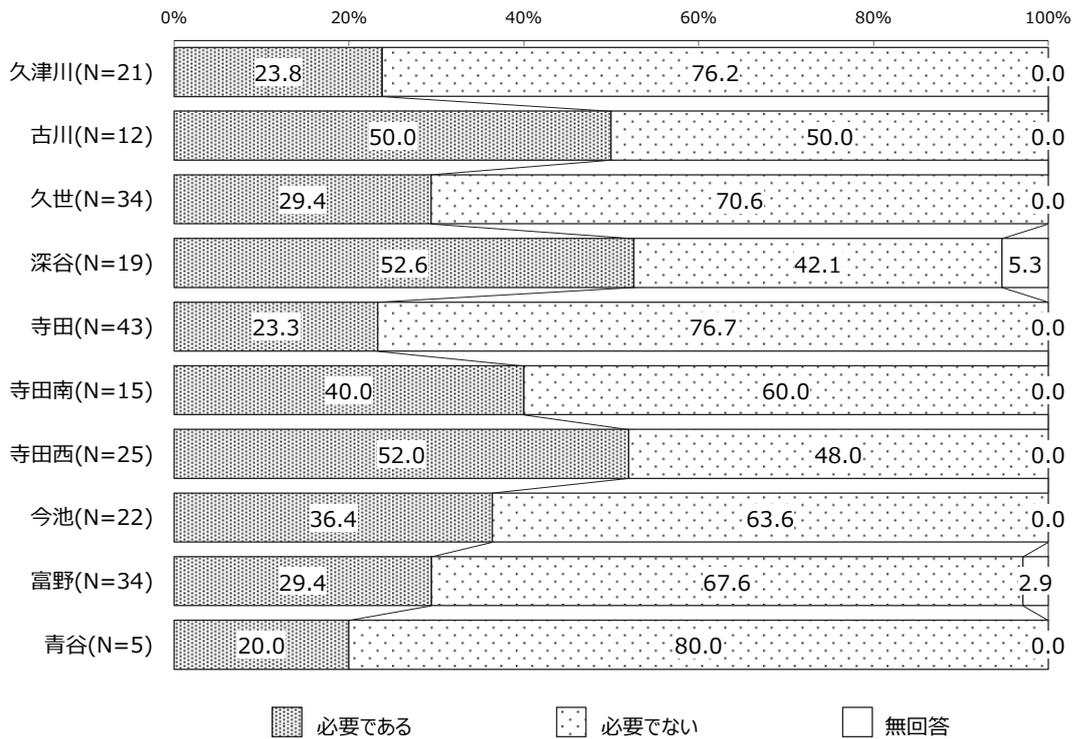
墓地の必要性については、「必要である」は34.5%（82件）、「必要でない」は64.7%（154件）となっています。（図3-25）

図3-25-1 年齢別 墓地の必要性



年齢別にみると、60歳代で「必要である」が52.6%（20件）と最も高く、次いで70歳以上が47.5%（29件）となっており、60歳代以上では5割前後が「必要である」と回答しています。一方、10・20歳代と30歳代では「必要でない」が8割を超えています。（図3-25-1）

図3-25-2 居住小学校区別 墓地の必要性

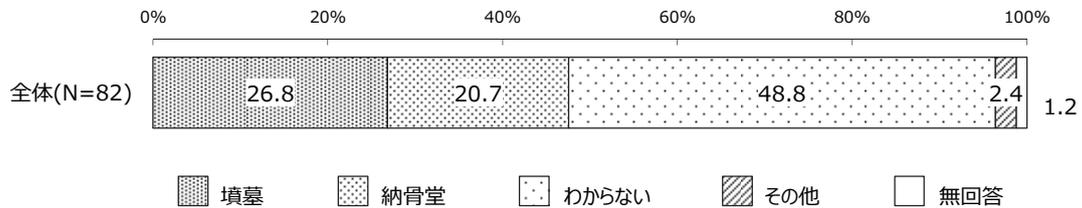


居住小学校区別にみると、深谷と寺田西では「必要である」の割合が「必要でない」の割合を上回っており、深谷が52.6%（10件）、寺田西が52.0%（13件）となっています。また、古川では「必要である」と「必要でない」の割合が50.0%（6件）ずつとなっています。（図3-25-2）

(26) 必要とする墓地の形態

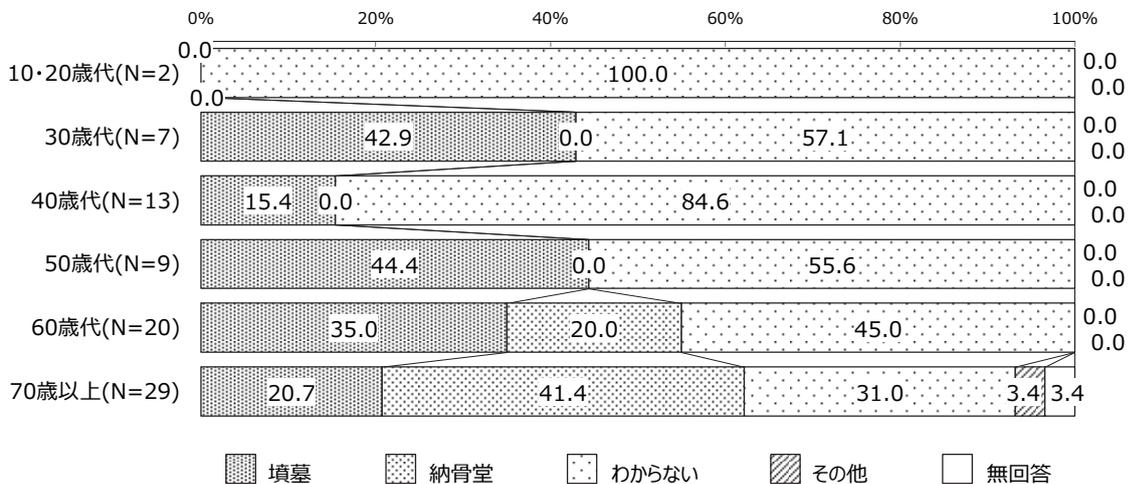
Ⅲ. 問 20-2 問 20-1 で「1. 必要である」と回答した方にお聞きします。どのような墓地の形態を必要とされていますか。

図3-26 必要とする墓地の形態



必要とする墓地の形態については、「墳墓」が26.8% (22件)、「納骨堂」が20.7% (17件) となっています。また、「わからない」は48.8% (40件) となっています。(図3-26)

図3-26-1 年齢別 必要とする墓地の形態

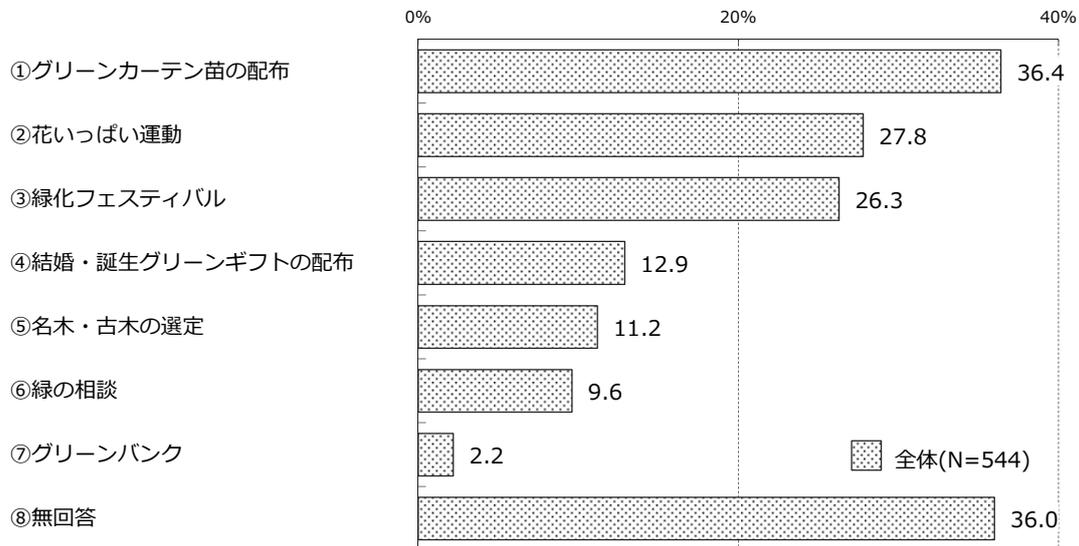


年齢別にみると、10・20歳代から50歳代までは「わからない」の割合が高くなっています。墓地の形態では、30歳代～50歳代では「墳墓」が挙げられています。60歳代以上では「墳墓」と「納骨堂」の両方が挙げられています。60歳代では「墳墓」が35.0% (7件)、70歳以上では「納骨堂」が41.4% (12件) と高くなっています。(図3-26-1)

(27) 市の緑化推進の施策で知っているもの

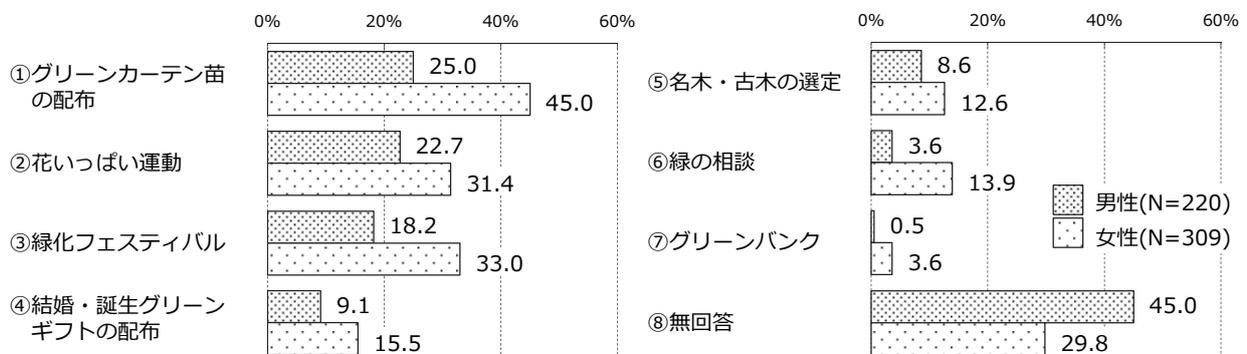
Ⅲ. 問 21 市の緑化施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

図3-27 市の緑化推進の施策で知っているもの



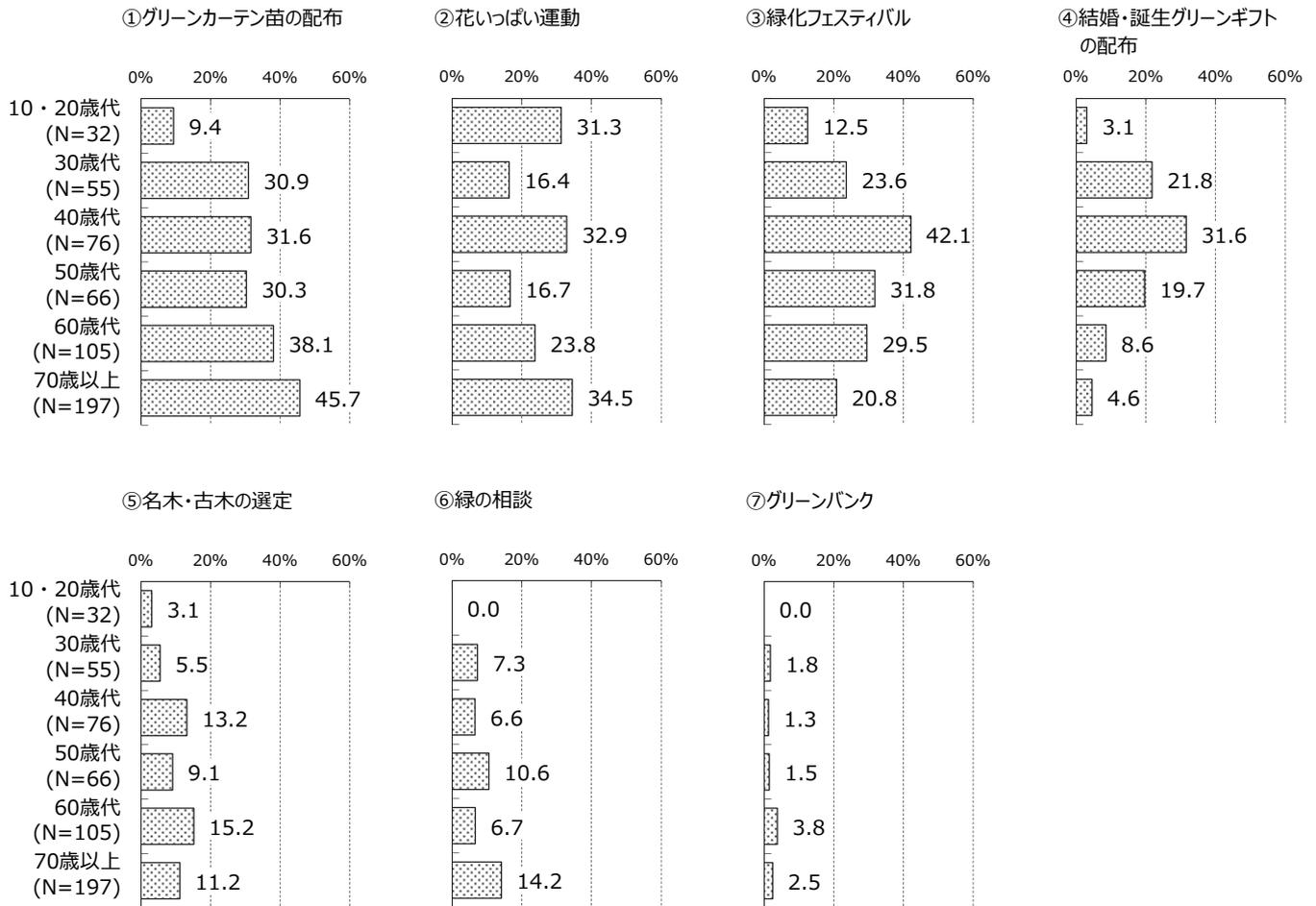
市の緑化推進の施策で知っているものについては、「①グリーンカーテン苗の配布」が36.4%（198件）と最も高く、次いで、「②花いっぱい運動」が27.8%（151件）、「③緑化フェスティバル」が26.3%（143件）、「④結婚・誕生グリーンギフトの配布」が12.9%（70件）、「⑤名木・古木の選定」が11.2%（61件）となっています。（図3-27）

図3-27-1 男女別 市の緑化推進の施策で知っているもの



男女別にみると、いずれの緑化施策も女性の方が高く、「①グリーンカーテン苗の配布」で20.0ポイント、「③緑化フェスティバル」で14.8ポイント、「⑥緑の相談」で10.3ポイント高くなっています。（図3-27-1）

図3-27-2 年齢別 市の緑化推進の施策で知っているもの

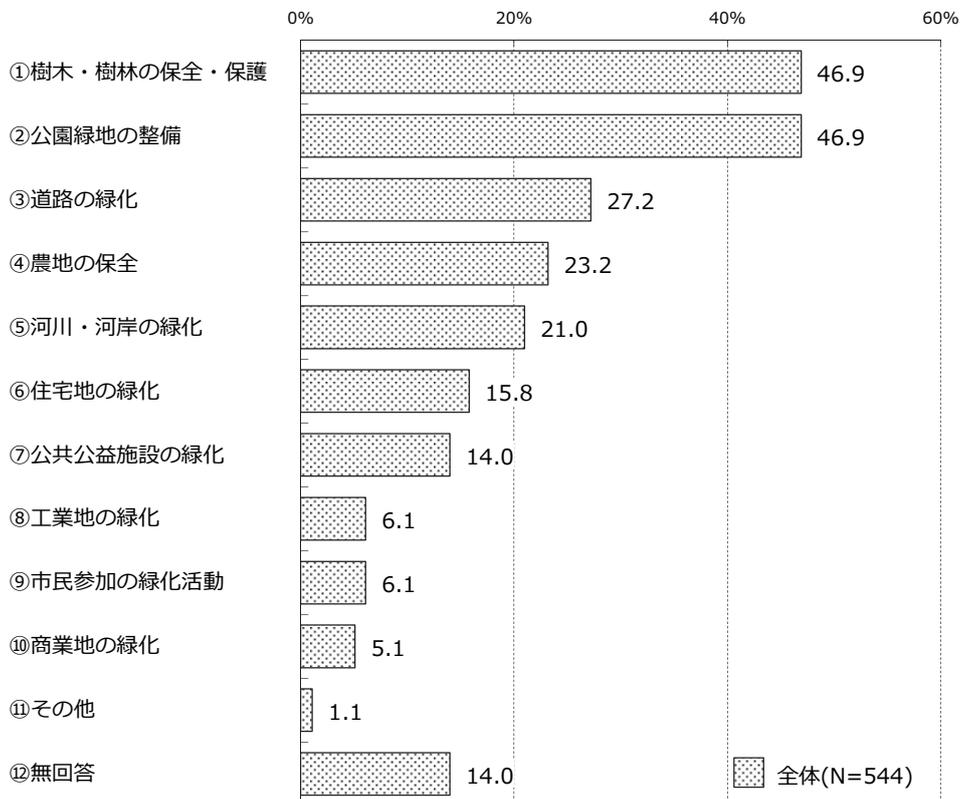


年齢別にみると、40歳代では「③緑化フェスティバル」42.1%（32件）が最も高く、「④結婚・誕生グリーンギフトの配布」31.6%（24件）も他の年代より高くなっています。70歳以上では「①グリーンカーテン苗の配布」が45.7%（90件）と他の年代よりも高い割合となっています。（図3-27-2）

(28) 市の緑化推進のために必要だと思うもの

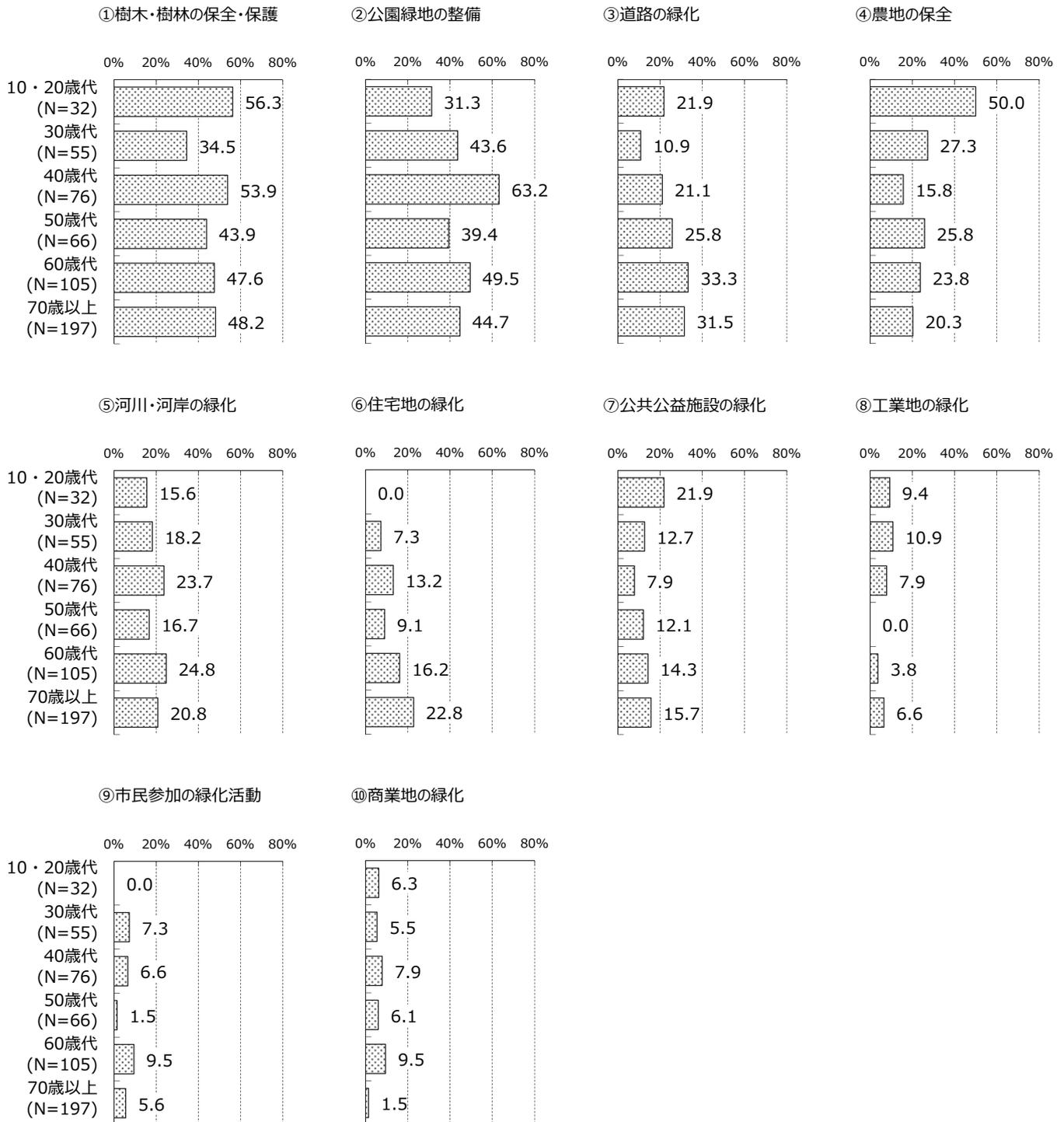
Ⅲ. 問 22 今後、城陽市が一層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われますか。次の中から3つ以内で○をつけてください。

図3-28 市の緑化推進のために必要だと思うもの



市の緑化推進のために必要だと思うものについては、「①樹木・樹林の保全・保護」と「②公園緑地の整備」がともに46.9% (255件) で最も高くなっています。次いで、「③道路の緑化」が27.2% (148件)、「④農地の保全」が23.2% (126件)、「⑤河川・河岸の緑化」が21.0% (114件)、「⑥住宅地の緑化」が15.8% (86件)、「⑦公共公益施設の緑化」が14.0% (76件) となっています。(図3-28)

図3-28-1 年齢別 市の緑化推進のために必要だと思うもの

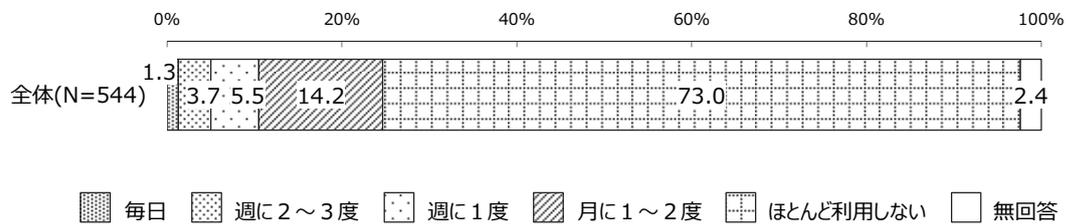


年齢別にみると、10・20歳代と40歳代では「①樹木・樹林の保全・保護」の割合が5割を超えて高くなっています。また、10・20歳代では「④農地の保全」が50.0%（16件）、40歳代では「②公園緑地の整備」が63.2%（48件）と高くなっています。70歳以上では「⑥住宅地の緑化」が22.8%（45件）と他の年代より高くなっています。（図3-28-1）

(29) 公園の利用頻度

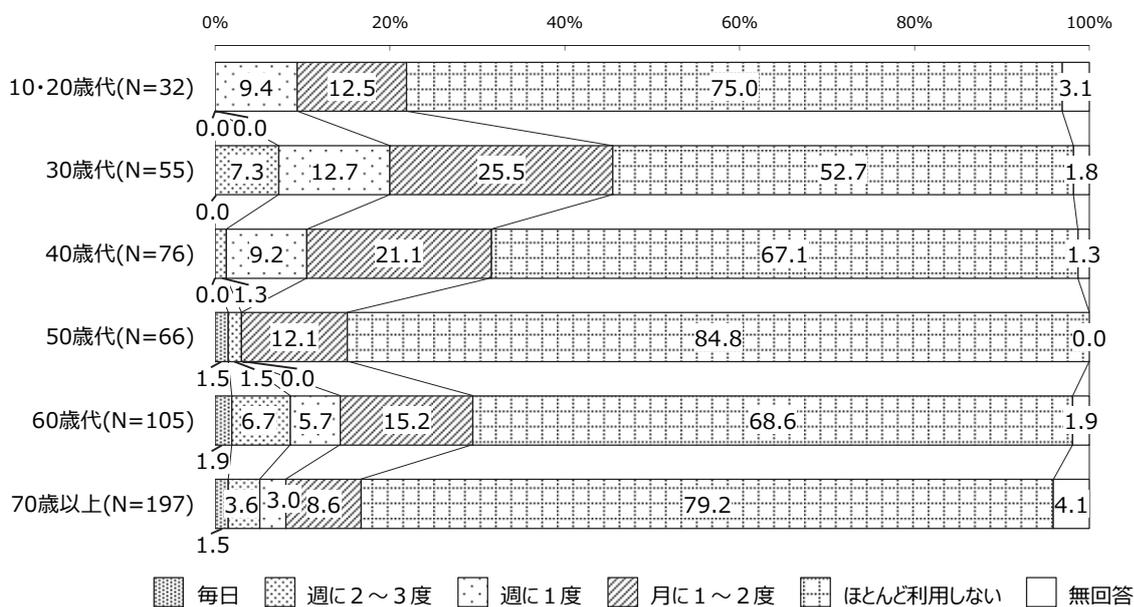
Ⅲ. 問 23 あなたはどのくらいの頻度で公園を利用しますか。

図3-29 公園の利用頻度



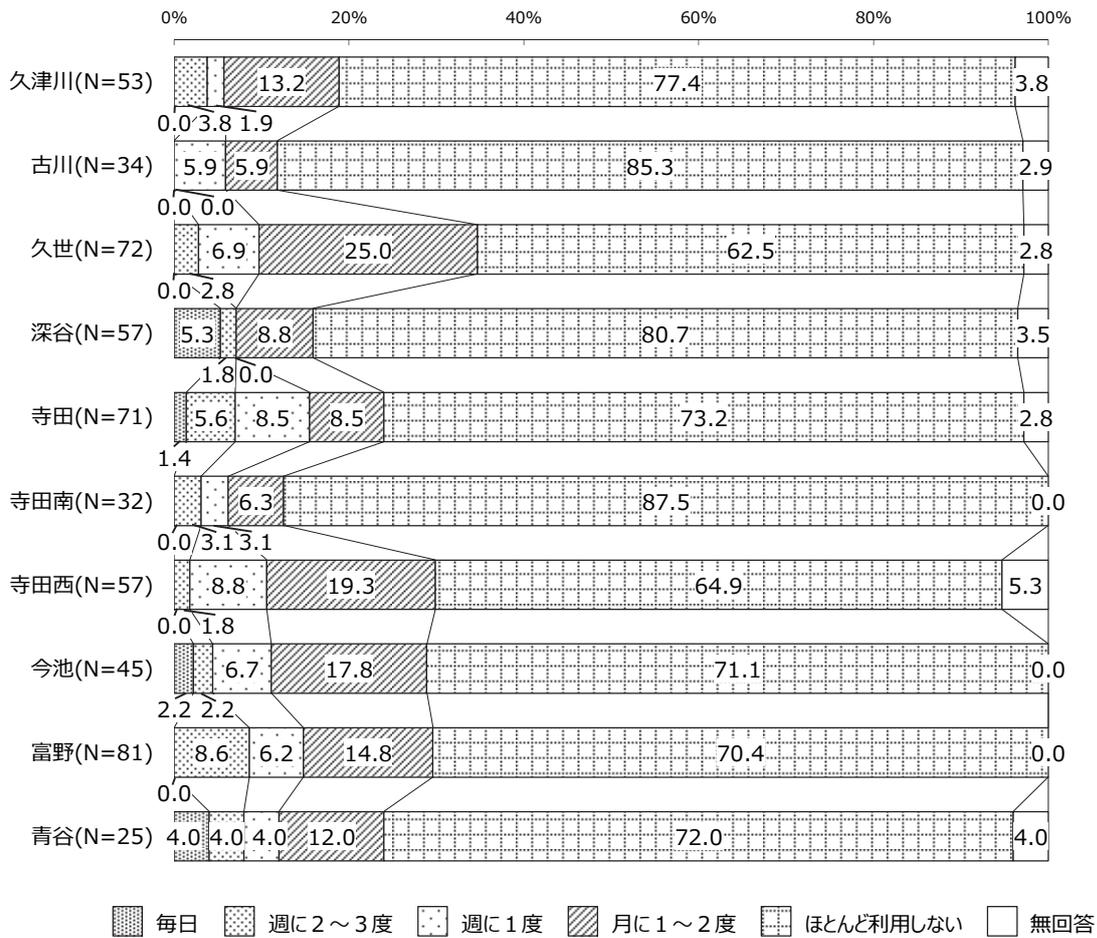
公園の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が73.0% (397件) と多数を占めており、「月に1~2度」が14.2% (77件)、「週に1度」が5.5% (30件)、「週に2~3度」が3.7% (20件) となっています。(図3-29)

図3-29-1 年齢別 公園の利用頻度



年齢別にみると、30歳代では「ほとんど利用しない」が52.7% (29件) と他の年代より低くなっており、「月に1~2度」が25.5% (14件)、「週に1度」が12.7% (7件) と他の年代より高くなっています。また、40歳代でも「月に1~2度」が21.1% (16件) と高く2割を超えています。一方、50歳代では「ほとんど利用しない」が84.8% (56件) と高く8割以上を占めています。(図3-29-1)

図3-29-2 居住小学校区別 公園の利用頻度

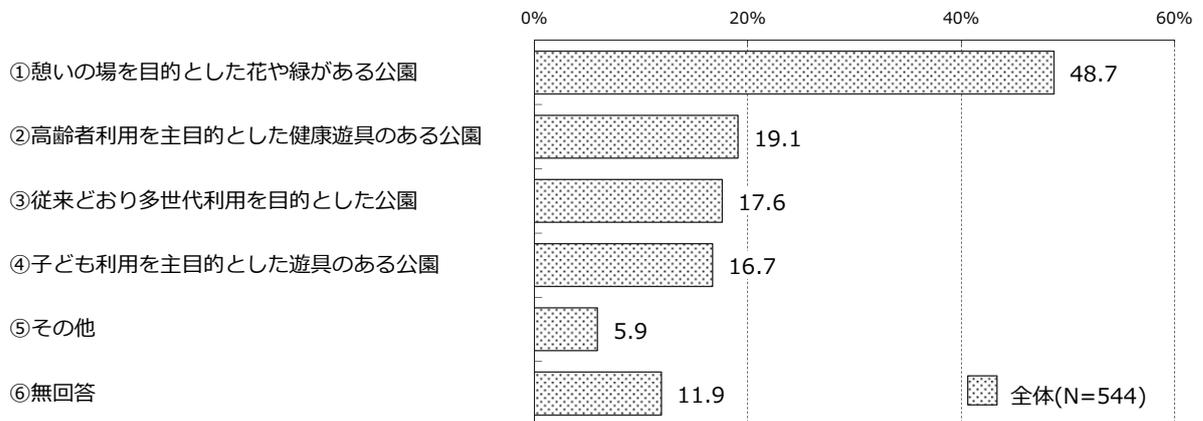


居住小学校区別にみると、久世と寺田西では「ほとんど利用しない」が6割台で他の小学校区より低くなっており、久世では「月に1~2度」が25.0%（18件）と他の小学校区より高くなっています。一方、寺田南と古川と深谷では「ほとんど利用しない」が8割台と他の小学校区より高くなっています。（図3-29-2）

(30) 利用したい公園

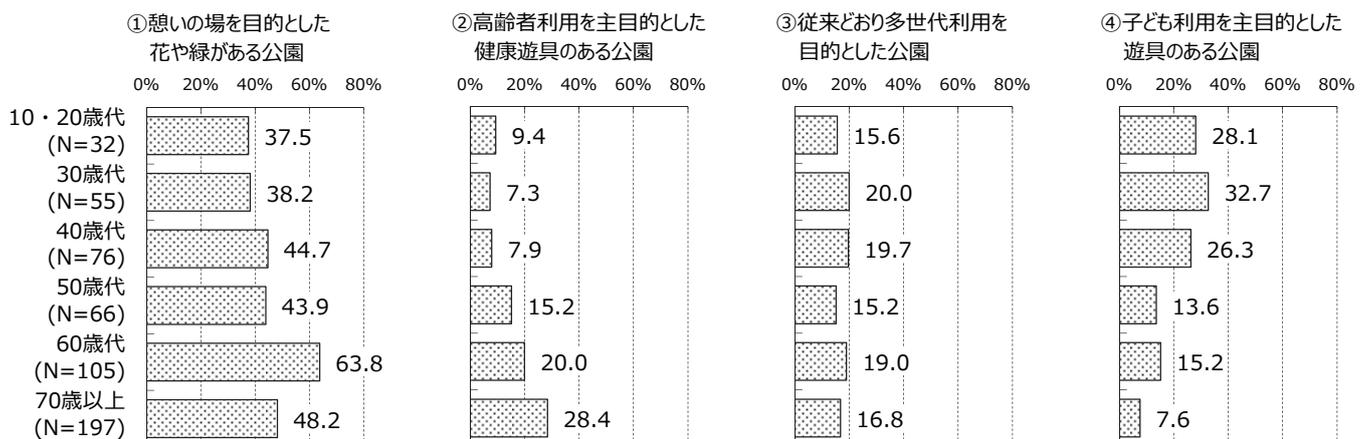
Ⅲ. 問 24 あなたのご自宅周辺の公園がどのような公園であればもっと利用できると思いますか。

図3-30 利用したい公園



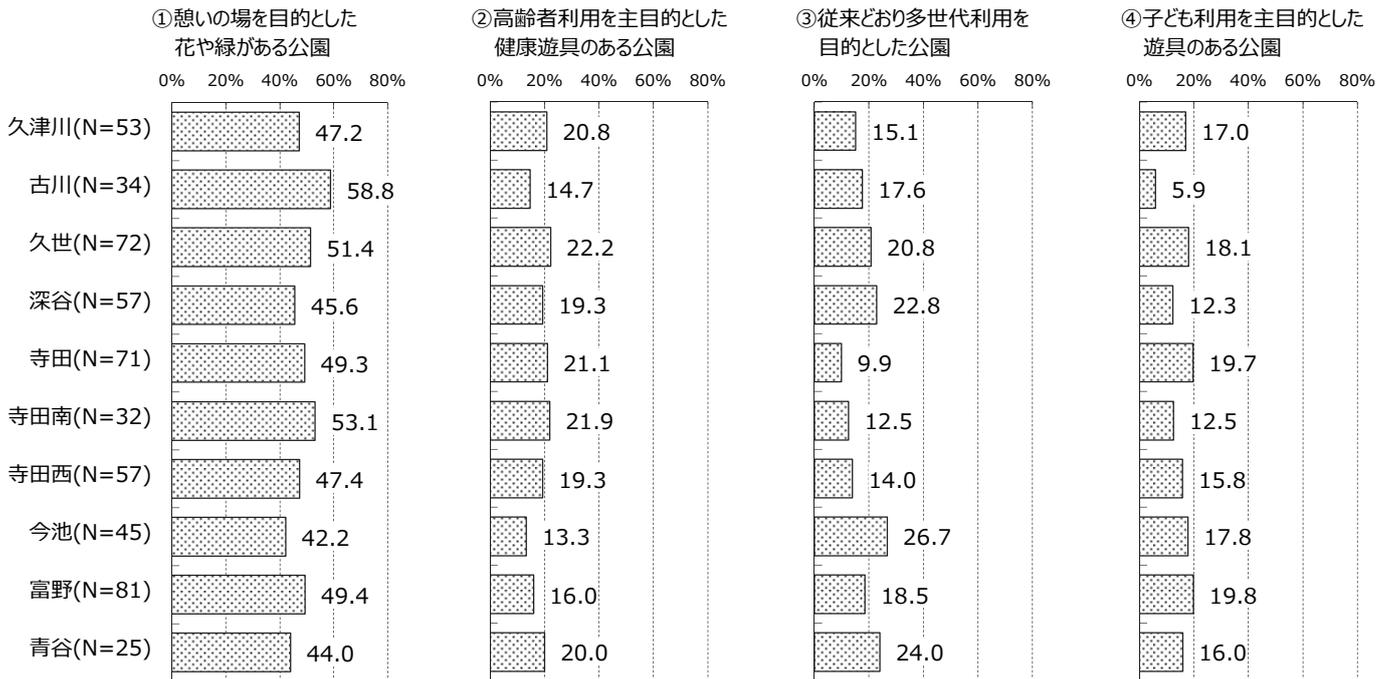
利用したい公園については、「①憩いの場を目的とした花や緑がある公園」が48.7% (265件) を占め、「②高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園」19.1% (104件)、「③従来どおり多世代利用を目的とした公園」17.6% (96件)、「④子ども利用を主目的とした遊具のある公園」16.7% (91件) の順となっています。(図3-30)

図3-30-1 年齢別 利用したい公園



年齢別にみると、50歳代以上では「②高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園」、40歳代以下では「④子ども利用を主目的とした遊具のある公園」の割合が高くなっています。また、60歳代では「①憩いの場を目的とした花や緑がある公園」が63.8% (67件) と最も高くなっています。(図3-30-1)

図3-30-2 居住小学校区別 利用したい公園

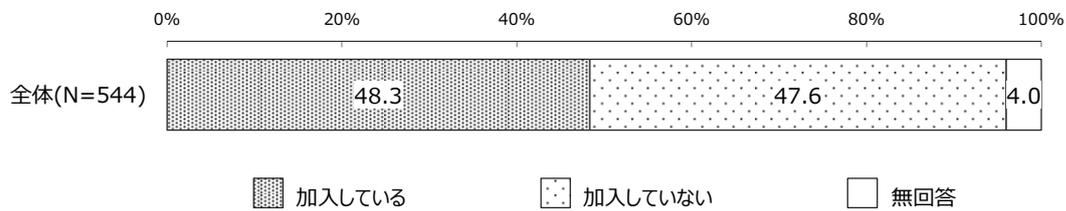


居住小学校区別にみると、古川と久世と寺田南では「①憩いの場を目的とした花や緑がある公園」が他の小学校区よりやや高くなっています。今池では「③従来どおり多世代利用を目的とした公園」が26.7%（12件）と他の小学校区よりやや高くなっています。（図3-30-2）

(31) 自転車損害賠償保険等の加入状況

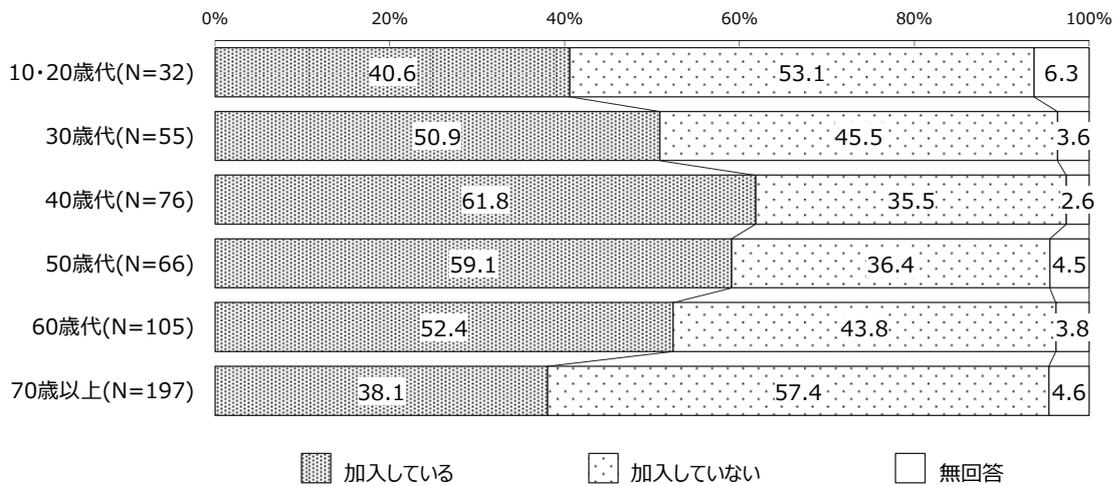
Ⅲ. 問 25 あなたは自転車損害賠償保険等へ加入していますか。

図3-31 自転車損害賠償保険等の加入状況



自転車損害賠償保険等の加入状況については、「加入している」が48.3% (263件)、「加入していない」が47.6% (259件) となっており、加入割合は5割未満となっています。(図3-31)

図3-31-1 年齢別 自転車損害賠償保険等の加入状況

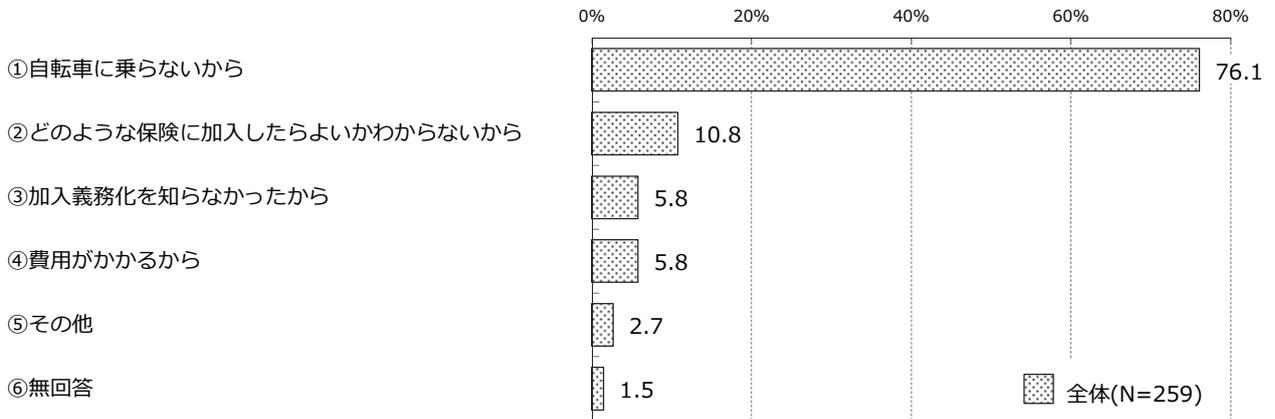


年齢別にみると、30歳代から60歳代では「加入している」が5割を超えており、40歳代では61.8% (47件) と最も高くなっています。10・20歳代と70歳以上では「加入している」が4割前後にとどまり、70歳以上では「加入していない」が57.4% (113件) となっています。(図3-31-1)

(32) 自転車損害賠償保険等に加入していない理由

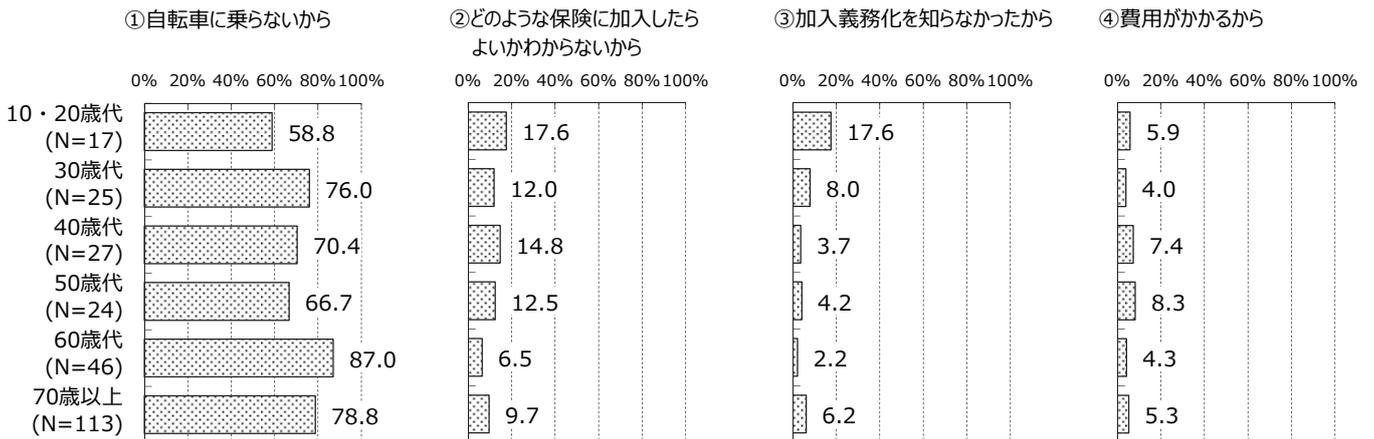
Ⅲ. 問 25-1 問 25 で「2. 加入していない」と回答した方にお聞きします。自転車損害賠償保険等へ加入していない理由は何ですか。

図3-32 自転車損害賠償保険等に加入していない理由



自転車損害賠償保険等に加入していない理由については、「①自転車に乗らないから」が76.1% (197件) を占め、「②どのような保険に加入したらよいかわからないから」が10.8% (28件)、「③加入義務化を知らなかったから」と「④費用がかかるから」がともに5.8% (15件) となっています。(図3-32)

図3-32-1 年齢別 自転車損害賠償保険等に加入していない理由

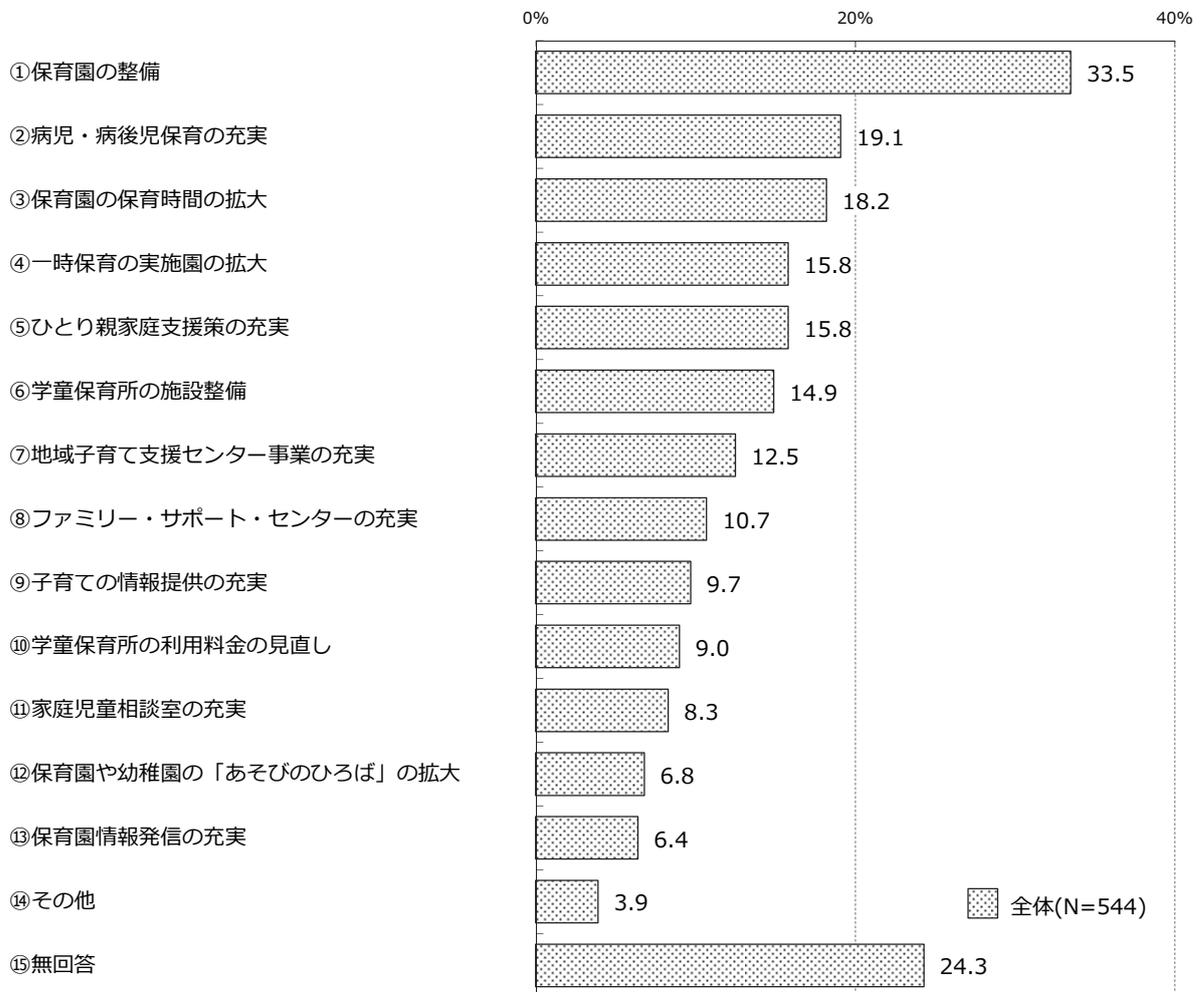


年齢別にみると、いずれの年代も「①自転車に乗らないから」が多数を占めており、60歳代では87.0% (40件) と最も高くなっています。10・20歳代では「②どのような保険に加入したらよいかわからないから」「③加入義務化を知らなかったから」の割合が他の年代よりやや高くなっています。(図3-32-1)

(33) 子育て支援充実のために必要だと思う施策

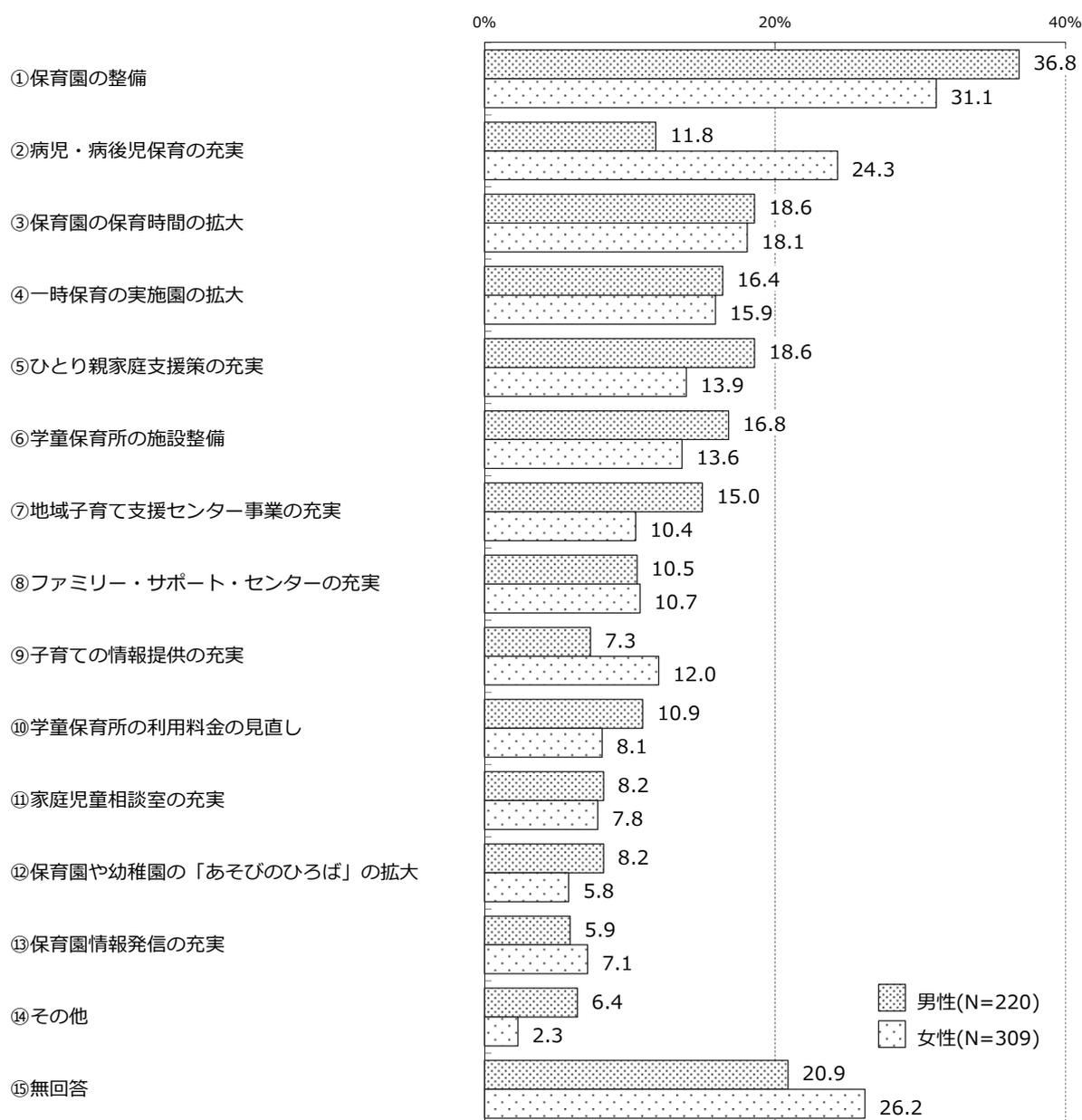
Ⅲ. 問 26 子育て支援の充実のためには、城陽市では今後特にどんな施策が必要だと思いますか。3つ以内で○をつけてください。

図3-33 子育て支援充実のために必要だと思う施策



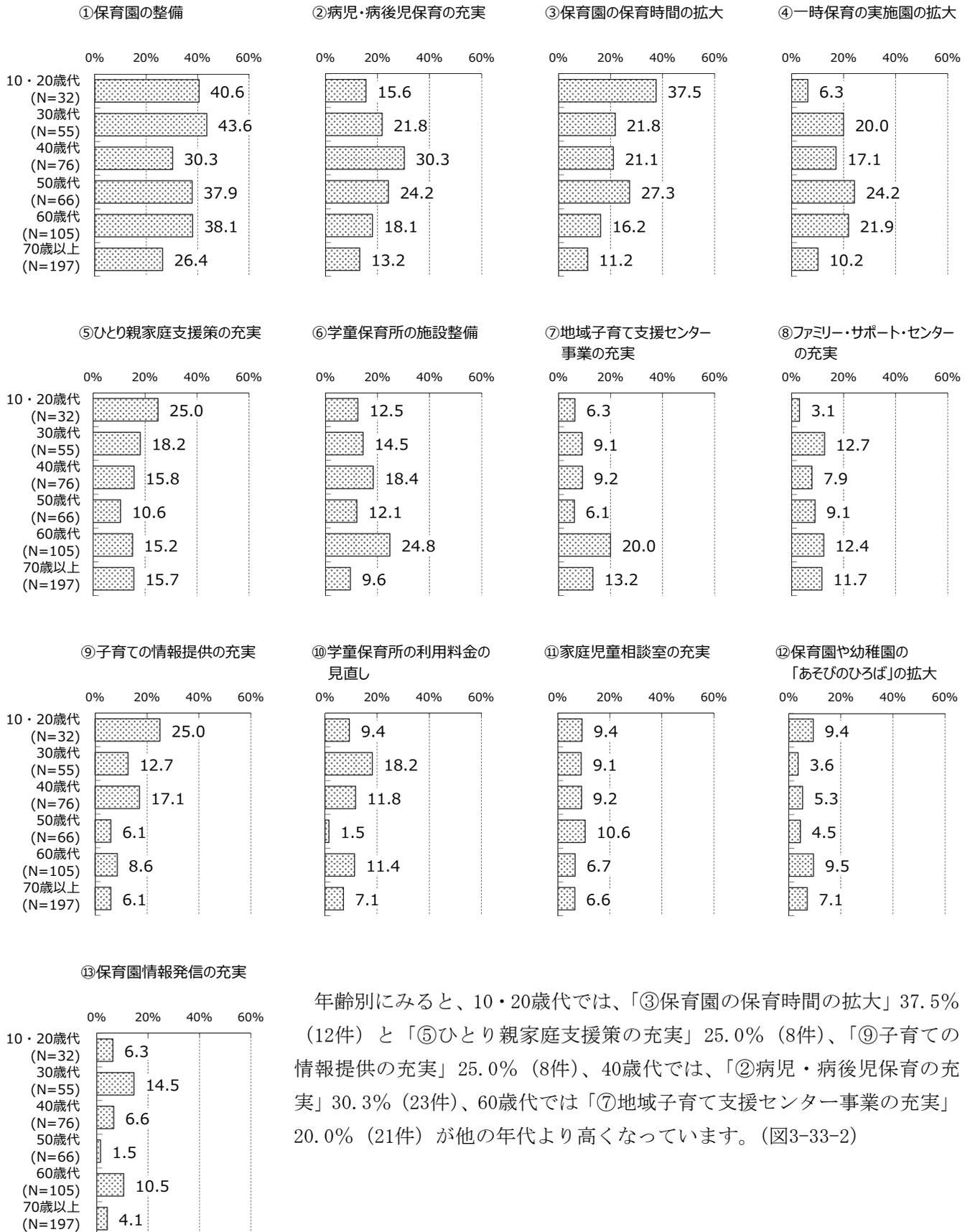
子育て支援充実のために必要だと思う施策については、「①保育園の整備」が33.5%（182件）と最も高く、次いで、「②病児・病後児保育の充実」が19.1%（104件）、「③保育園の保育時間の拡大」が18.2%（99件）、「④一時保育の実施園の拡大」「⑤ひとり親家庭支援策の充実」がともに15.8%（86件）、「⑥学童保育所の施設整備」が14.9%（81件）と続いています。（図3-33）

図3-33-1 男女別 子育て支援充実のために必要だと思う施策



男女別にみると、男女とも「①保育園の整備」が最も高く、男性の方が5.7ポイント高くなっています。女性では「②病児・病後児保育の充実」が24.3%（75件）で、男性11.8%（26件）とは12.5ポイントの差がみられます。また、「⑨子育ての情報提供の充実」も女性の方が4.7ポイント高くなっています。男性では、「⑤ひとり親家庭支援策の充実」「⑦地域子育て支援センター事業の充実」がいずれも女性より約5ポイント高くなっています。（図3-33-1）

図3-33-2 年齢別 子育て支援充実のために必要だと思う施策

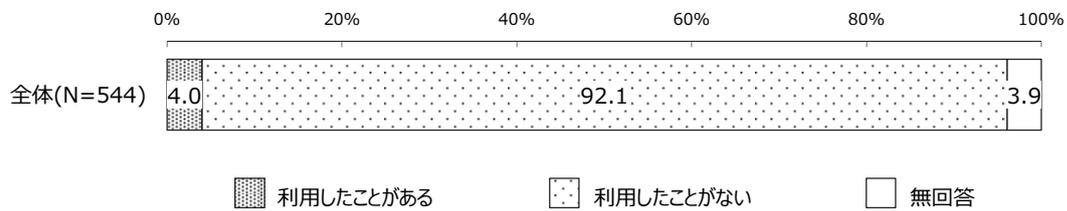


年齢別にみると、10・20歳代では、「③保育園の保育時間の拡大」37.5%（12件）と「⑤ひとり親家庭支援策の充実」25.0%（8件）、「⑨子育ての情報提供の充実」25.0%（8件）、40歳代では、「②病児・病後児保育の充実」30.3%（23件）、60歳代では「⑦地域子育て支援センター事業の充実」20.0%（21件）が他の年代より高くなっています。（図3-33-2）

(34) 城陽市消費生活センターの利用状況

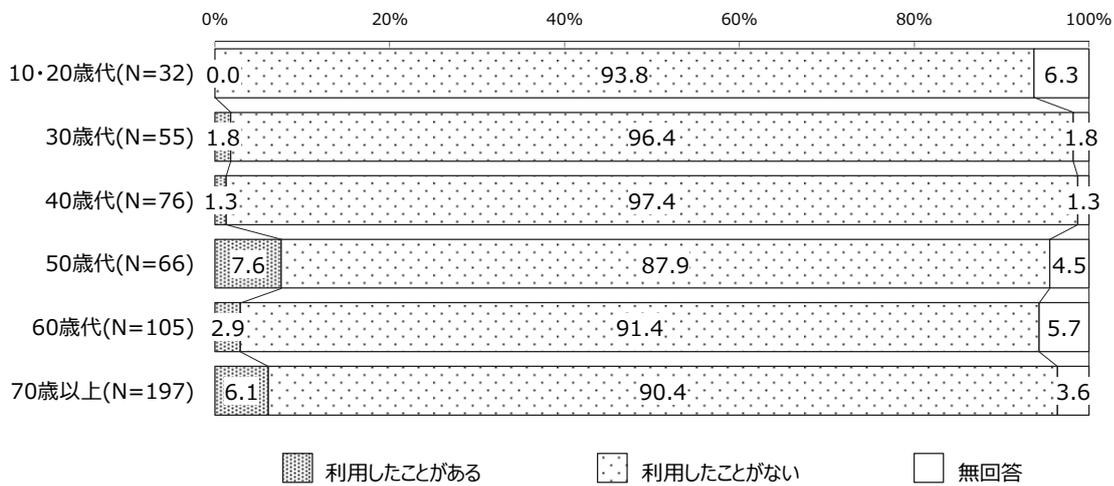
Ⅲ. 問 27 城陽市消費生活センターを利用したことがありますか。

図3-34 城陽市消費生活センターの利用状況



城陽市消費生活センターの利用状況については、「利用したことがない」が92.1%（501件）を占め、「利用したことがある」は4.0%（22件）となっています。（図3-34）

図3-34-1 年齢別 城陽市消費生活センターの利用状況

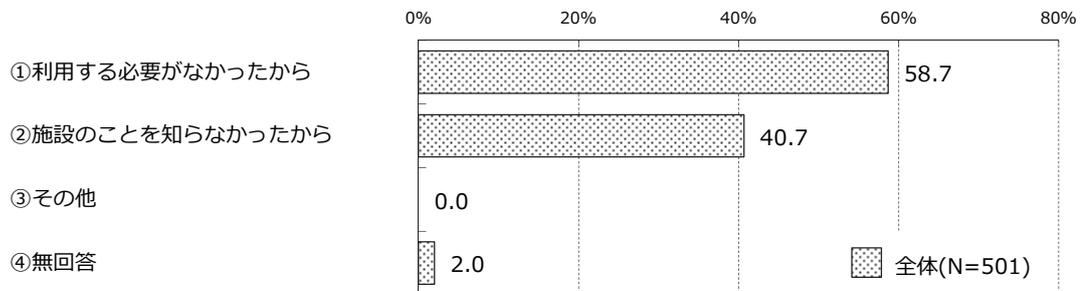


年齢別にみると、50歳代と70歳以上では「利用したことがある」の割合がやや高く6%を超えています。（図3-34-1）

(35) 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由

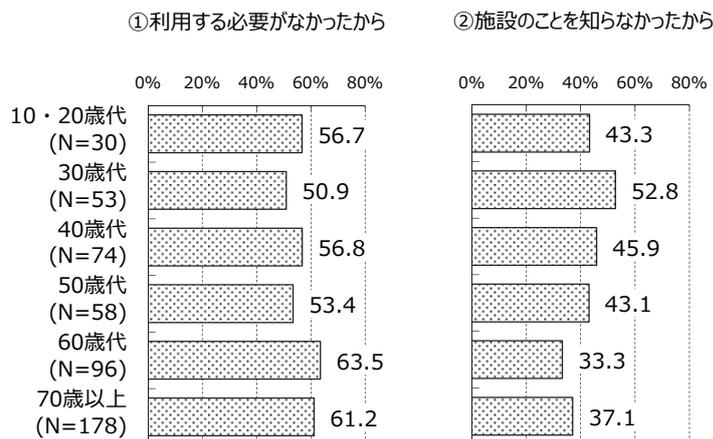
Ⅲ. 問 27-1 問 27 で「2. 利用したことがない」と回答した方にお聞きします。城陽市消費生活センターを利用したことがない理由を教えてください。

図3-35 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由



城陽市消費生活センターを利用したことがない理由については、「①利用する必要がなかったから」が58.7%（294件）を占め、「②施設のことを知らなかったから」が40.7%（204件）となっています。（図3-35）

図3-35-1 年齢別 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由

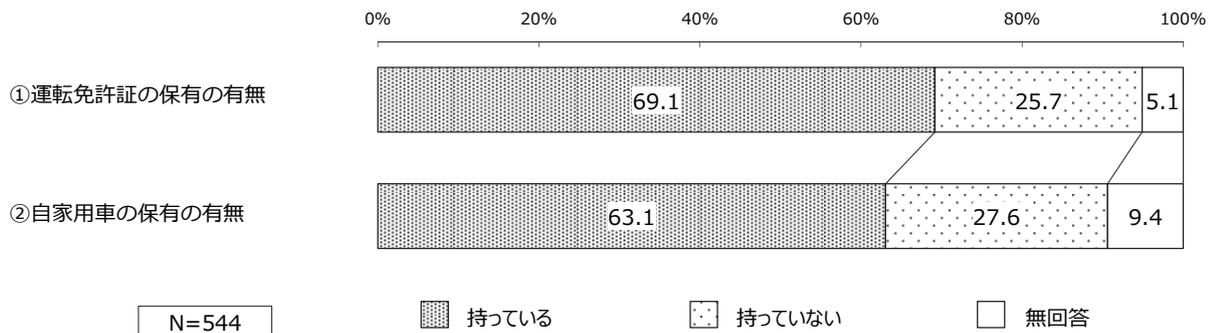


年齢別にみると、60歳代以上では「①利用する必要がなかったから」が高く、60歳代が63.5%（61件）、70歳以上が61.2%（109件）と6割を超えています。30歳代では「②施設のことを知らなかったから」が52.8%（28件）と高く5割を超えています。（図3-35-1）

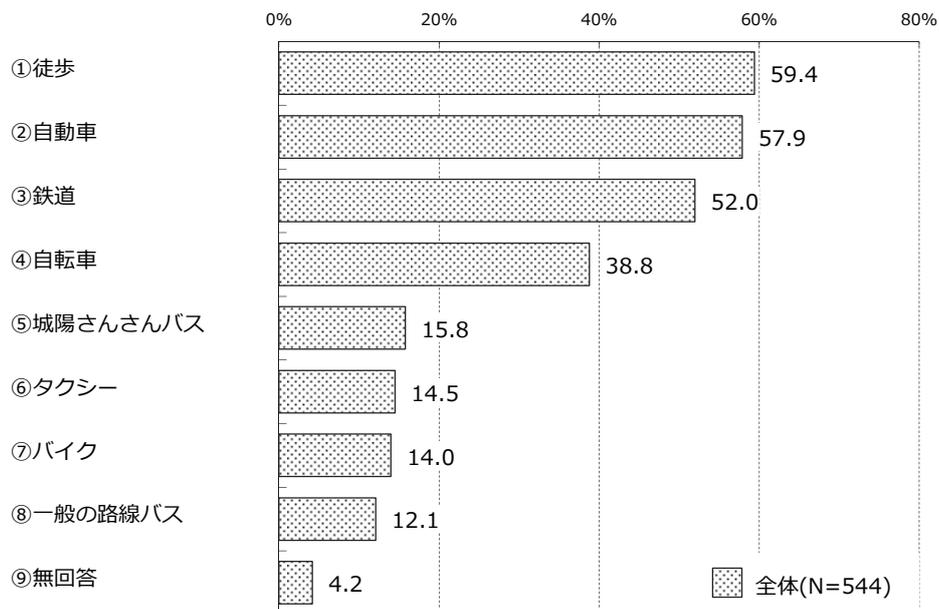
(36) 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について

Ⅲ. 問 28 あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、自家用車（バイク含む）をお持ちですか。いずれかに○をつけてください。また、外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-36 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について



③外出時の主な交通手段

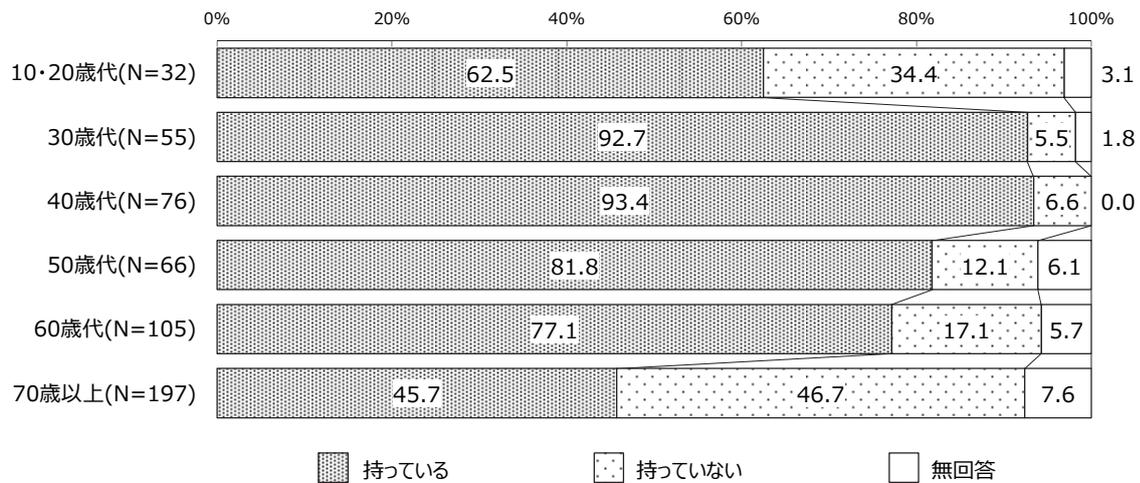


「①免許証の保有の有無」については、「持っている」が69.1%（376件）となっています。

「②自家用車の保有の有無」については、「持っている」が63.1%（343件）となっています。

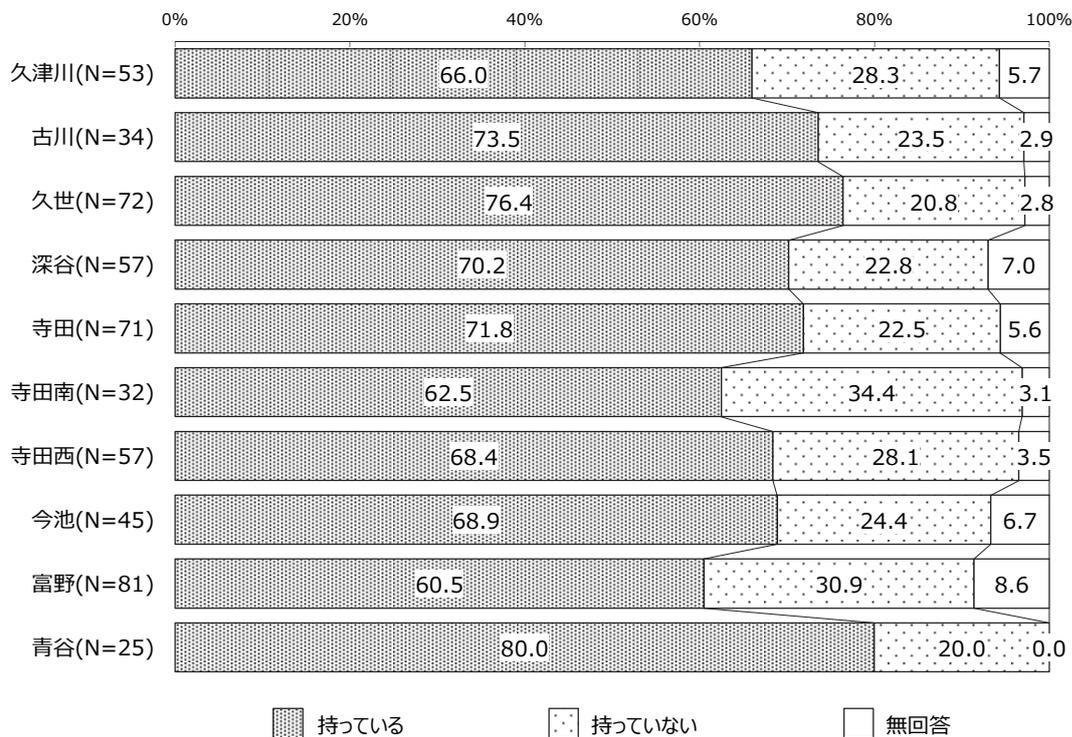
「③外出時の主な交通手段」については、「①徒歩」が59.4%（323件）で最も高く、次いで「②自動車」が57.9%（315件）、「③鉄道」が52.0%（283件）、「④自転車」が38.8%（211件）と続いています。（図3-36）

図3-36-1 年齢別 運転免許証の有無



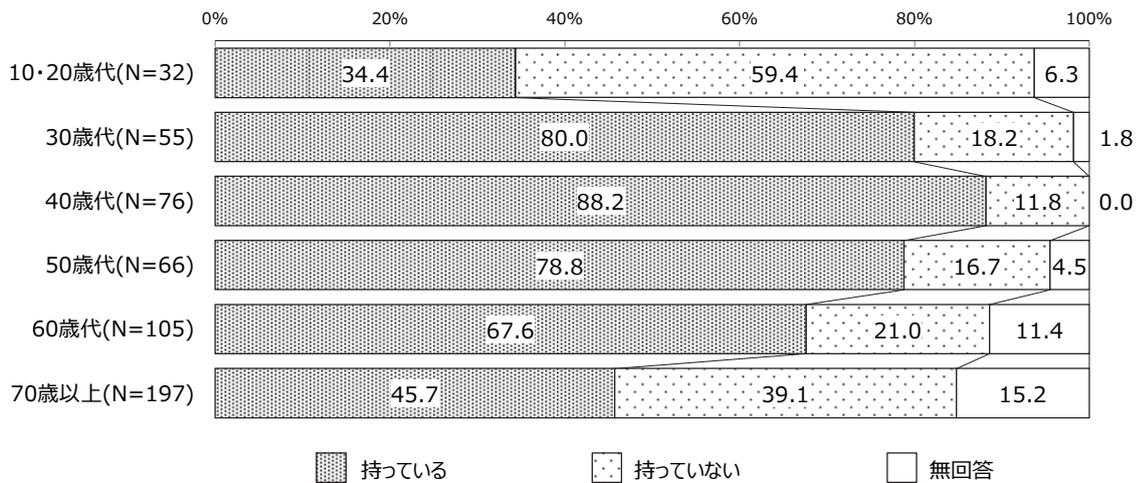
年齢別にみると、運転免許証を「持っている」割合は30歳代で92.7% (51件)、40歳代で93.4% (71件) と特に高くなっています。70歳以上では「持っていない」が46.7% (92件) と、「持っている」の45.7% (90件) より割合が高くなっています。(図3-36-1)

図3-36-2 居住小学校区別 運転免許証の有無



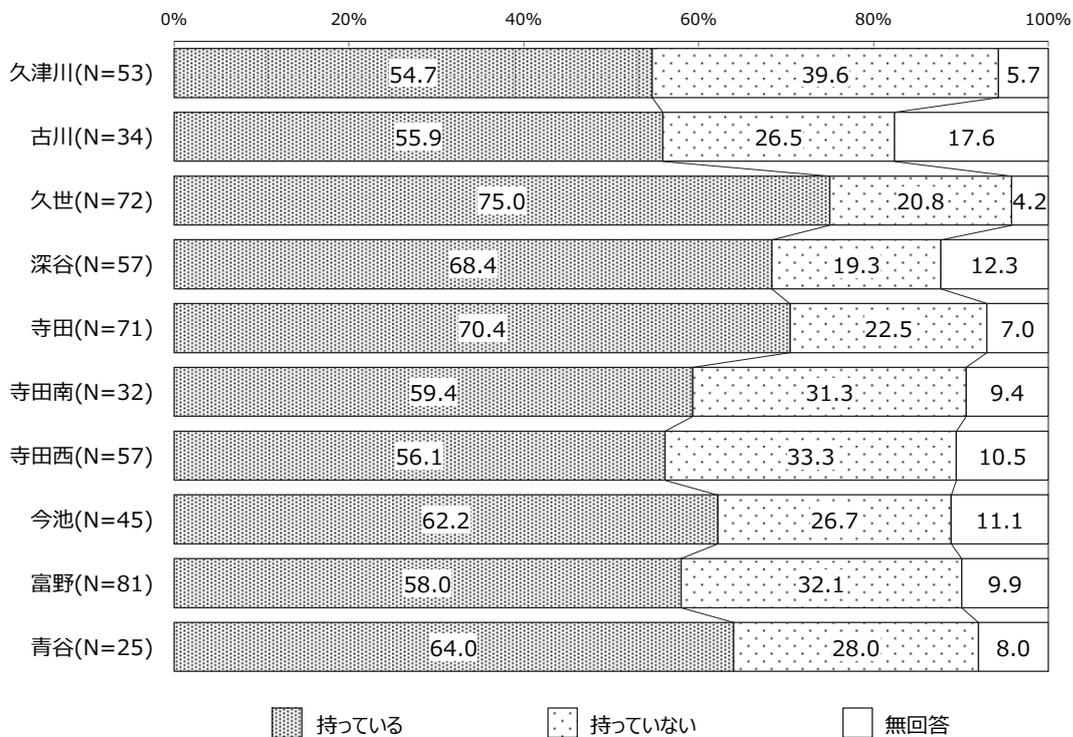
居住小学校区別にみると、運転免許証を「持っている」割合がいずれの小学校区でも6割以上と高くなっています。「持っていない」割合は久津川、寺田南、寺田西、富野でやや高く約3割となっています。(図3-36-2)

図3-36-3 年齢別 自家用車の保有の有無



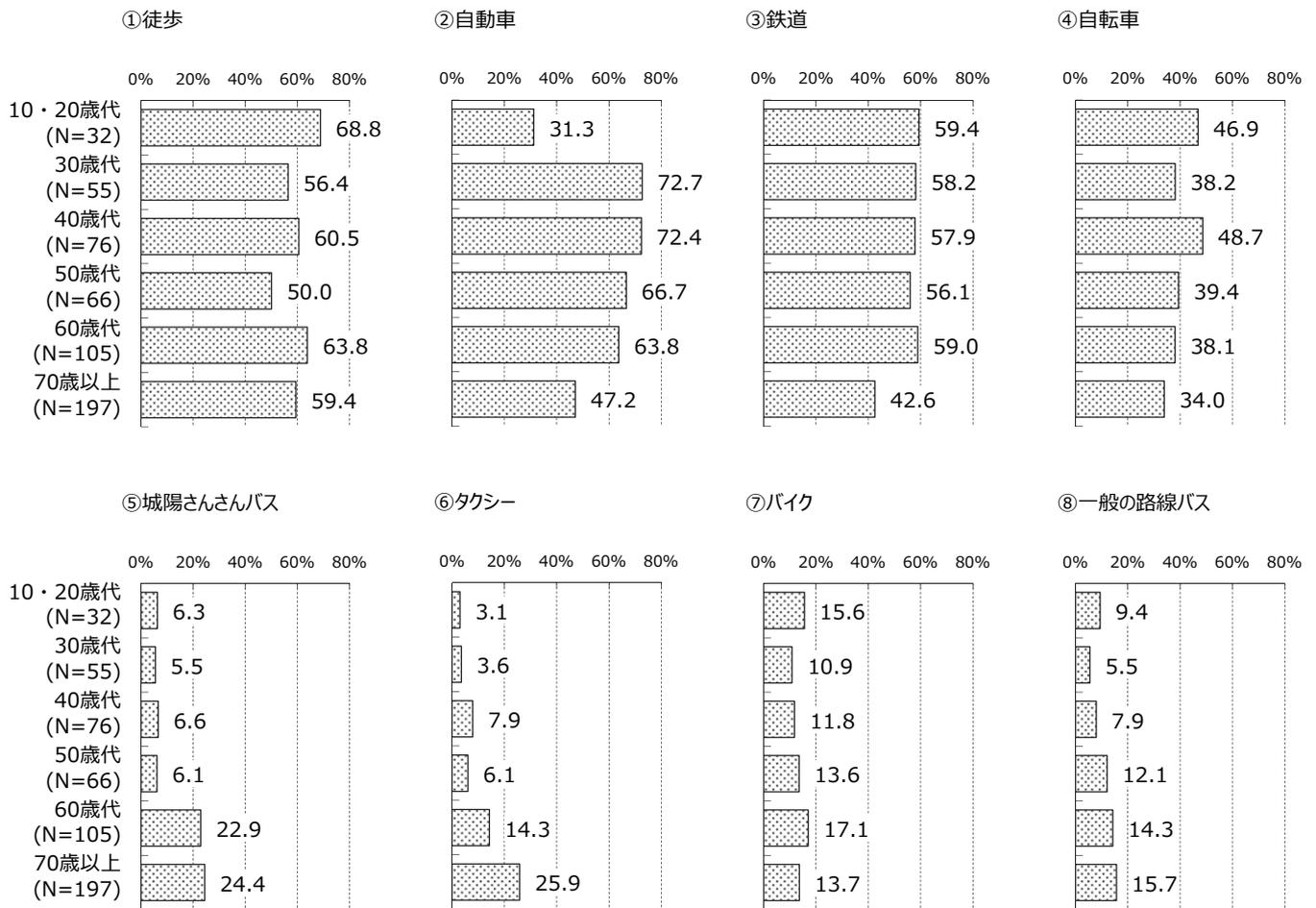
年齢別にみると、自家用車を「持っている」割合は40歳代では88.2%（67件）、30歳代と50歳代でも約8割と高くなっています。10・20歳代と70歳以上では「持っている」の割合が低く、10・20歳代で34.4%（11件）、70歳以上で45.7%（90件）となっています。（図3-36-3）

図3-36-4 居住小学校区別 自家用車の保有の有無



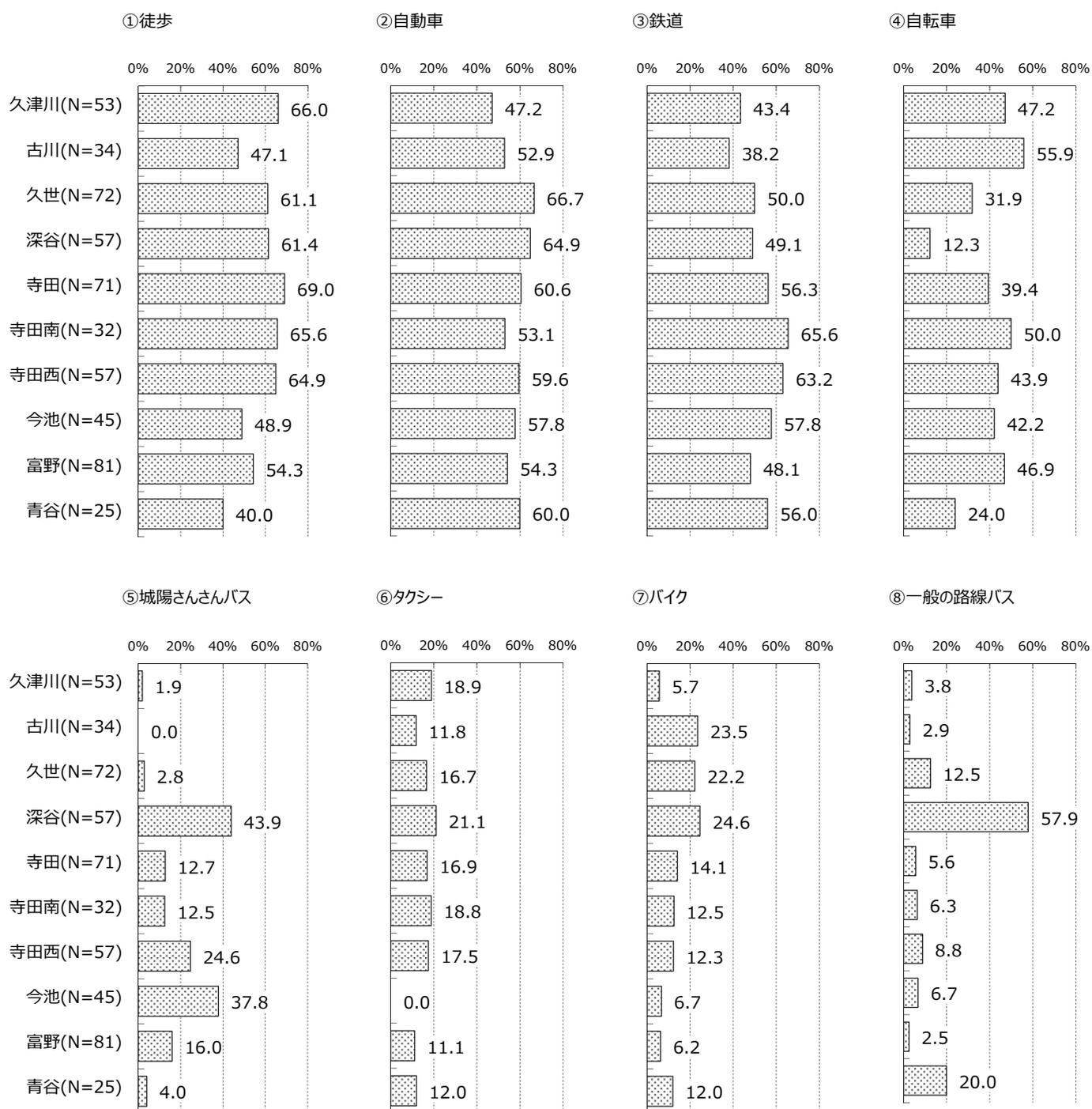
居住小学校区別にみると、久世、深谷、寺田では「持っている」の割合が他の小学校区よりも高くなっています。（図3-36-4）

図3-36-5 年齢別 外出時の交通手段について



年齢別にみると、10・20歳代は「徒歩」が68.8%（22件）で最も高くなっており、「自動車」は31.3%（10件）にとどまっています。30歳代から60歳代の年代では「自動車」が最も高くなっています。「城陽さんさんバス」については、60歳代で22.9%（24件）、70歳以上で24.4%（48件）となっています。（図3-36-5）

図3-36-6 居住小学校区別 外出時の交通手段について

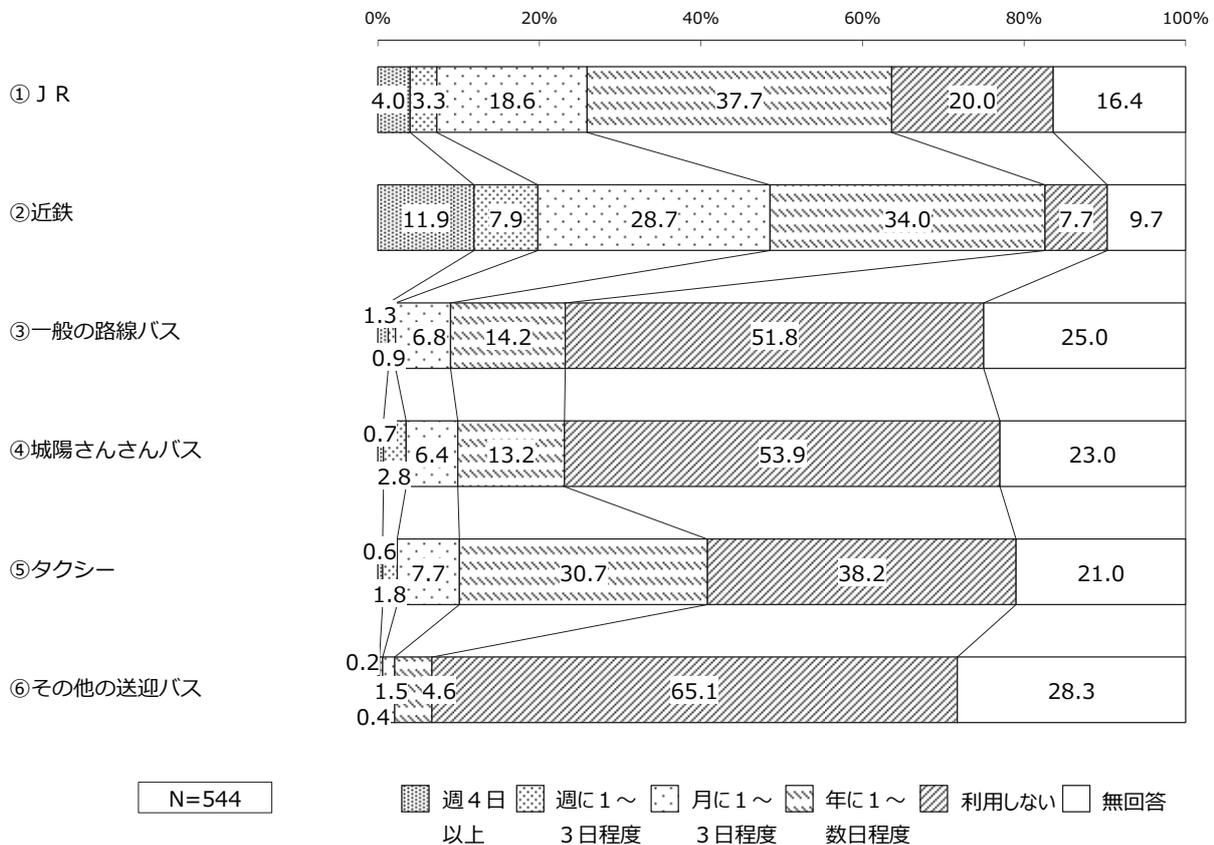


居住小学校区別にみると、古川では「自転車」が55.9%（19件）で最も高い割合となっています。深谷は「自転車」が他の小学校区よりも低く、「一般の路線バス」が57.9%（33件）、「城陽さんさんバス」が43.9%（25件）と高くなっています。今池でも「城陽さんさんバス」は37.8%（17件）と比較的高くなっています。寺田南と寺田西では、「鉄道」が6割以上と他の小学校区よりも高くなっています。（図3-36-6）

(37) 公共交通機関の利用頻度

Ⅲ. 問 29 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

図3-37 公共交通機関の利用頻度



「① JR」の利用頻度は、「年に1～数日程度」が37.7%（205件）と最も高く、少なくとも月1回以上利用する人は合計25.9%（141件）となっています。

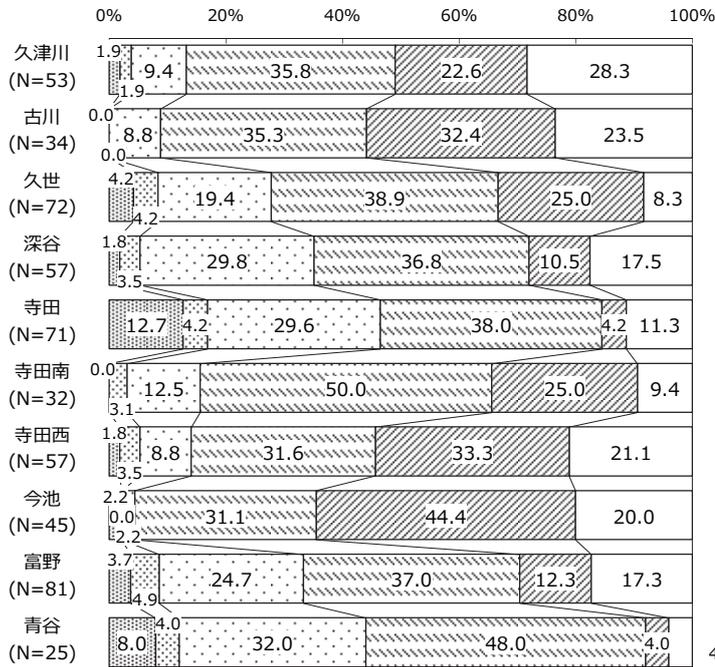
「②近鉄」の利用頻度は、「週4日以上」が11.9%（65件）、「週に1～3日程度」が7.9%（43件）、「月に1～3日程度」が28.7%（156件）となっており、少なくとも月1回以上利用する人が合計48.5%（264件）を占め、「利用しない」は1割未満となっています。

「③一般の路線バス」、「④城陽さんさんバス」、「⑥その他の送迎バス」の利用頻度は、いずれも「利用しない」が5割を超えています。

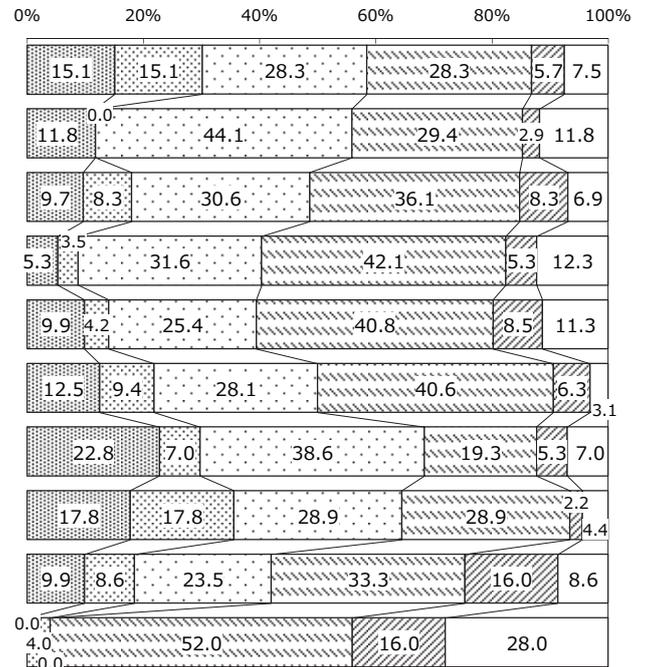
「⑤タクシー」の利用頻度は、「利用しない」が38.2%（208件）で最も高く、次いで、「年に1～数日程度」が30.7%（167件）となっています。（図3-37）

図3-37-1 居住小学校区別 公共交通機関の利用頻度

① J R

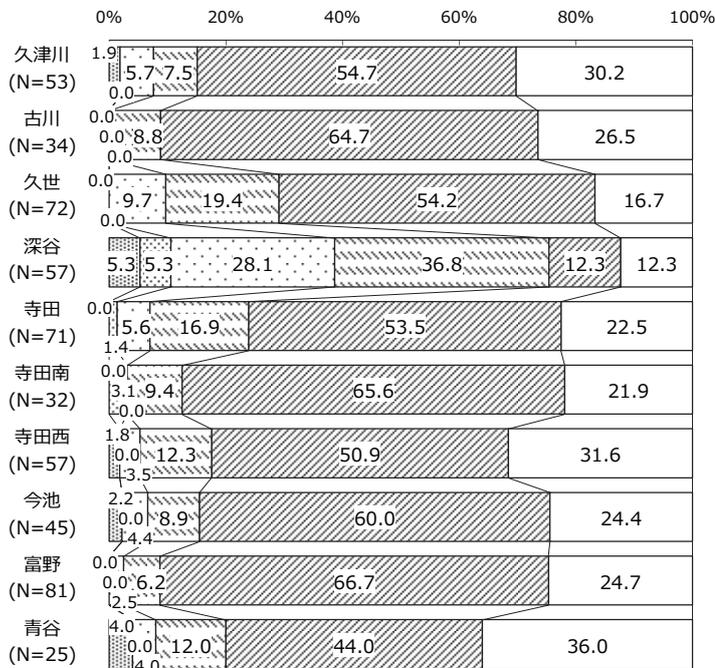


② 近鉄

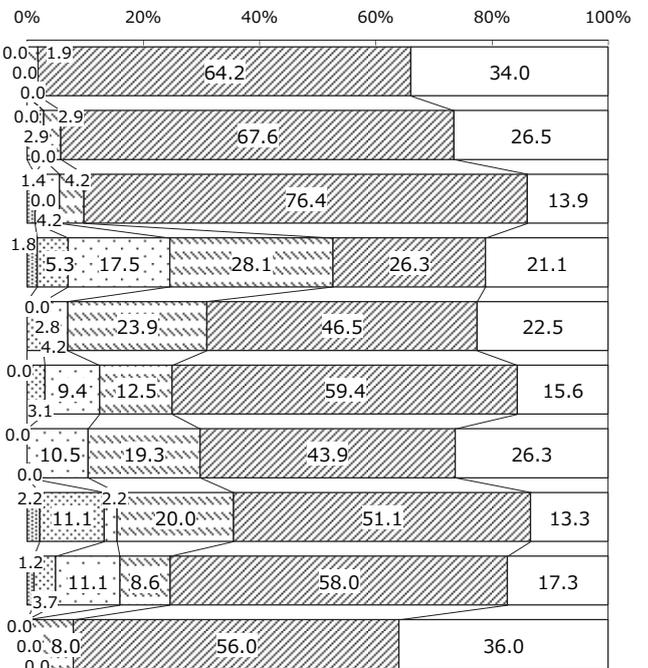


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

③ 一般の路線バス

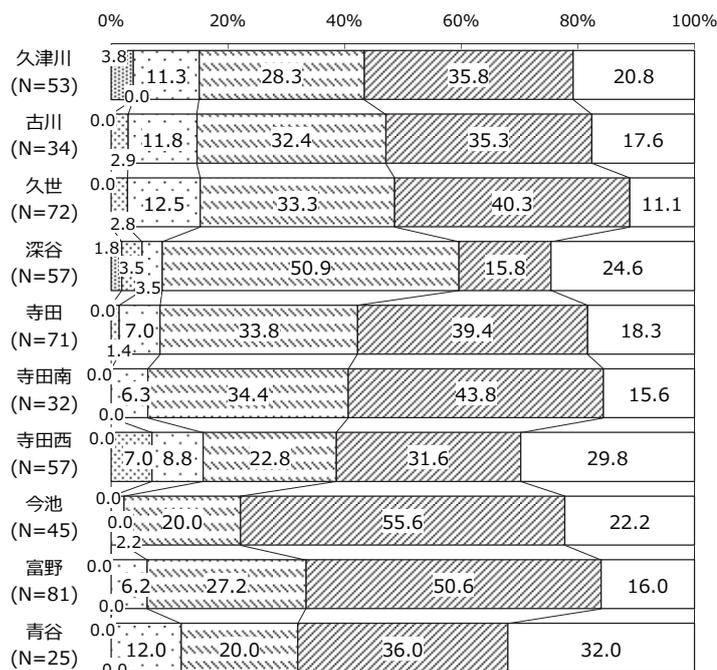


④ 城陽さんさんバス

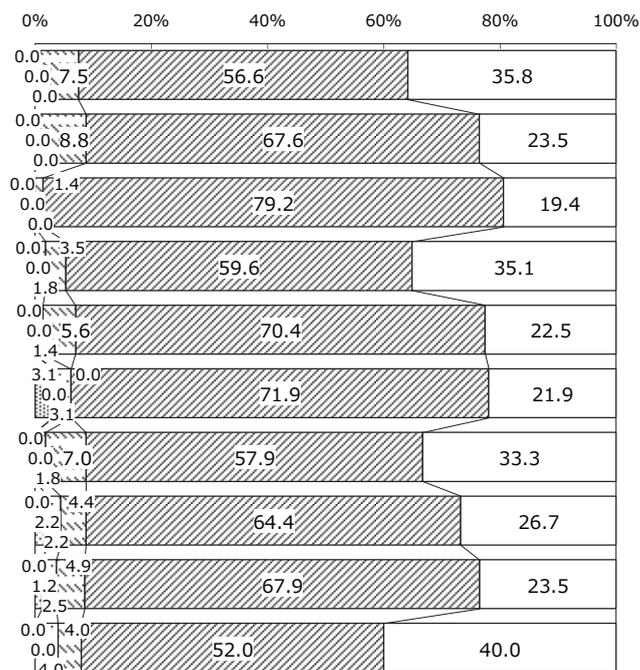


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

⑤タクシー



⑥その他の送迎バス



■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

居住小学校区別にみると、「①JR」については、深谷、寺田、富野、青谷の各校区で利用頻度が高くなっています。

「②近鉄」については、富野と青谷で「利用しない」の割合がやや高くなっています。

「③一般の路線バス」と「④城陽さんさんバス」については、深谷の利用頻度が群を抜いて高くなっています。

「⑤タクシー」については、深谷では、「年に1~数日程度」、他の小学校区では、「利用しない」の割合が最も高くなっています。

「⑥その他の送迎バス」については、すべての小学校区で「利用しない」が5割を超えており、久世で79.2% (57件) と最も高くなっています。

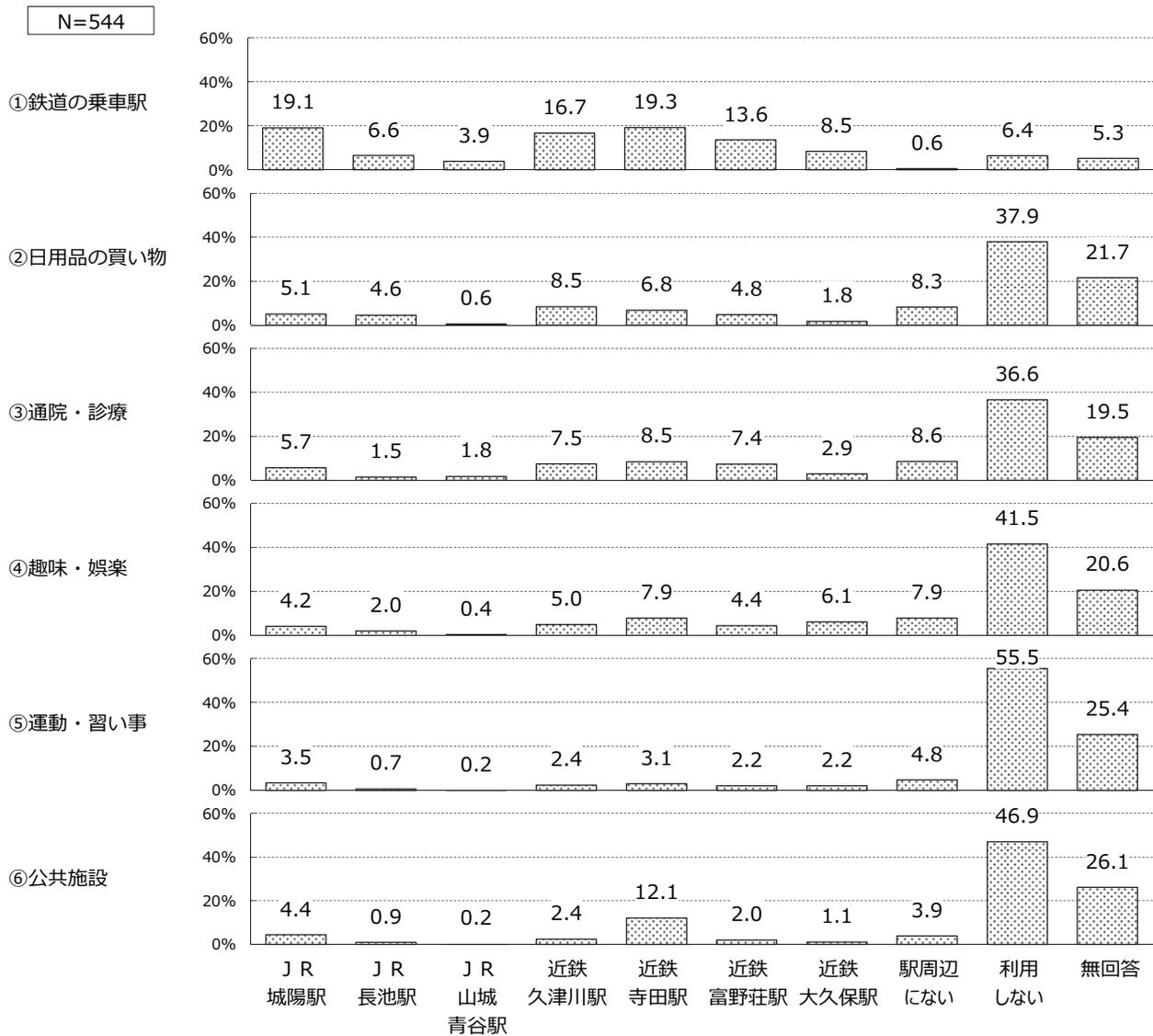
(図3-37-1)

(38) 生活の中でよく利用する駅について

Ⅲ. 問 30 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。

また、よく利用する施設や外出先はどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごとにお答えください。

図3-38 生活の中でよく利用する駅について



「①鉄道の乗車駅」については、「近鉄寺田駅」19.3%（105件）と「J R城陽駅」19.1%（104件）がほぼ同率で高くなっており、次いで「近鉄久津川駅」が16.7%（91件）、「近鉄富野荘駅」が13.6%（74件）の順となっています。

また、目的ごとによく利用する駅は、「②日用品の買い物」については「近鉄久津川駅」が8.5%（46件）、「公共施設」については「近鉄寺田駅」が12.1%（66件）と最も高くなっています。（図3-38）

図3-38-1 居住小学校区別 生活の中でよく利用する駅について

①鉄道の乗車駅

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	-	-	-	66.0	9.4	-	9.4	-	11.3	3.8
古川	34	2.9	-	-	70.6	5.9	-	2.9	-	8.8	8.8
久世	72	31.9	-	-	30.6	2.8	-	20.8	2.8	5.6	5.6
深谷	57	43.9	-	-	7.0	-	-	38.6	-	3.5	7.0
寺田	71	59.2	-	-	1.4	32.4	1.4	1.4	-	2.8	1.4
寺田南	32	18.8	-	-	-	65.6	-	3.1	-	9.4	3.1
寺田西	57	-	-	-	-	89.5	-	-	-	5.3	5.3
今池	45	-	-	-	2.2	-	-	2.2	-	11.1	4.4
富野	81	2.5	42.0	1.2	-	-	42.0	-	-	3.7	8.6
青谷	25	8.0	4.0	76.0	-	-	4.0	-	-	4.0	4.0

②日用品の買い物

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	-	-	-	35.8	1.9	-	3.8	11.3	30.2	17.0
古川	34	-	-	-	5.9	5.9	-	-	8.8	50.0	29.4
久世	72	8.3	-	-	22.2	1.4	-	2.8	8.3	47.2	9.7
深谷	57	10.5	-	-	8.8	-	-	7.0	1.8	38.6	33.3
寺田	71	21.1	7.0	-	-	9.9	-	-	5.6	42.3	14.1
寺田南	32	-	9.4	3.1	-	34.4	-	-	15.6	25.0	12.5
寺田西	57	-	3.5	-	1.8	21.1	1.8	1.8	5.3	40.4	24.6
今池	45	2.2	4.4	-	-	2.2	33.3	2.2	15.6	28.9	11.1
富野	81	-	13.6	1.2	-	-	11.1	-	8.6	34.6	30.9
青谷	25	-	8.0	4.0	-	-	-	-	12.0	40.0	36.0

③通院・診療

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	1.9	-	1.9	22.6	1.9	-	1.9	11.3	37.7	20.8
古川	34	-	-	-	8.8	8.8	-	-	11.8	41.2	29.4
久世	72	5.6	-	1.4	16.7	-	-	6.9	12.5	45.8	11.1
深谷	57	12.3	-	-	7.0	3.5	-	5.3	8.8	40.4	22.8
寺田	71	18.3	-	-	1.4	12.7	-	2.8	11.3	40.8	12.7
寺田南	32	9.4	3.1	-	6.3	31.3	3.1	3.1	9.4	25.0	9.4
寺田西	57	1.8	-	-	1.8	31.6	-	1.8	7.0	29.8	26.3
今池	45	-	-	-	-	4.4	46.7	4.4	4.4	28.9	11.1
富野	81	2.5	8.6	2.5	4.9	-	19.8	-	4.9	32.1	24.7
青谷	25	-	-	24.0	-	-	-	4.0	8.0	44.0	20.0

④趣味・娯楽

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	1.9	-	-	15.1	3.8	-	7.5	3.8	47.2	20.8
古川	34	-	-	-	11.8	2.9	-	2.9	2.9	50.0	29.4
久世	72	5.6	-	-	15.3	4.2	1.4	11.1	11.1	41.7	9.7
深谷	57	8.8	-	-	3.5	1.8	-	15.8	3.5	40.4	26.3
寺田	71	14.1	2.8	-	-	12.7	-	4.2	5.6	40.8	19.7
寺田南	32	6.3	-	-	-	28.1	-	3.1	12.5	37.5	12.5
寺田西	57	-	-	-	-	29.8	-	5.3	10.5	35.1	19.3
今池	45	-	-	-	-	-	15.6	6.7	13.3	46.7	17.8
富野	81	1.2	9.9	-	-	-	17.3	1.2	9.9	38.3	22.2
青谷	25	-	-	8.0	-	-	-	-	8.0	44.0	40.0

※濃い網掛けは最も割合の高い項目、薄い網掛けは2番目に割合の高い項目です。

⑤運動・習い事

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	3.8	-	-	9.4	3.8	-	3.8	1.9	56.6	20.8
古川	34	2.9	-	-	5.9	-	-	-	-	61.8	29.4
久世	72	1.4	-	-	6.9	1.4	1.4	2.8	8.3	66.7	11.1
深谷	57	5.3	-	-	1.8	-	-	5.3	3.5	50.9	33.3
寺田	71	14.1	1.4	1.4	-	1.4	-	2.8	4.2	52.1	22.5
寺田南	32	-	-	-	-	21.9	-	-	6.3	50.0	21.9
寺田西	57	-	-	-	-	8.8	-	3.5	7.0	52.6	28.1
今池	45	2.2	-	-	-	2.2	4.4	2.2	6.7	62.2	20.0
富野	81	-	3.7	-	-	-	8.6	-	4.9	51.9	30.9
青谷	25	-	-	-	-	-	-	-	4.0	56.0	40.0

⑥公共施設

(%)

	回答者数 (n)	J R 城陽駅	J R 長池駅	J R 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	53	1.9	-	-	5.7	5.7	-	3.8	7.5	50.9	24.5
古川	34	-	-	-	14.7	2.9	-	2.9	2.9	55.9	20.6
久世	72	9.7	-	-	4.2	11.1	-	2.8	5.6	55.6	11.1
深谷	57	8.8	-	-	-	10.5	-	-	1.8	42.1	36.8
寺田	71	11.3	-	-	-	12.7	-	-	4.2	46.5	25.4
寺田南	32	-	-	-	-	40.6	-	-	3.1	40.6	15.6
寺田西	57	-	-	-	-	26.3	-	-	-	45.6	28.1
今池	45	4.4	-	2.2	-	8.9	13.3	2.2	4.4	46.7	17.8
富野	81	-	6.2	-	-	6.2	4.9	-	4.9	42.0	35.8
青谷	25	-	-	-	-	8.0	-	-	4.0	44.0	44.0

※濃い網掛けは最も割合の高い項目、薄い網掛けは2番目に割合の高い項目です。

居住小学校区別にみると、「①鉄道の乗車駅」については、久津川、古川では「近鉄久津川駅」がそれぞれ66.0% (35件)、70.6% (24件) と高くなっています。久世では「J R城陽駅」が31.9% (23件)、「近鉄久津川駅」が30.6% (22件) となっています。深谷、寺田では「J R城陽駅」が最も高く、それぞれ43.9% (25件)、59.2% (42件) となっています。寺田南、寺田西では「近鉄寺田駅」がそれぞれ65.6% (21件)、89.5% (51件) となっています。今池では「近鉄富野荘駅」が80.0% (36件)、富野では「J R長池駅」と「近鉄富野荘駅」がともに42.0% (34件)、青谷では「J R山城青谷駅」が76.0% (19件) を占めています。

「②日用品の買い物」でよく利用する駅については、久津川では「近鉄久津川駅」、寺田西では「近鉄寺田駅」、今池では「近鉄富野荘駅」が最も高くなっています。

「③通院・診療」でよく利用する駅については、寺田南と寺田西では「近鉄寺田駅」、今池では「近鉄富野荘駅」が最も高くなっています。

「④趣味・娯楽」「⑤運動・習い事」でよく利用する駅については、いずれの小学校区でも「利用しない」が最も高くなっています。

「⑥公共施設」でよく利用する駅については、寺田南では「近鉄寺田駅」が最も高くなっています。

(図3-38-1)

(39) 市内の各種公共施設の利用状況

Ⅲ. 問 31 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用していますか。それぞれの施設ごとにお答えください。また、利用していない方はその主な理由を1つお答えください。

図3-39 市内の各種公共施設の利用状況



N=544

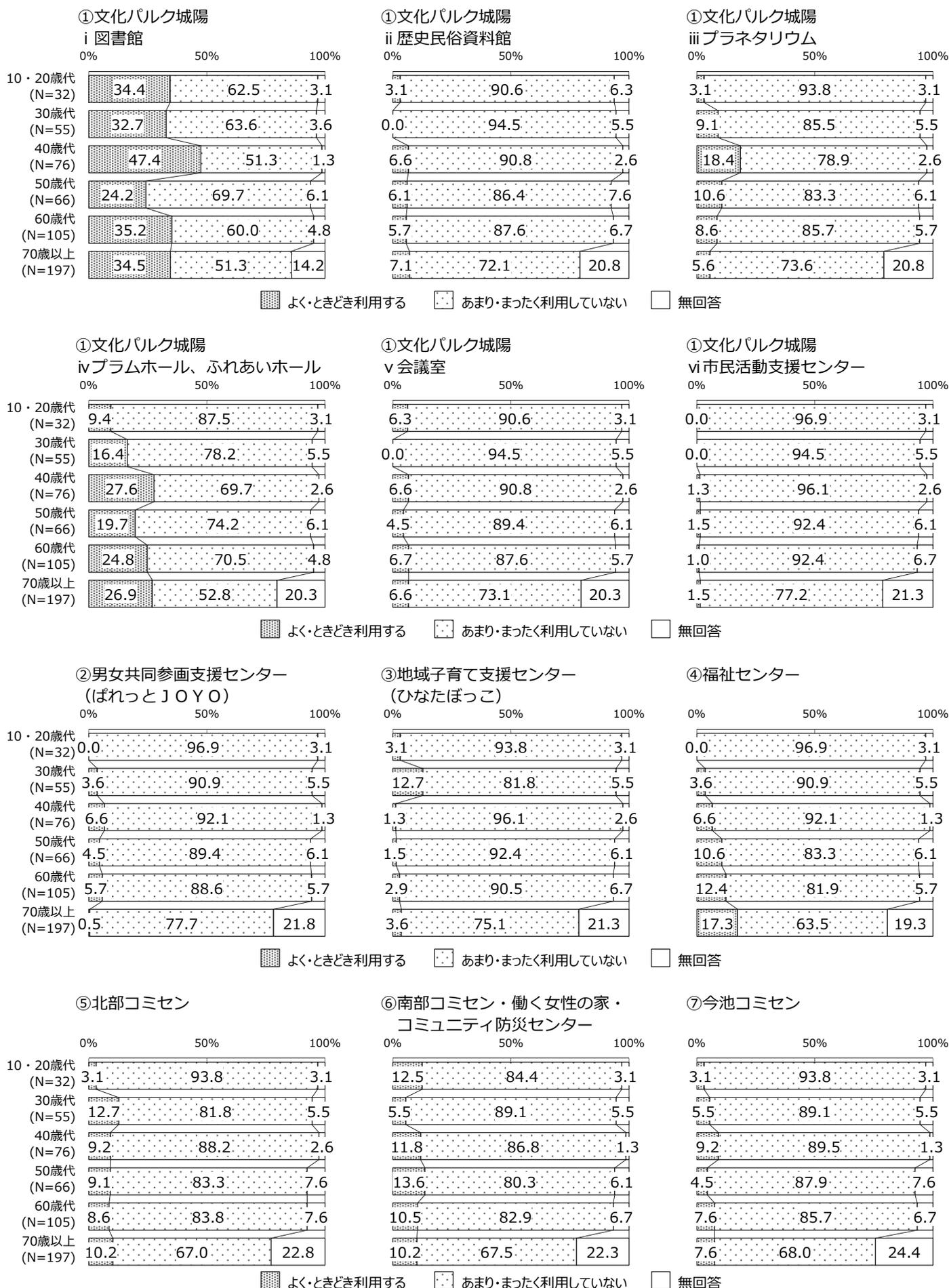
よく・ときどき利用する

あまり・まったく利用していない

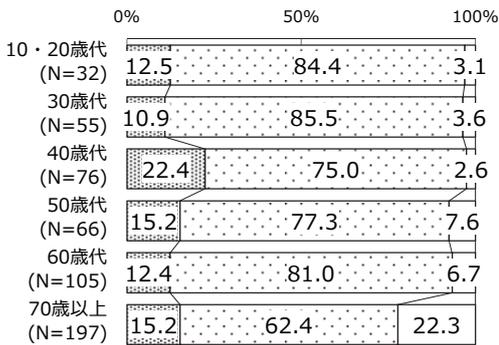
無回答

市内の各種公共施設の利用状況について、「よく・ときどき利用する」の割合が高い施設は、「①文化パルク城陽 i 図書館」の35.1% (191件)、「①文化パルク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」の24.3% (132件) となっています。(図3-39)

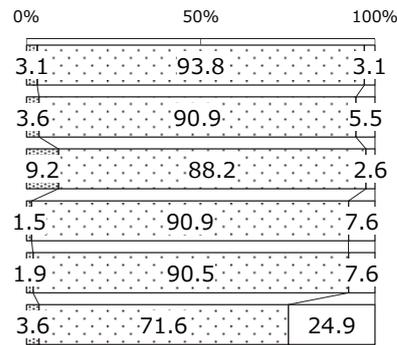
図3-39-1 年齢別 市内の各種公共施設の利用状況



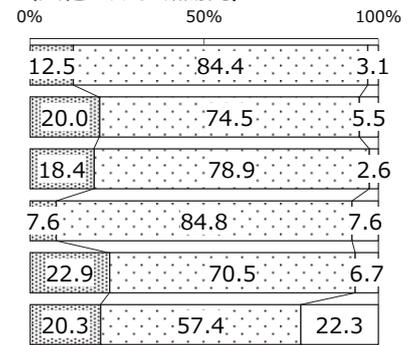
⑧東部コミセン



⑨青谷コミセン

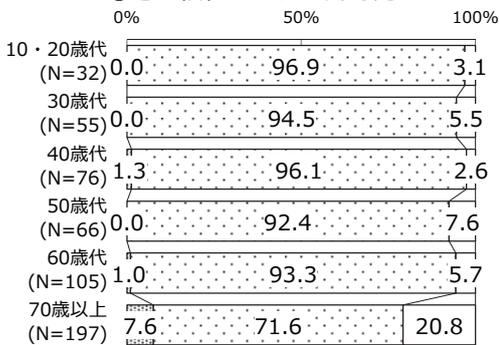


⑩寺田コミセン
(文化パルク城陽内)

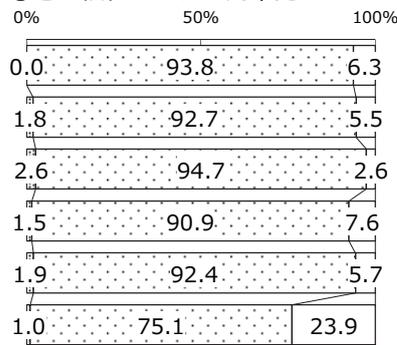


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

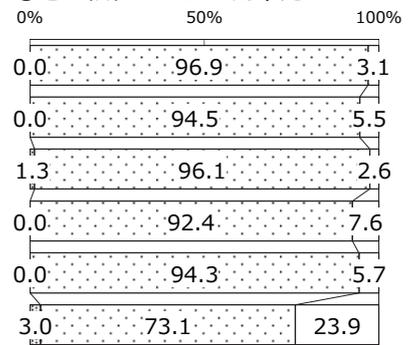
⑪老人福祉センター陽寿苑



⑫老人福祉センター陽東苑

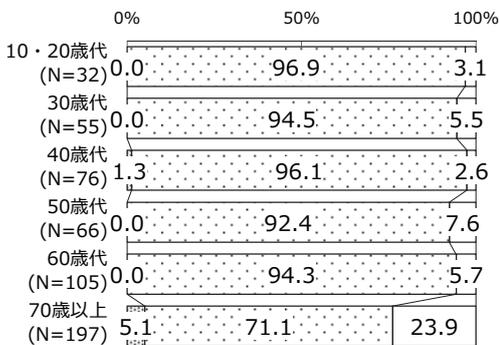


⑬老人福祉センター陽幸苑

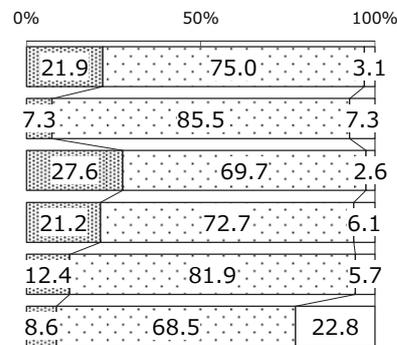


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

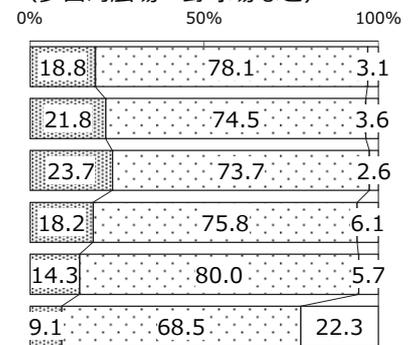
⑭老人福祉センター陽和苑



⑮市民体育館

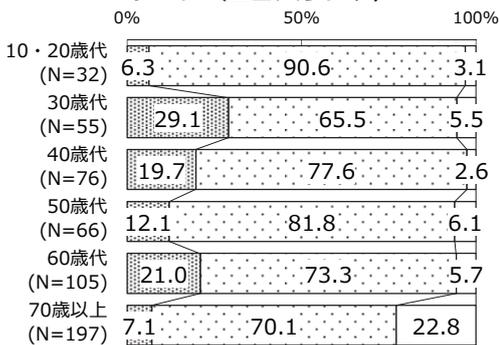


⑯総合運動公園スポーツゾーン
(多目的広場・野球場など)

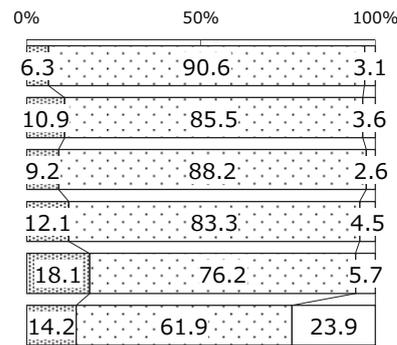


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

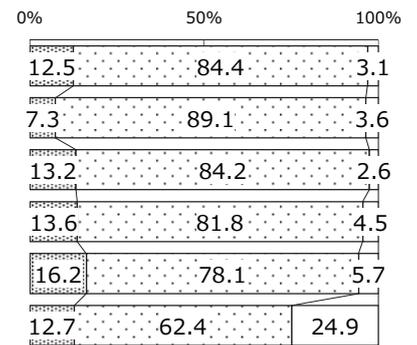
⑰総合運動公園レクリエーション
ゾーン (ロゴスランド)



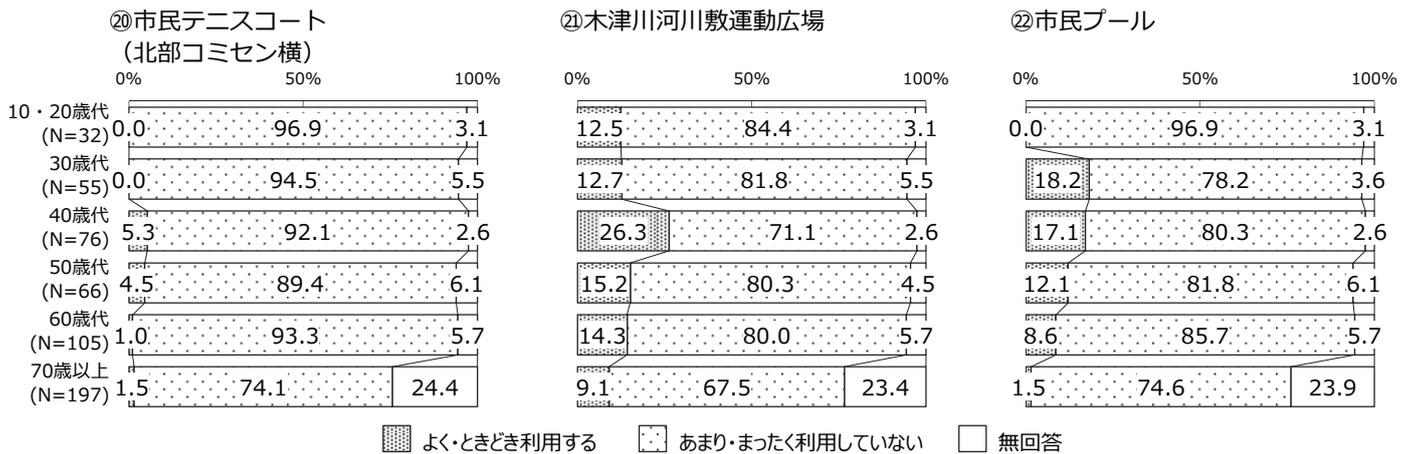
⑱アイリスイン城陽



⑲プラムイン城陽



よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答



年齢別にみると、「①文化パーク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」「④福祉センター」「⑱アイリスイン城陽」では年代が高いほど「よく・ときどき利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、「⑩総合運動公園スポーツゾーン（多目的広場・野球場など）」では年代が低いほど「よく・ときどき利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。

30歳代では、「③地域子育て支援センター（ひなたぼっこ）」「⑰総合運動公園レクリエーションゾーン（ロゴスランド）」、40歳代では「①文化パーク城陽 i 図書館」「①文化パーク城陽 iii プラネタリウム」「①文化パーク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」「⑮市民体育館」「②木津川河川敷運動広場」が他の年代より「よく・ときどき利用する」が高くなっています。

また、市内各コミセンのなかで、「⑩寺田コミセン（文化パーク城陽内）」では、各年代で「よく・ときどき利用する」が比較的高くなっています。（図3-39-1）

(40) 市内の各種公共施設を利用していない理由

Ⅲ. 問 31-1 また、利用していない方はその主な理由を1つお答えください。

図3-40 市内の各種公共施設を利用していない理由

		回答者数 (n)	施設を知らない	施設が充実していない	曜日・時間帯が合わない	手続き面で利用しづらい	施設まで遠い	利用する必要がない	その他	無回答
①文化 パーク 城陽	i 図書館	311	2.9	0.6	5.1	0.6	16.4	56.6	8.7	9.0
	ii 歴史民俗資料館	452	16.6	1.5	2.0	0.0	6.9	56.9	8.6	7.5
	iii プラネタリウム	438	3.0	0.5	8.0	0.0	8.0	62.3	10.5	7.8
	iv プラムホール、ふれあいホール	356	6.2	0.3	3.4	0.0	6.2	68.0	8.1	7.9
	v 会議室	456	5.7	0.0	0.7	0.2	3.1	76.3	5.9	8.1
	vi 市民活動支援センター	477	11.9	0.0	1.0	0.4	3.1	69.2	6.5	7.8
②男女共同参画支援センター（ぱれっとJOYO）	468	12.8	0.4	0.6	0.0	2.1	69.4	6.2	8.3	
③地域子育て支援センター（ひなたぼっこ）	464	12.1	0.4	0.9	0.0	1.3	72.6	5.4	7.3	
④福祉センター	426	10.1	0.2	1.2	0.2	2.8	70.2	6.3	8.9	
⑤北部コミセン	427	4.9	0.5	0.7	0.0	10.1	71.4	5.2	7.3	
⑥南部コミセン・働く女性の家・コミュニティ防災センター	426	5.4	0.9	0.9	0.2	6.3	72.8	5.2	8.2	
⑦今池コミセン	439	7.5	0.5	0.7	0.0	8.7	70.2	5.0	7.5	
⑧東部コミセン	400	5.0	1.0	1.5	0.3	9.8	69.5	5.8	7.3	
⑨青谷コミセン	455	6.8	0.4	0.4	0.0	11.4	67.9	5.3	7.7	
⑩寺田コミセン（文化パーク城陽内）	382	6.0	1.0	1.3	0.5	5.8	71.2	6.5	7.6	
⑪老人福祉センター陽寿苑	468	6.6	0.2	0.6	0.2	3.0	75.6	6.4	7.3	
⑫老人福祉センター陽東苑	470	6.4	0.2	0.2	0.2	3.4	76.8	5.7	7.0	
⑬老人福祉センター陽幸苑	472	6.8	0.2	0.4	0.2	3.2	76.7	5.3	7.2	
⑭老人福祉センター陽和苑	467	6.4	0.2	0.2	0.2	3.2	74.7	5.6	9.4	
⑮市民体育館	404	4.2	0.5	0.7	0.5	6.9	69.8	6.7	10.6	
⑯総合運動公園スポーツゾーン（多目的広場・野球場など）	401	4.5	0.5	0.2	0.7	5.5	71.1	8.5	9.0	
⑰総合運動公園レクリエーションゾーン（ログランド）	403	5.0	0.7	1.0	0.2	5.2	70.0	7.9	9.9	
⑱アイリスイン城陽	407	3.2	1.7	0.2	0.2	3.4	73.0	8.8	9.3	
⑲プラムイン城陽	407	2.7	1.7	0.7	0.2	3.4	72.7	8.6	9.8	
⑳市民テニスコート（北部コミセン横）	467	5.6	0.2	0.4	0.2	2.1	76.2	6.4	8.8	
㉑木津川河川敷運動広場	407	3.9	1.0	0.0	0.2	5.9	73.2	6.4	9.3	
㉒市民プール	437	3.9	1.4	0.7	0.0	3.7	74.1	6.6	9.6	

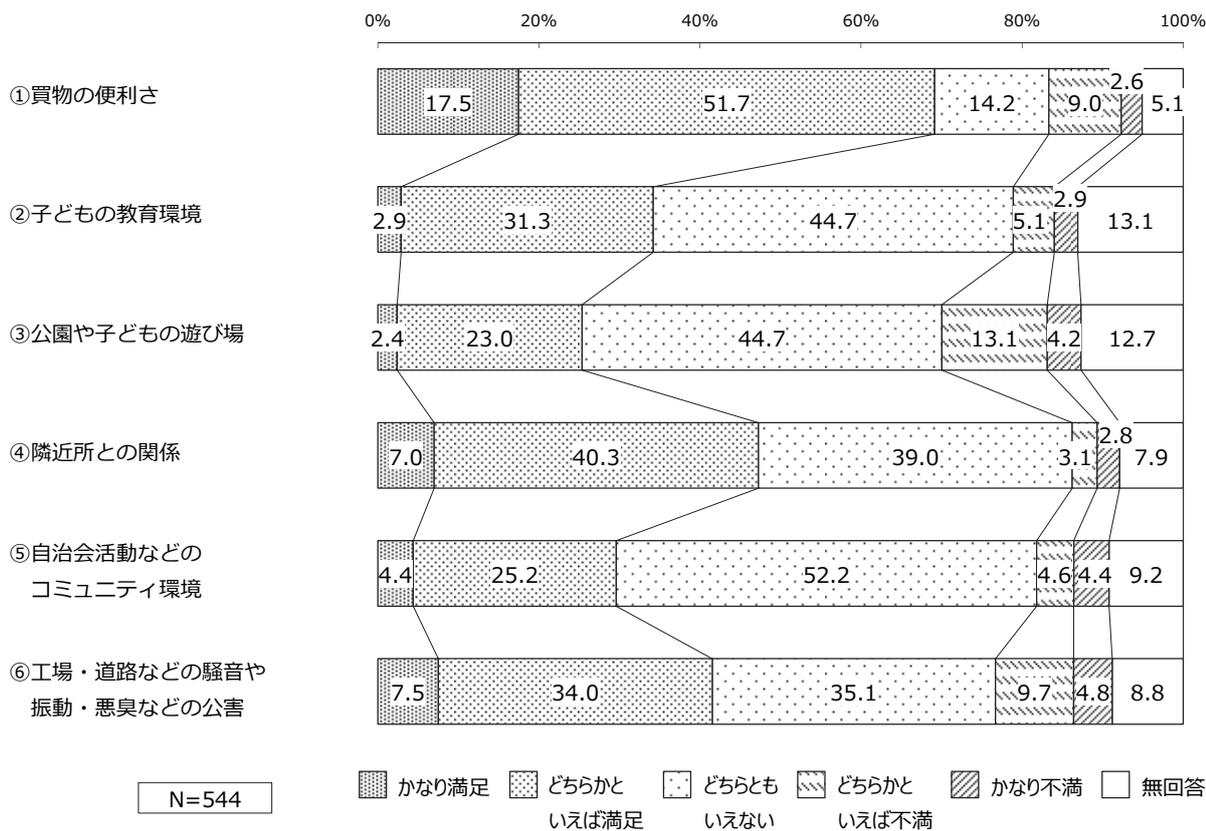
市内の各種公共施設を利用していない理由については、すべての項目で「利用する必要がない」が最も高く5割を超えています。「①文化パーク城陽 i 図書館」では、「曜日・時間帯が合わない」5.1%（16件）、「施設まで遠い」16.4%（51件）の割合が比較的高くなっています。また、「①文化パーク城陽 ii 歴史民俗資料館」「①文化パーク城陽 vi 市民活動支援センター」「②男女共同参画支援センター（ぱれっとJOYO）」「③地域子育て支援センター（ひなたぼっこ）」「④福祉センター」では「施設を知らない」の割合がやや高くなっています。（図3-40）

4 城陽市での暮らしの満足度について

(1) 日常生活全般の満足度

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

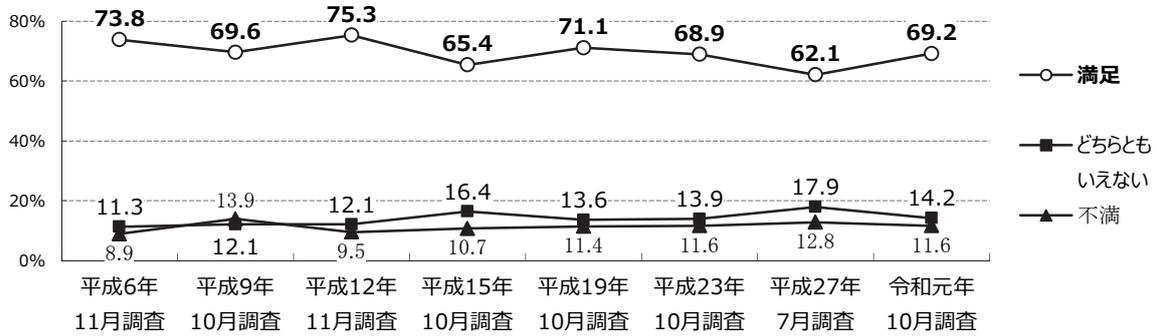
図4-1 日常生活全般の満足度



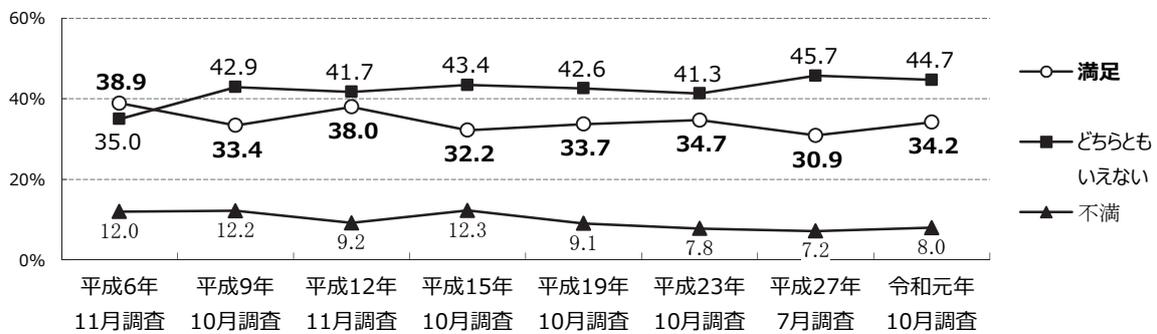
日常生活全般の満足度について、すべての項目で『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）を上回っています。「①買物の便利さ」では、「どちらかといえば満足」が51.7%（281件）と高く、「かなり満足」17.5%（95件）と合わせた『満足』では69.2%（376件）となっています。「④隣近所との関係」では、『満足』が47.3%（257件）となっています。『不満』は「③公園や子どもの遊び場」で17.3%（94件）とやや高くなっています。「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では、『満足』が41.5%（226件）を占める一方で、『不満』も14.5%（79件）とやや高くなっています。また、「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」では、「どちらともいえない」が52.2%（284件）と5割強を占めています。（図4-1）

図4-1-1 経年比較 日常生活全般の満足度

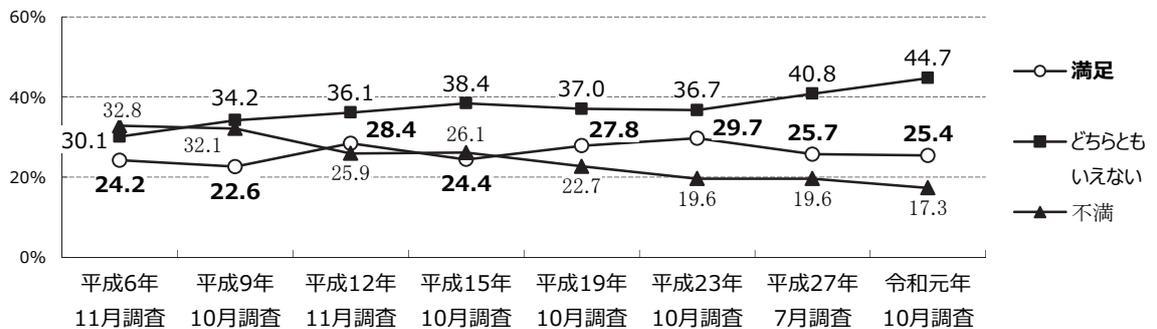
①買物の便利さ



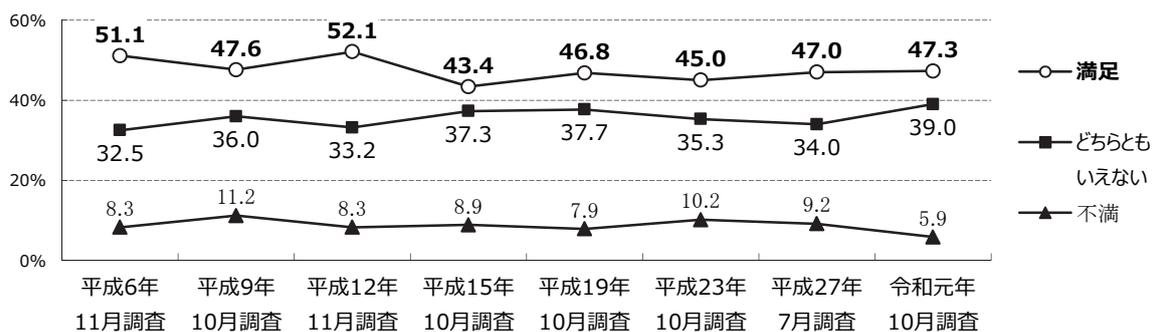
②子どもの教育環境



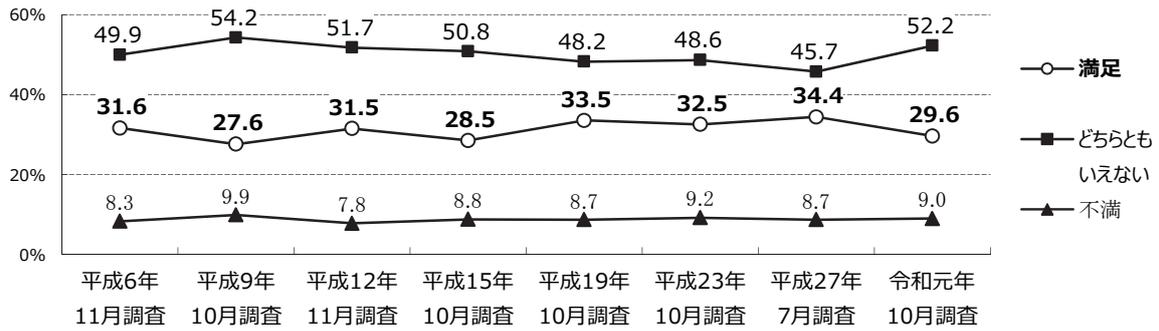
③公園や子どもの遊び場



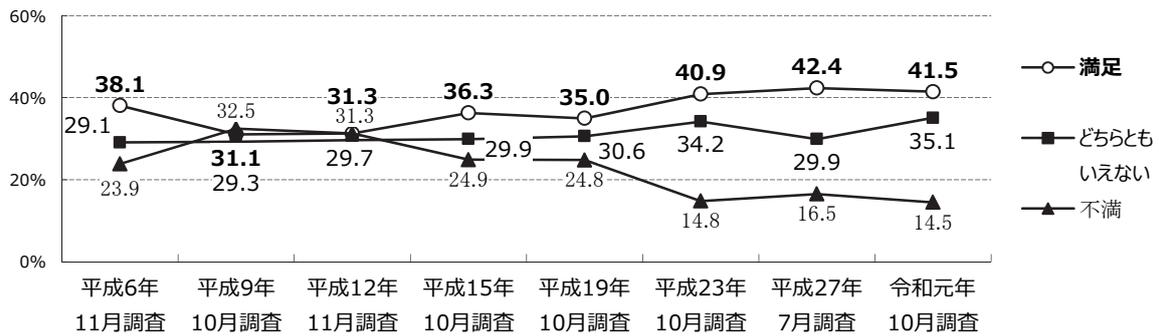
④隣近所との関係



⑤自治会活動などのコミュニティ環境



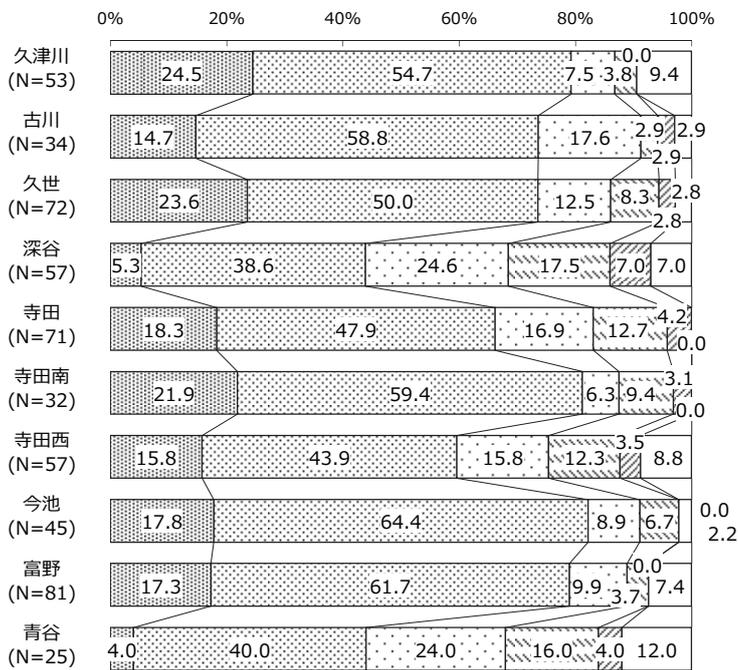
⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



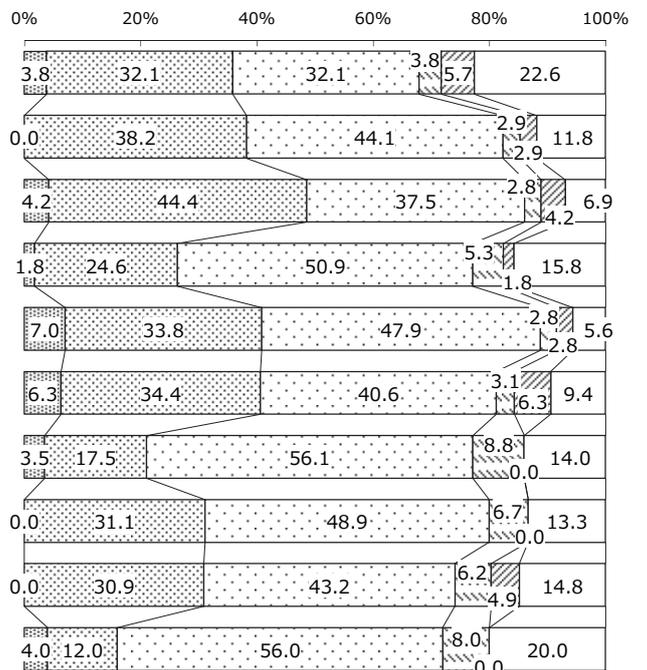
前回調査と比較すると、「①買物の便利さ」「②子どもの教育環境」では満足度が増加しており、それぞれ7.1ポイント、3.3ポイントの増加となっています。「③公園や子どもの遊び場」「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では、いずれも『満足』（「かなり満足」「どちらかといえば満足」を合わせた割合）がやや減少し、「どちらともいえない」が増加しています。（図4-1-1）

図4-1-2 居住小学校区別 日常生活全般の満足度

①買物の便利さ

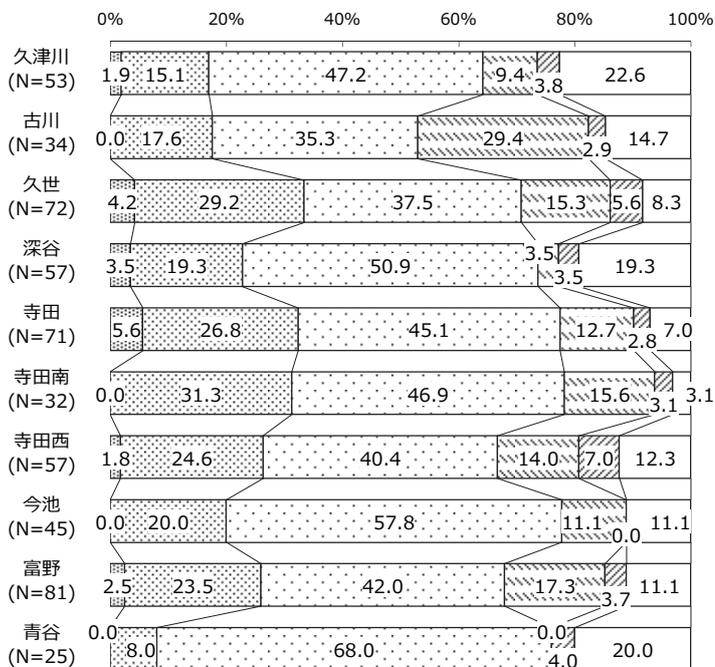


②子どもの教育環境

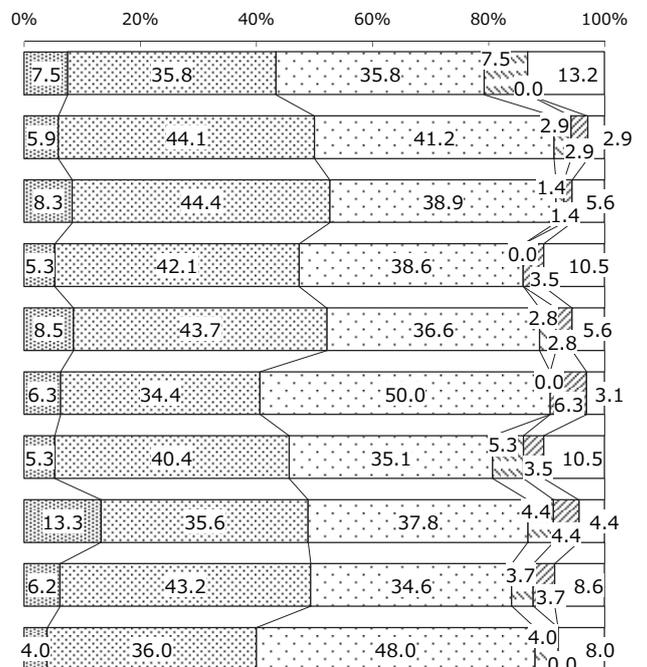


■ かなり満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ かなり不満 □ 無回答

③公園や子どもの遊び場

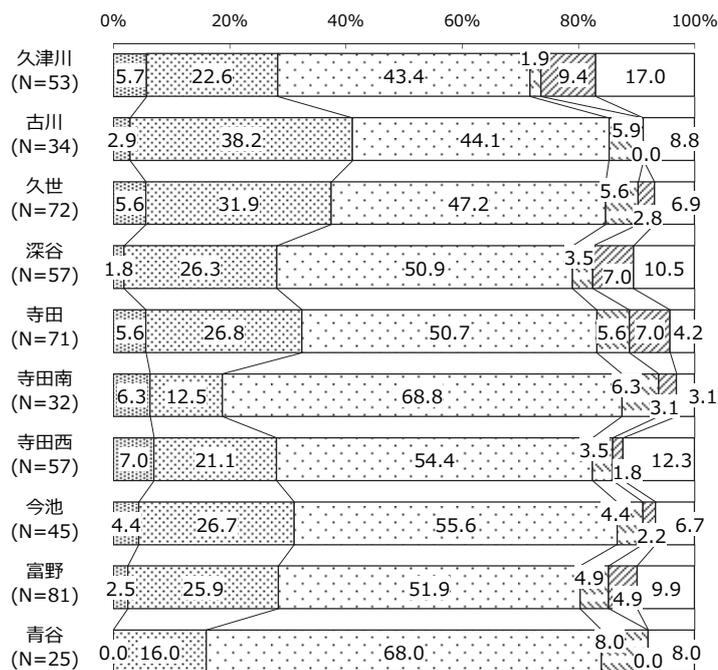


④隣近所との関係

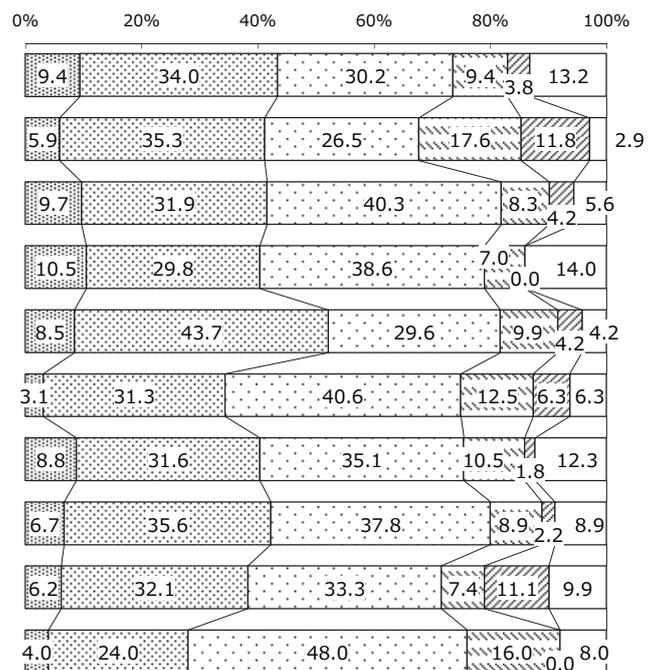


■ かなり満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ かなり不満 □ 無回答

⑤自治会活動などのコミュニティ環境



⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



■ かなり満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ かなり不満 □ 無回答

居住小学校区別にみると、「①買物の便利さ」は、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は今池で82.2%（37件）、寺田南で81.3%（26件）、久津川で79.2%（42件）、富野で79.0%（64件）と高くなっています。一方、深谷、青谷では『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）がそれぞれ24.5%（14件）、20.0%（5件）と高くなっています。

「②子どもの教育環境」は、久世で『満足』が48.6%（35件）と高くなっていますが、深谷、寺田西、青谷では「どちらかともいえない」が5割以上を占めています。

「③公園や子どもの遊び場」は、青谷では『満足』が8.0%（2件）にとどまり、「どちらともいえない」が68.0%（17件）を占めています。また、古川では『不満』が32.3%（11件）と高く、『満足』17.6%（6件）を上回っています。

「④隣近所との関係」は、すべての地域で『満足』が4割以上となっています。

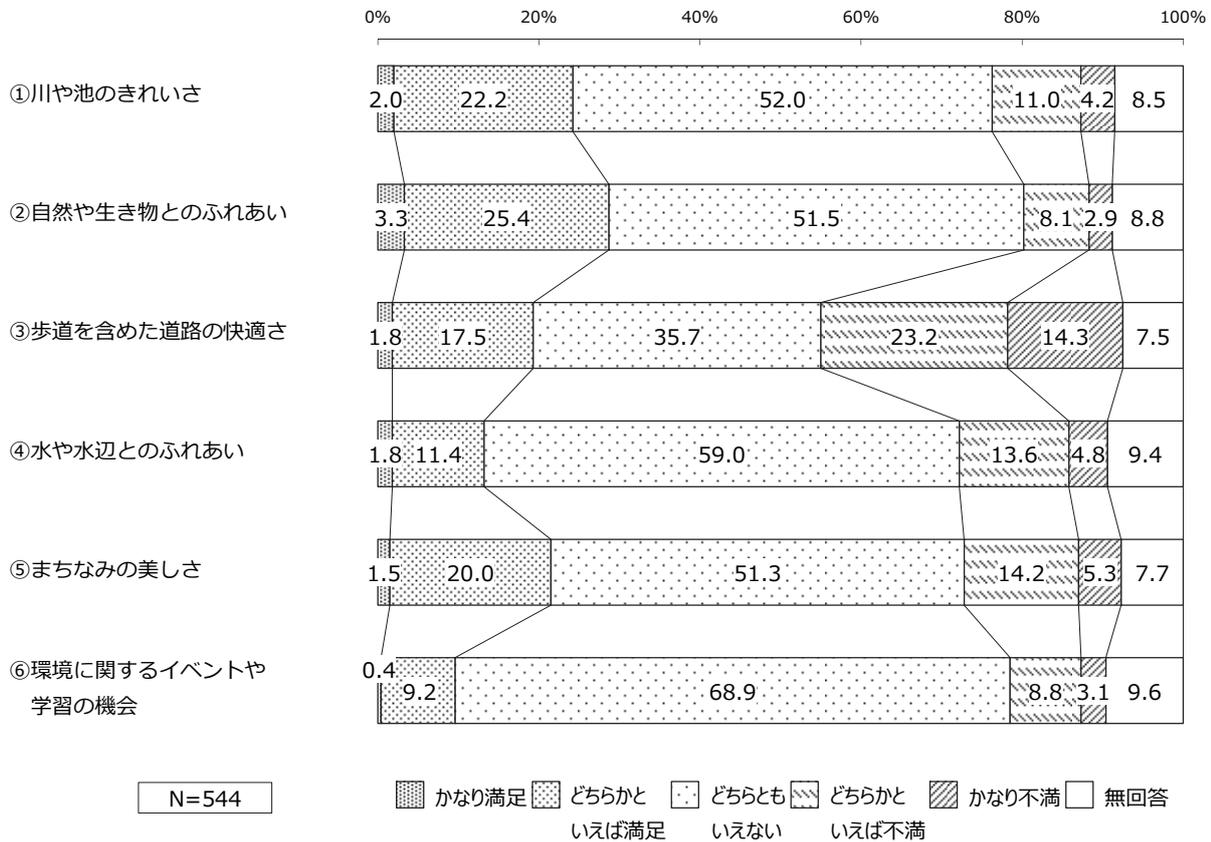
「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」は、古川では『満足』が41.1%（14件）と高くなっています。一方、寺田南、青谷では『満足』がそれぞれ18.8%（6件）、16.0%（4件）と低く、「どちらともいえない」がいずれも7割近くを占めています。

「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」は、寺田では『満足』が52.2%（37件）と高く5割を超えています。一方、古川では『不満』が29.4%（10件）と高くなっています。（図4-1-2）

(2) 自然環境・周辺環境の満足度

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-2 自然環境・周辺環境の満足度



自然環境・周辺環境の満足度については、「②自然や生き物とのふれあい」では、「どちらかといえ満足」が25.4%（138件）と高く、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえ満足」を合わせた割合）が28.7%（156件）、「①川や池のきれいさ」「⑤まちなみの美しさ」では、『満足』がそれぞれ24.2%（132件）、21.5%（117件）となっており、いずれも『不満』（「どちらかといえ不満」と「かなり不満」を合わせた割合）を上回っています。

一方、「③歩道を含めた道路の快適さ」では、『不満』が37.5%（204件）と最も高くなっています。

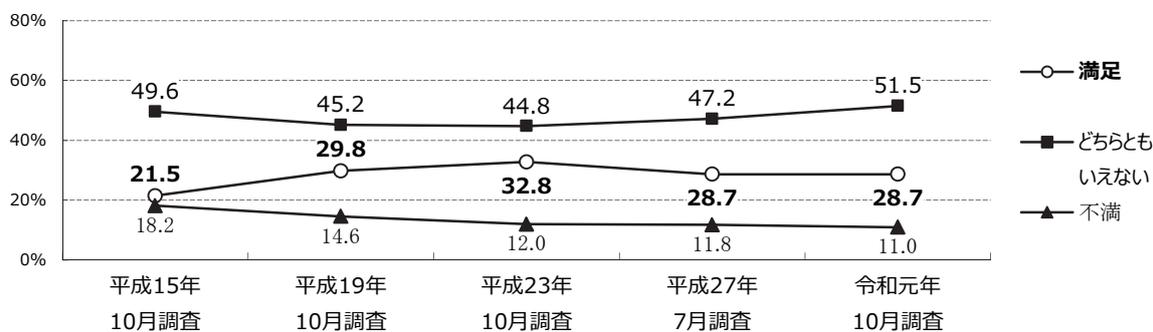
また、「⑥環境に関するイベントや学習の機会」「④水や水辺とのふれあい」では、『満足』と『不満』の割合がいずれも1割程度となっており、「どちらともいえない」が、それぞれ68.9%（375件）、59.0%（321件）と高くなっています。（図4-2）

図4-2-1 経年比較 自然環境・周辺環境の満足度

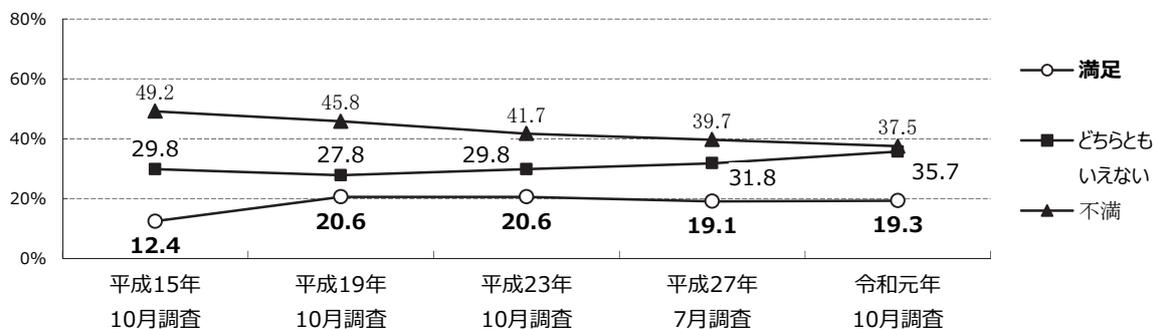
①川や池のきれいさ



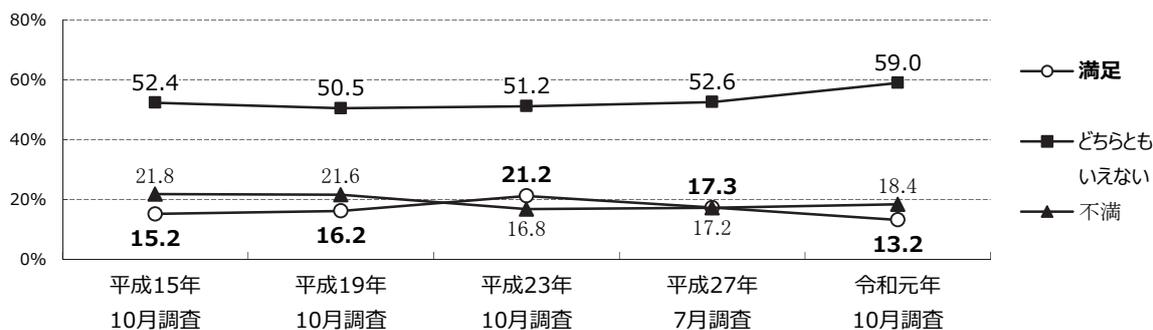
②自然や生き物とのふれあい



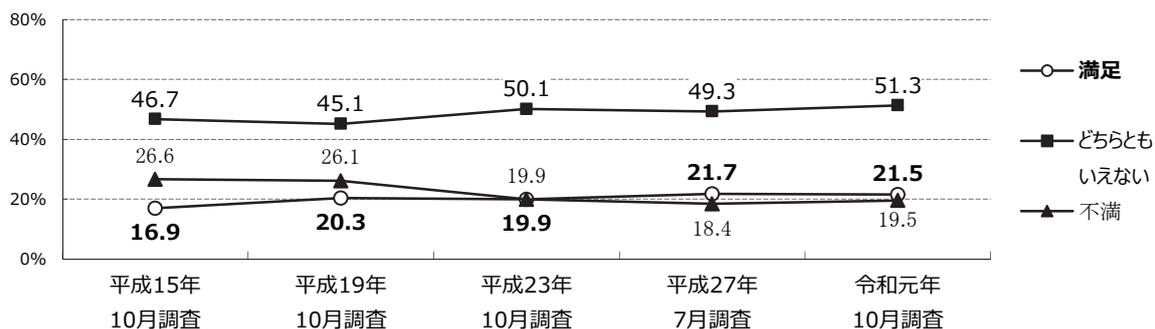
③歩道を含めた道路の快適さ



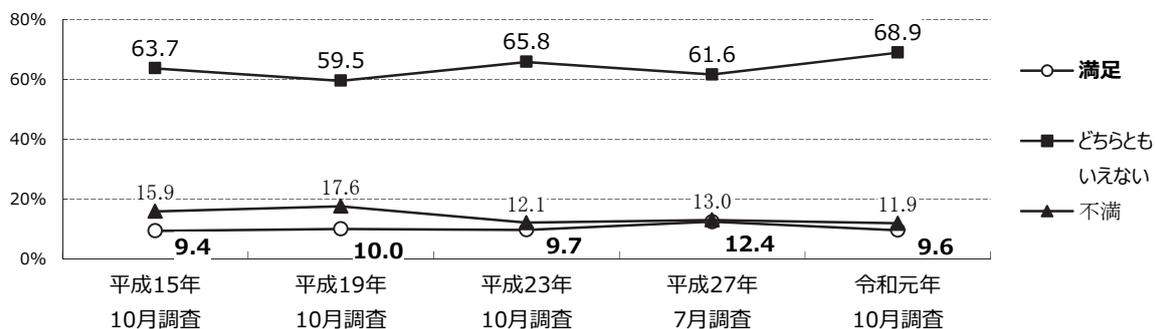
④水や水辺とのふれあい



⑤まちなみの美しさ



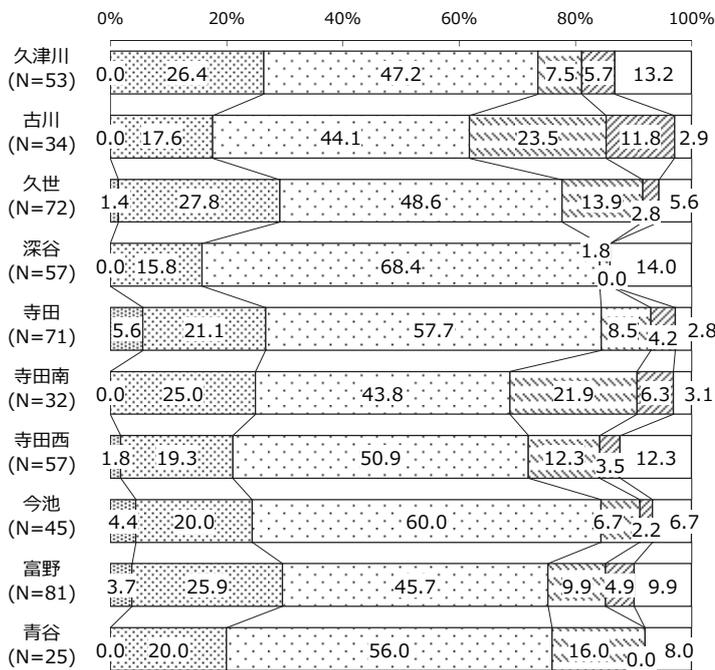
⑥環境に関するイベントや学習会の機会



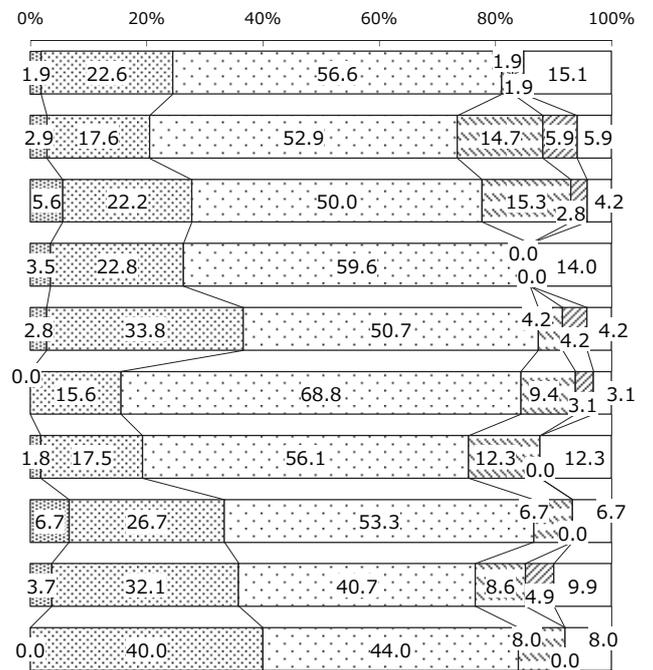
前回調査と比較すると、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は、「①川や池のきれいさ」では2.4ポイント減少し、「どちらともいえない」の割合が増加しています。同様に、「④水や水辺とのふれあい」「⑥環境に関するイベントや学習会の機会」でも『満足』が減少し、「どちらともいえない」の割合が増加しています。（図4-2-1）

図4-2-2 居住小学校区別 自然環境・周辺環境の満足度

①川や池のきれいさ

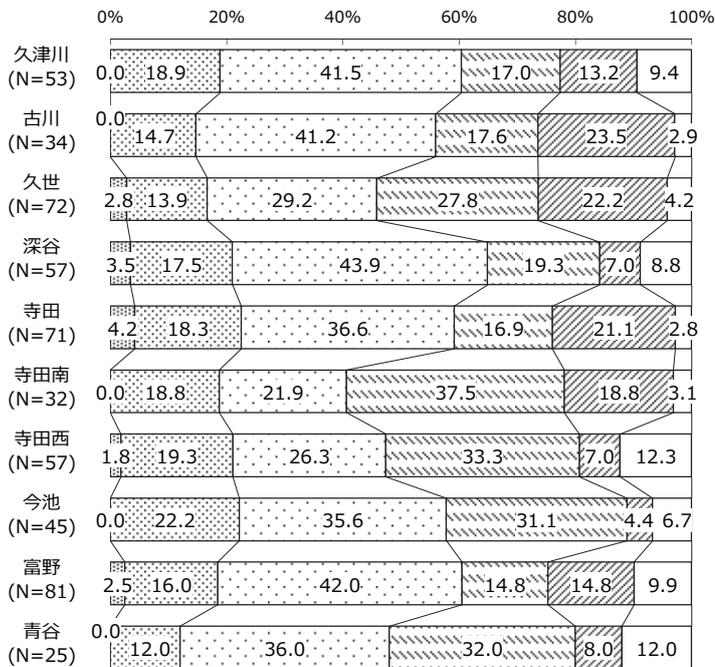


②自然や生き物とのふれあい

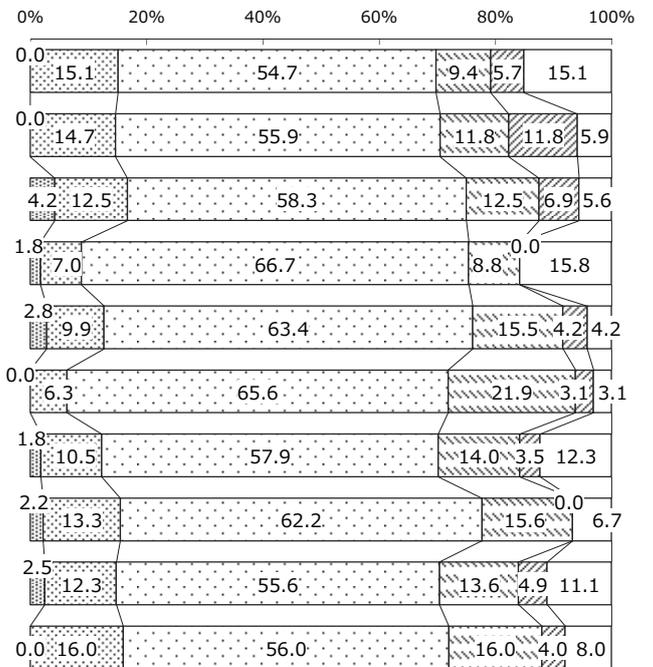


■ かなり満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ かなり不満 □ 無回答

③歩道を含めた道路の快適さ

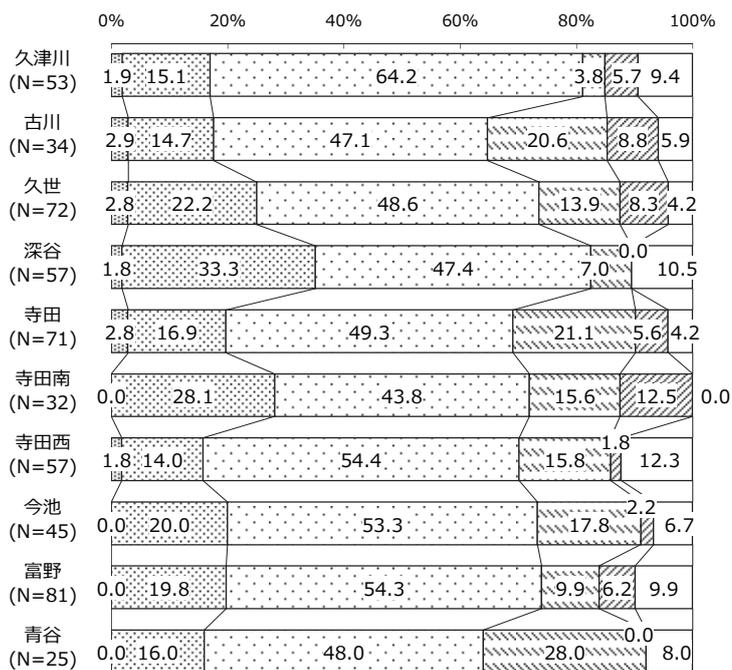


④水や水辺とのふれあい

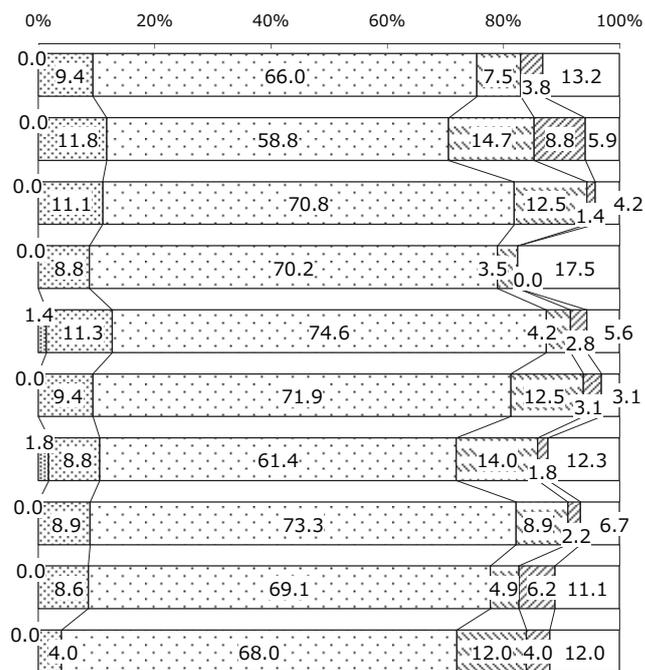


■ かなり満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ かなり不満 □ 無回答

⑤まちなみの美しさ



⑥環境に関するイベントや学習会の機会



かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

居住小学校区別にみると、「①川や池のきれいさ」は、古川と寺田南では、『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）が高く、古川で35.3%（12件）、寺田南で28.2%（9件）となっています。

「②自然や生き物とのふれあい」は、寺田、今池、富野、青谷で『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が3割を超えており、青谷では「どちらかといえば満足」が40.0%（10件）となっています。

「③歩道を含めた道路の快適さ」は、すべての小学校区で『不満』が『満足』を上回っており、寺田南で56.3%（18件）、久世で50.0%（36件）と高くなっています。

「④水や水辺とのふれあい」は、寺田南で『満足』が6.3%（2件）と低く、『不満』が25.0%（8件）と高くなっています。

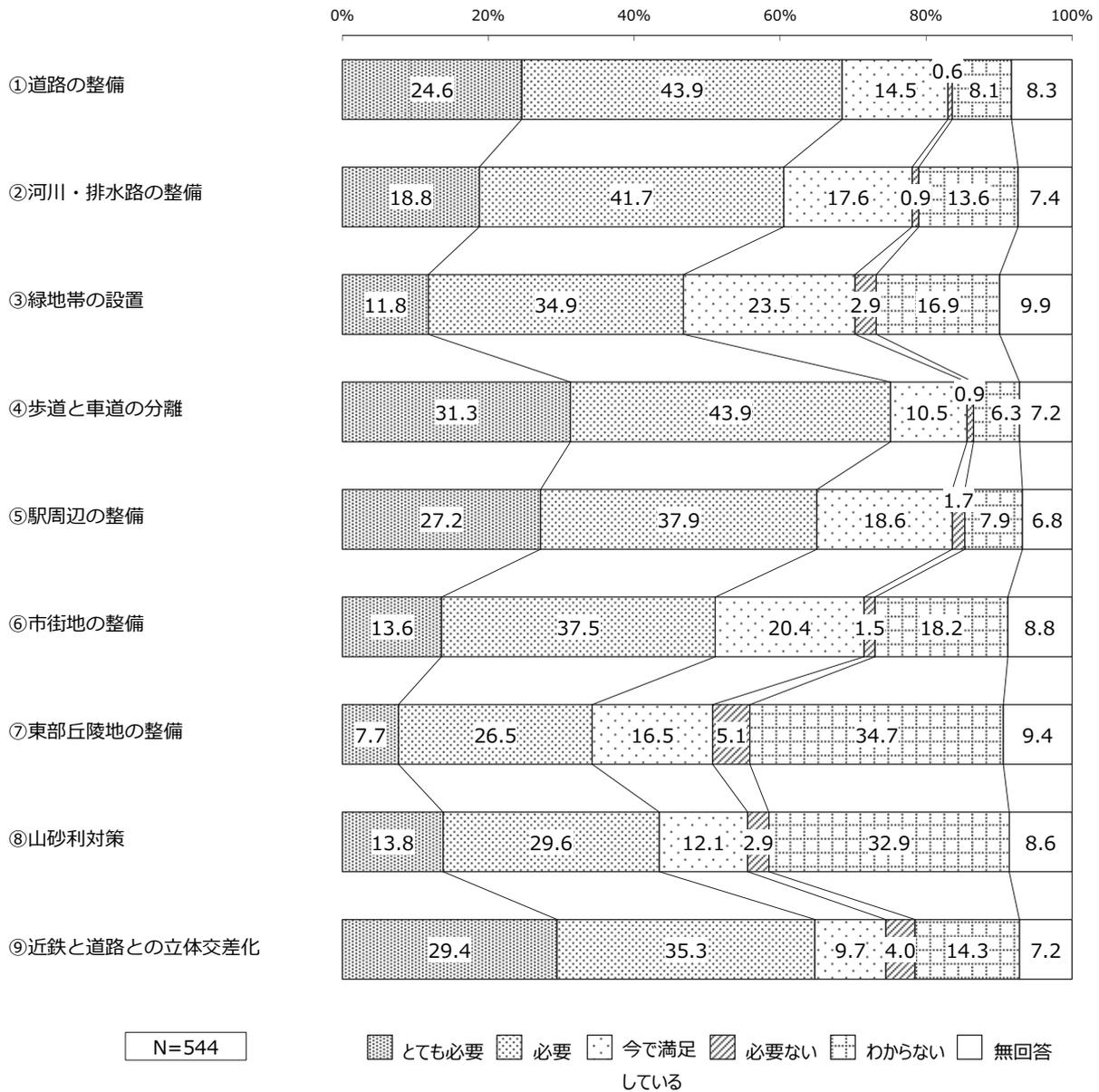
「⑤まちなみの美しさ」は、深谷で『満足』が35.1%（20件）と他の小学校区よりも割合が高くなっています。

「⑥環境に関するイベントや学習会の機会」は、いずれの小学校区でも「どちらともいえない」が5割以上を占めています。（図4-2-2）

(3) 都市基盤整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

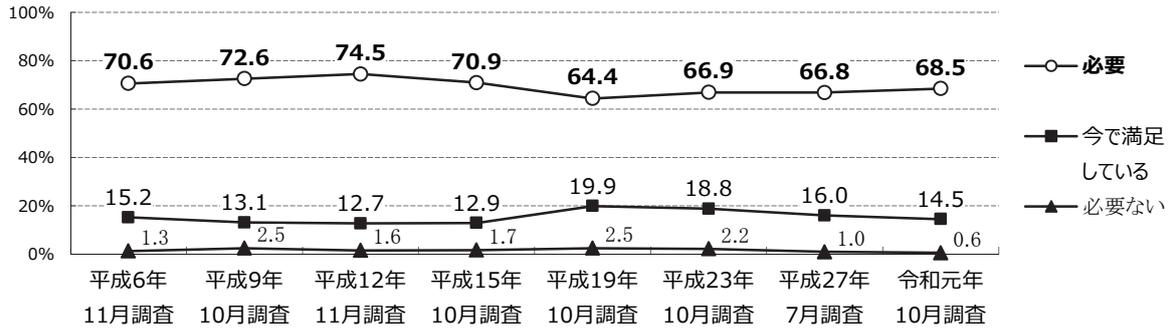
図4-3 都市基盤整備の必要性



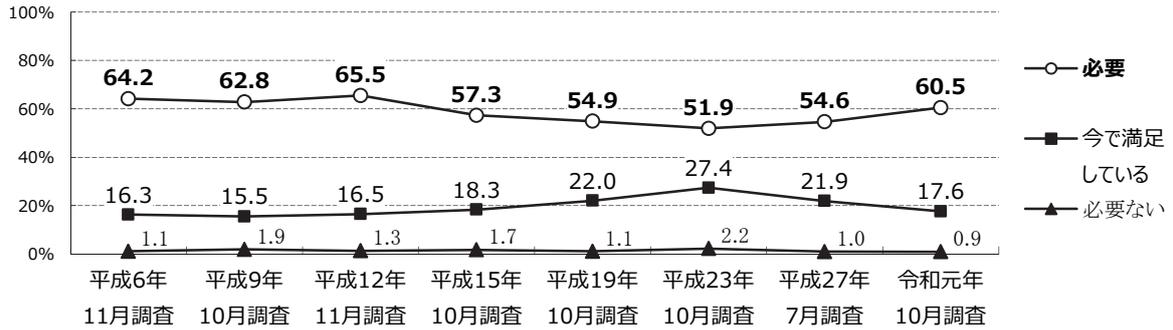
都市基盤整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、「④歩道と車道の分離」で75.2%（409件）、「①道路の整備」で68.5%（373件）、「⑤駅周辺の整備」で65.1%（354件）、「⑨近鉄と道路との立体交差化」で64.7%（352件）、「②河川・排水路の整備」が60.5%（329件）と高く、6割を超えています。（図4-3）

図4-3-1 経年比較 都市基盤整備の必要性

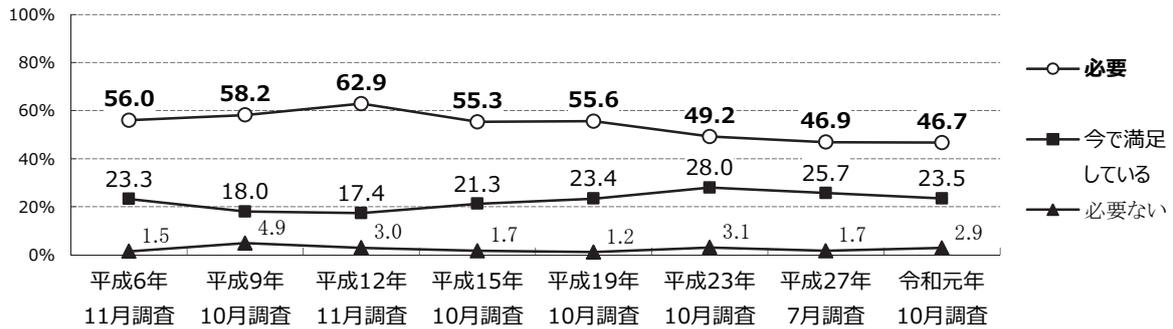
①道路の整備



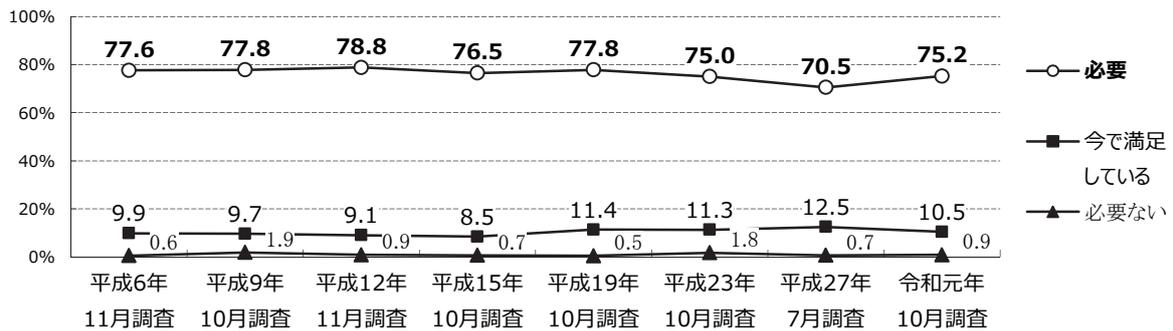
②河川・排水路の整備



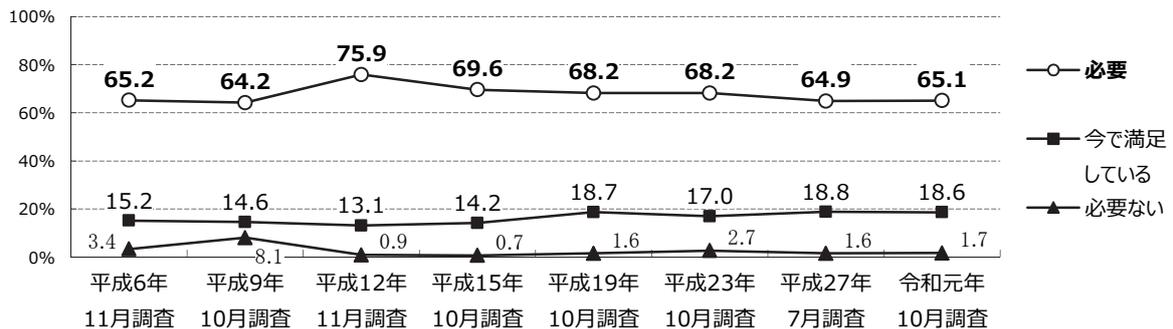
③緑地帯の設置



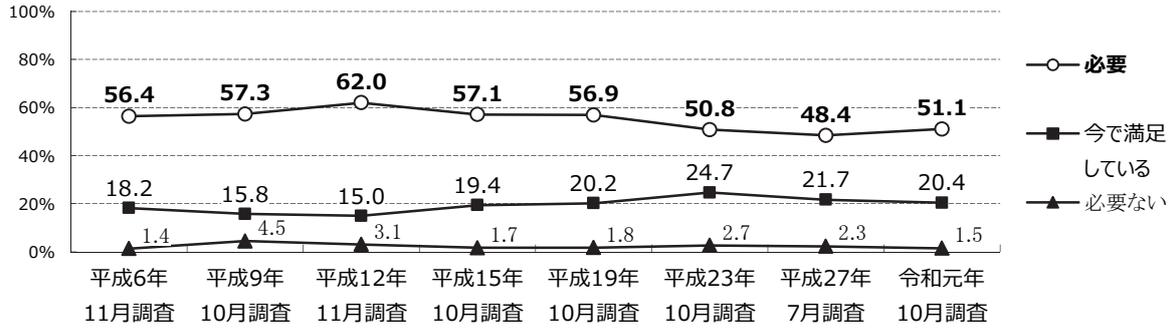
④歩道と車道の分離



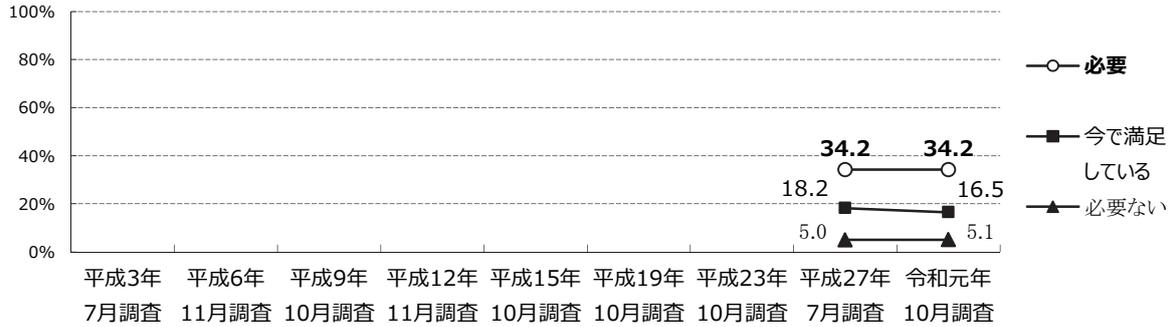
⑤駅周辺の整備



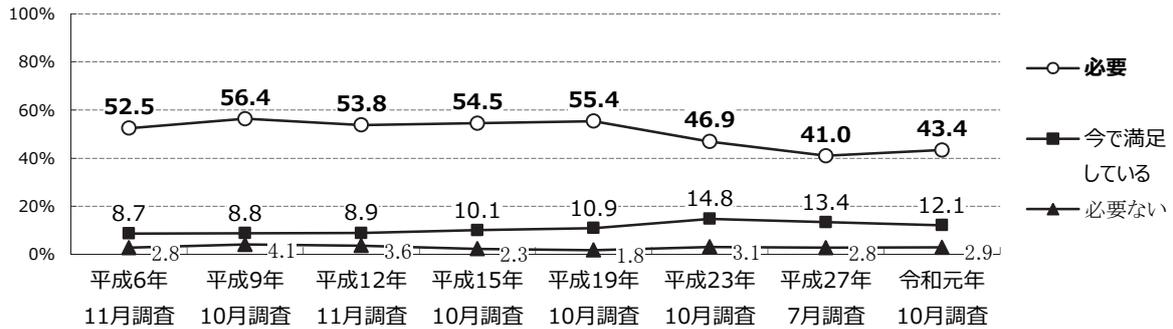
⑥市街地の整備



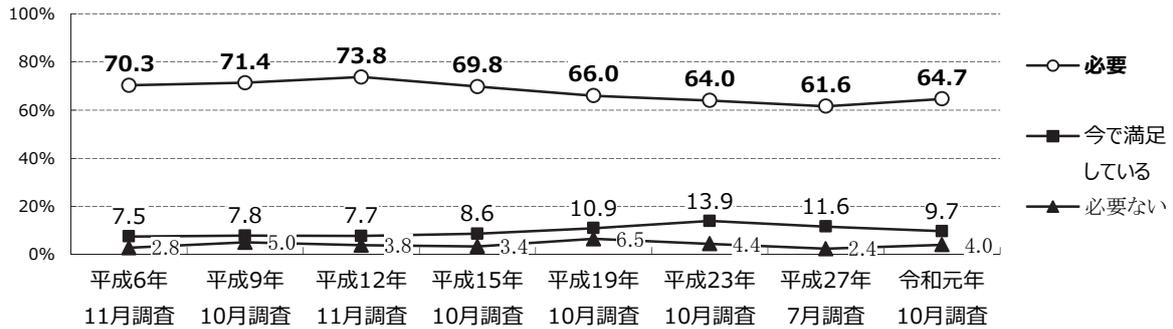
⑦東部丘陵地の整備



⑧山砂利対策



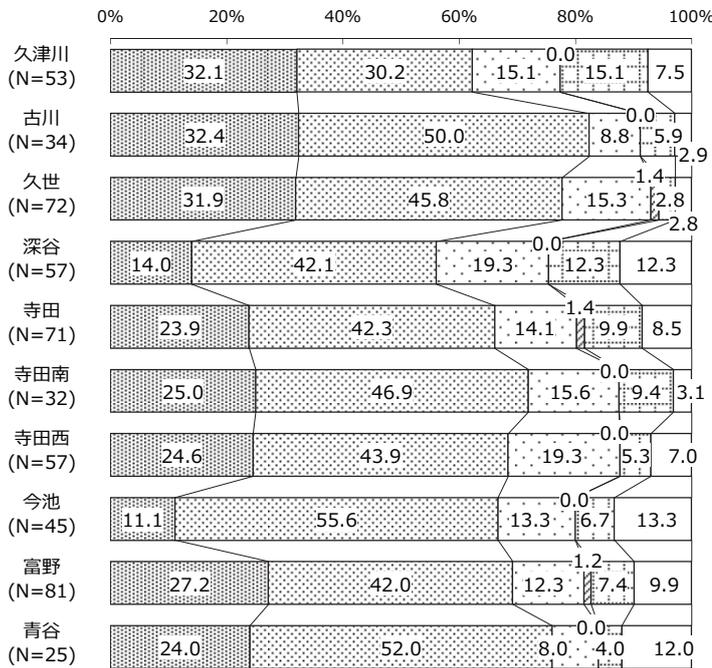
⑨近鉄と道路との立体交差化



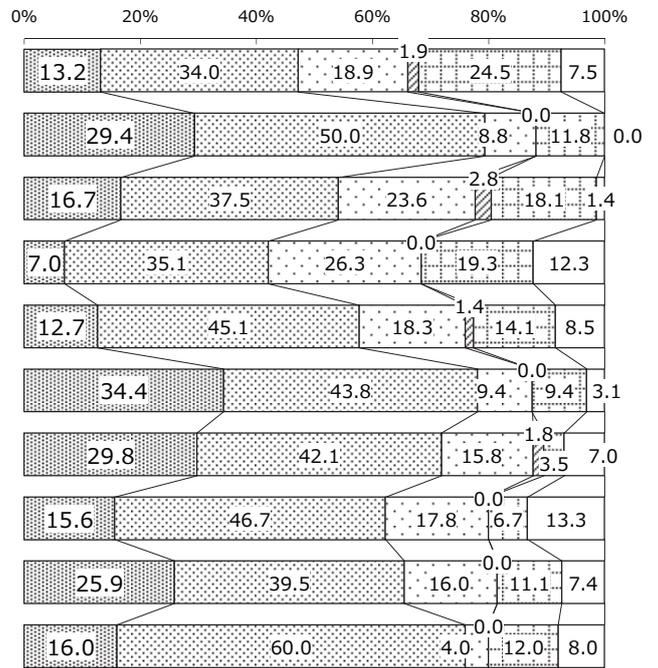
前回調査と比較すると、多くの項目で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、すべての項目で「今で満足している」が減少しています。「②河川・排水路の整備」は『必要』が5.9ポイント増加しており、前回調査との差が最も大きくなっています。（図4-3-1）

図4-3-2 居住小学校区別 都市基盤整備の必要性

①道路の整備

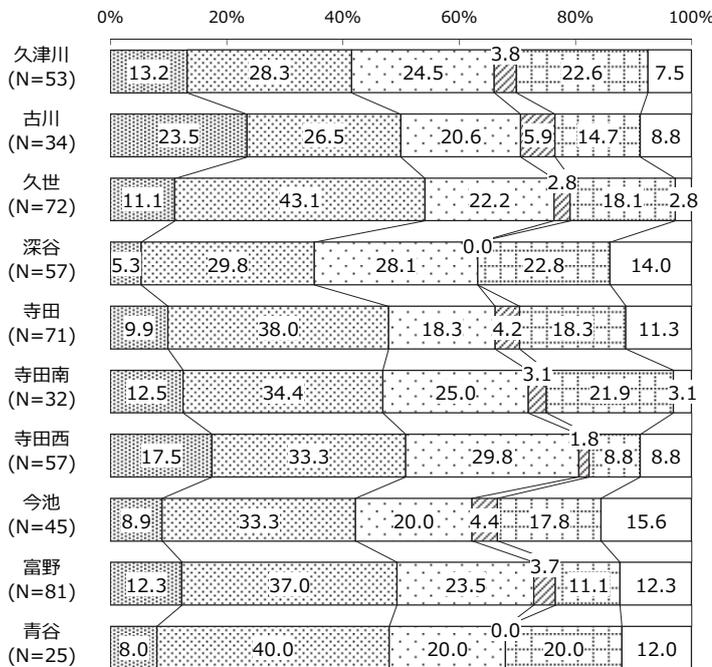


②河川・排水路の整備

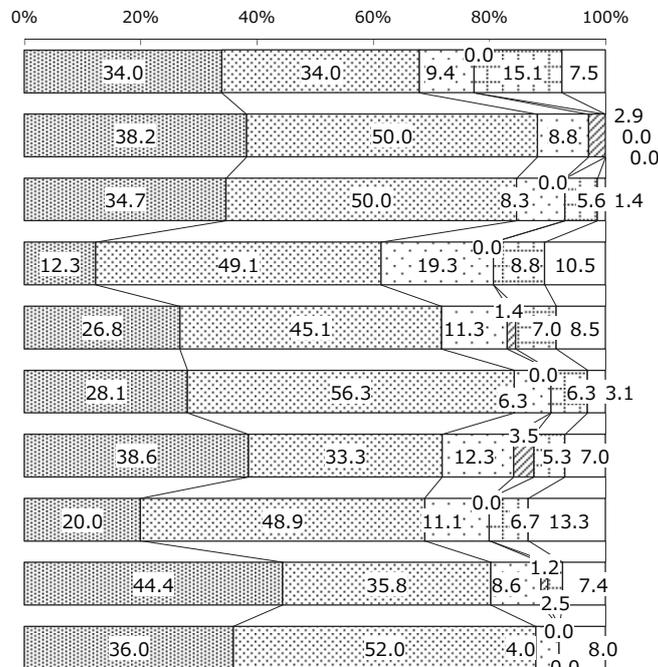


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③緑地帯の設置

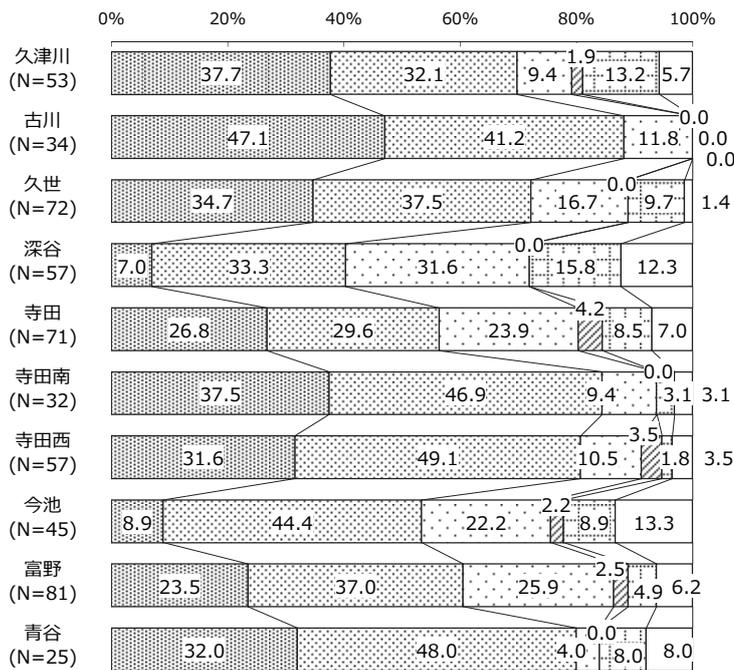


④歩道と車道の分離

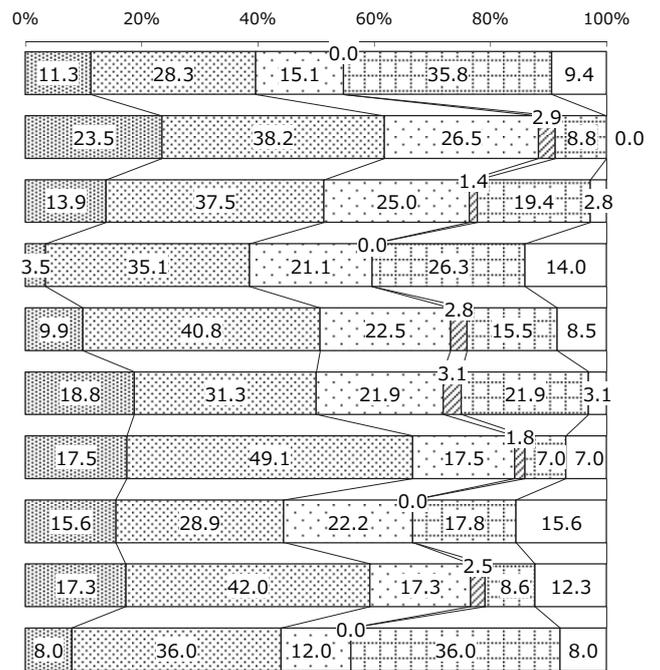


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤ 駅周辺の整備

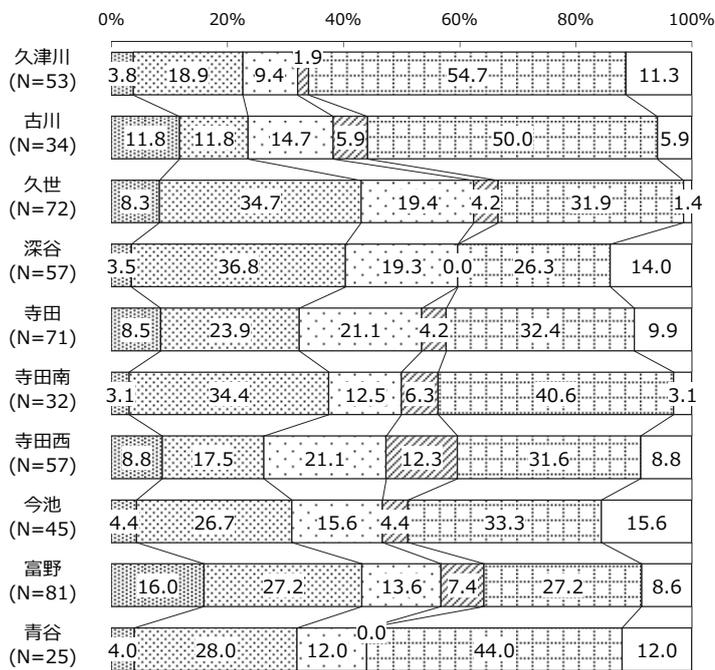


⑥ 市街地の整備

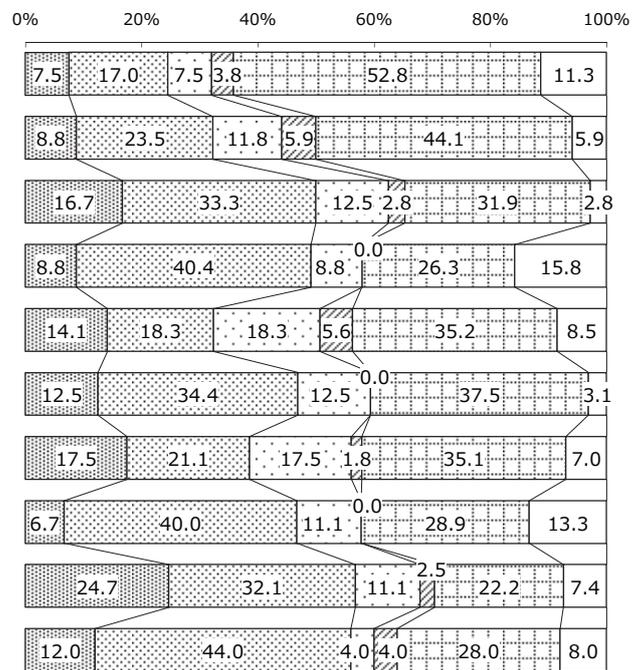


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦ 東部丘陵地の整備

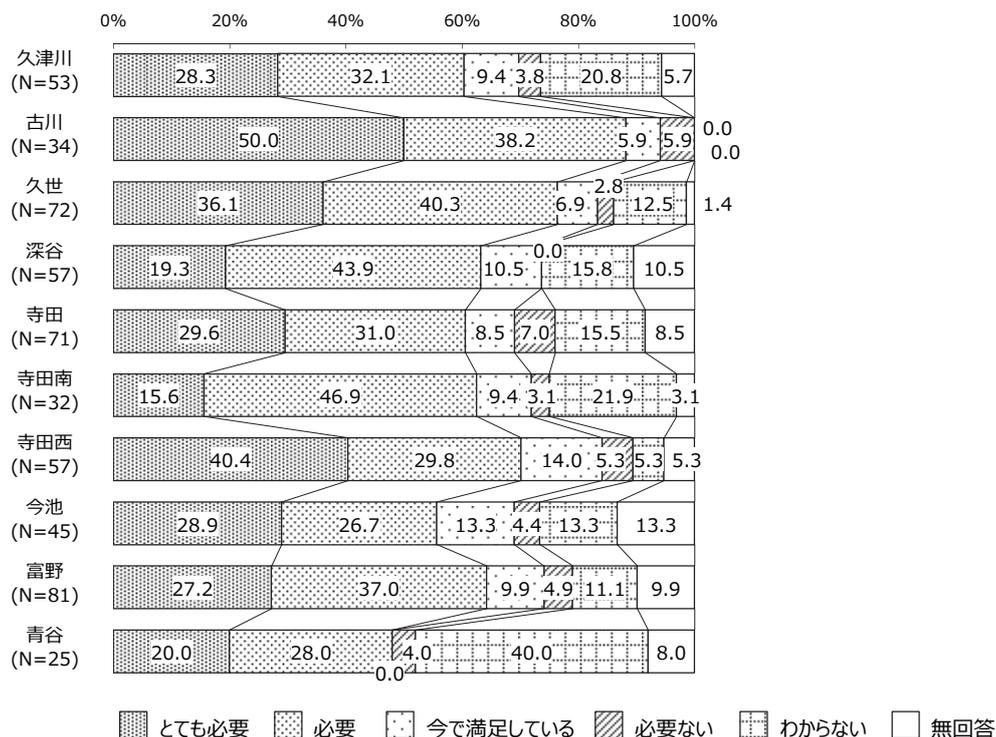


⑧ 山砂利対策



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑨近鉄と道路との立体交差化



居住小学校区別にみると、「①道路の整備」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）がすべての小学校区で55%以上となっており、古川で82.4%（28件）、久世で77.7%（56件）、青谷で76.0%（19件）、寺田南で71.9%（23件）と高くなっています。

「②河川・排水路の整備」は、『必要』が古川で79.4%（27件）、寺田南で78.2%（25件）、青谷で76.0%（19件）、寺田西で71.9%（41件）と高くなっています。

「③緑地帯の設置」は、久世と寺田西と古川で、『必要』が5割を超えています。

「④歩道と車道の分離」は、いずれの小学校区でも、『必要』が6割以上を占めており、富野では「とても必要」が44.4%（36件）と高くなっています。

「⑤駅周辺の整備」は、『必要』が古川で88.3%（30件）、寺田南で84.4%（27件）、寺田西で80.7%（46件）、青谷で80.0%（20件）と高くなっており、古川では「とても必要」が47.1%（16件）と半数近くを占めています。一方、深谷では、『必要』が40.3%（23件）と低く、「今で満足している」が31.6%（18件）と他の小学校区と比べて高くなっています。

「⑥市街地の整備」は、『必要』が寺田西で66.6%（38件）、古川で61.7%（21件）と高くなっています。

「⑦東部丘陵地の整備」は、『必要』が富野で43.2%（35件）、久世で43.0%（31件）、深谷で40.3%（23件）と高くなっています。

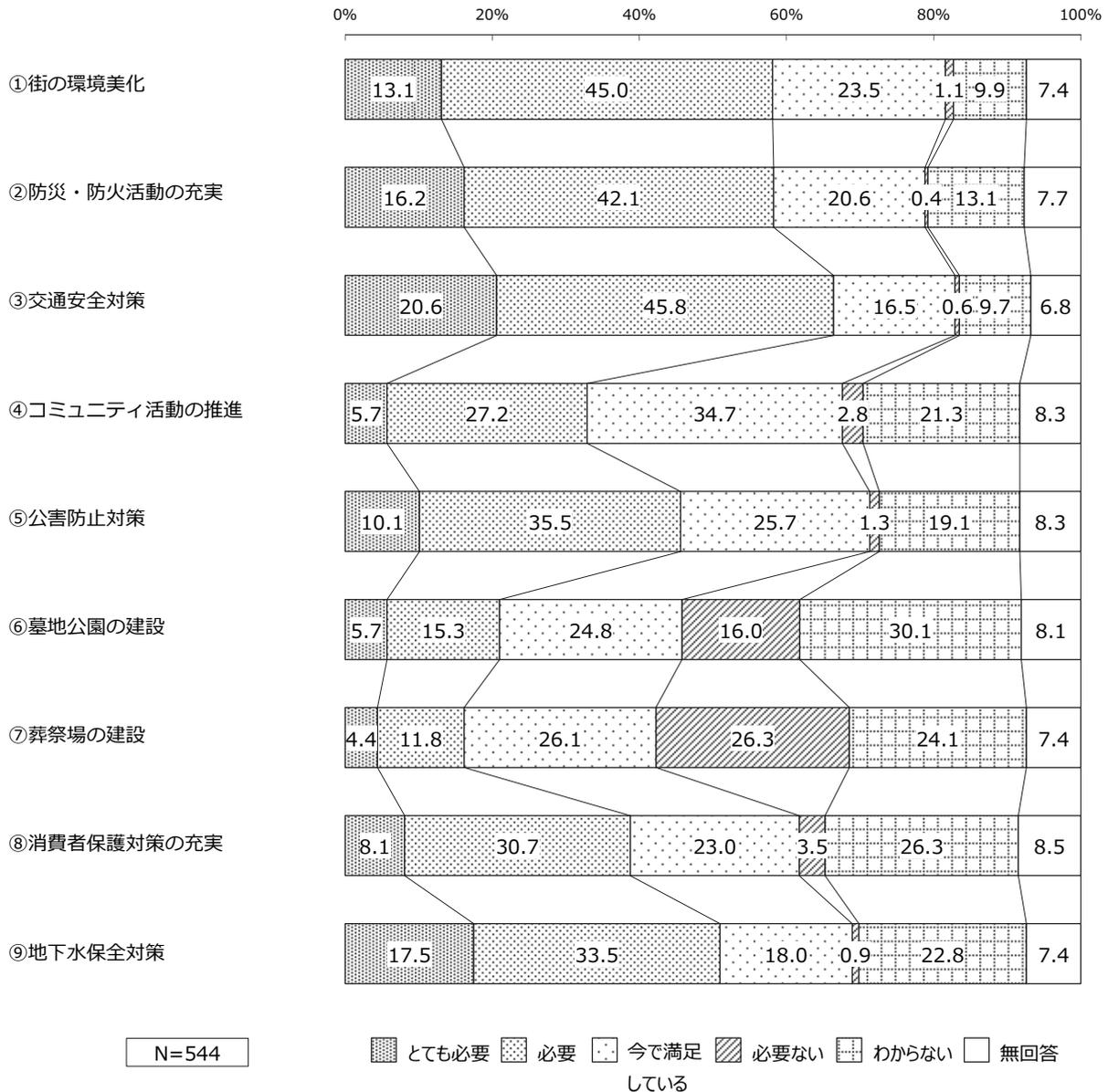
「⑧山砂利対策」は、『必要』が富野で56.8%（46件）、青谷で56.0%（14件）、久世で50.0%（36件）と5割以上を占めています。

「⑨近鉄と道路との立体交差化」は、古川で『必要』が88.2%（30件）と最も高く、「とても必要」が50.0%（17件）を占めています。また、久世76.4%（55件）と寺田西70.2%（40件）でも『必要』が高くなっています。（図4-3-2）

(4) 生活環境整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

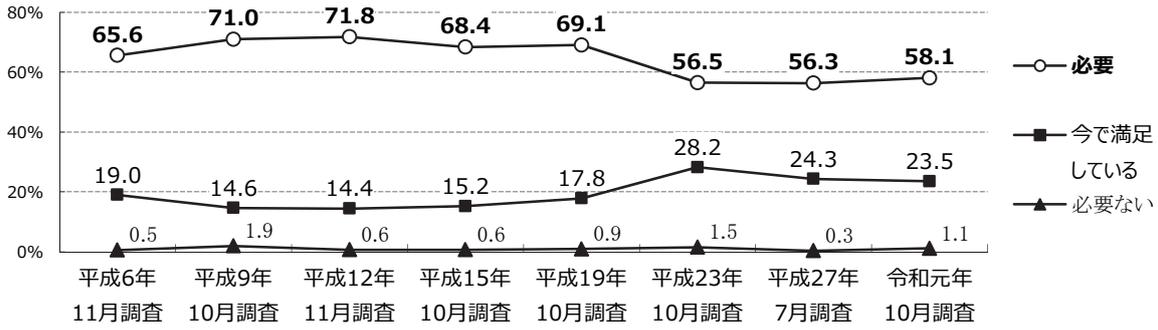
図4-4 生活環境整備の必要性



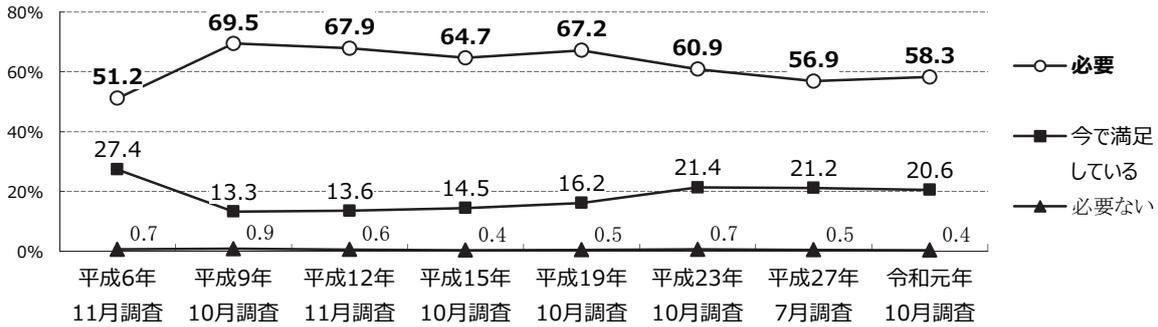
生活環境整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「③交通安全対策」66.4%（361件）、「②防災・防火活動の充実」58.3%（317件）、「①街の環境美化」58.1%（316件）、「⑨地下水保全対策」51.0%（277件）で、5割を超えて高くなっています。「⑥墓地公園の建設」「⑦葬祭場の建設」は他の項目よりも、「必要ない」の割合が高くなっています。また、「④コミュニティ活動の推進」は「今で満足している」が34.7%（189件）で最も高くなっています。（図4-4）

図4-4-1 経年比較 生活環境整備の必要性

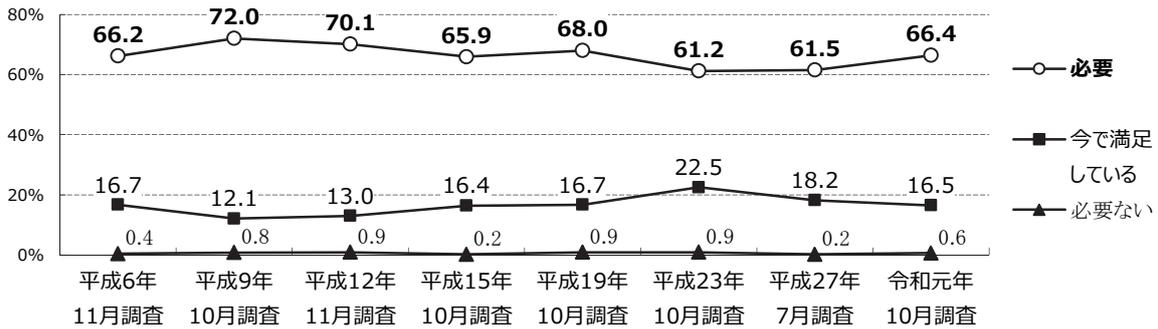
①街の環境美化



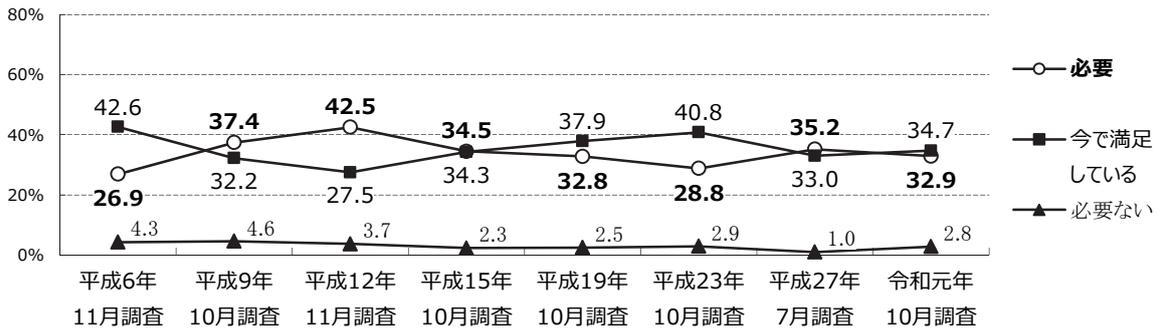
②防災・防火活動の充実



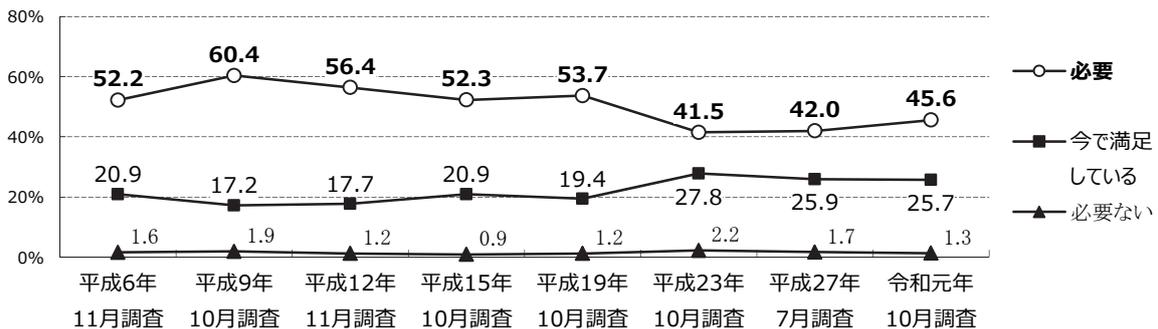
③交通安全対策



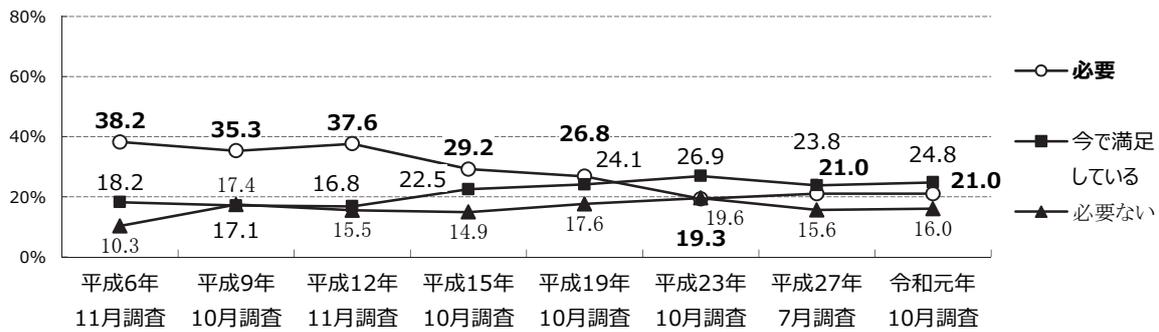
④コミュニティ活動の推進



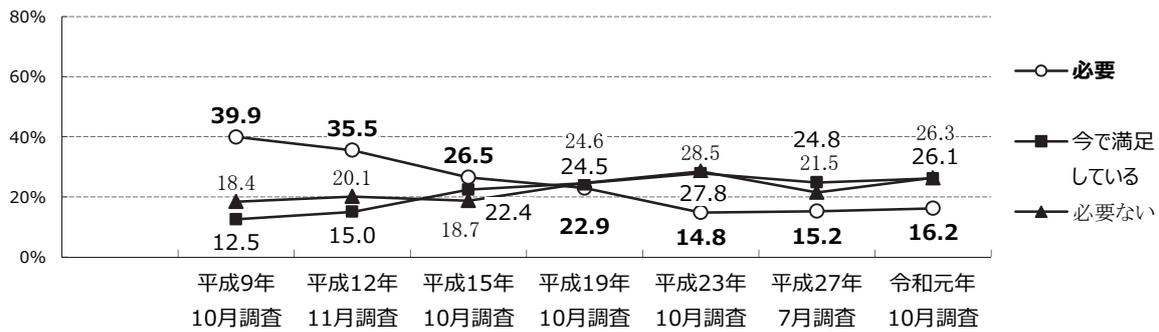
⑤公害防止対策



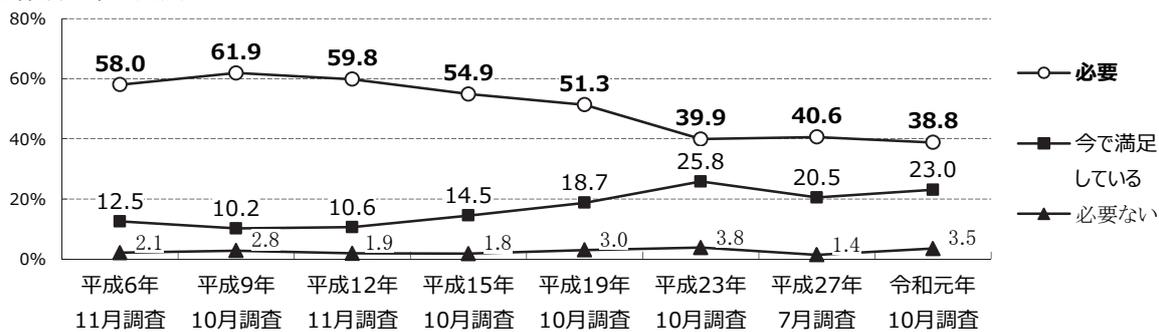
⑥墓地公園の建設



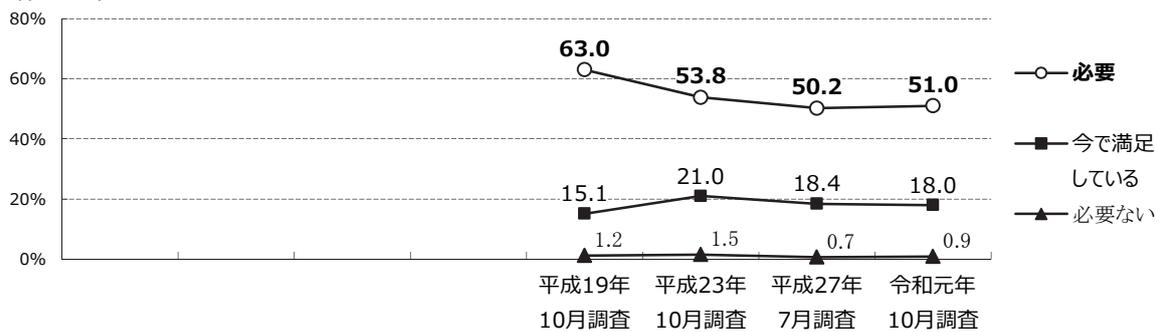
⑦葬祭場の建設



⑧消費者保護対策の充実



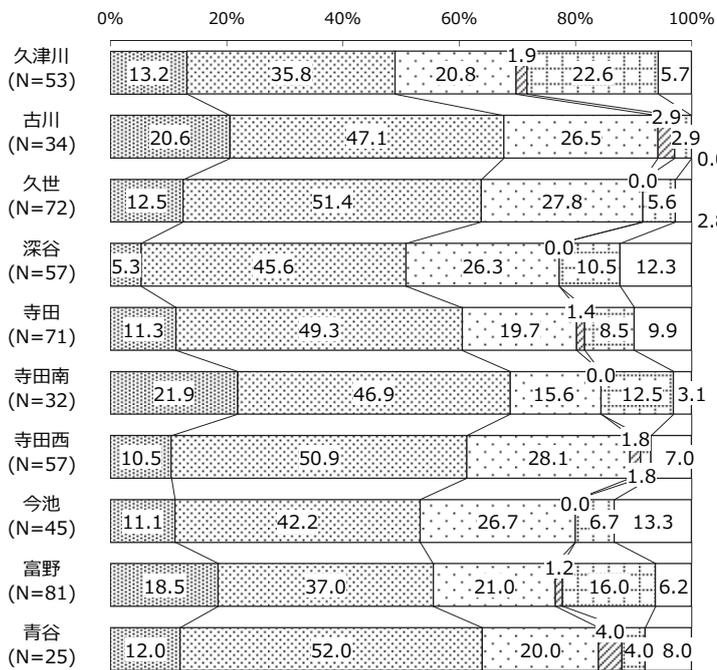
⑨地下水保全対策



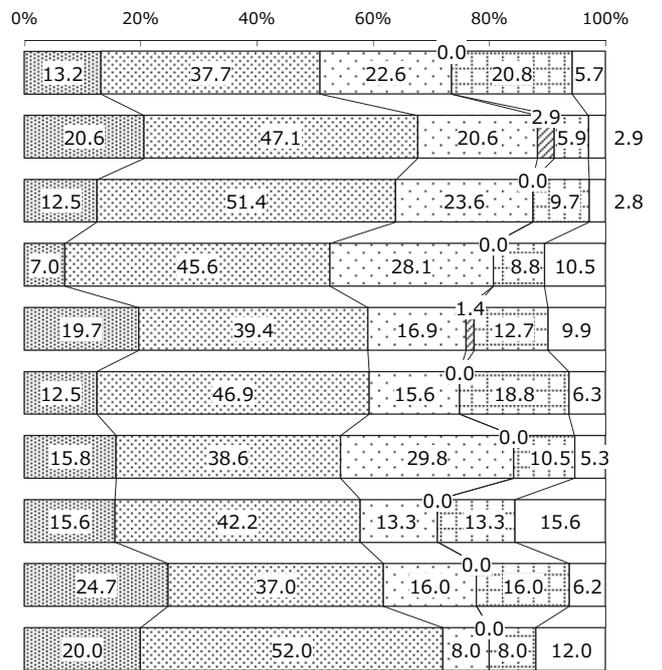
前回調査と比較すると、「①街の環境美化」「②防災・防火活動の充実」「③交通安全対策」「⑤公害防止対策」「⑦葬祭場の建設」「⑨地下水保全対策」で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、特に「③交通安全対策」では4.9ポイントの増加となっています。一方、「④コミュニティ活動の推進」「⑧消費者保護対策の充実」では『必要』がやや減少し、「今で満足している」がやや増加しています。（図4-4-1）

図4-4-2 居住小学校区別 生活環境整備の必要性

①街の環境美化

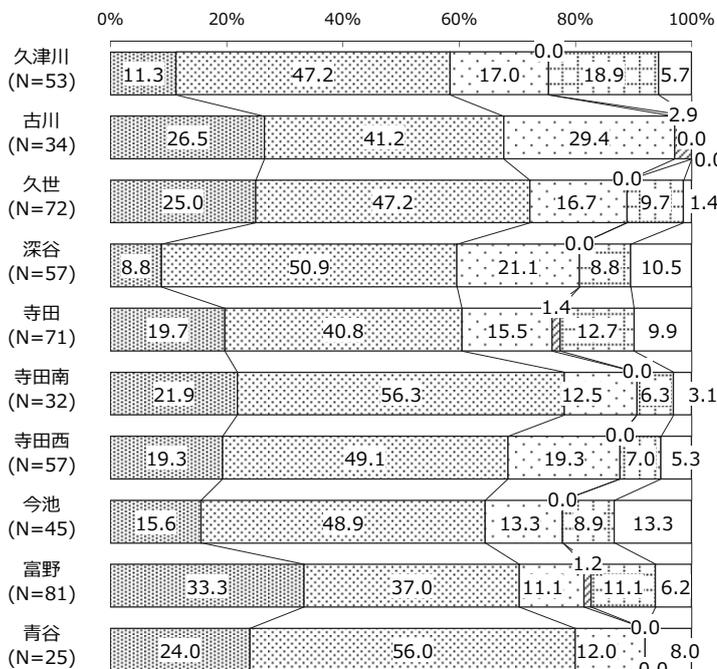


②防災・防火活動の充実

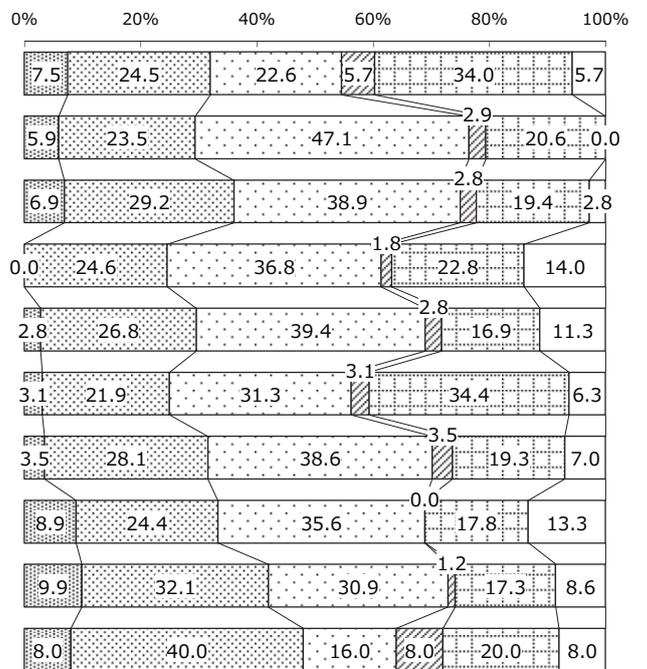


とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③交通安全対策

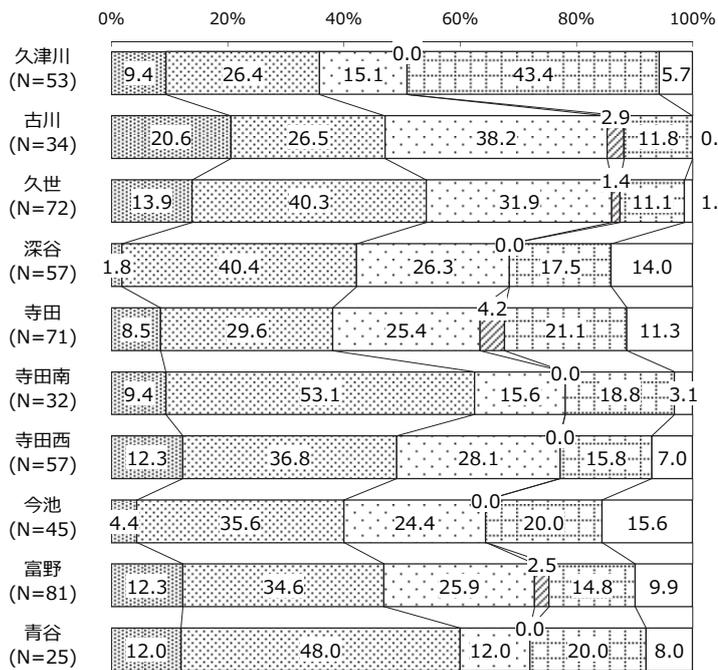


④コミュニティ活動の推進

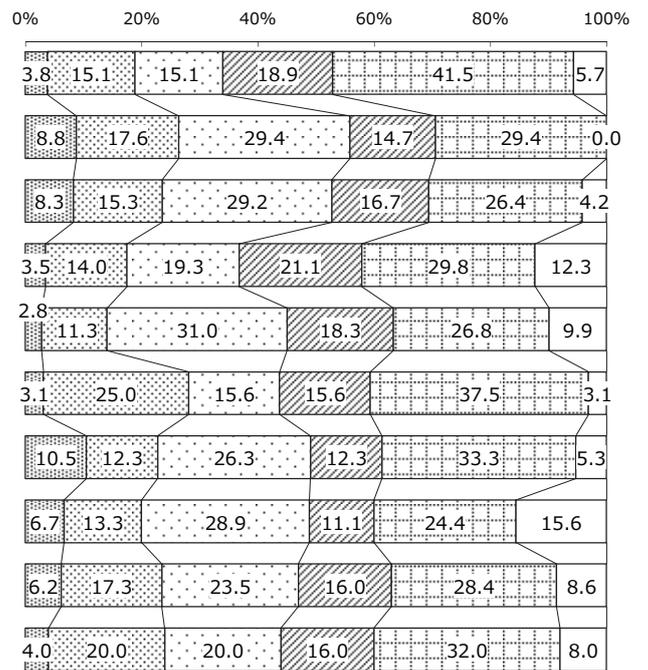


とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤公害防止対策

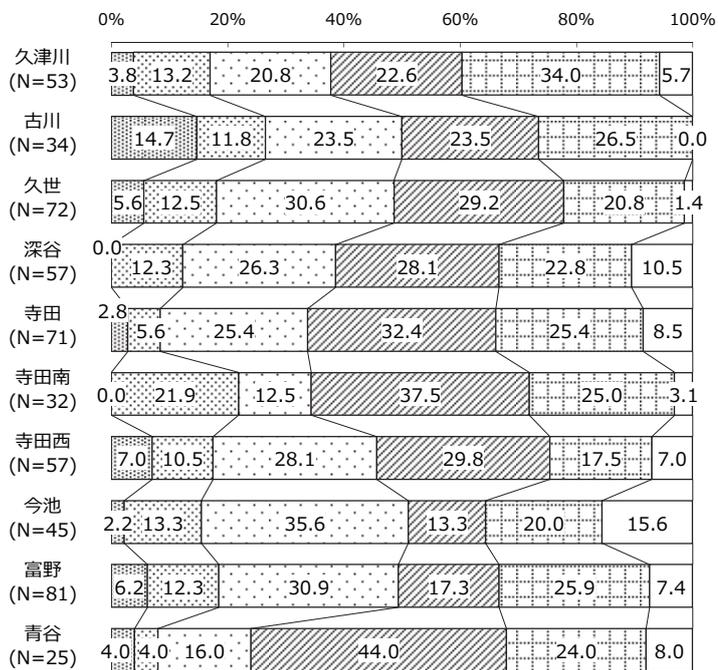


⑥墓地公園の建設

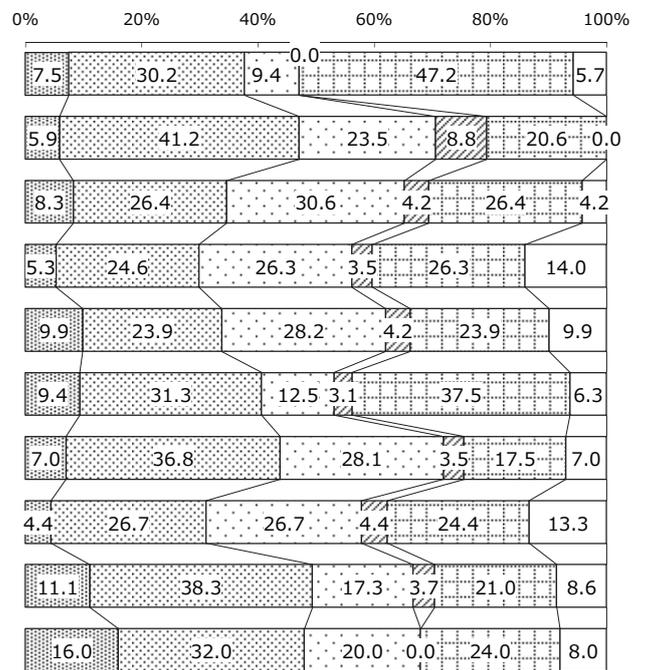


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦葬祭場の建設

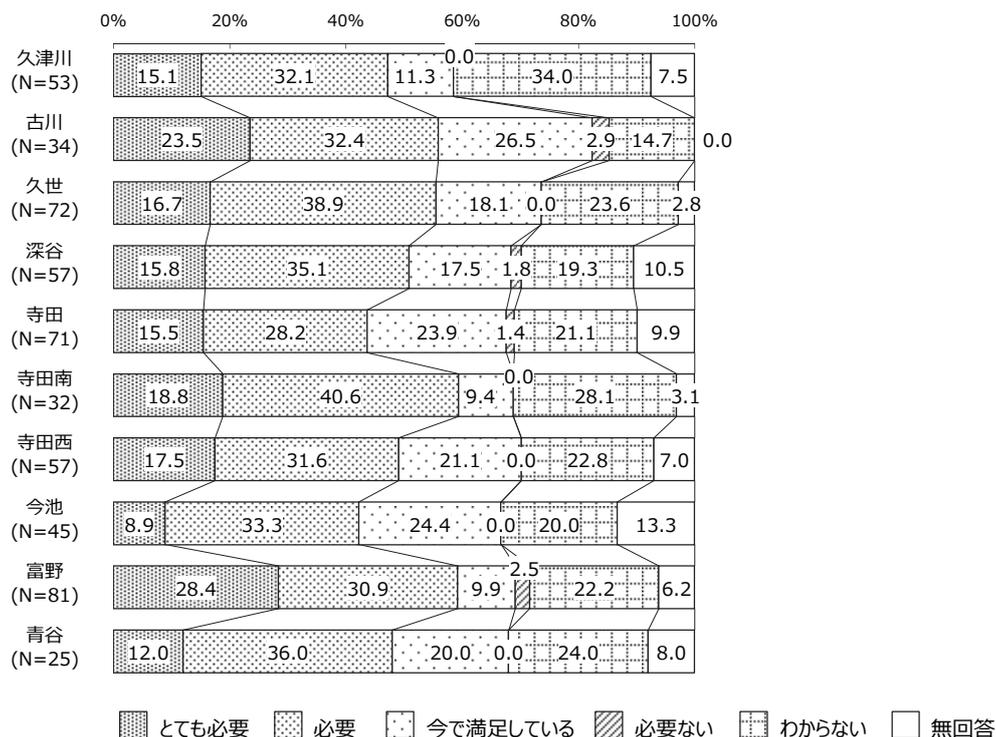


⑧消費者保護対策の充実



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑨地下水保全対策



居住小学校区別にみると、「①街の環境美化」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、寺田南で68.8%（22件）、古川で67.7%（23件）とやや高くなっています。

「②防災・防火活動の充実」は、『必要』が青谷で72.0%（18件）と最も高く、古川、久世、富野でも6割以上となっています。

「③交通安全対策」は、『必要』がすべての小学校区で5割を超え、特に青谷で80.0%（20件）と高くなっています。また、富野では「とても必要」が33.3%（27件）と高くなっています。

「④コミュニティ活動の推進」は、富野と青谷で『必要』が4割を超えています。一方、古川、久世、深谷、寺田、寺田南、寺田西、今池では「今で満足している」が『必要』を上回っており、古川で47.1%（16件）と最も高くなっています。

「⑤公害防止対策」は、『必要』が寺田南で62.5%（20件）、青谷で60.0%（15件）と高く6割を超えています。

「⑥墓地公園の建設」は、寺田では「今で満足している」が31.0%（22件）とやや高くなっています。

「⑦葬祭場の建設」は、多くの小学校区で「必要ない」が『必要』を上回っており、青谷で44.0%（11件）と高くなっています。

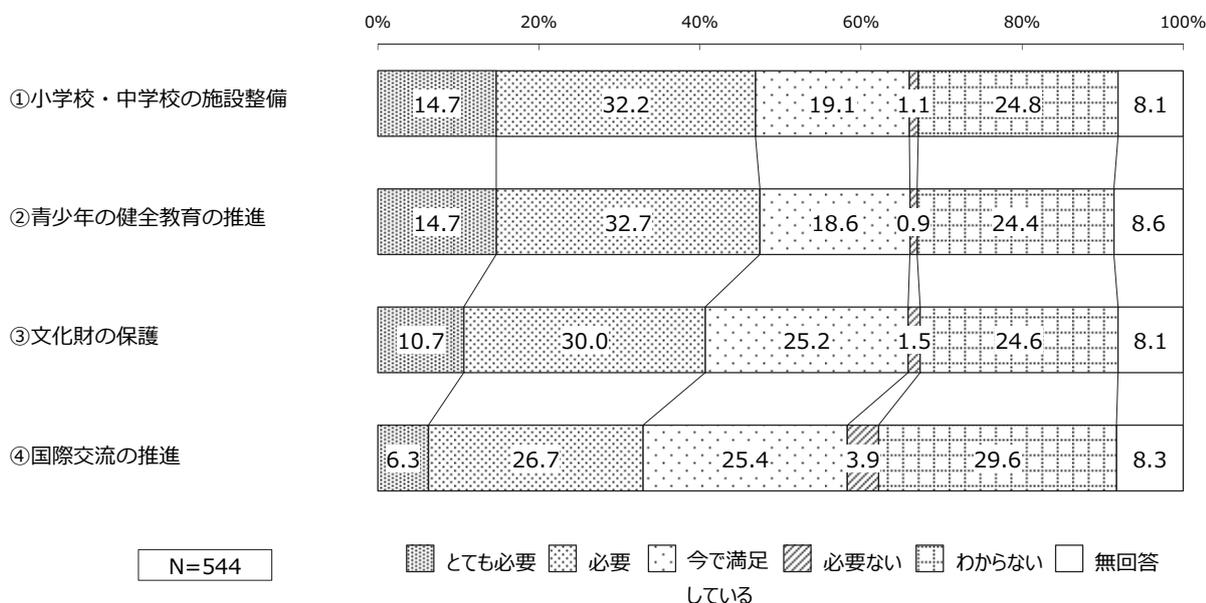
「⑧消費者保護対策の充実」は、『必要』が富野で49.4%（40件）、青谷で48.0%（12件）、古川で47.1%（16件）と高くなっています。

「⑨地下水保全対策」は、寺田南と富野で『必要』がそれぞれ59.4%（19件）、59.3%（48件）とやや高くなっています。（図4-4-2）

(5) 教育・文化に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

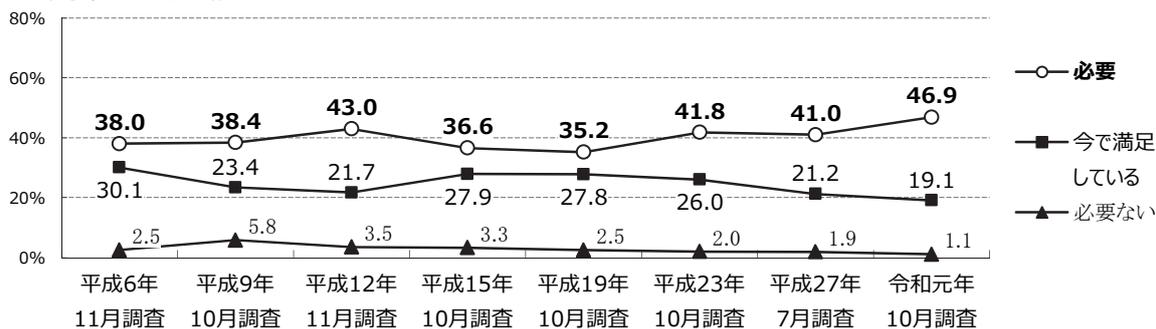
図4-5 教育・文化に対する整備の必要性



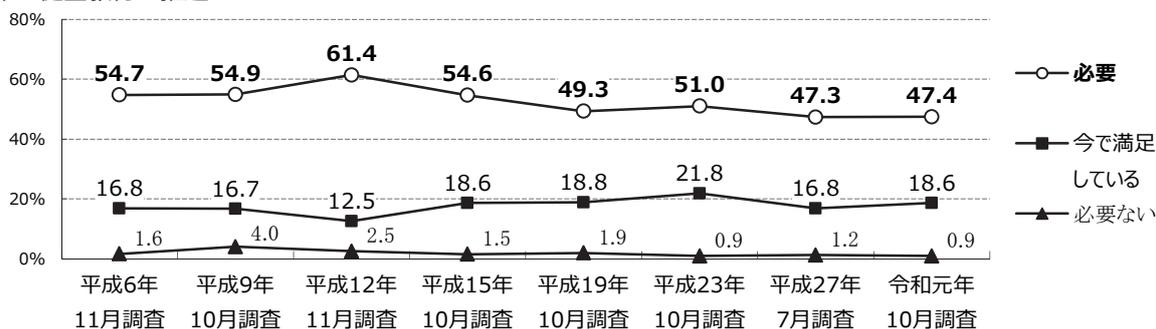
教育・文化に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「②青少年の健全教育の推進」で47.4%（258件）、「①小学校・中学校の施設整備」で46.9%（255件）、「③文化財の保護」で40.7%（221件）と高くなっています。一方、「③文化財の保護」「④国際交流の推進」では「今で満足している」が約25%を占めています。（図4-5）

図4-5-1 経年比較 教育・文化に対する整備の必要性

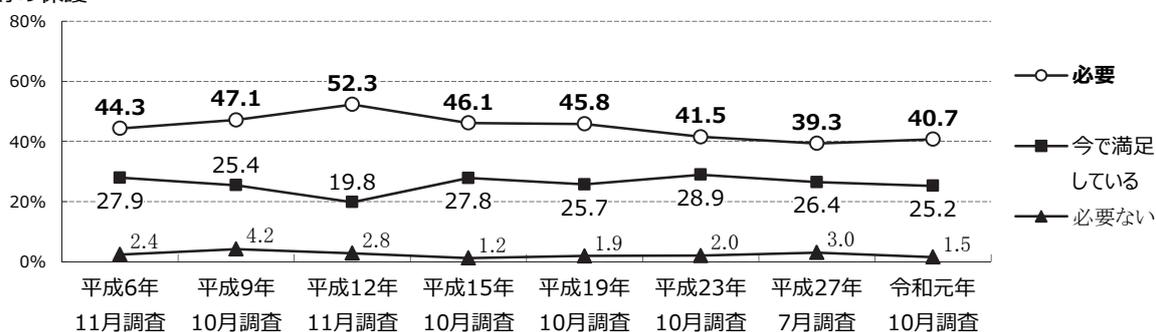
①小学校・中学校の施設整備



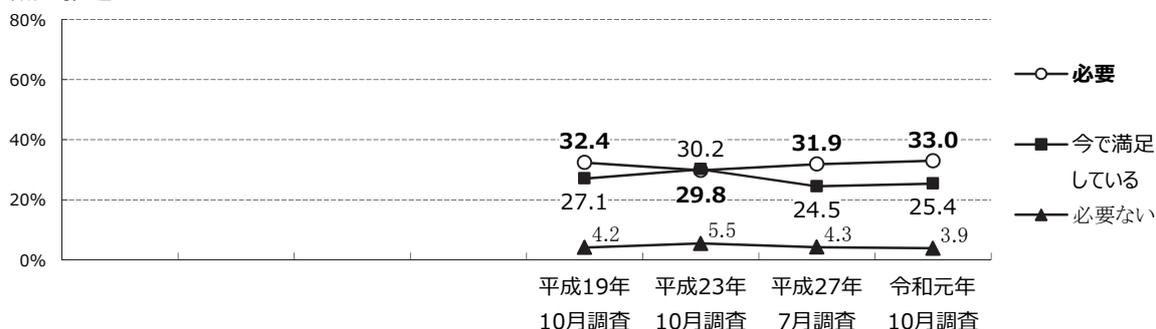
②青少年の健全教育の推進



③文化財の保護

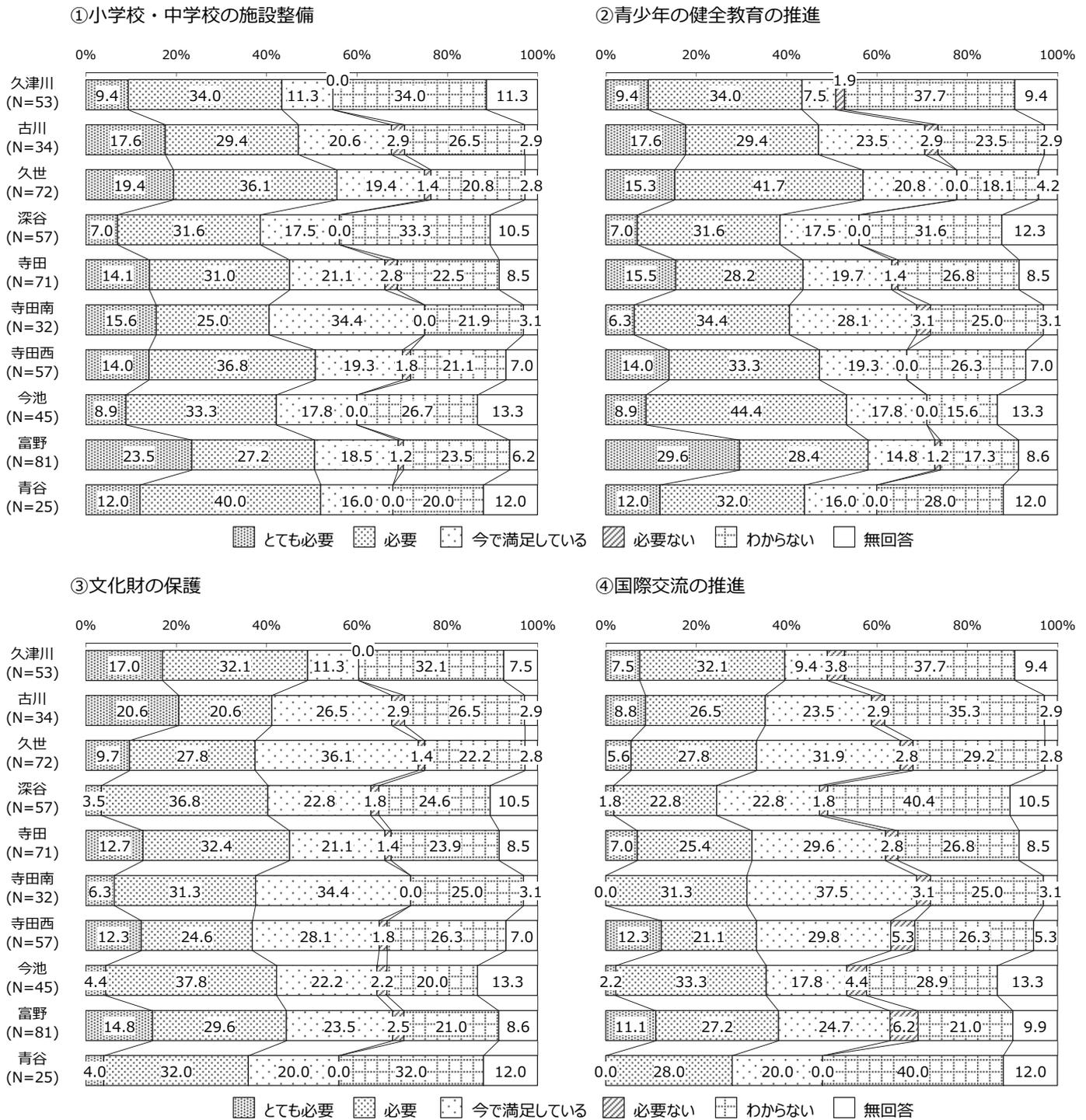


④国際交流の推進



前回調査と比較すると、4項目とも『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、「①小学校・中学校の施設整備」では5.9ポイント増加しています。また、「②青少年の健全教育の推進」では「今で満足している」も1.8ポイント増となっています。（図4-5-1）

図4-5-2 居住小学校区別 教育・文化に対する整備の必要性



居住小学校区別にみると、「①小学校・中学校の施設整備」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、久世、青谷、寺田西、富野で5割台となっています。

「②青少年の健全教育の推進」は、『必要』が富野で58.0%（47件）、久世で57.0%（41件）、今池で53.3%（24件）と高くなっており、富野では「とても必要」が29.6%（24件）と高くなっています。

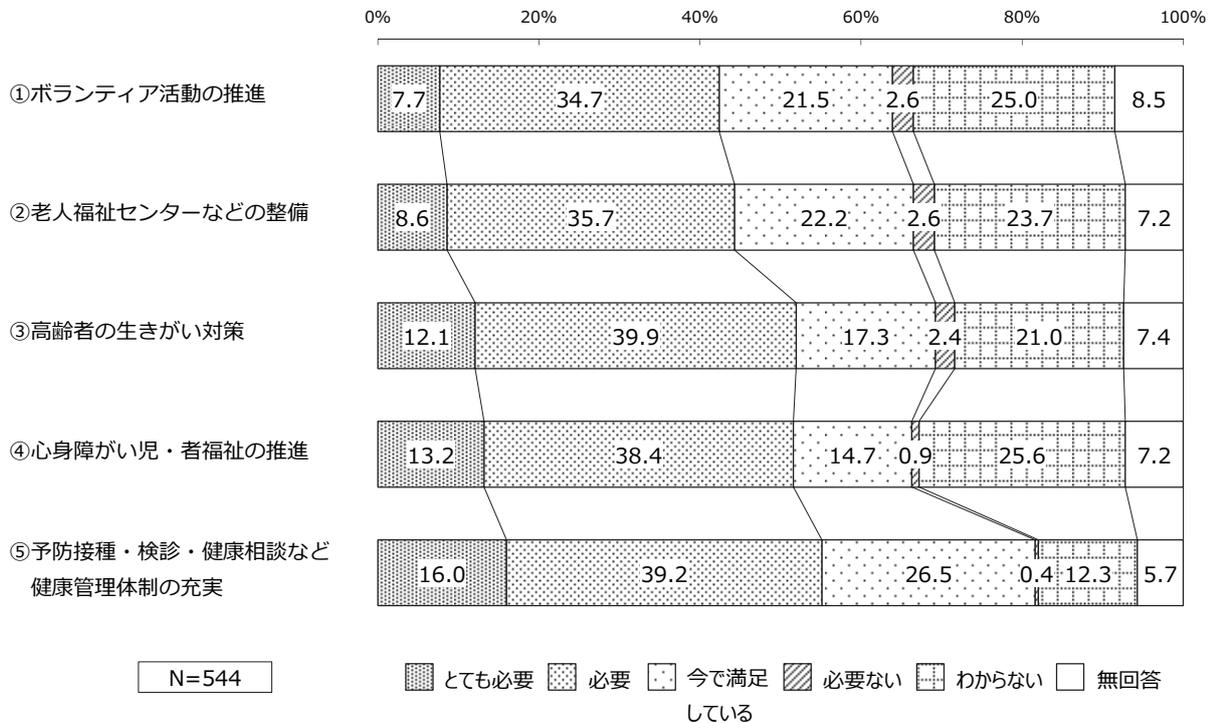
「③文化財の保護」は、久世と寺田南では「今で満足している」が3割強を占めており、『必要』の割合と同程度となっています。

「④国際交流の推進」は、寺田南では「今で満足している」が37.5%（12件）と全校区の中で最も高くなっています。（図4-5-2）

(6) 福祉・健康に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

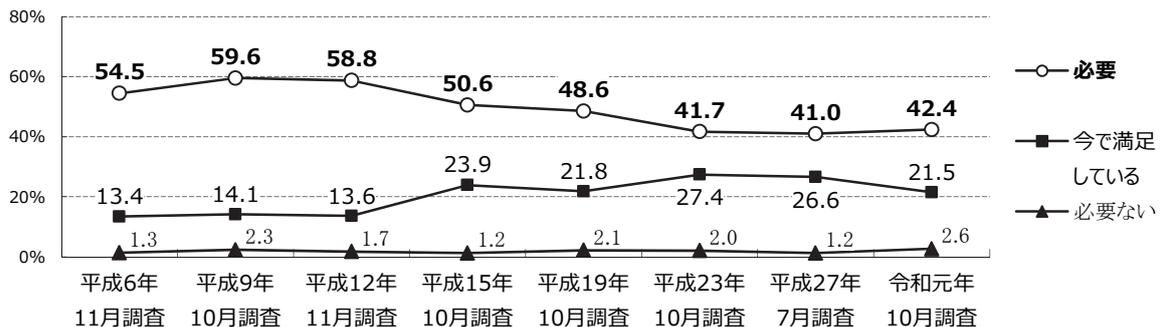
図4-6 福祉・健康に対する整備の必要性



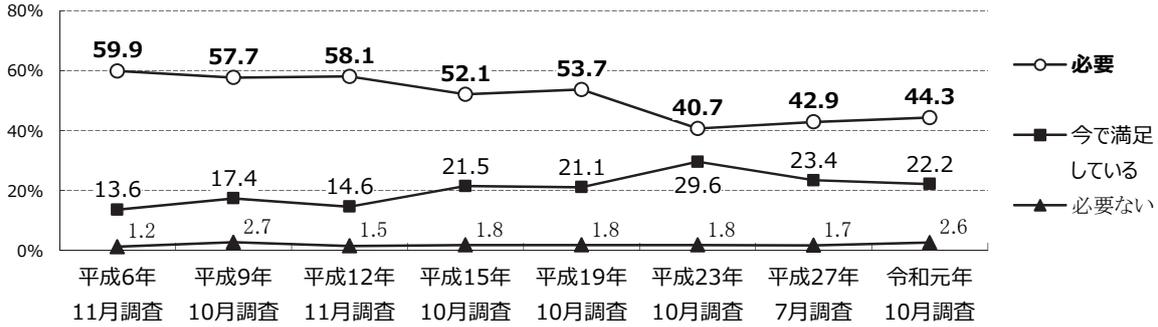
福祉・健康に対する整備の必要性については、『必要』（「とも必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実」で55.2%（300件）、「③高齢者の生きがい対策」で52.0%（283件）、「④心身障がい児・者福祉の推進」で51.6%（281件）となっており、この3項目では5割を超えています。（図4-6）

図4-6-1 経年比較 福祉・健康に対する整備の必要性

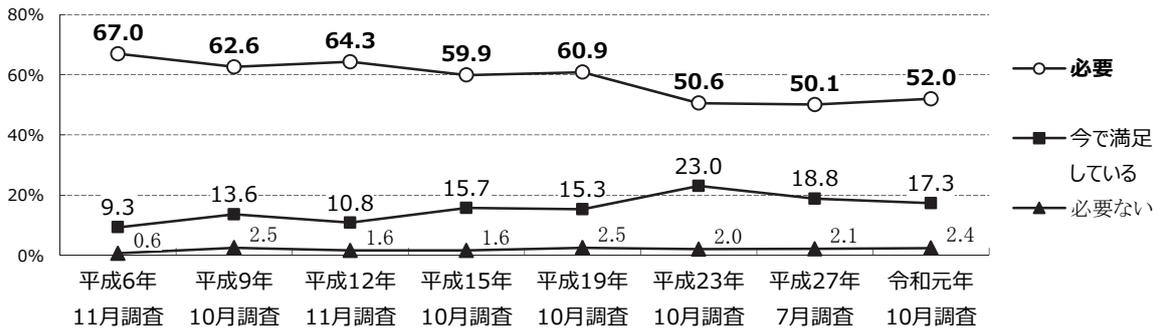
①ボランティア活動の推進



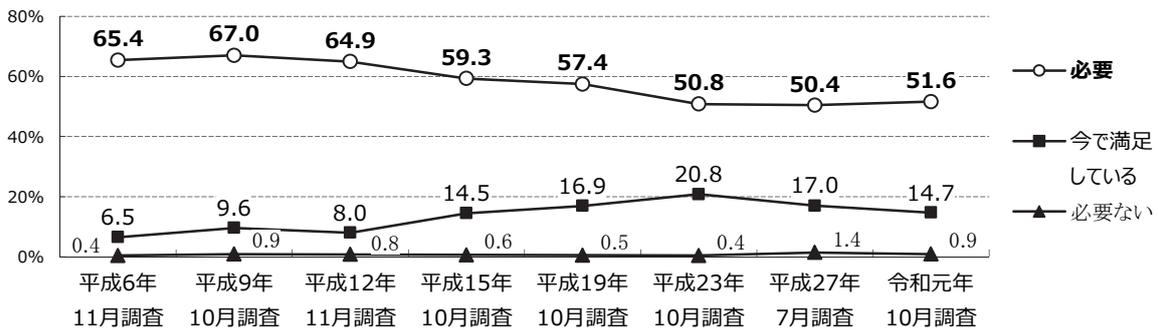
②老人福祉センターなどの整備



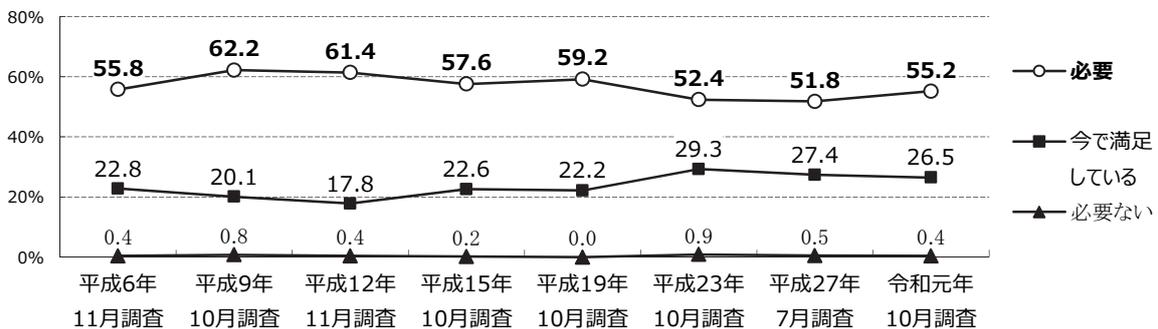
③高齢者の生きがい対策



④心身障がい児・者福祉の推進



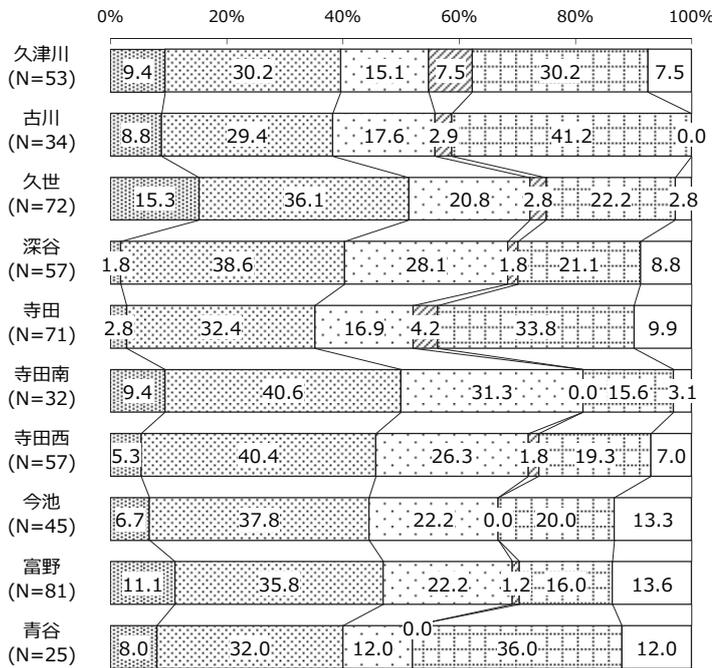
⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実



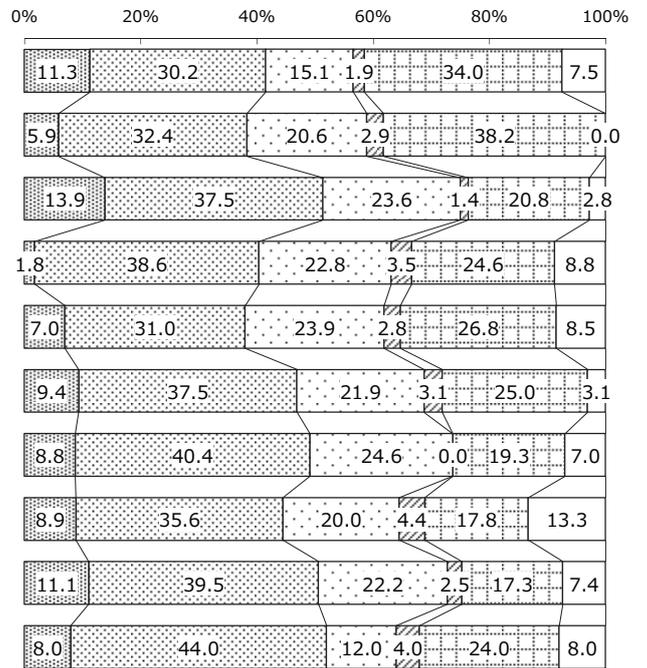
前回調査と比較すると、すべての項目で、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加し、「今で満足している」が減少しています。「⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実」では『必要』が3.4ポイント増、「①ボランティア活動の推進」では「今で満足している」が5.1ポイント減となっています。（図4-6-1）

図4-6-2 居住小学校区別 福祉・健康に対する整備の必要性

①ボランティア活動の推進

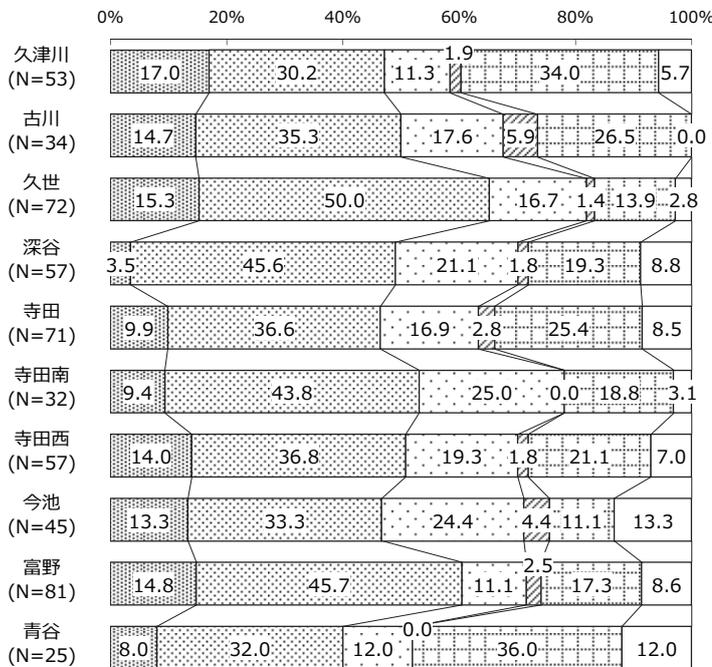


②老人福祉センターなどの整備

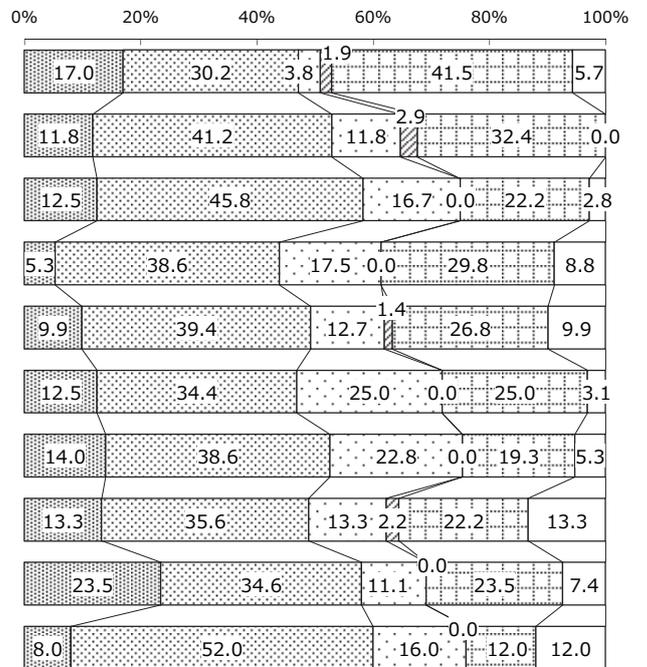


とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③高齢者の生きがい対策

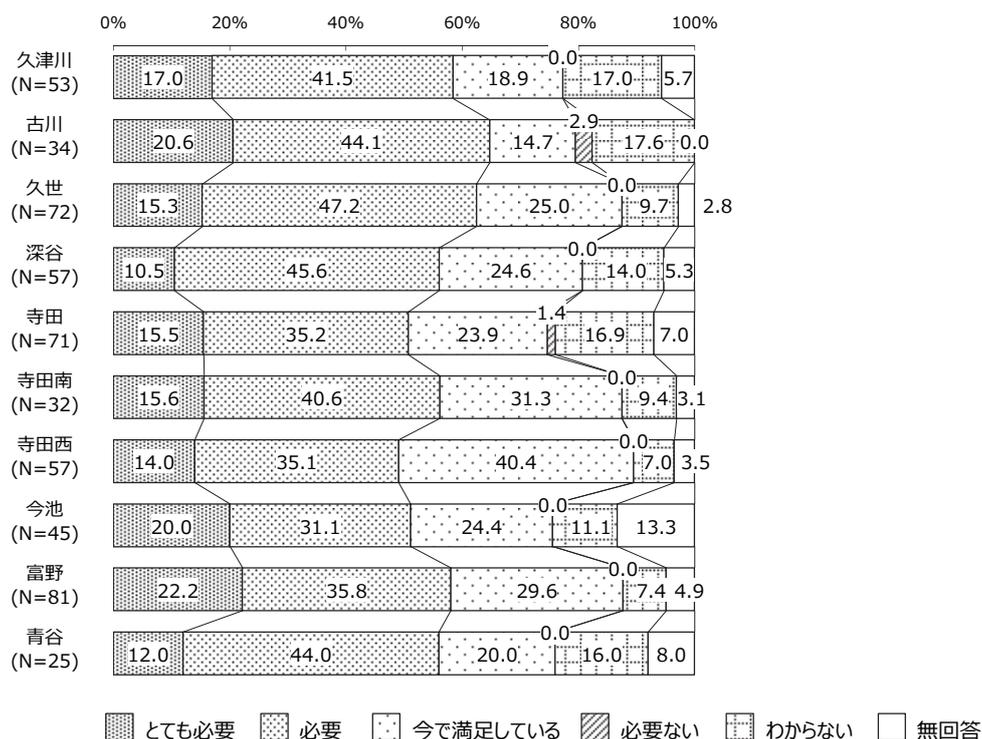


④心身障がい児・者福祉の推進



とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実



居住小学校区別にみると、「①ボランティア活動の推進」は、久世と寺田南で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）がそれぞれ51.4%（37件）、50.0%（16件）と5割以上となっています。

「②老人福祉センターなどの整備」は、『必要』が青谷で52.0%（13件）、久世で51.4%（37件）、富野で50.6%（41件）と5割を超えています。

「③高齢者の生きがい対策」は、久世と富野で『必要』が高く、それぞれ65.3%（47件）、60.5%（49件）と6割を超えています。

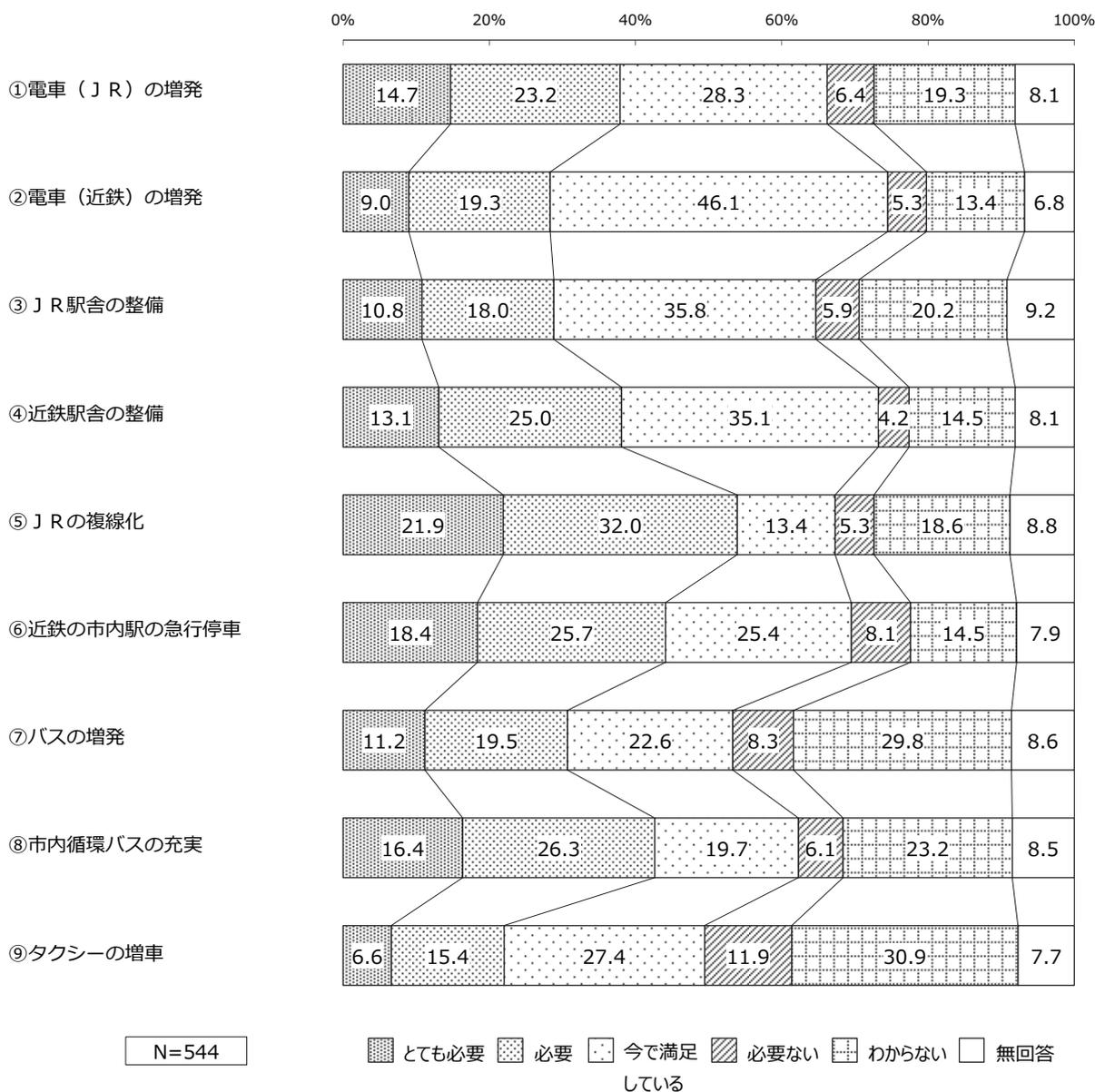
「④心身障がい児・者福祉の推進」は、青谷で『必要』が60.0%（15件）と最も高く、久世58.3%（42件）と富野58.1%（47件）でも6割近くを占めており、富野では「とても必要」が23.5%（19件）と他の小学校区より高くなっています。

「⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実」は、『必要』が古川で64.7%（22件）、久世で62.5%（45件）と高くなっています。一方、寺田西では「今で満足している」が40.4%（23件）と最も高くなっています。（図4-6-2）

(7) 交通機関の整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

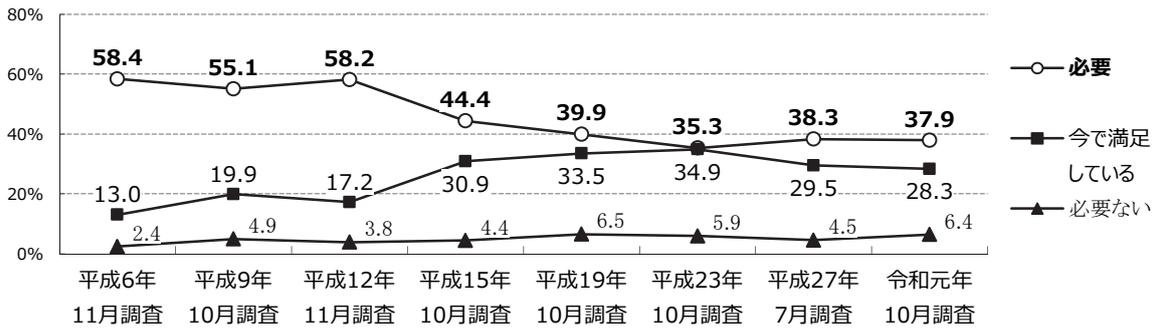
図4-7 交通機関の整備の必要性



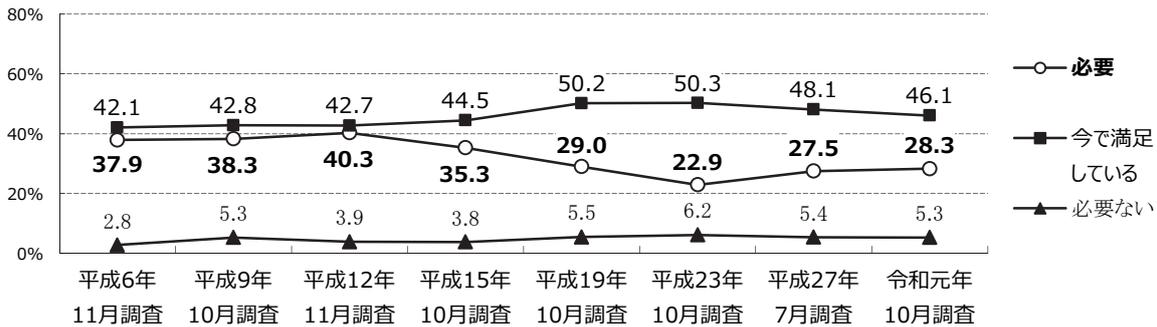
交通機関の整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤JRの複線化」で53.9%（293件）と5割を超えています。また、『必要』は「⑥近鉄の市内駅の急行停車」で44.1%（240件）、「⑧市内循環バスの充実」で42.7%（232件）、「④近鉄駅舎の整備」で38.1%（207件）、「①電車（JR）の増発」で37.9%（206件）、「⑦バスの増発」で30.7%（167件）となっています。「②電車（近鉄）の増発」「③JR駅舎の整備」「⑨タクシーの増車」については『必要』よりも「今で満足している」の割合が高くなっています。（図4-7）

図4-7-1 経年比較 交通機関の整備の必要性

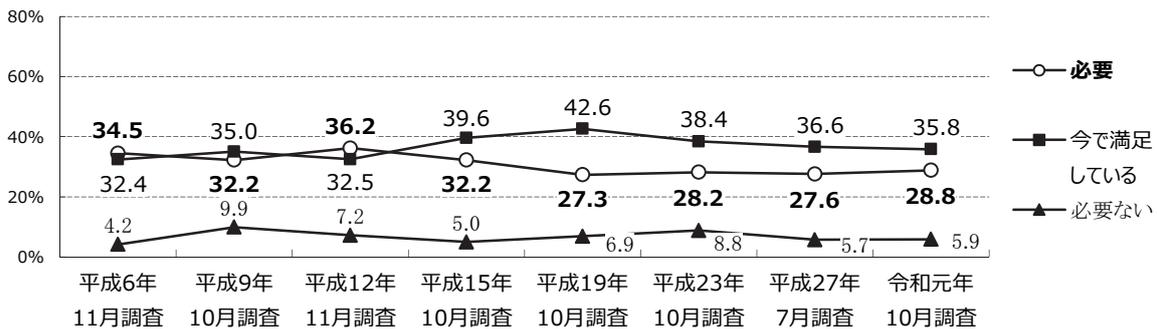
①電車（JR）の増発



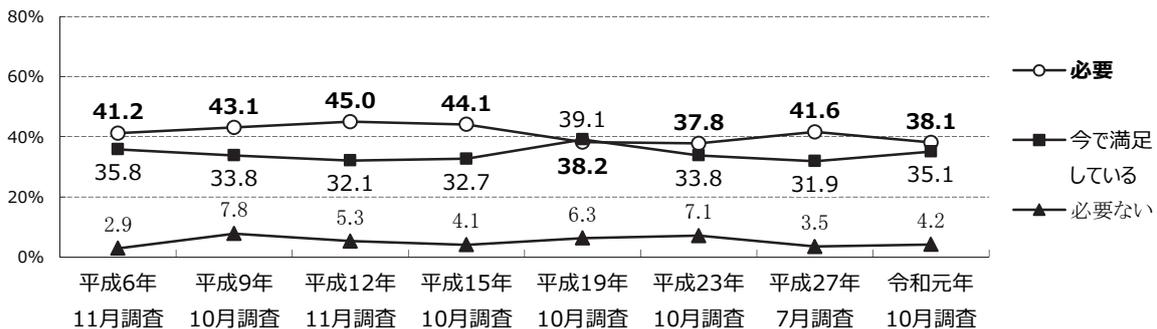
②電車（近鉄）の増発



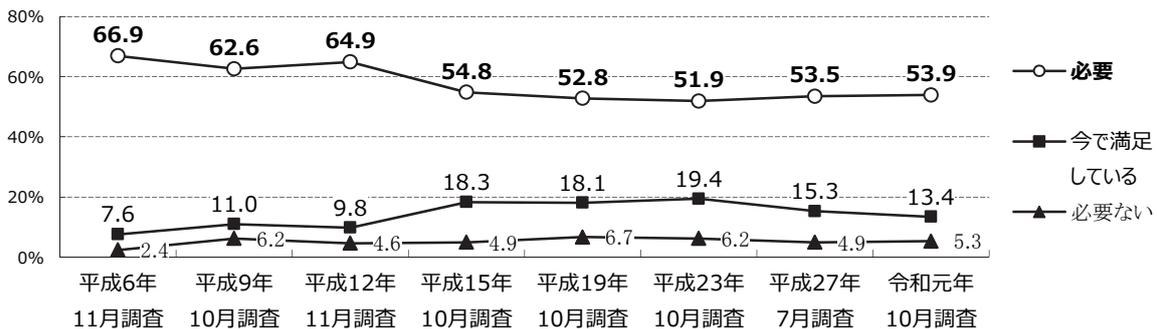
③JR駅舎の整備



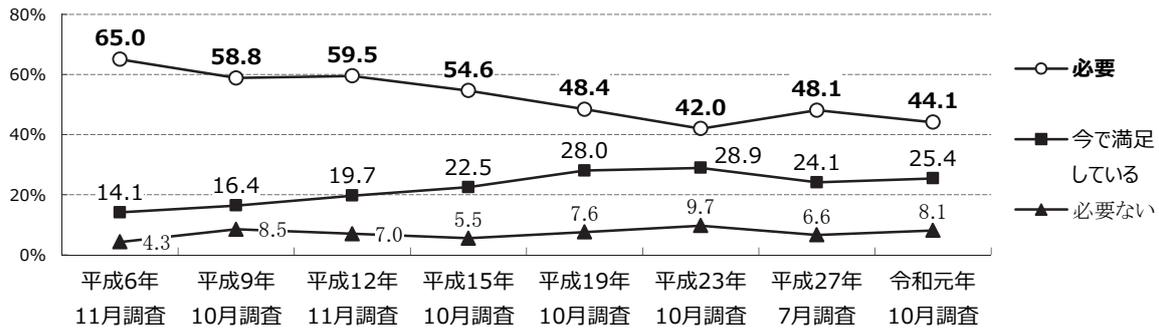
④近鉄駅舎の整備



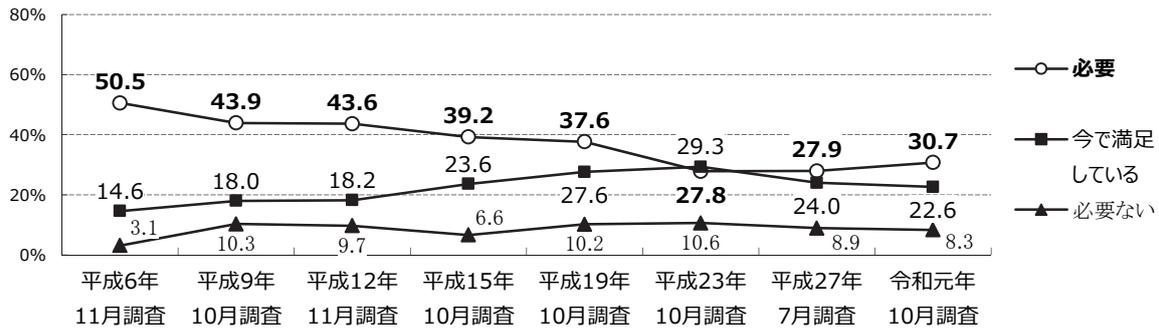
⑤JRの複線化



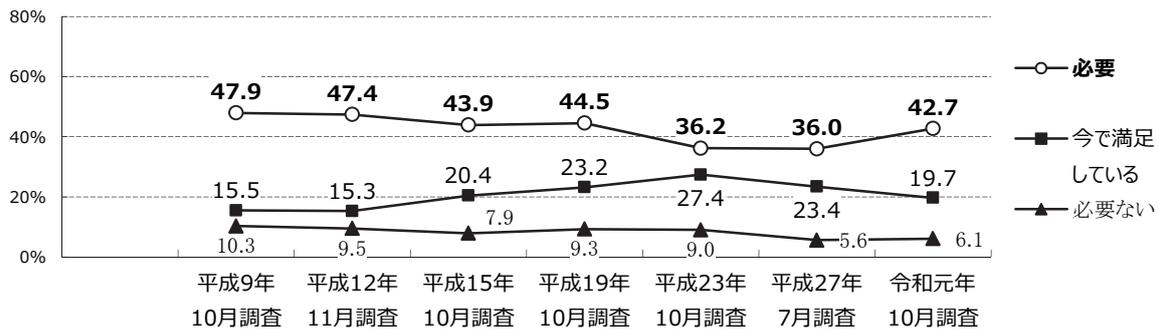
⑥近鉄の市内駅の急行停車



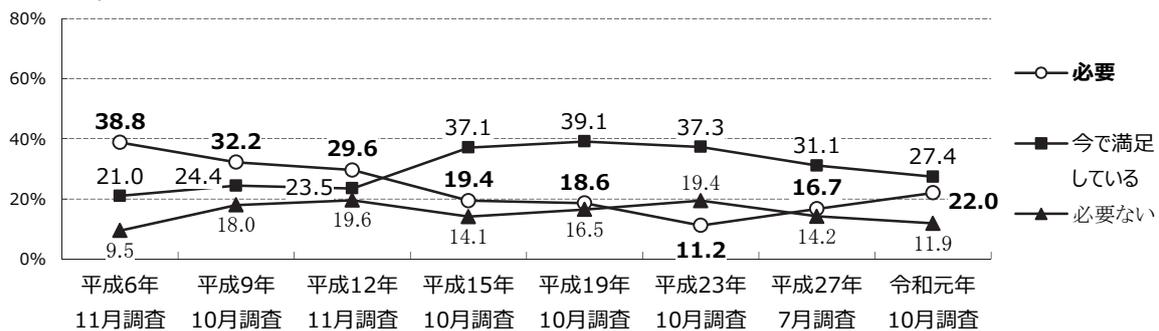
⑦バスの増発



⑧市内循環バスの充実



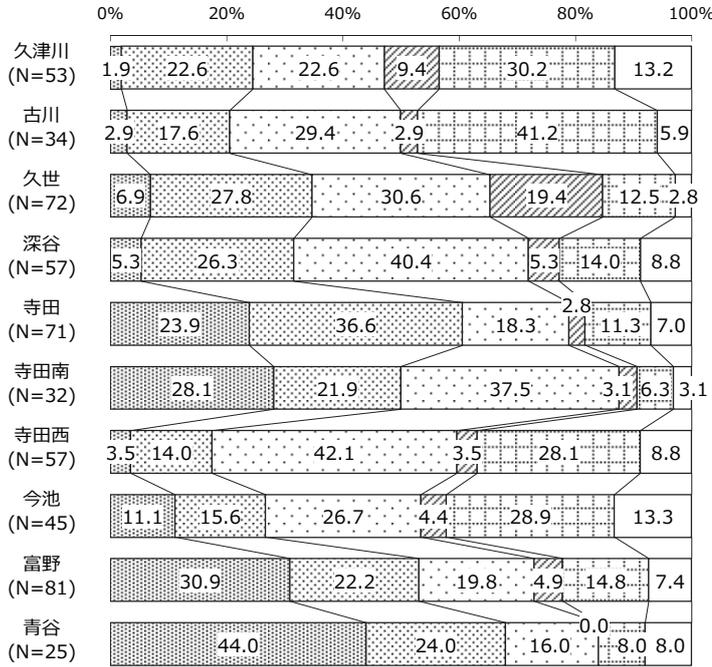
⑨タクシーの増車



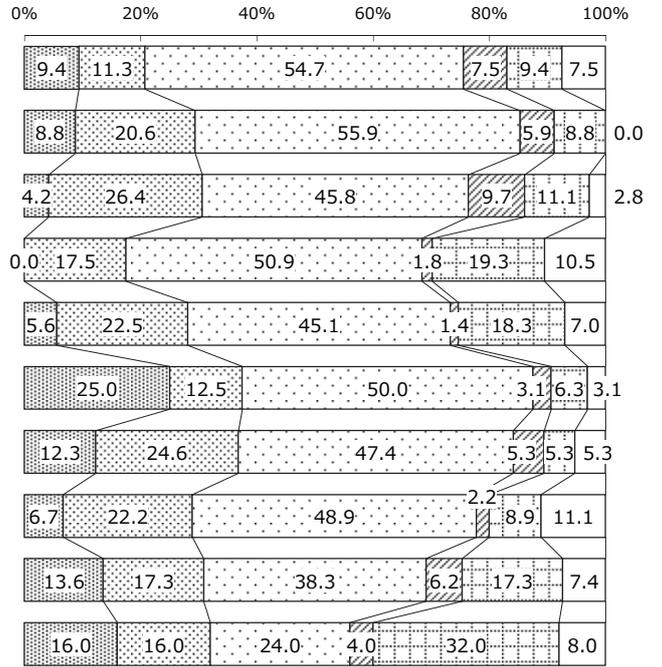
前回調査と比較すると、「⑤JRの複線化」「⑦バスの増発」「⑧市内循環バスの充実」では『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、「⑧市内循環バスの充実」で6.7ポイント増、「⑦バスの増発」で2.8ポイント増となっています。また、「①電車（JR）の増発」では、『必要』と「今で満足している」がともにわずかに減少しています。（図4-7-1）

図4-7-2 居住小学校区別 交通機関の整備の必要性

①電車（JR）の増発

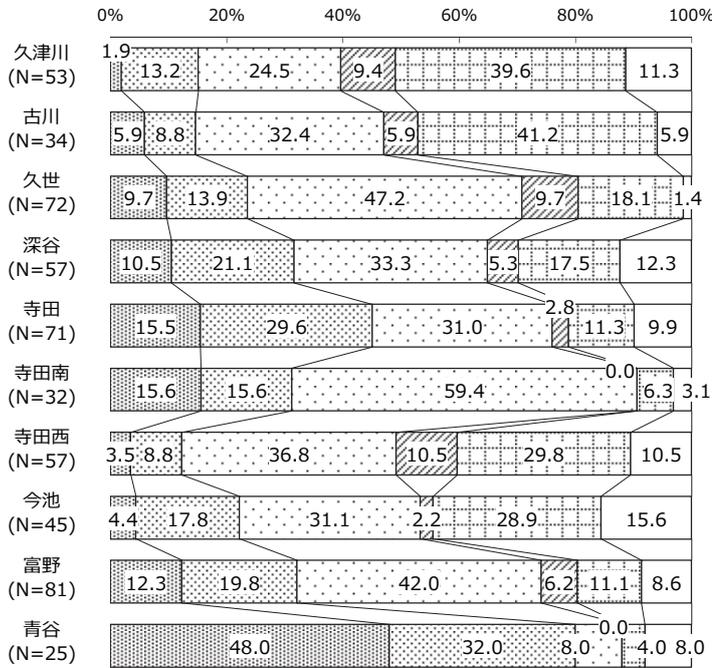


②電車（近鉄）の増発

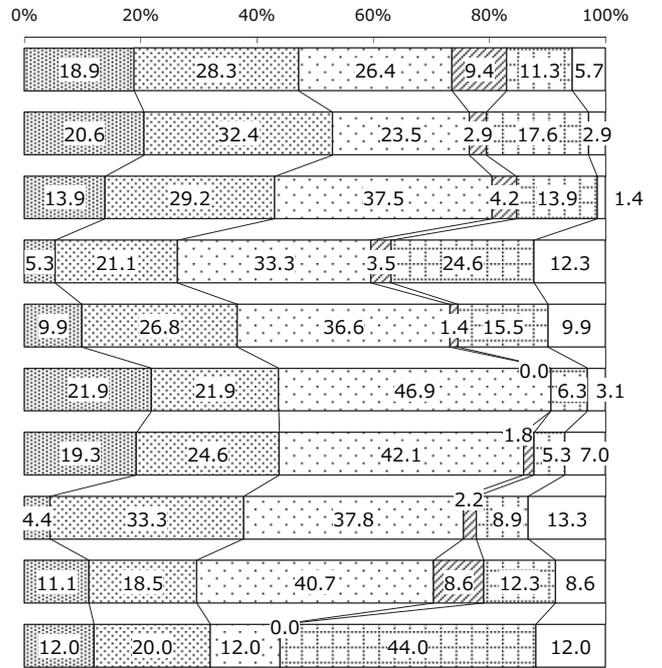


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③JR駅舎の整備

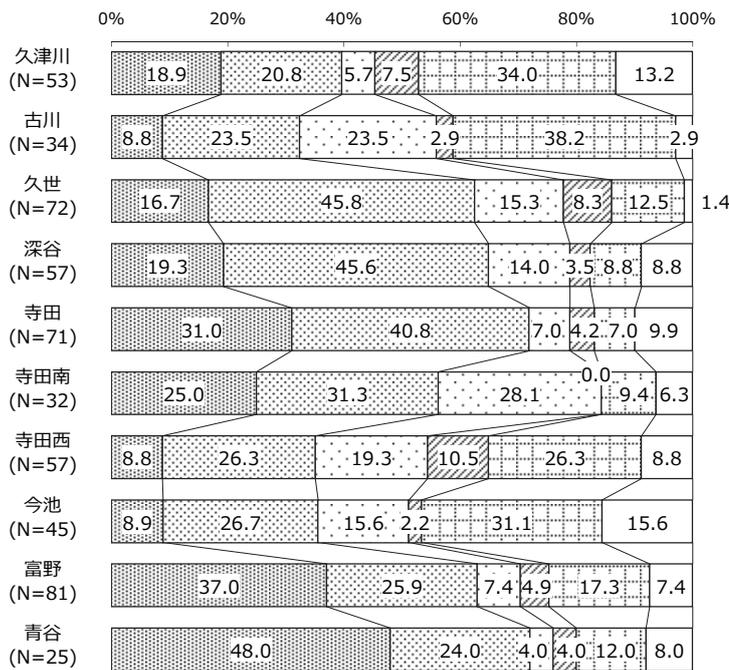


④近鉄駅舎の整備

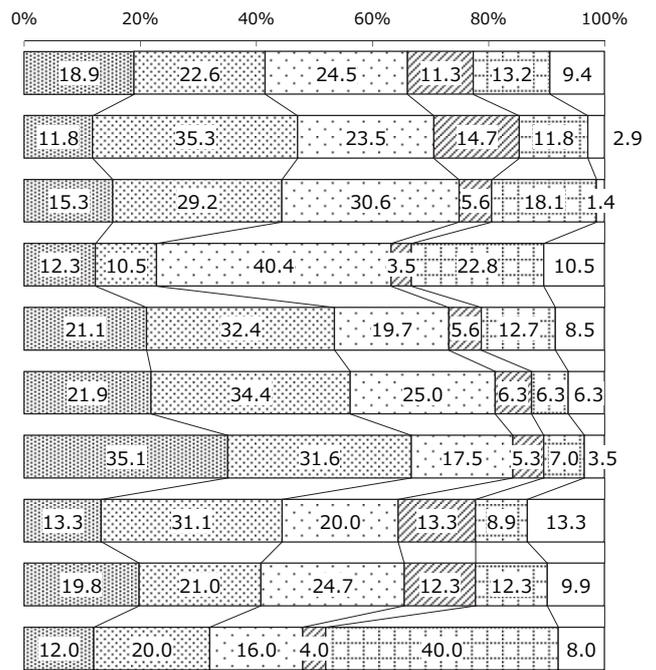


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤ J Rの複線化

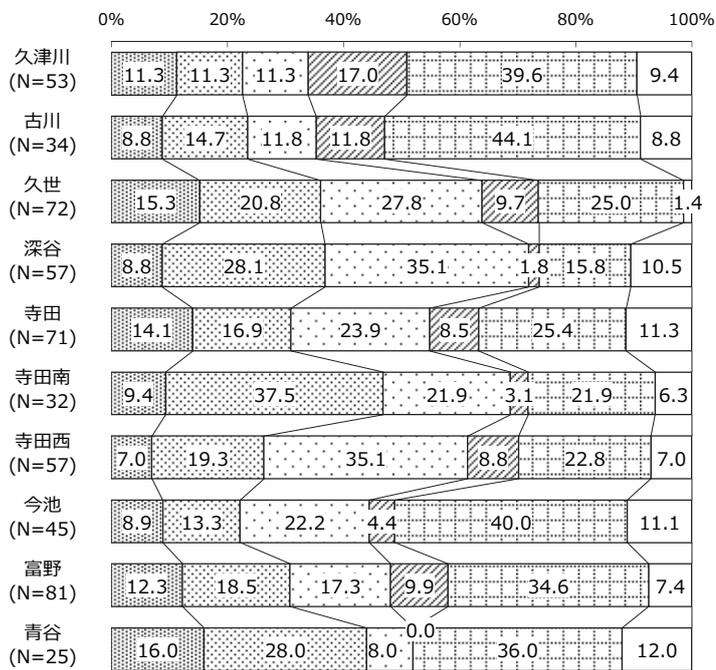


⑥近鉄の市内駅の急行停車

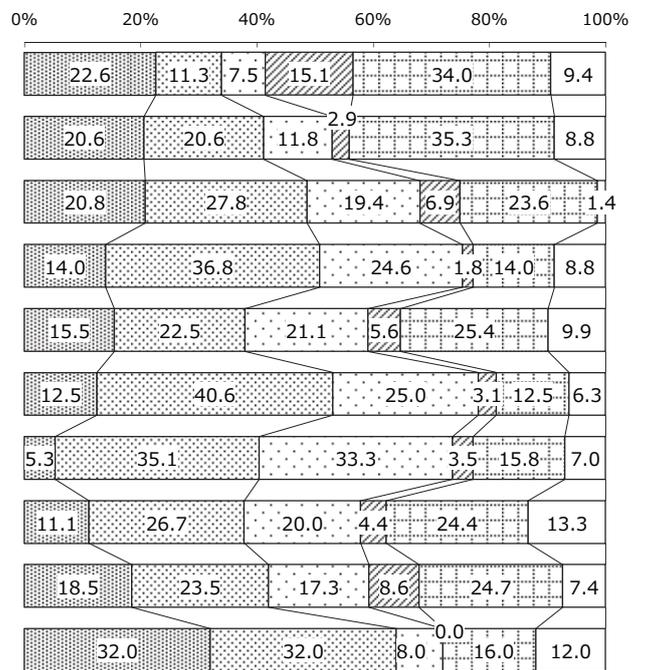


とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦バスの増発

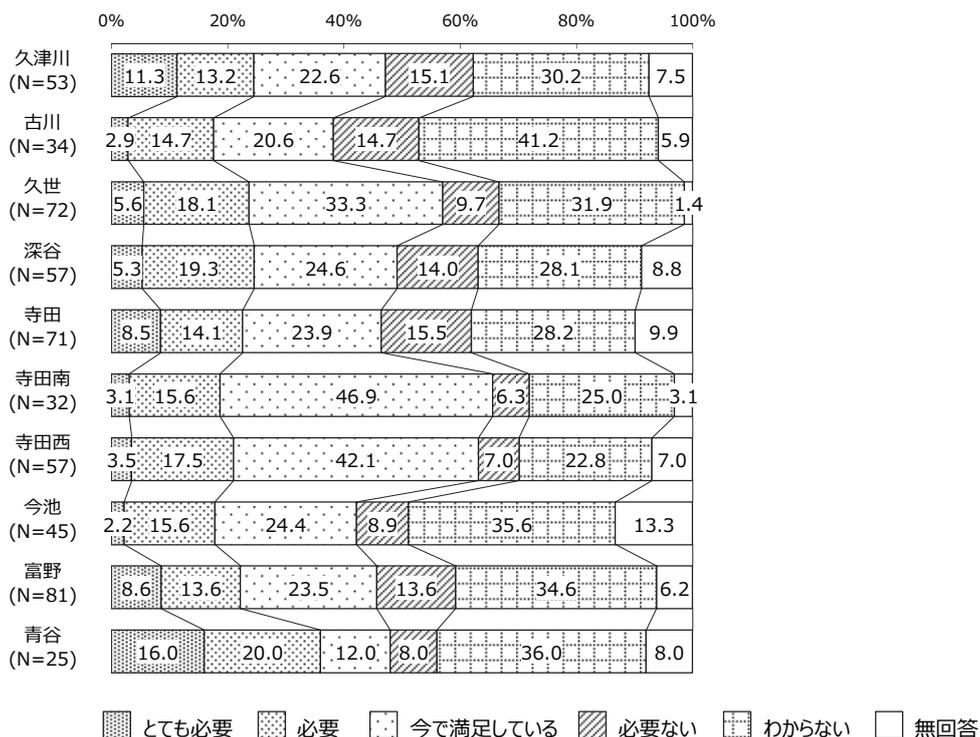


⑧市内循環バスの充実



とも必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑨タクシーの増車



居住小学校区別にみると、「①電車（JR）の増発」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が青谷で68.0%（17件）、寺田で60.5%（43件）と高くなっています。

「②電車（近鉄）の増発」は、青谷以外の小学校区では、『必要』よりも「今で満足している」が高くなっています。青谷では『必要』が32.0%（8件）と「今で満足している」24.0%（6件）を上回っています。

「③JR駅舎の整備」は、青谷で『必要』が80.0%（20件）と極めて高くなっており、「とても必要」が48.0%（12件）を占めています。また、寺田でも『必要』が45.1%（32件）と高くなっています。寺田南では、「今で満足している」が59.4%（19件）と高くなっています。

「④近鉄駅舎の整備」は、古川で『必要』が53.0%（18件）と5割を超えて高くなっています。寺田、寺田南、寺田西、今池では『必要』と「今で満足している」の割合が同程度となっています。

「⑤JRの複線化」は、『必要』が青谷72.0%（18件）と寺田71.8%（51件）で高く、青谷では「とても必要」が48.0%（12件）を占めています。また、深谷、富野、久世でも『必要』は6割を超えています。

「⑥近鉄の市内駅の急行停車」は、寺田西では『必要』が66.7%（38件）と高くなっています。深谷では「今で満足している」が40.4%（23件）と高く、『必要』22.8%（13件）を大きく上回っています。

「⑦バスの増発」は、寺田南と青谷で『必要』が高く、それぞれ46.9%（15件）、44.0%（11件）となっています。深谷では、『必要』が36.9%（21件）、「今で満足している」が35.1%（20件）と同程度となっています。

「⑧市内循環バスの充実」は、青谷では『必要』が64.0%（16件）と高く、寺田南と深谷でも『必要』は5割を超えています。

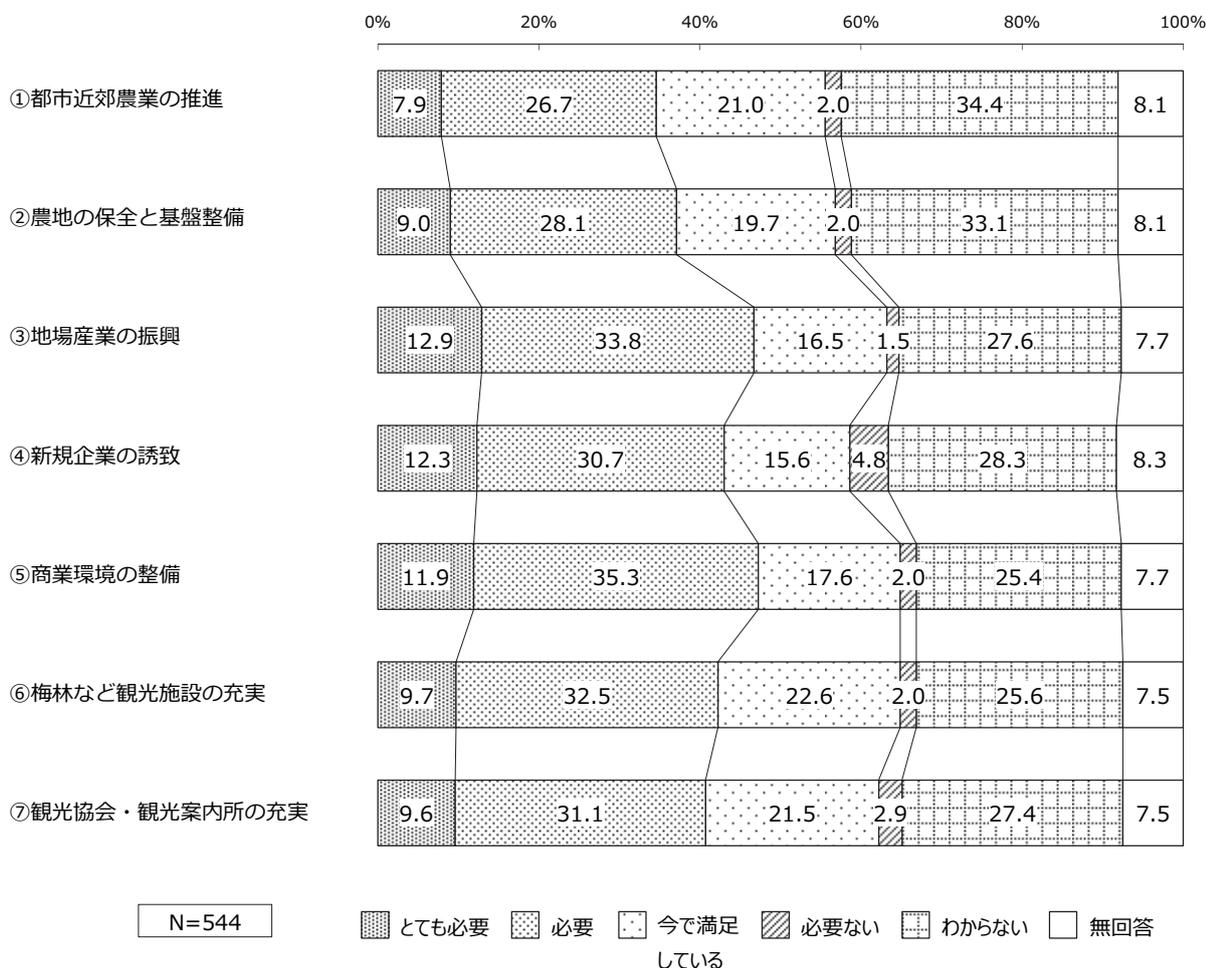
「⑨タクシーの増車」は、青谷で『必要』が36.0%（9件）となっている以外、いずれの小学校区でも、『必要』は2割前後となっています。寺田南と寺田西では「今で満足している」が4割を超えています。

（図4-7-2）

(8) 産業に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

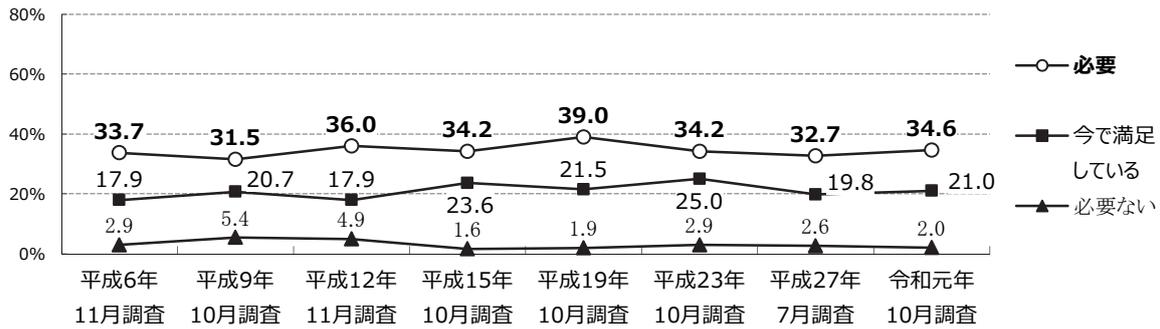
図4-8 産業に対する整備の必要性



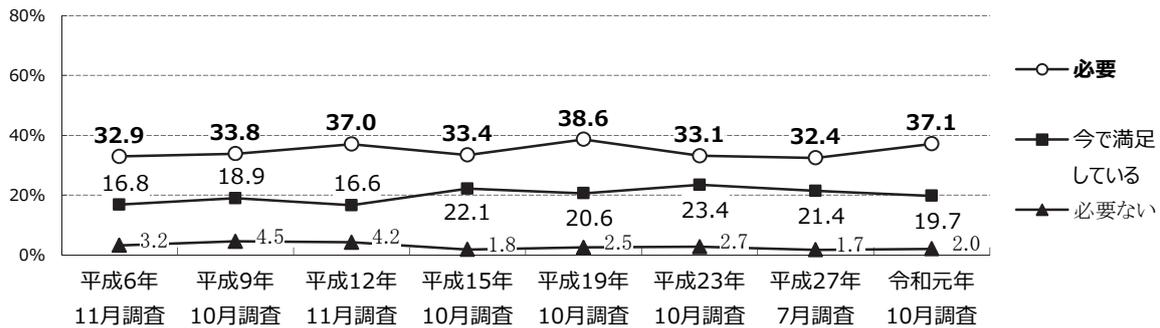
産業に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）の割合が、「⑤商業環境の整備」で47.2%（257件）、「③地場産業の振興」で46.7%（254件）、「④新規企業の誘致」で43.0%（234件）、「⑥梅林など観光施設の充実」で42.2%（230件）、「⑦観光協会・観光案内所の充実」で40.7%（221件）と4割を超えています。（図4-8）

図4-8-1 経年比較 産業に対する整備の必要性

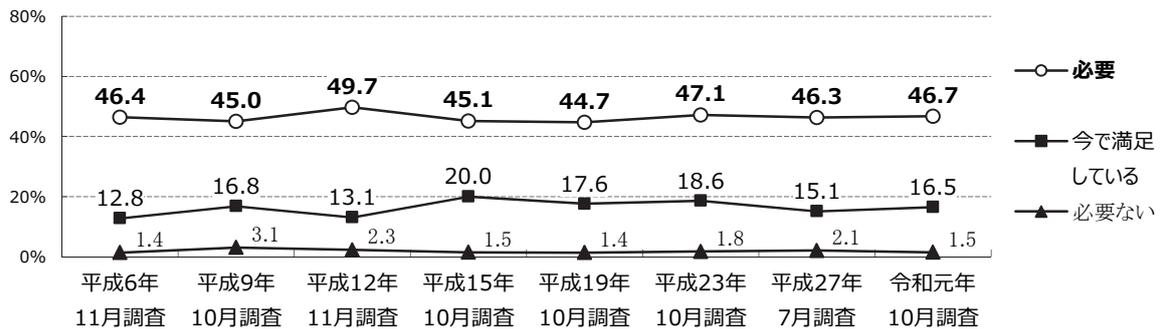
①都市近郊農業の推進



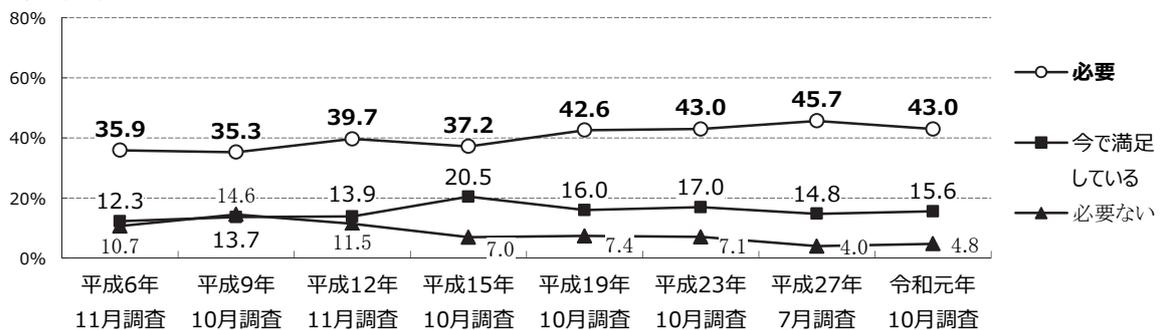
②農地の保全と基盤整備



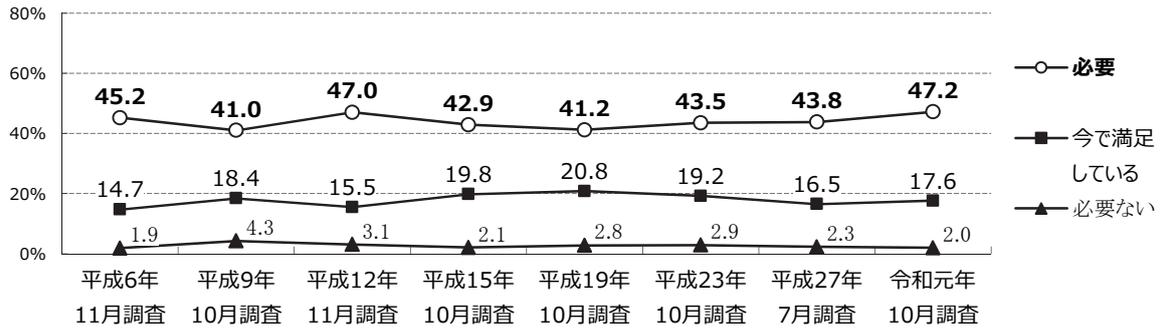
③地場産業の振興



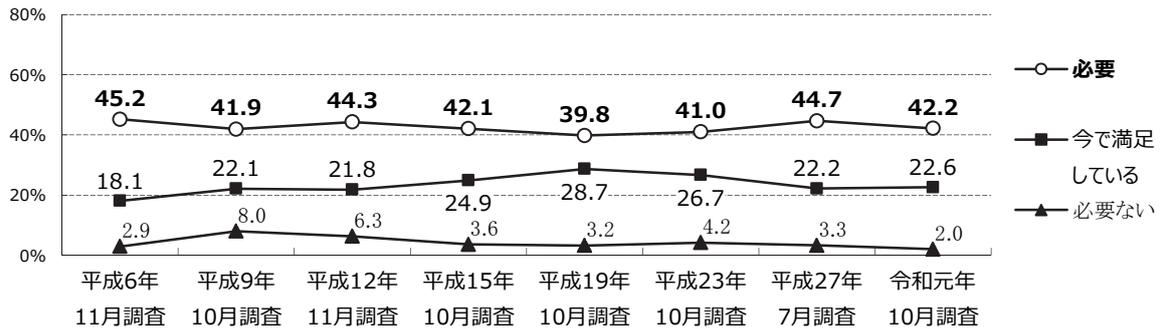
④新規企業の誘致



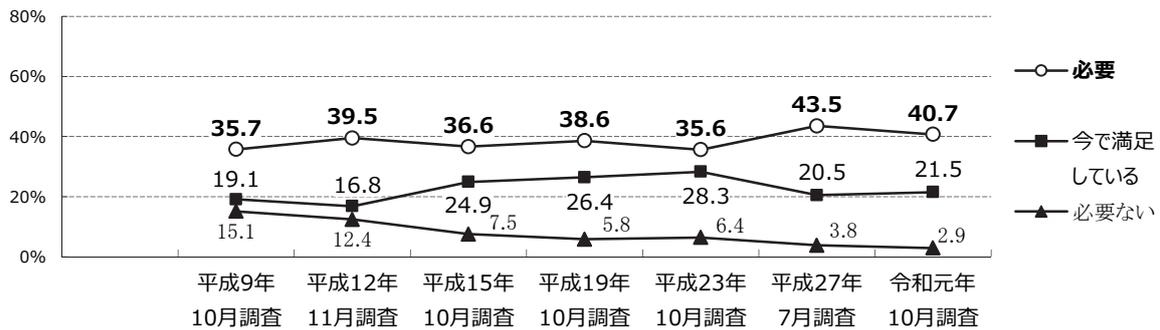
⑤商業環境の整備



⑥梅林など観光施設の充実



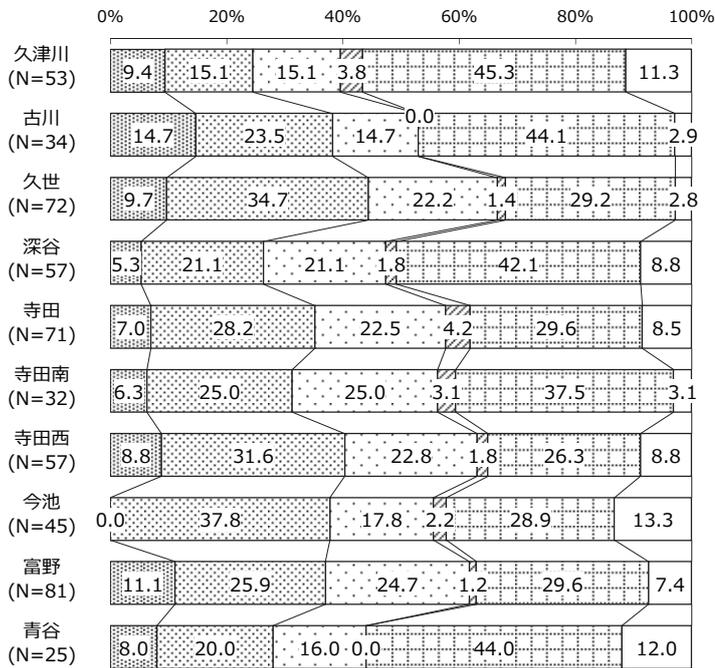
⑦観光協会・観光案内所の充実



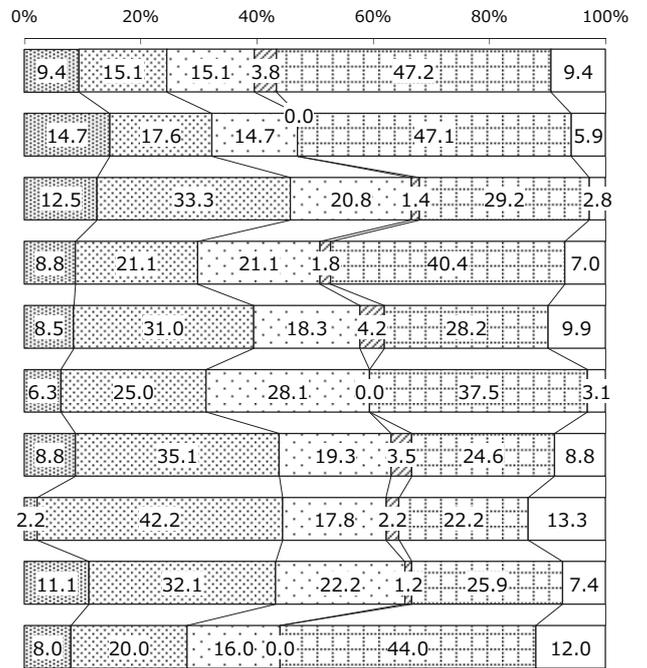
前回調査と比較すると、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「②農地の保全と基盤整備」で4.7ポイント、「⑤商業環境の整備」で3.4ポイント、「①都市近郊農業の推進」で1.9ポイント、「③地場産業の振興」で0.4ポイント、それぞれ増加しています。（図4-8-1）

図4-8-2 居住小学校区別 産業に対する整備の必要性

①都市近郊農業の推進

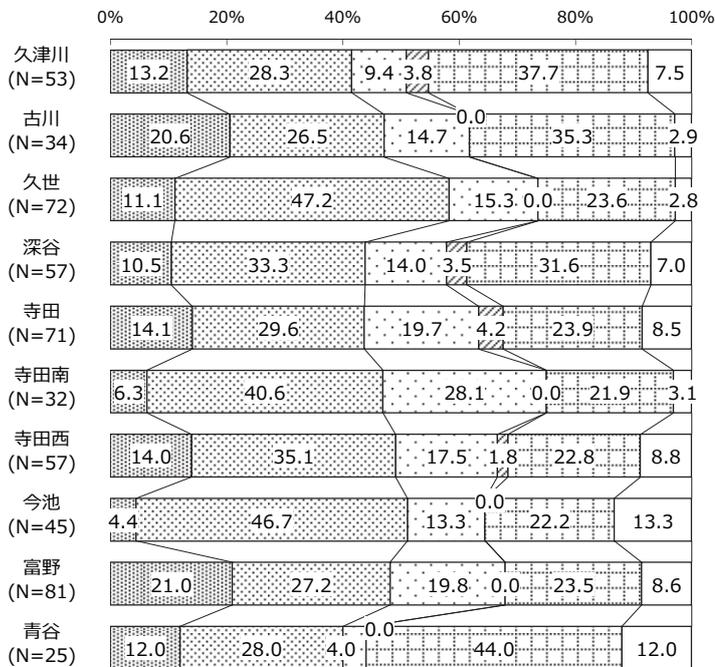


②農地の保全と基盤整備

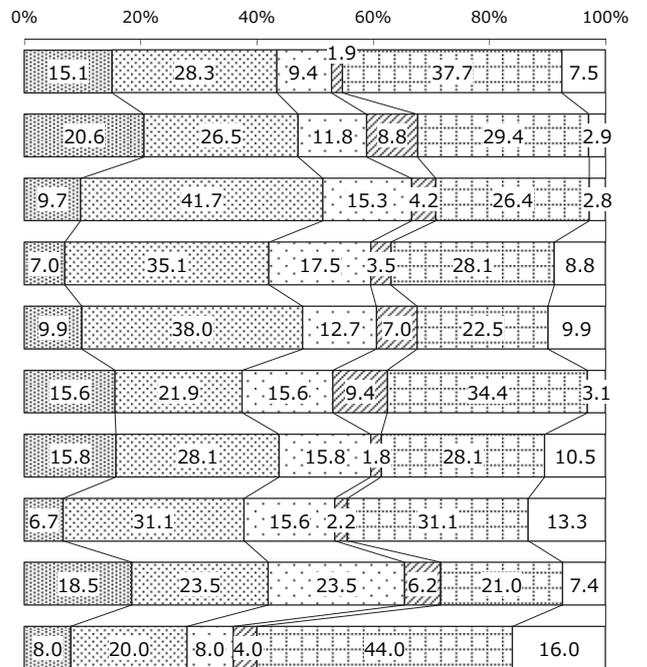


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③地場産業の振興

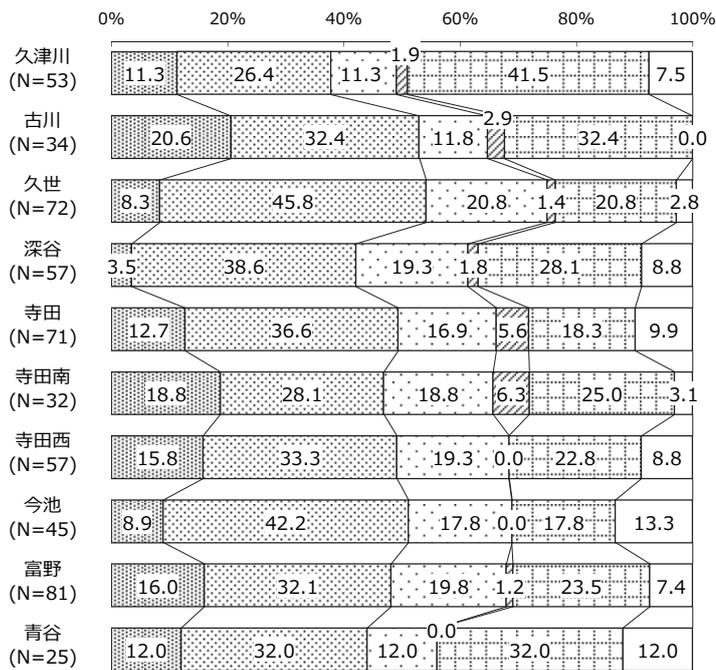


④新規企業の誘致

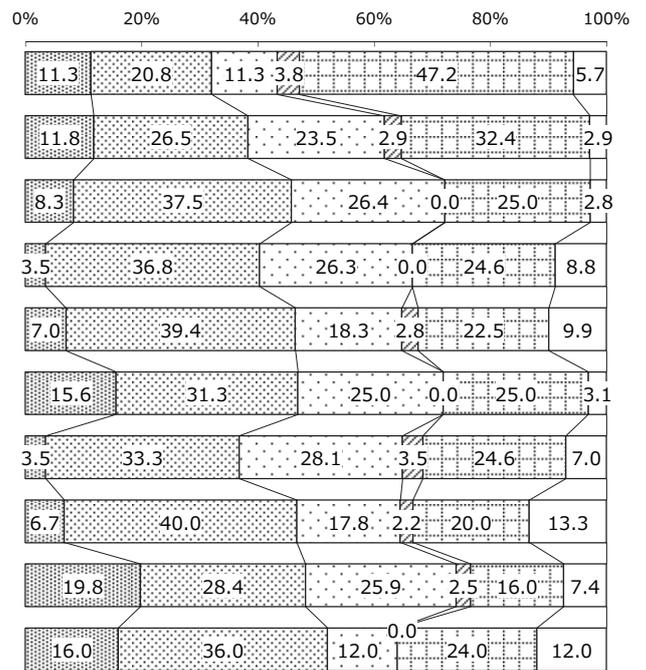


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤商業環境の整備

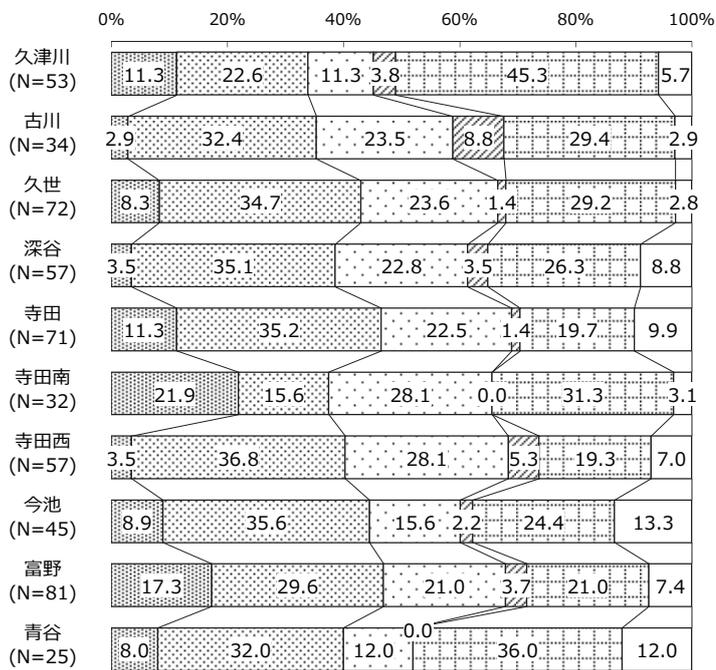


⑥梅林など観光施設の充実



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦観光協会・観光案内所の充実



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

居住小学校区別にみると、「①都市近郊農業の推進」は、久世で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が44.4%（32件）とやや高くなっています。

「②農地の保全と基盤整備」は、『必要』が久世で45.8%（33件）と最も高く、今池、寺田西、富野も4割台となっています。

「③地場産業の振興」は、『必要』が久世で58.3%（42件）、今池で51.1%（23件）と5割を超えています。

「④新規企業の誘致」は、『必要』が久世で51.4%（37件）と最も高く、青谷で28.0%（7件）と最も低くなっています。

「⑤商業環境の整備」は、『必要』が久世で54.1%（39件）、古川で53.0%（18件）、今池で51.1%（23件）と5割を超えています。

「⑥梅林など観光施設の充実」は、青谷で『必要』が52.0%（13件）と高く、5割を超えています。

「⑦観光協会・観光案内所の充実」は、『必要』が富野で46.9%（38件）と最も高く、寺田、今池、久世、寺田西、青谷も4割台となっています。（図4-8-2）

資 料 編

「あなたの声を市政に」(市民意識調査)ご協力のお願い

平素は、城陽市の市政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申しあげます。
城陽市では「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」の実現に向けて、皆様の市政に関するお考えやご意見等を把握し、今後の施策に反映させる目的で、「市民意識調査」を実施しております。
この市民意識調査は、昭和57年(1982年)から実施しており、今回で12回目となります。設問数が多く、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。
この調査では、令和元年(2019年)9月1日現在、市内にお住まいの18歳以上の中から、あなたを含めて1,000人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。調査結果は統計的に処理し、個人の秘密は厳守いたしますので、本調査の趣旨をご理解いただいた上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年(2019年)10月

城陽市

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートの回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
2. ご回答は、1ページから最後まで順番にお答えください。
3. ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に1つ〇印をつけていただくとよいです。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内に具体的に記入してください。
4. ご記入が完了したら、同封の返信用封筒に入れて、郵送にて**10月31日(木)**までにご返送ください。(無記名でお願いします。切手は不要です。)

■ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

城陽市役所 秘書広報課
TEL : 0774 (56) 4051
FAX : 0774 (55) 7774
e-mail : koho@city.joyo.lg.jp

I. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。 ※ご自身が認識されている性別または状態をお書きください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. () |
|-------|-------|--------|
- ※1, 2にあてはまらない場合、自由にお書きください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 | |

問3 あなたの職業を教えてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 会社員・会社役員・公務員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 自営業 | 4. 農林漁業 |
| 5. 専業主婦・専業主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () |

問3-1 問3で「5. 専業主婦・専業主夫」または「7. 無職」以外を選んだ方にお聞きします。

①あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 城陽市内 | 2. 京都市 |
| 3. 城陽市・京都市以外の京都府内 | 4. 大阪府 |
| 5. 奈良県 | 6. 兵庫県 |
| 7. 滋賀県 | 8. その他 () |

②自宅からの通勤時間・通学時間(徒歩・電車・バス・車などの合計)は片道のどれくらいですか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間未満 |
| 3. 1時間～1時間30分未満 | 4. 1時間30分～2時間未満 |
| 5. 2時間以上 | |

問4 あなたは城陽市に住んで何年になりますか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 |
| 4. 20年以上30年未満 | 5. 30年以上40年未満 | 6. 40年以上 |
| 7. 生まれてからずっと | | |

問5 あなた以外に同居している人を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. なし	2. 配偶者	3. 子 (18歳未満)
4. 子 (18歳以上)	5. 孫 (18歳未満)	6. 孫 (18歳以上)
7. 父	8. 母	9. 祖父
10. 祖母		
11. その他 ()		

問6 あなたのお住まいについて教えてください。

1. 持ち家	2. 民営の賃貸住宅
3. 公営の賃貸住宅	4. 社宅・寮など
5. その他 ()	

問7 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。

1. 久津川	2. 古川	3. 久世	4. 深谷
5. 寺田	6. 寺田南	7. 寺田西	8. 今池
9. 富野	10. 青谷		
11. わからない (ご住所の大字・小字を記入してください。例：城陽市寺田東ノ口) (城陽市)			

問8 あなたが現住所の直前に住んでいたのはどちらでしたか。

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	2. 城陽市内の別の地域
3. 京都市	4. 城陽市・京都市以外の京都市内
5. 大阪府	6. 奈良県
7. 兵庫県	8. 滋賀県
9. その他 ()	

問8-1 問8で「2」～「9」と回答した方にお聞きします。

①転居のきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 進学・転校	2. 就職・転勤	3. 結婚	4. 出産
5. 子どもの成長・独立	6. 住宅・マンションの購入	7. 退職・廃業	
8. 親や子と同居・近居	9. 特に理由はない	10. わからない	
11. その他 ()			

②現住所を転居先に選んだ理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 生まれ育った場所だから	2. 自分や家族の持ち家だから
3. 寮や社宅に住むから	4. 親や子、親族がいるから
5. 家賃や住宅の価格が手頃だから	6. 交通 (通勤・通学・買い物など) の便がよいから
7. 日頃の買い物などが便利だから	8. 子育て環境がよいから
9. 学校などの教育環境がよいから	10. 文化・スポーツ施設などが近くに
11. 病院・医院が近くにあるから	12. 住まいの周辺が静かだから
13. 自然環境が身近にあるから	14. まちなみや景観がよいから
15. にぎわいや活気があるから	16. 治安がよいから
17. まちのイメージがよいから	18. 城陽が好きだから
19. 市民の気質や感性が自分と合うから	20. その他 ()

II. 城陽市のことについておたずねします。

問1 あなたは城陽市を住みよいと感じていますか。

1. 住みよい	2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい
5. わからない	

問2 あなたは城陽市に「ふるさと」感をお持ちですか。

1. 「ふるさと」感を持っている	2. 「ふるさと」感を持っていない
3. わからない	

問3 あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思いますか。

1. 現在のところ、ずっと住みつづけたい	2. 市内の別の場所へ移りたい
3. 市外へ移りたい	4. どちらともいえない

問3-1 問3で「1.現在のところ、ずっと住みつづけたい」と回答した方にお聞きします。
住みつづけたい理由は何か。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 交通 (通勤・通学・買い物など) の便がよいから	2. 買い物が便利だから
3. 住居費が手頃だから	4. 日当たりなど住環境がよいから
5. 自然環境がよいから	6. 道路などの都市基盤の整備が整っているから
7. 学校などの教育環境がよいから	8. 職場・学校が近いから
9. 子育てに適しているから	10. 隣近所との関係が良好だから
11. 親や子、親族が近くにいるから	12. 治安がよいから
13. 特に理由はない	14. その他 ()

問3-2 問3で「2. 市内の別の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と回答した方にお聞きします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 交通（通学・通学、買い物など）の便がよくないから | 2. 買い物物が不便だから |
| 3. 住居費が高いから | 4. 騒音や日当たりなど住環境がよくないから |
| 5. 自然環境がよくないから | 6. 道路などの都市景観の整備が整っていないから |
| 7. 学校などの教育環境がよくないから | 8. 通学・通学に時間がかかるから |
| 9. 子育てに適していないから | 10. 近所づきあいがうまくいかないから |
| 11. 親や子、親族が近くにいないから | 12. 治安がよくないから |
| 13. 特に理由はない | 14. その他（ ） |

Ⅲ. 城陽市のさまざまな行政分野についておたずねします。

問1 あなたはどのような地域活動（ボランティアなど）に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1. 保健、医療または福祉の推進 | 2. 社会教育の推進 |
| 3. まちづくりの推進 | 4. 観光の振興 |
| 5. 農山漁村または中山間地域の振興 | 6. 学術、文化、芸術またはスポーツの振興 |
| 7. 環境の保全 | 8. 災害救援 |
| 9. 地域の安全 | 10. 人権の擁護または平和の推進 |
| 11. 国際交流 | 12. 男女共同参画社会の形成の促進 |
| 13. 子どもの健全育成 | 14. 情報化社会の発展 |
| 15. 科学技術の振興 | 16. 経済活動の活性化 |
| 17. 職業能力の開発または雇用機会の拡充支援 | 18. 消費者の保護 |
| 19. 中間支援活動（上記の活動についての相談窓口、助言、支援を行う） | 20. (自主) 防災活動 |
| | 21. その他（ ） |

問2 あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経済的な余裕がない | 2. 仕事・学校が忙しく時間がない |
| 3. 家事・育児・介護で忙しい | 4. 子どもを預けるところがない |
| 5. 健康や体力に自信がない | 6. 家族の理解や協力が少ない |
| 7. 人間関係がわずらわしい | 8. 身近なところに活動場所がない |
| 9. 地域活動に関する情報が少ない | 10. その他（ ） |

問3 生涯学習についてお聞きします。あなたは、この2～3年でどんな内容の学習をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 子どもの教育・育児に関するもの | 2. 健康管理に関するもの |
| 3. 趣味・娯楽（芸術・写真・囲碁将棋など）に関するもの | 4. 一般的な教養に関するもの |
| 5. スポーツ・レクリエーションに関するもの | 6. 環境に関するもの（イベントや学習会） |
| 7. 政治・経済・国際理解に関するもの | 8. 人権に関するもの |
| 9. 職業上の知識や技能（パソコン習得を含む）に関するもの | |
| 10. ボランティア活動や地域での社会参加に関するもの | |
| 11. 家庭生活に必要な知識・技能（料理・介護・介護、消費問題など）に関するもの | |
| 12. その他（ ） | 13. ここ2～3年は行っていない |

問3-1 問3でなんらかの学習活動を行った方にお聞きします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 行政が主催の講座や教室などで | 2. 市民体育館などで行われる教室で |
| 3. 大学や高校などの公開講座で | 4. 専修学校や各種学校の授業で |
| 5. 企業内の研修などで | 6. 通信教育を利用して |
| 7. 個人教室や塾で | 8. 自分ひとりで（本やテレビ・ラジオなどで） |
| 9. 民間のカルチャーセンターやスポーツ施設で | 10. 地域のサークルや友人・知人のグループで |
| 11. 文化バレルク城陽やコミセンなどで行われる講座や教室で | |
| 12. その他（ ） | |

問3-2 問3で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答した方にお聞きします。生涯学習に取り組まなかった理由は何か。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 時間的余裕がないから | 2. 近くに学習できる場所や機会がないから |
| 3. 適切な講師や指導者がいないから | 4. 一緒に学習する仲間がいないから |
| 5. 学習方法や情報がわからないから | 6. 周りの人の理解が得にくいから |
| 7. 自分の希望に合う講座がないから | |
| 8. その他（ ） | |

問4 スポーツの実施状況についてお聞きします。どのくらいの頻度で運動をしていますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 週3～4日以上 | 2. 週1～2日程度 |
| 3. 月1～3日程度 | 4. しない |

問5 京都サンガF.C. を応援していますか。

1. 応援している	2. 応援していない
-----------	------------

問6 京都サンガF.C. の試合を観戦したことがありますか。

1. 観戦したことがある	2. 観戦したことがない
--------------	--------------

問7 京都サンガF.C. についてお聞きます。

	知っている	聞いたことはある	知らない
①城陽市に公式練習場があること	1	2	3
②城陽市がホームタウンであること	1	2	3
③城陽市が応援バスツアーや交流会等を実施していること	1	2	3

問8 以下の通信機器のうち、あなたが使用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. パソコン	2. スマートフォン	3. スマートフォン以外の携帯電話
4. タブレット	5. 固定電話	6. FAX
7. 特にない	8. その他 ()	

問9 城陽市からの情報を収集する手段として活用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 広報じょうよう	2. 城陽市公式ホームページ
3. 城陽市公式Facebook	4. 城陽市公式Twitter
5. 城陽市LINEアカウント(子育て支援・多世代交流情報)	6. 市のチラシ
7. 市のポスター	8. 自治会回覧板
9. ラジオ(コミュニティFM含む)	10. 市からのメール(安心・安全メール)
11. その他 ()	

問10 城陽市からの情報を発信する手段として、以下のうち、今後力を入れるべきと考ええるものはどれですか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

1. 広報じょうよう	2. 城陽市公式ホームページ
3. 城陽市公式Facebook	4. 城陽市公式Twitter
5. 城陽市LINEアカウント(子育て支援・多世代交流情報)	6. 市のチラシ
7. 市のポスター	8. 自治会回覧板
9. ラジオ(コミュニティFM含む)	10. 市からのメール(安心・安全メール)
11. その他 ()	

問11 あなたは「広報じょうよう」「市議会だより」などをご覧になっていますか。次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

	全部読む	だけ読むところ	あまり読まない	読まない	知らないことを知る
①広報じょうよう	1	2	3	4	5
②市議会だより	1	2	3	4	5
③生涯学習情報紙「まなびEye」	1	2	3	4	5

	よく見る(聞く)	見たことがある	見たことはない	見たこと知らない	あることを知らない
①城陽市公式ホームページ	1	2	3	4	
②城陽市公式Facebook	1	2	3	4	
③城陽市公式Twitter	1	2	3	4	
④城陽市議会ホームページ	1	2	3	4	
⑤城陽市議会本会議中継(インターネット・市役所ロビー)	1	2	3	4	
⑥FM放送「城陽パースパルタイム」	1	2	3	4	

問12 城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」を知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問12-1 問12で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。じょうりんちゃんをどこで見たとありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 広報じょうよう	2. 各種チラシ	3. 市内のイベント
4. 市外のイベント	5. グッズ（シール、クリアファイルなど）	
6. その他（		）

問13 あなたが実施している災害の備えは次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 食料、飲料水、生活必需品などの備蓄	2. 家の耐震化
3. 家具の転倒防止	4. 感震ブレーカーの設置
5. 校区の防災訓練への参加	6. 避難所・避難経路の確認
7. 防災に関する市の出前講座への参加	8. 城陽市安心・安全メールの登録
9. 城陽市防災ブック（城陽市防災マップ）の確認	
10. 非常用持出袋（食料、飲料水、貴重品、救急用品等）の準備	
11. 災害時の連絡方法の確認（災害用伝言ダイヤル1717、災害用伝言板web1717など）	
12. 災害に備えたタイムライン（防災行動計画）の作成	

問14 あなたがお住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

1. 設置している	2. 一部設置している	3. 設置していない
-----------	-------------	------------

問15 あなたの家では、水道水を飲料水として直接使用していますか。

1. 使用している	2. 使用していない
-----------	------------

問15-1 問15で「2. 使用していない」と回答した方にお聞きします。飲料水として何を使用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 浄水器などを使用している	2. 市販の水を使用している	
3. 井戸水を使用している	4. その他（	）

問16 市で実施している環境施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

1. 省エネ診断	2. 市内一斉クリーン活動（ごみ拾い活動）
3. 地球温暖化防止教室	4. グリーンカーテン苗の配布
5. フットチャッカーの貸し出し	6. 雨水貯留施設（雨水タンク）設置補助
7. LED電球貸し出し	8. 生ごみ処理機等購入補助、生ごみ処理機貸し出し
9. 城陽ECO宣言	

問17 環境イベントや学習会、清掃活動などへ参加したことがありますか。

1. 参加したことがある	2. 参加したことがない
--------------	--------------

問18 地球環境問題について関心がありますか。

1. かなりある	2. ある	3. あまりない	4. まったくない	5. わからない
----------	-------	----------	-----------	----------

問19 地球環境問題に対して取り組んでいること、今後取り組みたいと思うものはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 食品ロスの削減	2. 宅配便の再配達防止			
3. 次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車等）の購入	4. マイバッグの持参			
5. HEMS（家庭用エネルギー管理システム）の導入	6. LED照明の導入			
7. 環境イベント・学習会への参加	8. 地域の美化活動への参加			
9. 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）の導入	10. 特になし			
11. その他（		）		

問20 墓地について、あなたのご意見をお聞かせください。あなたは、墓地を所有していますか。

1. 市内に所有している	2. 市外に所有している
3. 所有していない	

問20-1 問20で「3. 所有していない」と回答した方にお聞きします。墓地を必要とされていますか。

1. 必要である	2. 必要でない
----------	----------

問20-2 問20-1で「1. 必要である」と回答した方にお聞きします。どのような臺地の形態を必要とされていますか。

1. 墳墓	2. 納骨堂
3. わからない	4. その他 ()

問21 市の緑化施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

1. 緑の相談	2. グリーンカーテン苗の配布
3. 結婚・誕生グリーンギフトの配布	4. グリーンバンク
5. 緑化フェスティバル	6. 名木・古木の選定
7. 花いっぱい運動	

問22 今後、城陽市が一層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われるますか。次の中から3つ以内で○をつけてください。

1. 樹木・樹林の保全・保護	2. 農地の保全	3. 公園緑地の整備
4. 道路の緑化	5. 河川・河岸の緑化	6. 公共公益施設の緑化
7. 住宅地の緑化	8. 商業地の緑化	9. 工業地の緑化
10. 市民参加の緑化活動	11. その他 ()	

問23 あなたはどのくらいの頻度で公園を利用しますか。

1. 毎日	2. 週に2～3度	3. 週に1度
4. 月に1～2度	5. ほとんど利用しない	

問24 あなたのご自宅周辺の公園がどのような公園であればもっと利用できると思えますか。

1. 子ども利用を主目的とした遊具のある公園
2. 高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園
3. 従来どおり多世代利用を目的とした公園
4. 憩いの場を目的とした花や緑がある公園
5. その他 ()

問25 あなたは自転車損害賠償保険等へ加入していますか。

1. 加入している	2. 加入していない
-----------	------------

問25-1 問25で「2. 加入していない」と回答した方にお聞きします。自転車損害賠償保険等へ加入していない理由は何か。

1. 加入義務化を知らなかったから	2. どのような保険に加入したらよいかわからないから
3. 費用がかかるから	4. 自転車に乗らないから
5. その他 ()	

問26 子育て支援の充実のためには、城陽市では今後特にどんな施策が必要だと思えますか。3つ以内で○をつけてください。

1. 保育園の整備	2. 保育園の保育時間の拡大
3. 保育園情報発信の充実	4. 一時保育の実施園の拡大
5. 病児・病後児保育の充実	6. 学童保育所の施設整備
7. 学童保育所の利用料金の見直し	8. ひとり親家庭支援策の充実
9. 保育園や幼稚園の「あそびのひろば」の拡大	10. 地域子育て支援センター事業の充実
11. 家庭児童相談室の充実	12. 子育ての情報提供の充実
13. ファミリー・サポート・センターの充実	
14. その他 ()	

問27 城陽市消費生活センターを利用したことがありますか。

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない
--------------	--------------

問27-1 問27で「2. 利用したことがない」と回答した方にお聞きします。城陽市消費生活センターを利用したことがない理由を教えてください。

1. 施設のことを知らなかったから	2. 利用する必要がなかったから
3. その他 ()	

問28 あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、自家用車（バイク含む）をお持ちですか。いずれかに○をつけてください。また、外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【免許・自家用車の有無】

運転免許証	持っている	持っていない
自家用車	1	2
	1	2



【外出時の交通手段】

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車	5. タクシー	6. 鉄道
7. 一般の路線バス	8. 城陽さんさんバス	

問29 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

	週4日以上	週に1～3日 程度	月に1～3日 程度	年に1～数日 程度	利用しない
①JR	1	2	3	4	5
②近鉄	1	2	3	4	5
③一般の路線バス	1	2	3	4	5
④城陽さんさんバス	1	2	3	4	5
⑤タクシー	1	2	3	4	5
⑥その他の送迎バス	1	2	3	4	5

問30 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。

また、よく利用する施設や外出先ほどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごとに答えください。

【それぞれ1～9のうち1つに○、8の場合は施設等の名前1か所を記入】

	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 豊野荘駅	近鉄 大久保駅	駅 周辺に ない	利用 しない
①鉄道の乗車駅	1	2	3	4	5	6	7	8()	9
②日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8()	9
③通院・診療	1	2	3	4	5	6	7	8()	9
④趣味・娯楽	1	2	3	4	5	6	7	8()	9
⑤運動・習い事	1	2	3	4	5	6	7	8()	9
⑥公共施設	1	2	3	4	5	6	7	8()	9

問31 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用していますか。それぞれの施設ごとにお答えください。また、利用していない方はその主な理由を1つお答えください。

【あまり・まったく利用していない】に○ならば理由へ→▶ 利用していない理由：各施設で○は1つ

	よく・ときどき利用する	あまり利用して いない	施設を知らない	施設が充実していない	曜日・時間帯が合わない	手続き面で利用しづらい	施設まで遠い	利用する 必要がない	その他	
i 図書館	1	2		1	2	3	4	5	6	7
ii 歴史民俗資料館	1	2		1	2	3	4	5	6	7
iii プラネタリウム	1	2		1	2	3	4	5	6	7
iv プラムホール、ふれあいホール	1	2		1	2	3	4	5	6	7
v 会議室	1	2		1	2	3	4	5	6	7
vi 市民活動支援センター	1	2		1	2	3	4	5	6	7
②男女共同参画支援センター (はれっとJOYO)	1	2		1	2	3	4	5	6	7
③地域子育て支援センター (ひなたぼっこ)	1	2		1	2	3	4	5	6	7
④福祉センター	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑤北部コミセン	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑥南部コミセン・働く女性の家・ コミュニティ防災センター	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑦今池コミセン	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑧東部コミセン	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑨青谷コミセン	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑩寺田コミセン (文化ハレグ城陽内)	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑪老人福祉センター陽寿苑	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑫老人福祉センター陽東苑	1	2		1	2	3	4	5	6	7
⑬老人福祉センター陽幸苑	1	2		1	2	3	4	5	6	7

⑭老人福祉センター陽和苑	1	2	3	4	5	6	7
⑮市民体育館	1	2	3	4	5	6	7
⑯総合運動公園スポーツゾーン (多目的広場・野球場など)	1	2	3	4	5	6	7
⑰総合運動公園レクリエーションゾーン (ロゴスランド)	1	2	3	4	5	6	7
⑱アイリスイン城陽	1	2	3	4	5	6	7
⑲ブラムイン城陽	1	2	3	4	5	6	7
⑳市民テニスコート (北部コミセン横)	1	2	3	4	5	6	7
㉑木津川河川敷運動広場	1	2	3	4	5	6	7
㉒市民プール	1	2	3	4	5	6	7

IV. 城陽市での暮らしについての満足度をおたずねします。

問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのよう感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

日常生活全般	かなり満足	いど えは ばら 満足	いど えは なら いとも	いど えは ばら 満足	かなり 満足
①買物の利便さ	1	2	3	4	5
②子どもの教育環境	1	2	3	4	5
③公園や子ども遊び場	1	2	3	4	5
④隣近所との関係	1	2	3	4	5
⑤自治会活動などのコミュニティ環境	1	2	3	4	5
⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害	1	2	3	4	5

自然環境・周辺環境	1	2	3	4	5
①川や池のきれいさ	1	2	3	4	5
②自然や生き物とのふれあい	1	2	3	4	5
③歩道を含めた道路の快適さ	1	2	3	4	5
④水や水辺とのふれあい	1	2	3	4	5
⑤まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
⑥環境に関するイベントや学習の機会	1	2	3	4	5

都市基盤	とても必要	必要	今で満足している	必要ない	わからない
①道路の整備	1	2	3	4	5
②河川・排水路の整備	1	2	3	4	5
③緑地帯の設置	1	2	3	4	5
④歩道と車道分離	1	2	3	4	5
⑤駅周辺の整備	1	2	3	4	5
⑥市街地の整備	1	2	3	4	5
⑦東部丘陵地の整備	1	2	3	4	5
⑧山砂利対策	1	2	3	4	5
⑨近鉄と道路との立体交差化	1	2	3	4	5

生活環境	1	2	3	4	5
①街の環境美化	1	2	3	4	5
②防災・防火活動の充実	1	2	3	4	5
③交通安全対策	1	2	3	4	5
④コミュニティ活動の推進	1	2	3	4	5
⑤公害防止対策	1	2	3	4	5
⑥墓地公園の建設	1	2	3	4	5
⑦葬祭場の建設	1	2	3	4	5
⑧消費者保護対策の充実	1	2	3	4	5
⑨地下水保全対策	1	2	3	4	5

教育・文化	1	2	3	4	5
①小学校・中学校の施設整備	1	2	3	4	5
②青少年の健全教育の推進	1	2	3	4	5
③文化財の保護	1	2	3	4	5
④国際交流の推進	1	2	3	4	5

城陽市市民意識調査報告書

令和2年（2020年）3月

発行 京都府城陽市企画管理部 秘書広報課
〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL : 0774-56-4051
